

令和7年度版（令和6年度実績）

大牟田の教育

～ 教育委員会の権限に属する事務の管理
及び執行状況についての点検及び評価 ～

大牟田市教育委員会
大 牟 田 市

目 次

はじめに	1
点検及び評価の概要	1
教育委員会の活動状況	
教育委員会の概要	3
教育委員会の主な活動実績	4
活動の評価	6
教育施策の推進状況	
(教育委員会関係分)	
令和6年度大牟田市学校教育振興事業計画	
趣旨	8
令和6年度の教育委員会の方針	9
成果指標の令和6年度実績値	11
基本方針に係る成果指標の令和6年度達成状況	12
令和6年度重点事業	14
基本施策Ⅰ 社会的自立の基盤となる資質や能力の育成	
主要施策1 確かな学力の育成	27
主要施策2 豊かな心の育成	31
主要施策3 健やかな体の育成	35
主要施策4 主体的に社会の形成に参画する態度の育成	38
基本施策Ⅱ 安心して学べる学校づくり	
主要施策1 誰一人取り残さない学びの保障	40
主要施策2 特別支援教育の推進	47
基本施策Ⅲ 地域とともにある学校づくり	
主要施策1 地域の力を活かした学校運営の推進	50
主要施策2 学校・家庭・地域の連携	52
基本施策Ⅳ 学校教育環境の充実	
主要施策1 学校再編整備の推進	55
主要施策2 学校施設・設備の整備	56
基本施策Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進	
主要施策1 人権・同和教育の推進	59

(市長部局関係分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より	6 2
--------------------	-----

成果指標の令和6年度実績値	6 3
---------------	-----

令和6年度重点事業	6 4
-----------	-----

第1編第4章 学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動する

ひとの育成

視点1 次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ	6 6
----------------------------	-----

視点2 SDGs／ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり	7 4
------------------------------------	-----

視点3 学習環境の整備・充実	7 7
----------------	-----

視点4 社会教育施設の機能向上	7 9
-----------------	-----

視点5 青少年の問題行動や悩みへの対応	8 1
---------------------	-----

その他 社会教育委員の会議	8 4
---------------	-----

第1編第5章 スポーツに気軽に親しめる機会と環境づくり

視点1 誰もがどこでも気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり	8 7
--------------------------------	-----

視点2 活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり	9 1
--------------------------	-----

視点3 スポーツがしやすい環境づくり	9 6
--------------------	-----

第1編第6章 郷土の歴史と文化芸術を通して心豊かに生活できる

社会づくり

視点1 まちの歴史や文化を守る・知る・活かす	9 9
------------------------	-----

視点2 文化芸術事業の充実	10 4
---------------	------

視点3 文化芸術を活用した新たな価値や多様性の創出	10 8
---------------------------	------

視点3 文化芸術活動への支援、環境づくり	11 0
----------------------	------

学識経験者意見	11 4
---------	------

資料編

歴代教育委員等	12 0
---------	------

機構と職員数	12 2
--------	------

教育財政

令和7年度当初予算	12 4
-----------	------

令和6年度決算	12 5
---------	------

教育費の当初予算・決算推移	12 6
---------------	------

各種委員会等	12 7
--------	------

市立学校一覧	12 9
--------	------

学校別児童生徒・教職員数	13 0
--------------	------

市立学校の通学区域	13 2
-----------	------

児童生徒数の推移	13 5
----------	------

卒業後の状況	1 3 5
学校施設一覧	1 3 6
教育施設一覧	1 3 7
社会教育施設等の状況	
地区公民館	1 3 8
多目的活動施設リフレスおおむた	1 6 1
大牟田文化会館	1 6 4
三池カルタ・歴史資料館	1 6 7
図書館	1 7 0
スポーツ施設	1 7 9
指定・登録文化財一覧	1 8 1

はじめに

このたび、大牟田市教育委員会と大牟田市（市長の関係事務部局）は、令和６年度の本市教育行政の実績を報告書「大牟田の教育」にまとめ、この中で教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いました。

この点検及び評価は、令和６年度における「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」について実施したものであり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。教育委員会は、この報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価の結果を今後の教育委員会の活動や教育施策の推進に生かすとともに、本市の教育行政が、市民の皆様の御理解のもとで効果的に推進できるよう、取組の充実を目指していきます。

点検及び評価の概要

１ 点検及び評価の対象並びに実施方法

（１）「教育委員会の活動状況」の評価は、教育委員会会議の実施状況や、学校訪問、各種行事、研修会等への参加状況などの教育委員会の活動とその情報発信について実施しました。

（２）「教育施策の推進状況」の評価は、以下の方法で実施しました。

① 教育委員会関係分

ア 「令和６年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる基本方針について、「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

イ 「令和６年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる各主要施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

② 市長部局関係分

大牟田市総合計画「まちづくり総合プラン」に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

なお、市長部局関係分のうち、点検及び評価の対象となるのは、スポーツ及び文化芸術に関する事務などの市長が管理・執行する事務を除いた部分です。具体的には、６２～８０ページ、８４～８６ページ、９６ページの学校体育施設開放

事業及び99～103ページが対象となります。

③ 教育委員会関係分・市長部局関係分共通

令和6年度に重点的に取り組んだ事業については、個票を作成し、内容の充実を図りました。

2 教育に関して学識経験を有する者の知見の活用について

点検及び評価の客観性の確保の観点から地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項が規定する「教育に関して学識経験を有する者の知見の活用」については、教育行政に通じている大学教授に外部評価を依頼し、意見書を作成していただきました。

2〔教育委員会の活動状況〕

1 教育委員会の概要

(1) 教育委員会の位置付け

大牟田市教育委員会は、地方自治法に基づく行政委員会であり、市長から独立した執行機関として設置されています。市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び4人の委員で構成され、本市の教育行政における重要事項や基本方針について審議決定を行っています。

(2) 教育委員会の所管事務

大牟田市教育委員会は、学校教育、社会教育、人権・同和教育等に関する事務を所管しています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づきH24年12月に制定した大牟田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例により、次の事務については、H25年4月から、市長が管理し、及び執行しています。

- ・スポーツに関すること（学校における体育に関することを除きます。）
- ・文化に関すること（文化財の保護に関することを除きます。）

また、大牟田市教育委員会補助執行規程（H25年3月制定）に基づき、次の事務については、H25年4月から、市長の事務部局の職員が補助執行しています。

- ・文化財の保護及び活用に関すること
- ・社会教育の振興に関すること
- ・地区公民館、リフレスおおむた、図書館、三池カルタ・歴史資料館に関すること など

(3) 教育長の職務

教育長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどるとともに、事務を統括し、事務局の指揮監督を行います。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（H27年4月1日施行。以下「法改正」といいます。）により、従前の教育委員会を代表する委員長と事務局を統括する教育長が一本化された新たな教育長を置くこととなり、本市では、法改正を踏まえ、H27年4月1日から新たな教育長が任命されています。

(4) 委員の職務

委員は、教育委員会会議に出席し教育行政に関する重要事項等についての審議を行っています。また、教育現場の視察、意見・要望等の聴取を行うほか、教育関係の各種行事に出席しています。このような活動を通して、教育における政治的中立性及び継続性・安定性を確保するとともに、広く市民の意向を反映した責任ある教育行政の実現を図っています。

(5) 令和6年度における教育委員会の構成（歴代委員等は『資料編』に掲載）

大牟田市教育委員会は、教育長及び4人の委員で構成しています。教育長の任期は3年、委員の任期は4年です（再任可）。教育長職務代理者は、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、その職務を行います。

氏名（職名）	任期
谷本 理佐（教育長）	R6年4月1日 ～ R9年3月31日
嶋田 桂子（委員・教育長職務代理者）	R3年6月1日 ～ R7年5月31日
山本 和夫（委員）	R5年3月13日 ～ R9年3月12日
東 秀樹（委員）	R6年3月22日 ～ R10年3月21日
木場 真帆（委員）	R4年6月1日 ～ R8年5月31日

2 教育委員会の主な活動実績

(1) 教育委員会会議の実施

原則として、定例会は毎月1回、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する重要事項等を適切に審議しました。

R6年度は、定例会を12回、臨時会を1回開催しました。なお、傍聴者はありませんでした。

開催日	会議	議案番号	議案名等
4月17日	4月定例	—	報告事項6件（令和5年度末教職員異動状況について 等）
5月13日	5月定例	1	大牟田市就学支援委員会委員の任命について
		2	大牟田市立学校結核対策委員会委員の任命について
		—	報告事項5件（令和6年度児童生徒数及び学級数について 等）
6月6日	6月定例	3	大牟田市社会教育委員の委嘱について
		—	報告事項4件（令和5年度大牟田市一般会計予算繰越明許費に係る繰越しについて 等） 協議事項3件（令和6年度大牟田市一般会計補正予算（案）について 等）
7月12日	7月定例	4	大牟田市社会教育委員の委嘱について
			報告事項4件（令和6年度教育講座について 等）
8月8日	8月定例	5	令和5年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価（令和6年度版「大牟田の教育」）について
		6	令和7年度使用中学校教科用図書の採択について
		—	報告事項1件（令和6年度大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会「対市陳情」について）
8月23日	第1回臨時	7	大牟田市立中学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例を制定する議案の作成について
		—	報告事項1件（大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価についての意見書について） 協議事項1件（令和6年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
9月27日	9月定例	—	報告事項1件（令和6年度（後期）大牟田市就学支援委員会報告書について） 協議事項1件（「教育委員会だより」第28号の紙面について）
10月29日	10月定例	8	令和6年度大牟田市事務局等職員及び教職員人事異動方針等について
		—	報告事項2件（第76回はたちの集いについて 等） 協議事項1件（令和6年度全国学力・学習状況調査の市町村別結果の公表に対する同意について）
11月25日	11月定例	9	大牟田市立小学校、中学校及び特別支援学校の体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例を制定する議案の作成について

開催日	会議	議案 番号	議案名等
		—	報告事項 4 件（令和 7 年度児童生徒数及び学級数（推計）について 等） 協議事項 1 件（令和 6 年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
12 月 23 日	12 月定例	10	令和 7 年度教職員の人事について
		11	令和 7 年度市職員の人事について
		—	報告事項 3 件（学校給食週間の実施について 等）
R7 年 1 月 17 日	1 月定例	12	大牟田市教育委員会における大牟田市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例施行規則の制定について
		13	大牟田市立学校管理規則の一部改正について
		14	大牟田市立小中学校等の通学区域を定める規則の一部改正について
		—	報告事項 4 件（令和 6 年度全国学力・学習状況調査結果の報告について 等） 協議事項 1 件（「教育委員会だより」第 29 号の紙面について）
R7 年 2 月 13 日	2 月定例	—	報告事項 3 件（令和 6 年度大牟田市立小・中・特別支援学校 P T A 連合会「対市陳情」に対する回答案について 等） 協議事項 3 件（令和 6 年度大牟田市一般会計補正予算（案）について 等）
R7 年 3 月 24 日	3 月定例	15	大牟田市子ども読書推進計画（第 4 次）の策定について
		16	大牟田市教育委員会職員の名称及び配分規則の一部改正について
		17	大牟田市中学校給食センター設置条例施行規則の一部改正について
		18	学校給食費の改定について
		19	令和 7 年度大牟田市学校教育振興事業計画の策定について
		20	大牟田市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
		21	大牟田市文化財保護審議会委員の委嘱について
		22	令和 7 年度市職員の人事について
		—	報告事項 2 件（令和 6 年度学校給食週間学校給食アンケート調査結果報告について 等）

（２）総合教育会議への出席

前記 1（３）に述べた法改正を受けて、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、本市の教育課題や目指す姿を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくため、市長及び教育委員会で構成される大牟田市総合教育会議が H 27 年度に設置されました。

R 6 年度の会議は 10 月 7 日に開催され、不登校児童生徒への支援の充実を目指して教育委員会が策定した「大牟田市版 C O C O L O プラン」に関する協議や意見交換等が行われました。

（３）学校訪問への出席

学校訪問は、市立学校の学校経営、教育活動及び施設・設備等の現状を視察し、教育施策の改善に資することを目的とするもので、授業参観や学校関係者との協議等を通して、学校

の教育活動全般について指導・助言を行っています。R 6 年度は、小学校 6 校、中学校 1 校及び特別支援学校で実施した学校訪問に出席しました。また、福岡県による指定研究発表会（小学校・中学校各 1 校）に出席しました。

（４）各種行事への出席

R 6 年度は、夜間中学開校式、中学校卒業式、中学校再編に伴う閉校式、教育研究所研究報告会、給食試食会、成人式（本市では「はたちの集い」として実施）、スポーツ関連行事等の 15 の行事に出席しました。

（５）会議、研修会等への出席

R 6 年度は、南筑後地区教育委員会連絡協議会総会に出席したほか、福岡県市町村教育委員会連絡協議会、南筑後地区教育委員会連絡協議会及び文部科学省が主催する研修会（合計 4 件）に出席しました。

（６）勉強会の開催

教育委員会会議の円滑な運営と議論の活性化に資するよう、本市の教育の主要な課題等について、必要に応じ勉強会を開催しています。R 6 年度は、大牟田市人権問題意識調査、全国学力・学習状況調査結果、大牟田市学校教育振興事業計画等の様々なテーマを設定し、延べ 9 回開催しました。

3 活動の評価

（１）教育委員会会議について

大牟田市教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月 1 回、臨時会を必要に応じ開催しました。事前に送付された会議資料により理解を深めた上で会議に臨み、常に市民の視点に立って議論を行うよう留意し、教育施策の議論等においては、改善点や要望等を示しました。また、必要に応じ勉強会を開催し、事務局に説明を求め、内容の理解に努めました。

今後も、教育委員会として一層責任ある意思決定を行うため、教育施策等の重要な議題について積極的に情報収集を行うとともに、本市の教育の主要な課題について継続的に勉強会を開催していきます。

（２）教育委員会会議以外の活動について

学校訪問や各種行事に出席し、関係者との協議や意見交換、情報交換等を行うことを通して、教育現場の状況の把握を行いました。

今後も、市民の意向を十分に反映した教育行政を展開するため、教育現場の実態把握や関係機関から積極的に情報収集を行うとともに、研修会への出席等を通じた資質の向上に努めていきます。

（３）教育委員会活動の情報発信について

教育委員会会議の開催情報については、大牟田市教育委員会会議規則に基づき、開会の日前 3 日までに市庁舎掲示場に告示するとともに、教育委員会のウェブサイト上にも掲載し周知に努めました。会議は原則として公開しており、会議資料は市情報公開センターでも閲覧できるようにしています。また、議事録を遅滞なく作成し、ウェブサイト上で公開しています。

H 27 年度からは、教育委員会活動が市民により一層理解され、関心を持ってもらうため、「教育委員会だより」を発行しています。R 6 年度は 7 月・11 月・3 月の 3 回発行し、情報発信の充実を図りました。

教 育 施 策 の 推 進 状 況

(教 育 委 員 会 関 係 分)

令和 6 年度 大牟田市学校教育振興事業計画

趣 旨

- 1 本計画は、本市における令和 6 年度から 10 年度までの教育の振興に関する基本的な計画である「大牟田市学校教育振興プラン 2024～2028」に基づく令和 6 年度の事業計画として、予算等との整合を図り策定するものです。
- 2 本計画は、令和 6 年度の教育委員会の方針、成果指標の令和 6 年度目標値、令和 6 年度に特に重点的に取り組む事業（以下「重点事業」といいます。）の内容等について掲載しています。

令和 6 年度の教育委員会の方針

1 基本理念

「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、本市の学校教育は、持続可能な社会の創り手となる児童生徒の育成を目指すとともに、日本社会に根差したウェルビーイングの向上を図ります。

2 基本方針（令和 6 年度の取組方針）

持続可能な社会を創る「おおむたっ子」の育成と日本社会に根差したウェルビーイングの実現

児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、知識・技能とそれらを活用する力を育成し、社会において自立的に生きるための基盤を培うとともに、将来の夢や目標に向かって主体的に学習に取り組む態度を育成します。

また、日本社会に根差したウェルビーイング※の実現のため、自尊感情や自己効力感を高めるとともに、「幸福感」や「協働性」「多様性への理解」「心身の健康」などの要素を向上させることが重要です。

そのため、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進するとともに、ICTの活用などにより「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させます。さらに、児童生徒が安全安心で豊かな学びを実現できるよう、地域とともにある学校づくりに取り組み、教育環境を充実させます。

令和 6 年度は、児童生徒の確かな学力を育成するため、小・中学校にスタディサポーターや学力向上アドバイザーを派遣するなどの支援を行うほか、タブレット端末で利用できるドリル教材の活用などを進めます。

義務教育 9 年間を見通した教育を推進するため、小中一貫教育制度を宮原中学校区において施行（2 年目）するとともに、宅峰中学校区と松原中学校区への試行的導入（2 年目）、歴木中学校区と橘中学校区への試行的導入（1 年目）などを行います。

本市の特色ある SDGs（持続可能な開発目標）／ESD（持続可能な開発のための教育）のさらなる深化を図るため、各学校の特色を活かしながら、地域、関係機関、団体等との連携を強化し、取組を充実させます。

不登校児童生徒の多様な学びの場を確保するため、校内教育支援センター「ハートフルルーム」や、学校外の居場所「サテライトスペース」を設置するとともに、スクールカウンセラーの配置の拡充や学習指導員の配置などに取り組みます。

学校再編整備については、橘中学校・甘木中学校・歴木中学校・田隈中学校・白光中学校の再編後の新校（白銀中学校・御木中学校）の開校に必要な準備や施設整備などを進めます。

人権・同和問題に対する児童生徒や市民の理解と認識を深めるための教育活動を進めるとともに、講演会や学習会の開催等の啓発活動を行います。

目指す児童生徒の姿 「おおむたっ子」

- | | |
|-----------|----------------------|
| おお | 大きな夢を抱き未来を創る児童生徒 |
| む | 難しいことにもねばり強く取り組む児童生徒 |
| た | たくましい心と体を備えた児童生徒 |

重点事業

- ・学力ブラッシュアップ推進事業
- ・小中一貫教育推進事業
- ・ESD推進事業
- ・ハートフルスクールプロジェクト推進事業
- ・学校再編整備推進事業
- ・人権・同和教育・啓発推進事業

※ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものである。また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念である。（国の第4期教育振興基本計画から）

成果指標の令和6年度実績値

1 基本方針に係る成果指標

指標名	指標の概要	現状値 (R4年度)	年度目標値 (R6年度)	実績値 (R6年度)	達成度 (R6年度)
中学生の将来に向けた意欲(将来の夢や目標に向けて頑張っていきたいという中学3年生の割合)	本市での9か年の義務教育を終えようとしている中学3年生のうち、将来の夢や目標に向けて頑張っていきたいという生徒の割合(中学3年生へのアンケート)	83.1%	85.0% (毎年度維持)	85.4%	100.5%

2 主要施策の成果指標

基本施策	主要施策	指標名	指標の概要	現状値 (R4年度)	年度目標値 (R6年度)	実績値 (R6年度)	達成度 (R6年度)
Ⅰ 社会的自立の基盤となる資質や能力の育成	1 確かな学力の育成	全国学力・学習状況調査の標準化得点(小・中)	全国学力・学習状況調査で毎年実施される国語、算数(数学)の小・中それぞれの標準化得点(全国平均を100とする)	小の算数のみ達成	小の国・算、中の国・数での前年比向上	未達成	0%
	2 豊かな心の育成	児童生徒の規範意識	人の気持ちがわかる人間になりたいと答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	96.8%	95.0% (毎年度維持)	95.8%	100.8%
	3 健やかな体の育成	体力向上のための授業以外での取組実績	児童生徒の体力向上のため、授業以外での取組を実施した学校の割合	100%	100% (毎年度維持)	100%	100%
	4 主体的に社会の形成に参画する態度の育成	学校や地域のために行動したいという生徒の割合	学校や地域のために何かをしてみたいと答えた生徒の割合(中学1～3年生へのアンケート)	82.6%	84.0%	85.4%	101.7%
Ⅱ 安心して学べる学校づくり	1 誰一人取り残さない学びの保障	不登校児童生徒への支援	不登校児童生徒のうち、専門家や専門機関の相談、指導等を受けている者の割合	—	80.0%	100%	125.0%
	2 特別支援教育の推進	特別支援教育支援員の配置効果	保護者・学校へのアンケートで、特別支援教育支援員の配置効果を認める割合	100%	100% (毎年度維持)	100%	100%
Ⅲ 地域とともにある学校づくり	1 地域の力を活かした学校運営の推進	学校のニーズに合わせた部活動指導員の配置率	各中学校が希望する部に対して部活動指導員を配置した割合	—	100%	100%	100%
	2 学校・家庭・地域の連携	学校運営協議会の会議の開催実績	学校運営協議会(中学校区単位)の会議の年度当たりの開催回数	3回	3回	3回	100%
Ⅳ 学校教育環境の充実	1 学校再編整備の推進	学校再編による教育環境向上の満足度(R7・R9 白銀中学校及び御木中学校)	学校再編後の新校が開校したことについて肯定的に回答された割合(児童生徒、保護者、教職員へのアンケート)	86.5% (H29年度)	—(R7・R9年度に90.0%と設定)	—	—
	2 学校施設・設備の整備	校舎トイレの洋式化率	市立学校の校舎トイレを洋式に改修した割合	70.8%	85.0%	85.5%	100.6%
Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進	1 人権・同和教育の推進	大牟田市人権・同和教育カリキュラムの活用実績	大牟田市人権・同和教育カリキュラムを活用した授業研究会を実施した学校の割合	100%	100% (毎年度維持)	100%	100%

基本方針に係る成果指標の令和6年度達成状況

成果指標の達成状況

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値の設定の考え方
中学生の将来に向けた意欲（将来の夢や目標に向けて頑張っていきたいという中学生3年生の割合）	目標値(%)	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	現状値を踏まえ85.0%以上を目指す。 [現状値：83.1%（R4年度実績）]
	実績値(%)	85.4					
	達成度(%)	100.5					

指標達成度に対する要因分析

- ・本市では、「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、「確かな学力（知）」「豊かな心（徳）」「健やかな体（体）」のバランスのとれた教育を進め、児童生徒一人ひとりの興味・関心等に応じた教育活動を展開し、個性や能力を伸ばしてきました。コロナ禍を経て、学校の教育活動は、コロナ禍以前の姿に戻すという発想ではなく、変化が激しく予測が困難な時代にあっても、持続可能な社会の創り手となる児童生徒像や社会の状況等を踏まえた新しい学校像を追求してきました。その過程において、児童生徒がリアルな体験を踏まえて自分の将来を考えることは有意義であり、地域の方々や地元の施設、企業等と連携した「職業体験学習」、大牟田市立地企業会等と連携した「中学生企業見学会」、「オープンキャンパスへの参加」等の啓発的体験を行ったことで、児童生徒は、自己実現に向けた意欲を持つことができたと考えられます。
- ・また、山積する社会の課題に対して、グローバルな視点を持ちつつ、身近な課題を発見し、自分事として考え、自分なりに行動するための学習であるESD（持続可能な開発のための教育）の充実・深化を図ってきました。教育委員会は、各学校の特色ある教育活動を支援するとともに、学校と地域との新たな協働体制の構築を進めてきました。その結果、児童生徒は、学校の仲間や地域の方々と協働して学ぶことを通して、目標に向けて頑張ったことによる達成感を味わい、自己肯定感や自尊感情、目標に向かって頑張る力、主体性等の非認知能力を高めることができたと考えられます。
- ・さらにR6年度には、「誰一人取り残さない」ことを理念に掲げ、「ハートフルスクールプロジェクト」を立ち上げ、不登校を生まない魅力的な学校づくりとともに、不登校児童生徒の様々なニーズに対応できる多様な学びの場を確保してきました。また、児童生徒に寄り添い、伴走するスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、学習指導員等の人材を確保し、情報共有や行動連携ができる仕組みづくりを進めてきたことが、学校生活の基盤となる安心して学べる学校環境につながったと考えられます。

今後の方向性

- ・生成AI等が飛躍的な進化を遂げるなど、変化が激しい現代だからこそ、一人ひとりの児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められます。国の「第4期教育振興基本計画」にも、「持続可能な社会の創り手の育成」・「日本社会に根差したウ

エルビーイングの向上」が掲げられています。本市もこの趣旨に沿って、自ら課題を発見し、多様な人々と協働しながら主体的に解決する力を児童生徒に身に付けさせるため、各学校が特色ある教育活動を展開できるようにするとともに、児童生徒一人ひとりが自己のよさを発揮し、夢や目標に向かって意欲的かつ主体的に学ぶことができるよう支援します。

- ・「誰一人取り残さない」理念を実現するため、「魅力的な学校づくり」と「不登校児童生徒一人ひとりに寄り沿った学びの場・支援」の両輪で不登校対策を推進します。また、児童生徒に寄り添い、支援できるよう、教職員のスキルアップを支援します。
- ・本市のこれまでの継続的な取組の結果がR 6年度目標の達成につながったと考えられることから、今後も、知・徳・体のバランスのとれた教育を推進することにより、児童生徒が社会において自立的に生きるための基盤となる資質や能力を培えるようにします。その上で、達成感を味わい、将来のまちづくりの主権者としての意欲を持てるようにします。そのために、第7次総合計画や第3期大牟田市教育振興基本計画等を踏まえ、グローバルな視点を持ちながら地域社会の活性化、持続的発展に貢献する人材の育成やデジタル人材の育成に努めるとともに、児童生徒の発達段階に応じて、系統的なキャリア教育に取り組みます。

令和6年度重点事業

施策体系		事業名	ページ
基本施策	主要施策		
I	1	学力ブラッシュアップ推進事業	15
I	1	小中一貫教育推進事業	17
III	1・2		
I	4	E S D推進事業	19
II	1	ハートフルスクールプロジェクト推進事業	21
IV	1	学校再編整備推進事業	23
V	1	人権・同和教育・啓発推進事業	25

令和6年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：指導室)

事業名	学力ブラッシュアップ推進事業					
	基本施策Ⅰ 社会的自立の基盤となる資質や能力の育成					
	主要施策1 確かな学力の育成					

目的

本市のこれまでの学力向上の取組の成果と児童生徒の学習状況等を踏まえて、児童生徒一人一人の学力の実態に応じた指導の充実を図り、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、思考力・判断力・表現力等や、粘り強く学習に取り組む態度などを育成します。

事業内容

- 1 小・中学校が実施する補充学習や強化学習に「スタディサポーター」を派遣し、個に応じたきめ細かな指導が行えるよう支援します。
- 2 小・中学校が実施する学力向上に関する校内研修等に「学力向上アドバイザー」を派遣し、授業改善に向けた指導助言などの支援を行います。
- 3 各学校が日々の授業づくりや学力向上プランの充実を図り、学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」を実践できるようにするため、指導主事を派遣し、指導助言などの支援を行います。また、教職員を対象とする学力向上実践報告会を開催します。
- 4 各学校や小・中学校の連携のもと中学校区単位で行われる家庭学習習慣を定着させる取組を支援します。
- 5 児童生徒の学力の実態をより詳細に把握し、教育課程の改善や指導の充実を図るため、学力調査を実施します。
- 6 児童生徒一人一人に合った学びの実現のため、タブレット端末で利用できるドリル教材を導入し、授業や家庭学習で活用します。
- 7 英語教育推進重点校に指定した小・中学校各1校において、英語教育の研究と実践を進めます。
- 8 英検3級の受験を希望する中学生に検定料の一部を補助します。

指標名	目標値等	R6	R7	R8	R9	R10	指標・目標値設定の根拠
全国学力・学習状況調査の標準化得点	目標値	国・算(数)での前年比向上	同左	同左	同左	同左	小学6年生と中学3年生を対象とする全国学力・学習状況調査で毎年度実施される国語・算数(数学)の標準化得点が前年度より向上することを目標とします。
	実績値	未達成					
	達成度(%)	0					

取組実績

- 1 各小・中学校が実施している個に応じたきめ細かな補充学習や強化学習等を支援するため、学校からの要請に応じて、スタディサポーターを年間合計3,455時間派遣しました。派遣先は全ての小・中学校で、派遣人数は学校の状況に応じて1~4人でした。
- 2 小・中学校が実施する学力向上に関する校内研修等に「学力向上アドバイザー」を派遣し、授業改善に向けた指導助言などの支援を行っています。本年度は延べ10人のアドバイザーにより、主として若年教師の授業力向上を目指した取組を行いました。
- 3 市内全ての小・中・特別支援学校において開催される、学力向上に関する校内研修会に指導主事を派遣し、指導助言を行いました。また、校長会や教頭会、教務担当者会、校内研究担当者会において、学力向上に関する資料提供や講話を行い、市全体として学力向上を目指す機運を高めました。さらに、教科部会では、教育講座や授業研究会を開催し、研鑽を深め、授業改善に向けた協議を行いました。6月14日(金)、11月18日(月)、R7年2月20日(木)には学力向上検証委員会を開催し、学力向上に向けた取組について、定期的に確認しました。あわせて、R7年2月20日(木)には学力向上実践報告会を開催し、各校が学力向上に向けて取り組んできたことを共有し、さらなる学力向上の充実を図りました。
- 4 大牟田地域教育力向上推進協議会の取組として、毎月11日を「家庭学習の日」と定め、各中学校区単位で小学校と中学校が連携して、家庭学習強化週間を設定するなどの家庭学習習慣の定着の取組を支援しています。今後も、小中一貫教育を推進する観点から、この取組の充実を図っていきます。
- 5 4月16日(火)には中学1・2年生を対象に、6月3日(月)には中学3年生を対象に、12月12日(木)には小学3~6年生を対象に、R7年1月30日(木)には中学1・2年生を対象(2回目)に、大牟田市学力調査を実施しました。
- 6 タブレット端末で活用するデジタルドリルを導入(小学校:国語科・算数科・理科 中学校:数学科・理科・英語科)し、授業や家庭学習で活用しました。
- 7 明治小学校と甘木中学校を英語教育推進重点校に指定し、英語教育の研究と実践を進めました。
- 8 10月5日(土)等実施された英検3級を受験した中学生79人を対象に検定料の一部を補助しました。また、1月18日(土)等実施された英検3級を受験した中学生29人を対象に検定料の一部を補助しました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	13,269 千円 千円)	924			12,345

問題点及び課題 国、県、市の学力調査等の結果によれば、国語・算数・数学における記述解答式問題や活用力を問う問題において課題が見られます。 全国学力・学習状況調査児童生徒質問の結果によれば、ネット動画の視聴時間やゲームをする時間が全国平均より長く、学力向上に向けて改善すべき要素となっているだけでなく、基本的生活習慣の定着の上でも課題となっています。
今後の方向性（具体策） タブレット端末で活用するデジタルドリルについて、各学校の実態や課題に応じた教科を導入し、児童生徒の「個別最適な学び」が更に進められるようにします。また、引き続き、学習における情報の提示・共有・保存を支援する学習支援ソフトを導入し、授業や家庭学習で活用します。 小・中学校が実施する補充学習等に「スタディサポーター」を派遣し、児童生徒一人一人の課題に応じたきめ細かな指導が行えるよう支援します。 「主体的・対話的で深い学び」を各学校が実践できるよう、教職員研修を実施するとともに、指導主事を全ての学校に派遣し、更なる授業改善を進めます。また、教育研究所における若手教員のグループによる授業の進め方に関する研究など、教員間のネットワーク構築に資する取組を行います。 各学校や小・中学校の連携のもと中学校区単位で行われる家庭学習習慣の定着の取組を支援します。 学力調査で測定できる学力の向上とともに、全ての教育活動を通して非認知能力の向上にも取り組みます。 学力調査における平均点の向上とともに、前年度より学力を向上させた「個の人数」の増加に取り組みます。
評 価 全国学力・学習状況調査の標準化得点が前年度より向上するという目標を達成することはできませんでした。今後、授業改善はもとより、学習の基盤となる非認知能力の向上や家庭学習習慣の定着等に向けた取組などを進め、学力向上を図ります。

令和6年度重点事業重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校教育課)

事業名	小中一貫教育推進事業
	基本施策Ⅰ 社会的自立の基盤となる資質や能力の育成
	主要施策1 確かな学力の育成
	基本施策Ⅲ 地域とともにある学校づくり
	主要施策1 地域の力を活かした学校運営の推進 主要施策2 学校・家庭・地域の連携

目的

市立の小学校と中学校に、順次、小中一貫教育制度（原則として併設型）の導入を進め、義務教育9年間を見通した系統性・連続性のある指導により、児童生徒の学力向上や心身の健全な育成、「中1ギャップ」や不登校の解消を目指します。また、校区の小・中学校がより密接な関係を築き、教育内容・活動の充実を図ることで、教職員の指導力の向上を図ります。さらには、学校・家庭・地域の「つながり」を深め、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を推進します。

事業内容

- R5年度に小中一貫教育制度を導入した宮原中学校区内の小・中学校（宮原中学校・駛馬小学校・天の原小学校・玉川小学校）における校区の特徴を生かした学校運営を支援します。
- 宅峰中学校区内の小・中学校（宅峰中学校・大牟田中央小学校・みなと小学校・天領小学校）と松原中学校区内の小・中学校（松原中学校・大正小学校・中友小学校）において、R7年度の導入に向けて、義務教育9年間を見通した教育課程に基づき小中一貫教育制度の試行等を行います。
 - 教育課程の検証と見直しを行うための検討会を開催します。
 - 小中一貫教育における学習内容についての拡大校内研修会を開催します。
 - 「地域とともにある学校」の実現のため、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置・運営するとともに、地域学校協働活動推進員を配置します。
 - 制度導入に対する理解が得られるよう、資料を作成し保護者等に配布します。
- 歴木中学校区内の小・中学校（歴木中学校・平原小学校・高取小学校・三池小学校）と橘中学校区内の小・中学校（橘中学校・上内小学校・吉野小学校）において、R9年度の導入に向けて、義務教育9年間を見通した教育課程に基づき小中一貫教育制度の試行等を行います。
※上記2（1）～（4）に示すもののうち、早期に実施する必要性が高いものから順次取り組みます。
- 全小中学校において、小・中学校相互の授業公開や小・中学校合同による教職員研修等の小中連携・小中一貫教育の取組を行います。

指標名	目標値等	R6	R7	R8	R9	R10	指標・目標値設定の根拠
小中連携・小中一貫教育の取組実績	目標値（回）	80	80	80	80	80	小・中学校相互の授業公開や中学校が実施する小学校との合同研修の回数（R4年度実績値・80回）
	実績値（回）	85					
	達成度（%）	106.3					

取組実績

- 宮原中学校区内の小・中学校では、教育目標と目指す児童生徒像を共有し、9年間を見通した教育課程や校務分掌の編成を行い、魅力ある学校づくりに取り組みました。
 - 専任の地域学校協働活動推進員を活用し、学校と家庭・地域が協働して学校運営に取り組む体制を整えました。また、学校運営協議会において、学校運営や学校支援活動等に関する協議（第1回：6月5日（水）、第2回：11月11日（月）、第3回：R7年2月18日（火））を行いました。
 - R6年度に駛馬小学校・天の原小学校・玉川小学校の地域住民や保護者等が中心となって開設された「放課後子ども塾」等において、学校と家庭・地域が連携し、第三水曜日を除く毎週水曜日の終業後に子どもたちを預かり、家庭学習や体験活動が行われました。
 - 児童生徒の交流として、中学1年生が、小学6年生に中学校生活を直接説明する「ようこそ先輩」を5月20日（月）に実施するなど、小・中学校の円滑な接続を図りました。また、宮原中学校区の全児童生徒が、保護者や地域住民と一緒に小学校区の清掃活動を6月8日（土）に実施しました。さらには、宮原中学校の体育祭（10月10日（木）に実施）の競技に各小学校の6年生が参加して交流を深めました。
 - 教職員の交流として、学期に1回程度、小・中学校の授業を互いに参観し、中学校の教員が小学校の授業にティームティーチングのT2（全体の授業を進める役割を担う教員（T1）を補助したり、特定の子どもへの支援などを行う教員）として関わったりするなどの、相互乗り入れ授業等の内容について協議しました。
- 宅峰中学校区内の小・中学校と松原中学校区内の小・中学校において、R7年度の導入に向けて、義務教育9年間を見通した教育課程に基づき制度の試行等を行いました。
 - 定期的（毎月1回程度）に教職員の研修会（教育課程編成、学力向上、不登校対策等）を実施しました。
 - R5年度から配置している専任の地域学校協働活動推進員を活用し、学校と家庭・地域が協働して学校運営に取り組む体制を整えました。松原中学校区（11月20日（水））、宅峰中学校区（1月23日（木））において試行的に第1回学校運営協議会を開催し、小中一貫教育の基本方針等について協議を行い、目標・ビジョンを共有しました。

- (3) 宮原中学校区、宅峰中学校区・松原中学校区の小中一貫教育の取組を周知する啓発資料を作成し、保護者等に配布しました。
- 3 歴木中学校区内の小・中学校と橘中学校区内の小・中学校において、R 9 年度の導入に向けて、義務教育 9 年間を見通した教育課程に基づき制度の試行等を行いました。
- (1) 歴木中学校区・橘中学校区に専任の地域学校協働活動推進員を配置し、9 年間を見通した教育課程編成や新校（御木中学校・白銀中学校）開校に向けた学校の協働体制の仕組みづくりを行いました。
- 4 全中学校区において、定期的に、教職員の研修会（学力向上部会、生徒指導部会等）、合同授業研究会や児童生徒の連携による取組の交流等を実施しました。

決 算		国	県	起債	その他	一般財源
決算額	25,711 千円		3,073		113	22,525
（次年度への繰越	千円）					

問題点及び課題

小・中学校における各教科の系統的な教科指導の充実を図る乗り入れ授業の内容や方法の検討、中学校進学後の「中1ギャップ」の解消、生徒が自己肯定感を高めることができるような取組等を進める必要があります。

今後の方向性（具体策）

宮原中学校区において、引き続き「M－H A T 会議」や授業参観後の研修会において具体的な取組についての協議を進めます。また、R 7 年度から導入する宅峰中学校区と松原中学校区において、専任の地域学校協働活動推進員を活用し、学校と家庭・地域をつなぎ、協働体制の仕組みづくりや学校運営協議会の開催を引き続き推進します。さらに、R 6 年度から制度を試行した歴木中学校区・橘中学校区については、中学校再編後の御木中学校区・白銀中学校区において、9 年間を見通した教育課程編成や学校の協働体制の仕組みづくりを行います。

評 価

宮原中学校区において、学校運営協議会の設置、専任の地域学校協働活動推進員の活用などにより一定の成果が得られました。その成果を踏まえて、当初の計画どおり、R 5 年度から R 6 年度まで宅峰中学校区・松原中学校区において、また、R 6 年度から歴木中学校区・橘中学校区において制度を試行できました。

今後も、中学校区単位での教育活動の充実を図るとともに、学校と家庭・地域のつながりを深める取組を推進します。

令和6年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：指導室)

事業名	ESD推進事業					
	基本施策Ⅰ 社会的自立の基盤となる資質や能力の育成					
	主要施策4 主体的に社会の形成に参画する態度の育成					

目的 本市の特色あるSDGs（持続可能な開発目標）／ESD（持続可能な開発のための教育）の取組をさらに発展・拡充させ、持続可能な社会の創り手としての児童生徒の育成を目指します。また、ESDの先進都市・交流拠点都市として、SDGs／ESDの深化を図るとともに、「SDGs／ESDのまち・おおむた」を全国や世界に発信します。							
事業内容 1 地域、関係機関、団体等との意見交換等の機会として、「ユネスコスクール・SDGs／ESD交流会」を開催します。この交流会を通して、各学校の特色を活かしながら、地域、関係機関、団体等との連携を強化し、SDGs／ESDのさらなる深化を図ります。 2 「大牟田市ユネスコスクールの日」（1月17日）の制定と「ユネスコスクール・ESDのまち おおむた宣言」を記念する「SDGs／ESD子どもサミット」を開催し、児童生徒による学習成果の発表や他地域の学校との交流を行います。また、「大牟田市ユネスコスクール週間」の期間中に各学校が行うESDの学習発表会等を支援します。 3 各学校のSDGs／ESDの充実を図るため、次のことに取り組みます。 （1）各学校が行う世界遺産学習、環境学習、福祉学習、防災・減災学習等の教育活動や、国内外のユネスコスクールとの交流活動の充実を支援します。 （2）児童生徒を対象に、自然体験などのESD体験講座を開催し、体験を通して主体的に考え行動する態度を育成します。 4 SDGs／ESDに取り組んでいる教育委員会や国内外の地域と交流します。 5 市民を対象とする講座、資料展示等を通して、本市のSDGs／ESDへの理解を促進します。							
指標名	目標値等	R6	R7	R8	R9	R10	指標・目標値設定の根拠
学校や地域のために行動したいという生徒の割合	目標値（％）	84.0	85.0	86.0	88.0	90.0	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う中学3年生の割合：82.6％（令和5年度全国学力・学習状況調査の質問紙調査の結果から）
	実績値（％）	85.4					
	達成度（％）	101.7					

取組実績 1 7月26日（金）に「ユネスコスクール・SDGs／ESD交流会」を開催しました。学校関係者、市内企業・各種団体、市職員、学生など約150人の参加があり、「大牟田を創る子どもたちのために、いまできること！」のテーマのもと、学校と各団体、企業等が連携したESDの実践に向けた意見交換を行いました。会の最後に、福岡教育大学の石丸哲史副学長により全体総括が行われました。 2 「大牟田地域教育力向上推進大会」における学校のESDに関する取組発表について、4月定例校長会にて周知の上、R7年1月25日（土）に小学校3校と中学校1校が取組発表を行いました。また、「大牟田市ユネスコスクール週間」にて各学校が行う発表会等について情報収集、発信を行い、各学校の取組を支援しました。 3 各学校のSDGs／ESDの充実を図るため、次のことに取り組みました。 （1）各学校のESDに関する特色ある教育活動を支援するため、校内研修に指導主事を派遣し、理論や実践のポイント等について指導助言を行いました。 （2）5月25日（土）にESD体験講座（環境学習）「おおむたネイチャースクール」を三池校区で開催し、14人の児童生徒が参加しました。 4 駿馬小学校と荒尾市立万田小学校・北九州市立花尾小学校・中間市立中間東小学校が世界遺産学習に関して、上内小学校と宮城県気仙沼市立唐桑小学校が防災・減災教育に関して、みなと小学校と熊本県山都町立矢部小学校が人権の花の活動に関して、大牟田特別支援学校と新潟県見附市立見附特別支援学校が特別支援学校間交流として、みなと小学校と佐賀県玄海町立玄海みらい学園が海洋教育「宝の海プロジェクト」の一環として、それぞれ学校間交流を行いました。また、「RCE大牟田」として、国内及び世界のRCE（国際連合大学が認定・推進する地域のESDの拠点）との交流を行っており、R7年2月に開催された実務者会にて他地域の拠点と情報交換を行いました。 5 SDGs／ESDに対する理解促進のため、5月23日（木）に帝京大学福岡医療技術学部において1年生の学生を対象に講義を行い、約200人が参加しました。7月29日（月）に市内の地域交流施設「てとてのコミュニティサポートセンター」において市民を対象に講座を開催し、10人が参加しました。また、「イオンモール大牟田」においてESDに関する展示を常時行いました。市立図書館、石炭産業科学館、市民活動等多目的交流施設「えるる」でも随時展示を行いました。さらには、8月31日（土）に「イオンモール大牟田」で開催されたイベントで、小学生のチーム8人がSDGsオリジナル楽曲「未来へ繋ぐストーリー～SDGsで変わる大牟田の未来」とダンスを披露しました。このチームはR5年度に結成され、6年度のチームは2代目で、11月3日（日・祝）に宮原坑で開催された「宮原坑フェスタ」などのイベントでも披露しました。							
--	--	--	--	--	--	--	--

決 算		国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	2,786 千円 千円)					2,786
問題点及び課題						
各学校の地域や児童生徒の実態を踏まえ、市民団体や地元企業、団体等とさらに連携し、各学校が目指すSDGsの達成に向けて、ESDの充実を図る必要があります。また、小中一貫教育を見通したSDGs/ESDを推進するため、中学校区内の学校間で教育課程についての協議を進める必要があります。その上で、各学校のESDをマネジメントする教員を今後も養成する必要があります。						
今後の方向性（具体策）						
広く市民や企業、団体等を巻き込みながら、官民連携、学社連携を推進し、その取組を「ユネスコスクール・SDGs/ESD 交流会」や「ユネスコスクール・SDGs/ESD 子どもサミット」で共有し、学習の充実を図ります。 各校区の特色を生かして、地域人材を巻き込んだ実践を進めるとともに、グローバルな視点からの教育活動を展開します。						
評 価						
教育委員会が学校と様々な団体とをつなぐ取組を進め、少しずつ成果も上がっています。今後も、各学校の主体性を大切にして、学校や地域の特色を踏まえたESDの充実を図るとともに、地域に根付いたSDGs/ESDの取組を進めていきます。また、橘中学校が取り組んだ社会参加型のプロジェクト「OMUTAジュニアシティーメーカー」の取組が評価され、同中学校の卒業生である市内の高校生がR7年7月に大阪・関西万博「共創チャレンジ」で発表することとなりました。						

令和6年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：指導室)

事業名	ハートフルスクールプロジェクト推進事業					
	基本施策Ⅱ 安心して学べる学校づくり					
	主要施策1 誰一人取り残さない学びの保障					

目的

全ての児童生徒が、将来、社会で活躍できるようになることを目指して、不登校児童生徒の個別ニーズに合った多様な学びの「場」を確保し、児童生徒の学びを継続させるとともに、学びに伴走できる「人」の確保と「仕組み」づくりを進めます。

事業内容

- 不登校児童生徒の多様な学びの「場」の確保
 - 各学校に校内教育支援センター（文部科学省の「COCOLO プラン」に示された「スペシャルサポートルーム等」としての「ハートフルルーム」を設置し、登校はできても、自分の教室に入ることができない児童生徒の学びを支援します。
 - 様々な理由で登校することが難しい児童生徒の学校外の居場所としての「サテライトスペース」を開設します。
- 伴走できる「人」の確保と「仕組み」づくり
 - 各学校へのスクールカウンセラーの配置時数を拡充し、児童生徒の心理面でのサポートや相談対応の充実を図ります。
 - 「ハートフルルーム」で不登校児童生徒の学びを支援する学習指導員を各学校に配置します。
 - 「サテライトスペース」の運営のコーディネーターを配置します。
 - 不登校児童生徒への適切な支援に関する職員研修を実施します。

指標名	目標値等	R6	R7	R8	R9	R10	指標・目標値設定の根拠
不登校状態から、学びの場に復帰した児童生徒の割合	目標値 (%)	100	100	100	100	100	不登校児童生徒の全ての学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整えます。
	実績値 (%)	95.4					
	達成度 (%)	95.4					

取組実績

- 不登校児童生徒の多様な学びの「場」の確保
 - 各学校に校内教育支援センター「ハートフルルーム」を設置し、教室に入ることができない児童生徒が自分のペースで学習や生活できるよう支援しています。R6年度は、児童81人・生徒69人が「ハートフルルーム」を利用して、自分のペースに合わせて学習を行うことができました。また、教室に居づらさを感じた児童生徒が「ハートフルルーム」利用することで、心身の体調を整えて自分のペースを取り戻すことにも活用することで、不登校になることを未然に防止することができました。
 - 児童生徒が自分の行けるとときに出かけられる学校以外の居場所として、5月に、全ての地区公民館（三川・駒馬・勝立・中央・三池・吉野・手鎌）に「サテライトスペース」を準備し、必要に応じて本市のスクールソーシャルワーカー（SSW）が運営しました。また、中央地区公民館においては、民間団体と協働し、毎月第2～5月曜日の14:00～18:00に「ばすてる」を運営して児童生徒を受け入れており、R6年度は児童10人、生徒17人が利用しました。SSWを介して「ばすてる」に集い、様々な学習や活動を行うことができました。なお、「ばすてる」は、子どもたち自身がネーミングしたものです。
- 伴走できる「人」の確保と「仕組み」づくり
 - 児童生徒の心理面のサポートや相談対応の充実を図るため、県によるスクールカウンセラー（SC）の配置時数に上乗せして、各中学校区に対し、SCを市独自に週当たり4時間配置しました。カウンセリングは、同一児童生徒に対し継続して行うことが多いため、SCのスケジュールは毎週予約で埋まり、ハートフルルームを利用する児童生徒を含めて心理的側面からの助言や支援を行うことができました。
 - 各学校の「ハートフルルーム」に学習指導員を配置しました。小学校には週10時間、中学校には14時間の配置を行い、県からの事業費補助の対象となっている小学校2校には週18時間の配置を行いました。学習指導員は、「ハートフルルーム」での支援はもとより、教室においても、不登校の兆候が見られる児童生徒に対して、学級担任等と協働して支援を行うなど、不登校の未然防止にも努めました。
 - 「サテライトスペース」の運営のコーディネーターとして、本市のSSWを配置しました。「サテライトスペース」では、保護者や学校関係者等との情報共有のもと、担当SSWが、利用者一人一人に合ったプログラムを考え、寄り添いながら対応しており、長い間家に引きこもっていた中学生が家の外に出て、担当SSWと一緒に活動する姿が見られました。また、7月から9月にかけて、中央地区公民館で「子ども支援サポーター養成講座」（全4回）が実施されるなど、部局を越えた連携を進めました。
 - 7月30日（火）に中友小学校において、福岡県スクールソーシャルワーカー協会副会長で本市のスクールソーシャルワーカースーパーバイザーの高口恵美さん、市内のフリースクール「ソフィア」の伊藤由紀子さんを講師として、不登校に関する研修会を行い、心理的安全性に関することや子どもが安心して自己を表出できる環境づくりについて学びを深めました。この研修会には25人の教職員が参加しました。また、毎月開催される校長会や補導主事会において、市内の不登校児童生徒数について情報共有を図るとともに、その対応について指導助言を行いました。さらに、本市のSSWの定例会や生徒指導主事会においても、不登校児童生徒に関する情報交換や具体的な対応の手立ての提示などを行うことができました。

決 算		国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	26,626 千円 千円)	3,117	1,185			22,324
問題点及び課題						
「評価」欄に示すように、R 6 年度は不登校児童生徒の数を減少させることができたが、依然として多い状況が続いています。児童生徒一人一人の性格や家庭環境などの背景に目を向け、支援を継続していく必要があります。 また、幼少期をコロナ禍で過ごし、他人とのコミュニケーションや協力して取り組む活動の経験が不足している児童生徒が見受けられるため、様々な場面をとらえてソーシャルスキルトレーニングを取り入れた指導を行っていく必要があります。 さらに、地域の中にも子どもたちの居場所づくりを推進している方や団体があるため、児童生徒及び保護者を支援できるよう、関係部局と連携を深めていく必要があります。						
今後の方向性（具体策）						
不登校児童生徒をはじめ、すべての児童生徒が学びたいと思ったときに学べる環境を整えるため、校内教育支援センターのさらなる充実を図るとともに、SSW や関係部局、関係機関等との連携を強化します。 児童生徒に寄り添い、支援することができるよう、教職員のスキルアップを目的とした研修会の充実を図ります。						
評 価						
不登校児童生徒の数は、小学校ではR 5 年度が1 4 4 人（不登校出現率2. 9 7 %）であったことに対して、R 6 年度は1 3 0 人（同2. 7 1 %）となり、1 4 人の減少（同0. 2 6 ポイントの減少）、中学校ではR 5 年度が3 0 6 人（同1 2. 2 %）であったことに対して、R 6 年度は2 7 2 人（同1 0. 9 %）と3 4 人の減少（同1. 3 ポイントの減少）となり、改善傾向を得ることができましたが、指標である「不登校状態から、学びの場に復帰した児童生徒の割合」は目標とした1 0 0 %に4. 6 ポイント届きませんでした。 今後も、全ての児童生徒が学びにつながるよう努めます。						

令和6年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：学校再編推進室、学校教育課、学務課)

事業名	学校再編整備推進事業
	基本施策Ⅳ 学校教育環境の充実
	主要施策1 学校再編整備の推進

目的

市立学校においては、児童生徒数の減少により複式学級編制への対応や学習活動への特別な工夫を要する小規模校が増加するなど、解決すべき課題が生じています。

長期的展望に立ち、責任ある教育行政を確保するため、適正規模・適正配置の観点から学校再編整備を行うことにより、各学校におけるクラス替えの実施、中学校の教科指導体制の充実、部活動の活性化など、児童生徒の教育環境の向上を目指します。

事業内容

- 大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画（計画期間はR3～9年度。以下「第2期実施計画」といいます。）の推進
 - 橘中学校・田隈中学校（銀水小学校区）・甘木中学校（倉永小学校区）の再編
R7年4月の新校開校に向けて、橘・田隈・甘木中学校再編協議会を運営し、校歌・校章の作成等、開校に必要な事項を協議します。
 - 歴木中学校・田隈中学校（羽山台小学校区・三池小学校区）・白光中学校（白川小学校区）の再編
R7年4月の新校開校に向けて、歴木・田隈・白光中学校再編協議会を運営し、校歌・校章の作成等、開校に必要な事項を協議します。
 - 再編後の新校となる歴木中学校及び橘中学校の校舎等の施設整備を行うとともに、白光中学校の校舎等の改修の実施設計を行います。
 - 第2期実施計画を保護者、地域組織等に周知します。
- 上内小学校及び玉川小学校における小規模特認校制度の運用
 - 小規模特認校制度を運用し、複式学級編制の解消など、課題への対応を行います。

指標名	目標値等	R6	R7	R8	R9	R10	指標・目標値設定の根拠
学校再編による教育環境向上の満足度 (R7・R9 白銀中学校及び御木中学校)	目標値 (%)	—	90.0	—	90.0	—	直近の中学校再編での生徒・保護者・教職員アンケート結果(H27 宅峰中学校:80.0%、H29 宮原中学校:86.5%)を踏まえて設定
	実績値 (%)	—	—	—	—	—	
	達成度 (%)	—	—	—	—	—	

取組実績

- 大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画の推進
 - 橘中学校・田隈中学校（銀水小学校区）・甘木中学校（倉永小学校区）の再編
「橘・田隈・甘木中学校再編協議会」を運営し、白銀中学校の校歌、校章を決定する等、新校の開校に必要な事項の協議を行いました。また、仮校舎となる田隈中学校の通学路の安全確保を図る観点から、R7年度の在校生となる児童生徒全員を対象に通学方法と通学経路の調査を行うとともに、現地視察を行いました。その際に確認できた危険箇所については、関係各所に改善の要望活動を行いました。その後も再編に向けた準備を進め、R7年3月末に橘中学校、田隈中学校を閉校するとともに、白銀中学校の開校準備を完了しました。
 - 歴木中学校・田隈中学校（羽山台小学校区・三池小学校区）・白光中学校（白川小学校区）の再編
「歴木・田隈・白光中学校再編協議会」を運営し、御木中学校の校歌、校章を決定する等、新校の開校に必要な事項の協議を行いました。また、通学路の安全確保を図る観点から、R7年度の在校生となる児童生徒全員を対象に通学方法と通学経路の調査を行いました。その後も再編に向けた準備を進め、R7年3月末に歴木中学校、田隈中学校を閉校するとともに、御木中学校の開校準備を完了しました。
 - 再編後の新校となる歴木中学校・橘中学校の施設整備及び白光中学校の校舎等の改修に係る実施設計
旧橘中学校については、R5年度の入札不調を受け、スケジュールの見直しを行い、現在校舎、擁壁等の工事を行いました。併せて、多目的棟や外構等の基本・実施設計を行いました。R8年度末までに施設整備を完了するためには、短期間に集中して工事を行う必要があり、生徒・教職員の安全確保及び教育環境の充実を最優先に考え、白銀中学校の仮校舎としてR7年4月からR9年3月まで旧田隈中学校を使用することとしました。
旧歴木中学校については、教室棟・体育館の改修工事が完了し、駐輪場整備、外構工事も概ね完了しました。
白光中学校については、校舎・体育館改修工事等に係る実施設計を行いました。
 - 大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画の保護者、地域組織等への周知
第2期実施計画の周知を図るため、小・中・特別支援学校の児童生徒や幼稚園・保育園児の全保護者に計画概要版を配布しました。また、再編に関係する14小学校区のまちづくり協議会等の町内公民館や自治会などに計画概要版の回覧の依頼を行うとともに、関係機関等に計画の説明等の周知を行いました。
- 上内小学校及び玉川小学校における小規模特認校制度の運用
上内小学校及び玉川小学校において小規模特認校制度を運用し、複式学級の解消・回避に努めるとともに、引き続き、学校教育の充実と活性化を図るため、保護者や地域の理解を得ながら取り組みました。また、小規模特認校制度の市民への周知を図るとともに、「広報おおむた」等で入学児童の募集を行いました。

決 算			国	県	起債	その他	一般財源
決算額	673,846	千円	129,577	4,688	454,300		85,281
（次年度への繰越	984,208	千円）					
問題点及び課題							
学校再編の推進に当たっては、適正規模・適正配置の考え方に加え、保護者や地域及び学校関係者の理解・協力を得ることが重要です。そのためには、定期的に計画の周知や地域説明会を行い、保護者等の関係者の意見を聞いた上で、子どもたちのより良い教育環境を整備していく必要があります。 また、再編後の白銀・御木中学校の関係者等にアンケート調査を実施し、再編の効果を検証する必要があります。							
今後の方向性（具体策）							
白銀・御木中学校の生徒、保護者、教職員にアンケート調査を実施し、学校再編の効果や課題の検証を行います。また、大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画について、引き続き保護者や地域等に内容の周知を行うとともに、R7年度に「白光・甘木中学校再編協議会」を設置し、R9年4月の新校の開校に向けて、校名案の選考、通学路の安全対策、学校施設整備・備品の要望等について協議します。 施設整備について、旧歴木中学校は、駐輪場整備、外構整備が一部R7年度に残りましたが、R7年4月には完了予定です。旧橘中学校は、R7年度も継続して校舎増築及び擁壁築造工事を行います。また、体育館の新築工事や校舎の第2期工事、旧体育館の解体工事及び多目的棟新築工事に着手します。白光中学校は、R7年度に校舎改修工事（第1期）及び体育館改修工事等に着手します。 また、上内小学校及び玉川小学校については、小規模特認校制度の運用により複式学級の解消に努めており、検証結果や適正配置の観点などを踏まえ、今後も引き続き小規模特認校制度を継続していきます。上内小学校では、R6年度は5・6年生で複式学級が発生しましたが、R7年度には解消する予定です。							
評 価							
大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画に基づき、第1段階である橘・田隈・歴木中学校の再編を行いました。引き続き第2段階である白光・甘木・白銀・御木中学校の再編に向けた準備を進めます。							

令和6年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：指導室、人権・同和教育課)

事業名	人権・同和教育・啓発推進事業					
	基本施策Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進					
	主要施策1 人権・同和教育の推進					

目的

学校、家庭、地域、職場など日常生活のあらゆる場を通して、市民一人ひとりが人権・同和問題を自らの課題として捉え、人権・同和問題に対する理解と認識を深めながら、「差別をしない」から「差別をなくす」取組を進めていくことにより、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指します。

事業内容

- 市立学校において、学校教育活動全体を通じた人権・同和教育を推進します。
 - 市立学校において、人権・同和教育の全体計画を作成し、大牟田市人権・同和教育カリキュラム等を活用しながら、児童生徒の実態に応じた人権・同和教育が行われるよう支援します。
 - 市立学校において、授業による校内研修会が計画的に実施されるとともに、大牟田市人権・同和教育研究実践交流会への参加等を通じた教職員研修が行われるよう支援します。
 - 福岡県教育委員会や福岡県人権・同和教育研究協議会等が主催する研究会への教職員の参加を促進します。
- 「第2次大牟田市人権教育・啓発基本計画」に基づき、市民の人権・同和問題に対する理解と認識を深めるための学習・啓発事業を実施します。
 - 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）の趣旨を踏まえて、「人権・同和教育講演会」を開催します。
 - 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）及び人権週間（12月4日～10日）の期間中に市内商業施設等において、市・県関係者、人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を実施します。
 - 人権意識の向上のため、地区公民館において「人権学習会」を開催します（4回を予定）。
 - 職場で行われる研修会等に講師を派遣するほか、ホームページにより各種啓発事業や地域や職場での学習を支援するための啓発資料（DVDや図書等）の案内を行うとともに、「広報おおむた」や「愛情ねっと」等に啓発記事や啓発事業の案内を掲載するなど、情報提供の充実を図ります。

指標名	目標値等	R6	R7	R8	R9	R10	指標・目標値設定の根拠
大牟田市人権・同和教育カリキュラムの活用実績	目標値 (%)	100	100	100	100	100	全ての市立学校で、大牟田市人権・同和教育カリキュラムを活用した授業研究会を実施することを目標とします。
	実績値 (%)	100					
	達成度 (%)	100					

取組実績

- 市立学校において、学校教育活動全体を通じた人権・同和教育を推進します。
 - 全市立学校が人権・同和教育の全体計画を作成しました。また、大牟田市人権・同和教育カリキュラム等を活用し、児童生徒の実態に応じた人権・同和教育を実施しており、教育委員会はその支援を行っています。
 - 全市立学校が授業による校内研修会を計画的に実施しています。また、8月21日（水）には、大牟田文化会館において、大牟田市人権・同和教育研究実践交流会を開催し、その参加を通じた教職員研修を行いました。実践交流会においては、教職員が各自で、人権・同和教育に関わるレポートを作成し、校内でそのレポートをもとに協議を行い、人権・同和教育の推進についての共通認識を持つ場を設定しました。
 - 適宜、福岡県教育委員会や福岡県人権・同和教育研究協議会等が主催する研究会の開催について周知を行い、7月25日（木）に福岡市民会館で行われた県の研修会には全市立学校から担当者等が参加しました。
- 「第2次大牟田市人権教育・啓発基本計画」に基づき、市民の人権・同和問題に対する理解と認識を深めるための学習・啓発事業を実施します。
 - 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）にあわせて、7月20日（土）に大牟田文化会館において、熊本県人権教育研究協議会会長の森山資典さんを講師に招き、「なかまをつくる部落にうまれて」と題して、人権・同和教育講演会を開催しました。なお、開催に関する市民周知は、報道発表や「広報おおむた」のほか、市ホームページやSNS等（愛情ねっと、市公式フェイスブック、市公式LINE）を活用しました。
 - 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）にあわせて、7月16日（火）に「ゆめタウン大牟田」において、市長・議長・教育長をはじめ市・県関係者及び人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を実施しました。また、人権週間（12月4日～10日）にあわせて、12月10日（火）に街頭啓発活動を実施しました。
 - 人権・同和問題に対する正しい認識と理解を深めるため、6月28日（金）、10月18日（金）、11月15日（金）、R7年2月14日（金）に地区公民館や小学校において、「部落差別について考える」と題して、大牟田市人権・同和教育研究協議会の研究員を講師に人権学習会を開催しました。なお、開催に関する市民周知は、報道発表や「広報おおむた」のほか、市ホームページやSNS等（愛情ねっと、市公式フェイスブック、市公式LINE）を活用しました。
 - 啓発用DVDについては、貸出しを40件行い、企業の職場等における自主研修に活用されました。また、企業の職場等における研修会には、講演依頼等に基づき34回の講師派遣を行いました。

決 算		国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	244 千円 千円)		121			123
問題点及び課題						
各学校において人権・同和教育カリキュラムを実践する際には、児童生徒の実態に応じて、同じ中学校区の小学校同士や小学校と中学校が連携して取組を進め、一連の学習内容の積み上げの関連が図れるように実践を進める必要があります。 人権や同和問題等に対する市民の理解と認識を深めるためには、初めて参加する人の割合を増やすことが重要となってきます。講演会等のアンケート結果において、初めて参加した人の割合は、人権・同和教育講演会は12.7%（前年比3.6%増）、人権連続講座では17.2%（前年比4.2%増）となっており、増加傾向にあります。						
今後の方向性（具体策）						
今後も、人権・同和教育のさらなる充実に向けて、児童生徒に正しい認識と差別をなくそうとする態度を確実に身に付けさせるため、各学校にカリキュラムを確実に実施するとともに、夏季講座や実践交流会における研修の充実を図ります。 諸啓発事業を開催するには、その趣旨を踏まえ、深く掘り下げた内容とする一方、誰もが気軽に参加でき、分かりやすく身近な問題をテーマとして、広く市民を対象として開催することも重要となってきます。そのためには、周知方法についても、広報おおむたや市ホームページ、広告モニターのほか、愛情ねっと、公式LINE等の活用、地域コミュニティ連絡会議を通じて各種団体に直接働きかけを行うなど、広く周知、啓発していきます。						
評 価						
全ての市立学校で、人権・同和カリキュラムに沿って授業研究会が実施されており、今後、さらなる充実に向けて各種研修会を実施していきます。 参加者アンケートによる醸成度は、人権・同和教育講演会、人権連続講座ともに9割を超えており、講演会等の内容は参加者に伝わったものと思われます。 今後も、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指して取り組んでいきます。						

【基本施策Ⅰ】社会的自立の基盤となる資質や能力の育成

義務教育9年間を見通した系統性・連続性のある指導により、児童生徒に「確かな学力（知）」、「豊かな心（徳）」、「健やかな体（体）」をバランスよく育成し、社会において自立的に生きるための基盤となる資質や能力を培います。

主要施策1 確かな学力の育成

児童生徒一人一人の学力の状況に応じたきめ細かな指導の充実を図り、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、思考力、判断力、表現力等や、粘り強く学習に取り組む態度を育成します。また、ICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。

【主な事業】

○教育研究事業〔指導室〕

（１）国、県、市の指定研究

県、市等の研究指定校で学習指導要領の趣旨に沿った指導内容・方法に関する実践的な研究に取り組み、その結果を各学校に広げました。

市研究指定校（研究指定は3年間）

学 校 名	研 究 主 題	教科・領域等
白川小学校 （3年次）	目的に応じて自分の考えを明確に表現する力を高める学習指導 ～考えを可視化し、再構成する活動を通して～	学校経営
橘中学校 （3年次）	生徒一人一人の自己肯定感を高める学習活動の展開 ～ソーシャルスキルに基づいた居場所づくりを通して～	生徒指導
高取小学校 （2年次）	未来に向けて生きる力を育む特別活動の創造 ～学級・学校・自分づくりに参画するAARサイクルを通して～	特別活動
松原中学校 （2年次）	成長期における望ましい生活（食）習慣を身につけた生徒の育成 ～家庭と連携した「早寝・早起き・朝ご飯」の取組を通して～	食育
羽山台小学校 （1年次）	見方・考え方を働かせ、想像的に読む子供を育てる国語科学習指導 ～文学的文章の「言葉」にこだわる言語活動を通して～	国語
白光中学校 （1年次）	安心して自己表現ができる居場所づくり ～自分の言葉で表現する言語活動を通して～	生徒指導

（２）教育調査（標準学力検査等）

基礎基本の確実な定着を図る教育課程の編成と実施のため、教育調査を行いました。

①全国学力・学習状況調査

（調査対象 小6：国語・算数、中3：国語・数学）

②全国体力・運動能力、運動習慣等調査（調査対象 小5、中2）※本市は全学年で実施

③福岡県学力調査（調査対象 小5：国語・算数、中1・2：国語・数学）

④大牟田市学力調査

（調査対象 小3～小6：国語・算数、中1・2：国語・社会・数学・理科・英語）

（３）教職員研修会の開催

①市教科研究委員会等の研修として、授業研究会（教育講座）を開催しました。

②市内小・中・特別支援学校の校内研修会に指導主事を派遣して、新学習指導要領に基づく学習指導について指導・助言を行いました。

③市教育研究所の教育講座は、管理職・教員を対象に以下の研修会を実施しました。

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| ○研究構想の基本的な構成 | 6月 6日(木) |
| ○メリハリのある学級経営のコツは？ | 6月17日(月) |
| ○誰でも使えるグーグルのサービスで働き方改革！ | 6月28日(金) |
| ○研究の検証について | 7月25日(木) |
| ○児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりのコツは？ | 7月31日(水) |
| ○E S D（持続可能な開発のための教育）の基本的な考え | 7月31日(水) |
| ○検証授業の具体的な進め方 | 8月29日(木)・10月3日(木) |
| ○授業力アップ講座（中学校） | 9月～11月 |
| ○配慮を要する子どもへの接し方、見取り方 | 9月27日(金) |
| ○身につけよう応対マナー | 10月29日(火) |
| ○プレゼンテーションの基本的な構成 | 12月 5日(木) |

④教育研究所研究員による研究について、8月に2年次中間報告会、1年次研究構想報告会、2月に研究報告会を開催し、その成果を各学校へ広めました。

(4) 教育論文の募集と表彰

大牟田市主催教育論文及び福岡県教育論文（教育論文、教育実践）を募集し、個人または共同研究の充実に努めています。

市論文に12件の応募があり、R7年2月17日(月)に表彰式を行いました。

(5) 実践事例集・研究紀要の作成

学校経営、学校指導等の充実に資するため、研究成果をまとめ、以下の教育資料を作成しました。

- ①教育研究所研究紀要 ②E S D実践事例集

(6) 科学技術教育振興事業

有明工業高等専門学校との連携事業に取り組み、科学技術教育の振興を図りました。

- | | |
|-----------------|-------|
| ①小中学校対象事業（出前授業） | 5講座実施 |
| ②教職員対象研修事業 | 2講座実施 |
| ③その他の連携 | 9件実施 |

●学力ブラッシュアップ推進事業〔指導室〕（15・16ページ参照）

●小中一貫教育推進事業〔学校教育課〕（17・18ページ参照）

○きめ細かな学習指導充実事業〔学校教育課〕

(1) 小学校全学年の35人以下学級編制

小学校では、R6年度までは法に基づく35人以下学級編制の対象ではなかった6年生について、県からの加配教員4人を学級担任として活用し、4校で本市独自の35人以下学級編制を行いました。これにより、全小学校の全学年で35人以下学級編制となりました。

(2) 中学校の学校実態に応じた弾力的な35人以下学級編制

中学校では、学校の実態に応じ、弾力的に35人以下学級編制を行うこととしています。R6年度に35人以下学級編制を行った学校はありませんでした。

(3) 少人数授業推進のための非常勤講師の派遣

習熟度別や課題別学習などの少人数授業を実施する場合や、学校が特に学力向上が必要と判断した教科がある場合に、非常勤講師を派遣（小学校10校に11人、中学校6校に10人）し、個に応じた学習指導を充実させ、学力の向上を図りました。

(4) 夜間中学への非常勤講師の派遣

夜間中学「宅峰中学校ほしぞら分校」の授業の充実を図るため、非常勤講師を2人配置しました（教科：美術科、音楽科）。

(5) 学校支援スタッフの配置

教員が授業や教材研究等に注力できるよう、教員の業務を支援する学校支援スタッフを各学校に1人配置しました。

○学校ICT活用推進事業〔指導室、学校教育課〕

(1) デジタル教科書や教育支援ソフト等の活用

デジタル教科書（小学校全学年の国語・算数、中学校全学年の英語）を活用し、文字の書き込みや音声の再生ができるなどの特性を生かした授業を展開しました。

一人ひとりの学力実態に応じて学習を進めることができるデジタルドリルを導入し、授業や家庭学習等において活用することで、基礎学力の定着に努めました。

学習支援ソフトの機能の一つである学習ログを活用した学習や協働的な学びの実現に努めました。

(2) 教職員研修会の開催

タブレット端末を効果的に活用した授業づくりについて、研修会を実施し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進に努めました。

(3) ヘルプデスクや学校ICT支援員による教職員サポート

各学校でのICTの活用が円滑に進むよう、業者委託により、タブレット端末等の操作支援や障害発生時の対応等（ヘルプデスク業務）を行うとともに、タブレット端末等の操作研修を実施しました。

○学力向上推進事業〔指導室〕

(1) 各学校の学力向上プランの促進

各学校は、自校の各種調査結果を分析し学力向上プランを作成しました。各学校へ指導主事を派遣するなどして、学力向上プランの効果的な実施に向け、指導内容・指導方法・指導体制等の在り方について指導助言を行いました。

(2) 小・中学校における「授業づくりガイドブック」の活用

小学校、中学校用の「授業づくりガイドブック」を研修会や教材研究において活用し、授業改善に努めました。

(3) 研修会の実施等

県の「ふくおか学力向上推進事業」において、南筑後教育事務所と連携し、学力向上に係る理論研修や授業研修において指導助言を行い、教員の学習指導力の向上を図りました。

また、夏季休業中に、大学や附属小学校で活躍されている講師を招聘し、小学校国語科、算数科の特別講座を開催しました。

○外国語教育推進事業〔指導室〕

(1) 小学校へのALT・LGT、中学校へのALTの派遣

小学校にALT（外国語指導助手）やLGT（外国語講師）を、中学校にALTを派遣し、授業や教職員研修の支援を行いました。また、英語教育担当者を中心に、小学校で教科化された英語教育への対応や、小学校から中学校の英語教育への小中連携についての教職員対象の各種研修会等を開催しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
全国学力・学習状況調査の標準化得点	目標値	国・算(数)での前年比向上	同左	同左	同左	同左	小学6年生と中学3年生を対象とする全国学力・学習状況調査で毎年度実施される国語・算数(数学)の標準化得点が前年度より向上することを目標とします。 [現状値：小の算数のみ達成(R4年度実績)]
	実績値	未達成					
	達成度(%)	0					

【指標達成度に対する要因分析】

指標である小学6年生と中学3年生を対象とする全国学力・学習状況調査で毎年度実施される国語・算数(数学)の標準化得点は、R5年度を上回ることはできませんでした。

国、県、市の学力調査等の結果によれば、記述式問題や活用問題において課題が見られます。また、いずれの教科・区分においても学力上位層が少なく、学力低位層が多い傾向にあります。

各学校においては、年度当初に学力向上プラン、学力向上ロードマップを作成し、各校の課題解決に向けてPDCAの検証改善サイクルを回しながら取り組んできましたが、十分な成果を得ることができませんでした。そこで、成果指標と取組指標を全職員で共通理解・共通実践して、各校の課題解決に向けた取組の充実を図り、令和3年1月中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」に示されている「個別最適な学びと協働的な学び」を一体的に推進し、主体的・対話的で深い学びに実現に努めます。

また、全国学力・学習状況調査の結果によれば、「自分にはよいところがありますか」について、小学校、中学校ともに全国と比較して低い傾向がみられ、学習活動の基盤、原動力となる自尊感情や粘り強さ、自らを律する力等の非認知能力を全教育活動を通して育んでいくことが課題となっています。さらに、スマートフォン等で動画を視聴したりゲームをしたりする時間が全国平均よりも長く、学力向上に向けてネガティブな要素となっているだけでなく、基本的生活習慣の定着の上でも課題となっています。

【今後の方向性】

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進し、「主体的・対話的で深い学び」を各学校が実践できるよう、授業研究会や教育講座等の教職員研修を実施するとともに、指導主事を全ての学校に派遣し、更なる授業改善を進めます。また、教育研究所における若手教員のグループによる授業の進め方に関する研究などを通して教師力の向上を図るとともに、教員間のネットワーク構築に資する取組を行います。

児童生徒の「個別最適な学び」を進めるため、タブレット端末で利用できるドリル教材を授業や家庭学習で活用し、基礎的・基本的な知識及び技能の習熟を図ります。また、学習支援ソフトを有効活用した授業づくりを進めます。

小・中学校が実施する補充学習や強化学習に「スタディサポーター」を派遣し、個に応じたきめ細かな指導が行えるよう支援します。

各学校や小・中学校の連携のもと中学校区単位で行われる家庭学習習慣の定着の取組を支援します。

県の学力向上強化市町村の取組とも関連させ、学力調査で測定できる学力の向上とともに、全ての教育活動を通して、また、家庭と連携しながら非認知能力の向上にも努めます。

このような取組を通して、学力調査における平均点の向上とともに、学力を向上させた「個の人数」の増加を目指します。

主要施策 2 豊かな心の育成

道徳教育やさまざまな体験活動、読書や鑑賞の活動などの充実を図り、規範意識や他人を思いやる心情、自然や文化を大切に思う心情や豊かな情操を育成します。

【主な事業・取組】

○道徳教育の充実〔指導室〕

各学校では、道徳教育は、各学校の年間指導計画に基づき、道徳科学習を要としながら、全教育活動を通して行っています。その際、児童生徒の体験と関連させることや、教材や福岡県の人権教育指導資料「かがやき」、「あおぞら」等を有効活用するよう指導しました。

○「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕

（１）児童会・生徒会リーダーミーティングでの各学校の取組の交流等

7月から8月にかけて、中学校区単位で1回目の「児童会・生徒会リーダーミーティング」を開催し、児童会・生徒会の代表児童生徒が、挨拶運動やメルシーアーチに係る取組の交流や「思いやり・親切」についての意見交換を行いました。2回目の「児童会・生徒会リーダーミーティング」も中学校区単位で12月からR7年1月上旬に開催し、各学校の8月以降の児童生徒主体の「思いやり・親切」に係る取組の交流と1月以降の取組についての話し合いを行いました。

（２）各学校独自の取組や全校共通の取組

各学校では、「あいさつ運動」「よいところ探し」「仲良し集会」等を工夫して実施したり、友だちを大切にする標語とポスターを作成したりしました。

（３）大牟田市教育力向上推進大会での発表

R7年1月に開催した大牟田市教育力向上推進大会で代表児童生徒が大牟田市の全学校の『「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト』の取組を発表し、市民への啓発を行いました。

○おおむた郷土愛育成事業〔指導室〕

（１）子ども大牟田検定（入門編・基礎編・上級編）の実施

郷土大牟田のよさを児童生徒が知ることができるよう、大牟田の自然や文化、伝統などの「大牟田の宝もの」に関する子ども大牟田検定を2回実施しました。

なお、R4年度の2回目（通算24回目）からは、二次元コードやタブレット端末を活用し、オンラインで実施するとともに、端末にスタディログ（学習履歴）が残るようにしています。

学校種、学年等		検定の 種類	受検者数（人）	
			1回目（通算27回目） 9月6日（金）	2回目（通算28回目） R7年1月17日（金）
小学校	1・2年生	入門編	—	1,340
	3～6年生	基礎編	2,542	2,382
	5・6年生の希望する者※	上級編	614	513
	小 計		3,156	4,235
中学校	全学年（基礎編・上級編の どちらかを選択）	基礎編	1,235	829
		上級編	932	1,267
	小 計		2,167	2,096
合 計			5,323	6,331

※小学校５・６年生は、基礎編・上級編のどちらか一つだけ受検できる。

※児童生徒のほか、３２１人の大学生や市民も受検した。

○小中学生伝統文化等体験事業〔指導室〕

（１）児童生徒の伝統文化体験の支援

生涯学習課と連携し、音楽や総合的な学習の時間における伝統文化の学習において、学校へボランティア講師を派遣し、児童生徒の体験学習を支援しました。小・中・特別支援学校の児童生徒は、押し花や茶道、華道等を体験し、日本の伝統的な文化のよさを実感することができました。

（２）各学校の読書活動における郷土出身作家作品の紹介・奨励

各学校が実施する読み聞かせ活動や読書週間等の中で、本市出身の絵詞作家である内田麟太郎氏の作品を取り上げ、紹介する等の取組を行うよう周知を図りました。

○読書活動推進事業〔指導室・学務課〕

（１）読書感想文コンクールの実施〔指導室〕

児童生徒の読書活動を推進する取組の一つとして、読書感想文コンクールを行いました。自由図書部門と併せ、Ｈ２９年度から引き続き、本市出身の絵詞作家である内田麟太郎氏にちなんだ「内田麟太郎部門」を設けました。３月に読書感想文の優秀作品を冊子にまとめ、各学校や入選した児童生徒等に配布しました。

（２）学校図書館への司書配置の充実〔学務課〕

読書活動の推進をはじめとする学校図書館機能の更なる充実を図るため、専ら学校図書館の職務に従事する職員として、司書の資格又は司書教諭の資格を有する者を配置しています。

○児童生徒の作品展〔指導室〕

（１）理科展

夏休みの自由研究として小・中・特別支援学校から昆虫植物採集・理科作品研究物等の中から優れた作品が出品され、８月３１日（土）～９月５日（木）に大牟田文化会館において理科展を開催しました。小学校３４８点、中・特別支援学校１３３点、合計４８１点の出品がありました。

（２）小・中・特別支援学校合同作品展

各小・中学校から絵画・版画・彫塑・工作・デザイン・工芸等の作品が、特別支援学校から児童生徒が日常の学習で制作した作品や日常生活の写真などが出品され、Ｒ７年２月１４日（金）～１８日（火）に大牟田文化会館において作品展を実施しました。

○自然体験・社会体験授業の充実〔指導室〕

（１）野外活動宿泊体験、職場体験等の実施

小学校全校において、７月から８月にかけて野外活動宿泊体験学習を実施しました。また、特別支援学校は、高等部で野外活動宿泊体験学習を実施しました。

中学校における職場体験学習については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン等で実施していましたが、Ｒ６年度から職場体験学習を本格的に実施できました。

さらにＲ６年度は、大牟田市立地企業会及び産業振興課による「中学生企業見学会」が実施されました。甘木中学校１年生（８４人）が９月に、歴木中学校（７２人）がＲ７年１月に、それぞれ１０人程度のグループに分かれて企業を訪問し、体験活動や質疑応答を通して企業について学ぶことができました。また、生徒自身の勤労観や職業観、生き方を

見つめる機会となりました。

○非行防止教室推進事業〔指導室〕

(1) 万引き防止、薬物乱用防止教室等の全校での実施

規範意識の醸成のため、各学校において外部指導者を活用し、非行防止教室として、万引き防止教室、シンナー薬物乱用防止教室、情報モラル学習等に取り組むよう指導助言を行いました。

(2) スマートフォンやSNSに関する指導の実施

4月と7月の校長会で、H27年11月に策定された大牟田市「児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」について再周知し、学校を通して保護者等への啓発を図りました。

11月に携帯電話やスマートフォンの使用に関する啓発資料を学校へ配布し、児童生徒並びに保護者等への啓発を行いました。

各学校においては、低学年から発達段階に応じて情報モラルについて指導しました。その際、文部科学省で作成した指導モデルカリキュラムや指導事例を紹介する教員向け・Webサイト等を利用したり、規範意識教室等を開催したりして、スマホやSNSとの関わり方や危険性について、児童生徒に指導しました。

○中学校の部活動の活性化〔指導室〕

(1) 中学校連合音楽会の開催

10月3日（木）に大牟田文化会館において各中学校が吹奏楽演奏を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
児童生徒の規範意識	目標値 (%)	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	人の気持ちがわかる人間になりたいと答えた児童生徒の割合について、現状値を踏まえ95.0%以上を目指します。 [現状値：96.8% (R4 年度実績)]
	実績値 (%)	95.8					
	達成度 (%)	100.8					

【指標達成度に対する要因分析】

規範意識を育むためには、道徳科の授業はもとより、全教育活動を通して、適宜、教師による指導や児童生徒の主体的な対話活動を取り入れていく必要があります。「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業を通して、児童生徒が児童会・生徒会を中心に、主体的に楽しい学校・いじめのない学校づくりのための取組を考え、行動する姿が見られるようになりました。また、学校行事や地域と連携した様々な体験活動など、豊かな心を育む教育活動を進めた結果、教師と児童生徒、児童生徒相互の共感的な人間関係づくりが進みました。これらの事業を通して、学校生活における支持的風土が高まり、その結果、今まで以上に周りの友達やよりよい学校づくりのために何が大切かを考え、人の気持ちが分かる人になりたいと思う児童生徒の割合の目標値の達成ができたものと考えます。

各学校では、児童生徒の発達段階を踏まえ、SDGs／ESDの一環として地域の特色に応じた郷土学習を実施しました。その中で、子ども大牟田検定の実施に向けて、「子ども大牟田検定ガイドブック」を授業や家庭学習でも取り上げました。また、総合的な時間の学習で地域のよさに触れ課題を見つけ、課題解決を図る学習をとおして、地域を知り、地域のために行動し、地域を誇りに思う児童生徒の育成を目指す等、郷土学習の充実を図りました。

【今後の方向性】

今後も、様々な教育活動において、児童生徒の主体的な対話活動を促進し、「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業の一つである児童会・生徒会リーダーミーティングの推進・充実を進めるとともに、各中学校区単位で、「思いやり・親切」に関するキャンペーンや「友だち応援隊」に係る取組の継続を図ります。また、読書活動や各種体験活動の充実、児童生徒の作品展等の開催、非行防止教室等の実施を通して、児童生徒の規範意識を高める取組の更なる充実を進めていきます。

今後も、SDGs／ESDの取組において、地域素材を教材化し、発達段階に応じた郷土学習の実施を進めることをとおして、児童生徒が、様々な人と協働して課題を解決していく喜びを味わい、社会参画意識を育むとともに、地域社会に貢献するために必要な自尊感情や思いやりの心を育成します。

主要施策3 健やかな体の育成

学校教育活動全体を通じて、保健教育、学校保健の充実を図るとともに、日常から運動に親しむ児童生徒の増加を図るなど、体力向上に向けた取組を進めます。また、地域や家庭との連携により、学校給食・食育の充実を図り、基本的生活習慣が身に付いた心身ともにたくましい児童生徒を育成します。

【主な事業】

○体力向上推進事業〔指導室〕

（１）体力向上プランの促進

各学校は自校の児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の実態を分析し体力向上プランを作成しました。校長会や担当者会等を通して各学校の体力向上プランの取組が組織的・効率的に実施できるよう指導助言を行いました。

（２）小学校地区競技会

① ５月にリレー大会を各学校で開催し、４・５・６年生が参加しました。

② １０月～Ｒ７年１月に中学校区ごとのソフトバレーボール大会を開催し、６年生が参加しました。

（３）中学校体育連盟の競技会（スポーツ推進室と連携）

① ７月に中体連夏季市内大会を市内の各会場で開催しました。

② ９月に新人大会を市内の各会場で開催しました。

③ １０月に駅伝の市内大会を諏訪公園で開催しました。

④ Ｒ７年１月に中学校体育連盟による市内駅伝新人大会を開催しました。

○子ども大牟田体力検定推進事業〔指導室〕

（１）体力向上チャレンジカード等の活用

５月に「体力向上チャレンジカード」と「検定カード」を全児童生徒に配布し、日常的に運動に取り組めるようにしました。

（２）子ども大牟田体力検定の実施

全ての学校において、子ども大牟田体力検定を実施し、児童生徒の到達度合いに応じ、体力認定証を配布しました。

（３）小・中学校体育科研究会との連携

小・中学校体育科研究会と連携して、８月に全小・中学校の児童生徒の体力テストの結果（各学校５月から７月に実施）を分析し、必要に応じて９月以降の体力検定の行い方や内容を見直すとともに、Ｒ７年２月に次年度の体力検定の行い方や種目等の検討を行いました。

○健康教育推進事業〔指導室〕

（１）生活習慣病予防・喫煙防止・薬物乱用防止教育等の実施指導

各学校において、生活習慣病予防・喫煙防止・薬物乱用防止等を教育課程に位置付けて実施するよう指導しました。

○食育推進事業〔学務課、指導室〕

（１）食育推進校に係る取組〔指導室〕

Ｒ６年度は大正小学校を推進校に指定し、食育に関する理論研究や実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、「心豊かなくらしにつながる食育指導」を研究主題に掲げ、家庭・地域と連携した

農業体験を通して、教科・領域と関連させた食育を推進するとともに、松原中学校や同校のPTAと連携した取組では、家庭の食生活の実態を把握し、啓発することができました。また、食に関する取組の啓発用リーフレット等を作成し、R7年3月に市内の各学校に配布しました。

(2) 早寝早起き朝ごはん運動推進校に係る取組〔指導室〕

R6年度は松原中学校を推進校に指定し、早寝早起き朝ごはん運動に関する実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、食育教室や食を通じた国際理解教育、生徒会による給食残食ゼロ運動や朝ごはん調査、教科等における指導に取り組みました。10月30日（水）に食育研究発表会を開催し、公開授業を行うとともに、研究報告や講演会を開催しました。また、食に関する取組の啓発用リーフレット等を作成し、R7年3月に市内の各学校に配布しました。

(3) 学校給食への地場産物の使用促進と食育の啓発推進〔学務課〕

地場産物の使用促進を図るため、福岡県産や大牟田産、南関産の青果物を積極的に取り入れました。食育の啓発については、小学校の保護者に対し「もぐもぐ通信（食育通信）」と「給食だより」を交互に年11回、中学校では「食育通信」を年11回発行し、朝食の重要性や食生活に関すること、学校給食とSDGsの関わり、給食レシピの紹介などを行いました。

(4) 学校給食週間等の開催〔学務課〕

学校給食週間（R7年1月25日（土）～2月2日（日））では、イオンモール大牟田において児童生徒のポスター・標語作品展を開催し、各小学校や中学校給食センターにおいて地域の方々等を招いた給食試食会を行いました。また、R4年度から引き続き、農林水産課と連携し、児童生徒を対象とした学校給食レシピコンテスト（大牟田産の農作物を使ったおかず部門、高菜部門）を実施し、入賞作品は市内の協力店において販売されました。

(5) 中学校給食センターを活用した食育の啓発〔学務課〕

中学校給食センターにおいて、学校給食を通じた食育の啓発を推進するため、小中学校のPTA等を対象に施設見学と栄養教諭による講話を含めた給食試食会を実施しました。

○中学校給食事業〔学務課〕

(1) 中学校給食センターの管理運営

学校給食法に基づき、生徒の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、中学校給食センターの管理運営を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

○小学校給食事業〔学務課〕

(1) 直営拠点校・民間委託校併用方式の推進

学校給食法に基づき、小学校において、児童の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、直営拠点校と民間委託校による併用方式の推進を図りました。

(2) 小学校給食の管理運営

各小学校の給食調理や給食室・調理機器等の管理を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
体力向上のための授業以外での取組実績	目標値(%)	100	100	100	100	100	児童生徒の体力向上のための授業以外での取組を全ての学校で実施します。 [現状値：100%（R4 年度実績）]
	実績値(%)	100					
	達成度(%)	100					

【指標達成度に対する要因分析】

児童生徒の体力の向上に向けて、各学校においては、「1校1取組」を位置付けた体力向上プランを作成し、学校の実態や児童生徒の発達段階に応じた様々な取組が実施されました。各小学校では、県が実施している「スポコン広場チャレンジランキング」に参加したり、子ども大牟田体力検定推進事業の体力検定を実施したりしました。体力テストの際には、地域のスポーツ推進員の支援を得て実施しています。また、中学校においては、各学校の実態に応じて、生徒会の委員会活動の一環として、休み時間に外遊びを推奨する取組を行うなど、生徒の目的意識が高まる取組がなされました。

その結果、各学校において、児童生徒が自己の体力の向上に係る目標意識を持って主体的に取り組むことができ、体力向上の取組実績の目標値の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、体力向上に向けて、授業での取組はもとより、授業以外での取組も児童生徒の発達段階や学校の実態に応じて進めていきます。そのために、各学校の体力向上プランの充実について指導助言を行うとともに、各取組の啓発と各競技会への支援を行います。また、健康教育や食育の充実を図ることを通して、体力向上の基盤づくりに努めていきます。さらに、児童生徒の発達段階に応じて、体力や健康の大切さ、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の意義などを理解させ、自主的な取組が図られ、体力の向上が図られるようにしていきます。

食育の推進については、食育推進校等での取組の内容とその成果を各校へ広げるとともに、学校給食を通じた食育を行うことにより、朝食の大切さへの理解向上等、食習慣の改善につながるよう更なる啓発を進めます。

主要施策 4 主体的に社会の形成に参画する態度の育成

持続可能な社会の創り手として、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を育成するとともに、社会の中での自分の役割を考え、社会的自立に向けて取り組む態度を育成します。

【主な事業】

●ESD推進事業〔指導室〕（19・20ページ参照）

○ユネスコスクール支援センターを活用したESDの推進

「ユネスコスクール支援センター」に専属職員1名を配置し、関係機関等との連携、ESDに関する資料収集を行うとともに、各学校へユネスコスクールの情報を発信しました。

○キャリア教育支援事業〔指導室〕

（1）地元企業等のバス見学や体験学習への支援

R6年度は、大牟田市立地企業会及び産業振興課による「中学生企業見学会」が実施されました。甘木中学校1年生（84人）が9月に、歴木中学校（72人）がR7年1月にそれぞれ10人程度のグループに分かれて企業を訪問し、体験活動や質疑応答を通して企業について学ぶことができました。R7年度も産業振興課と連携して実施する予定です。

（2）中学生対象のキャリア教育に関する講話

将来を考え始める時期にある中学生に、望ましい勤労観・職業観を育んでいくために、地元で活躍されている方々をゲストティーチャーに招き、各学校で講話を行っていただきました。

（3）中学生の職場体験学習

R2年度から、新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの中学校が職場体験を見送っていましたが、R6年度は、中学校6校で職場体験を実施しました。地元の小売店や病院、老人保健施設等と連携して職場体験を実施し、職業の厳しさや楽しさ、やりがいを体験を通して学び、生徒にとって、自己のキャリアについて考える貴重な機会となりました。

（4）企業等と協働したプロジェクト学習

橘中学校は、一般社団法人OMUTA BRIDGEの協力を得て、OMUTAジュニアシティメーカー（OJCM）の活動を実施しました。R6年度で3年目の活動となりました。R6年度は、3年生が、学校再編により整備される中庭について、対話を通してデザインを練り上げ、市教育委員会に提案しました。このOJCMの取組が評価され、同中学校の卒業生である市内の高校生がR7年7月に大阪・関西万博「共創チャレンジ」で発表することとなりました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
学校や地域のために行動したいという生徒の割合	目標値（%）	84.0	85.0	86.0	88.0	90.0	学校や地域のために何かをしてみたいと答えた生徒の割合 〔現状値：82.6%（R4年度実績）〕
	実績値（%）	85.4					
	達成度（%）	101.7					

【指標達成度に対する要因分析】

各学校は、自校の教育目標の達成を目指し、地域の特色や児童生徒の発達段階を踏まえて、SDG s／E S Dの取組を推進しました。R 6年度は、地域素材を教材化していく際、地域や関係機関との連携を重視し、中学校区ごとに、小中連携のもと、地域の「ひと」「もの」「こと」を共有し、地域のステークホルダーを巻き込んだ実践を多く実施しました。そのプロセスにおいて、「自分たちが地域のためにできること」を児童生徒一人一人が考え、その実現のためには何をどのようにすればよいのかについて、具体的な対話を通して交流を深めていきました。その結果、地域が抱えている課題を「自分事」としてとらえることができ、地域への貢献の意識が高まったと考えられます。

このような各学校の実践を掲載した「SDG s日めくりカレンダー」を作成して各学校に配布するとともに、「大牟田版SDG s」を改訂し、児童生徒や保護者、市民への啓発を行いました。また、R 6年度は、大牟田地域教育力向上推進大会を2部制にし、第2部でSDG s／E S Dの学習成果の発表の場である「ユネスコスクール・SDG s／E S D子どもサミット」を実施し、各学校の学習内容についてステージで発表しました。保護者や地域の方々、地域教育力向上の関係の方々等、多くの方に学習成果を見ていただき、SDG s／E S Dの取組を啓発しました。

さらに、各学校が実施した「大牟田市ユネスコスクール週間」の学習発表会等において、児童生徒は、自分たちの取組の意義やよさを実感することができました。

加えて、7月に実施した「ユネスコスクール・SDG s／E S D交流会」では、学校関係者、市内企業・各種団体、市職員、学生など約150人の参加があり、「大牟田を創る子どもたちのために、いまできること！」のテーマのもと、学校と各団体、企業等が連携したE S Dの実践に向けた意見交換を行いました。会の最後には、福岡教育大学の石丸哲史副学長により全体総括が行われました。交流会を通してSDG sの達成を目指したE S Dの充実について学び合い、その成果が各学校での実践に生かされました。

これらの取組を通して、児童生徒は、自分たちの取組が地域の人々や、これからの大牟田のまちづくりに役立っていることを実感でき、目標の達成に至ることができたと考えます。また、前述のように、このような地域の課題や国際的な課題を「自分事」としてとらえ、自己の生き方を考えていく礎となっています。

【今後の方向性】

R 6年度のSDG s／E S Dの取組においては、学校だけではなく、さらに広く市民や企業、団体等を巻き込みながら、官民連携、学社連携を推進した取組が多く見られるようになりました。毎年、各学校においては、地域や児童生徒の実態を踏まえたカリキュラムの見直しが図られ、カリキュラムのブラッシュアップを進めています。

また、小・中学校では、小中一貫教育が徐々に浸透し、小学校と中学校が同じ教育目標のもとで指導に当たっており、SDG s／E S Dについても発達段階を踏まえた取組の系統化が進められています。今後は、その目標の達成に向けて、重点を絞りながら、目指すSDG s／E S Dの取組を進め、未来を創る子どもたちに必要な資質や能力の育成に努めていきます。

キャリア教育支援事業については、将来を考え始める時期にある中学生に望ましい勤労観・職業観を育んでいくために、引き続き大牟田市立地企業会及び産業振興課との連携を図ります。また、企業等との協働によるプロジェクト型学習について、市内の教職員で共有し、各学校の実践の充実を図ります。

【基本施策Ⅱ】安心して学べる学校づくり

いじめや不登校の未然防止や早期対応、経済的困難を抱える保護者の支援など、誰一人取り残さない、安心して学べる学校づくりを進めます。また、児童生徒一人一人の多様な教育的ニーズに応じた的確な支援や指導の充実に努めます。

主要施策 1 誰一人取り残さない学びの保障

いじめの未然防止等の対策を総合的に推進するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置拡充や教育支援センターの運営など、不登校児童生徒等への支援を充実させます。また、就学援助の実施など、経済的困難を抱える保護者の支援に努めます。

【主な事業】

○いじめ防止対策推進事業〔指導室〕

(1) いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会の運営等

大牟田地域教育力向上推進協議会を「いじめ問題対策連絡協議会」として位置付けており、連絡協議会の中に実行委員会を組織して、年2回（6月・10月）の会議を開催し、本市のいじめの防止等に関する取組を推進しました。

また、教育委員会の附属機関として設置している「大牟田市いじめ防止対策委員会」の会議を年3回（6月・8月・3月）市のいじめ防止に係る教育委員会や学校の取組等について協議を行い、その充実に努めました。

(2) 大牟田市いじめ防止基本方針の推進

いじめ防止対策推進法に基づき策定している「大牟田市いじめ防止対策基本方針」について、いじめ問題対策連絡協議会やいじめ防止対策委員会等の関係機関との連携を図り、いじめ防止に関する取組の総合的な推進に努めました。

いじめの認知件数等※

区 分	R4 年度			R5 年度			R6 年度		
	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中
小学校	114	103	11	131	104	27	113	93	20
中学校	43	35	8	72	56	16	59	53	6

※各学校では、いじめの防止等に関する文部科学省の通知や「いじめ防止基本方針」の改定（H29年3月）等も踏まえ、いじめの積極的な認知に取り組んでいる。

○教育相談充実事業〔指導室〕

(1) スクールソーシャルワーカーによる相談対応、関係機関とのネットワークを活用した支援

各中学校区にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童相談所や医療機関などの関係機関とのネットワークを活用した支援や、学校、家庭等への訪問を行うなどにより、不登校等の事案の解決や改善を図りました。また、地区公民館を利用したサテライトスペースや民間と連携して運営している「ぱすてる」の運営にかかわり、不登校児童生徒の学びの場の確保と居場所づくりを進めました。

スクールソーシャルワーカーによる相談対応状況（実件数）

R4 年度	R5 年度	R6 年度
399	547	679

(2) 大学等の高度な知見を活用した複雑・困難な事案への対応

複雑で深刻な事案については、大学などの高度な専門機関と連携し、その知見を活用しながら、解決や改善を目指しました。この連携に係る研修会を6月21日(金)、9月6日(金)、11月25日(月)に実施し、それぞれ、スクールソーシャルワーカーや教育相談室相談員が参加しました。R6年度は、講師として福岡県立大学准教授の奥村賢一氏を招へいしました。

(3) 事業推進校における教師の対人援助力向上等の研修会の開催

学校相談体制の支援のため、事業の推進校に指定した橘中学校において、講師を招へいし、教師の対人援助力の向上や不登校の早期発見・早期対応の具体的な手立てに関する研修会を開催しました。この研修会の成果を生かして、教師が「生徒との対話」を重視した生徒との関わり方の工夫改善に取り組みました。また、橘中学校での成果を生かして、白光中においても同様の研修会を実施しました。

(4) 事業推進校における子どもの自己肯定感や自尊感情を高める授業づくり

R5年度に実施した教師とスクールソーシャルワーカーの協働による、子どもの自己肯定感や自尊感情を高める体験型ワークショップを取り入れた活動を発展させ、セカンドステージとして、希望者を募りました。R6年度は対話活動を重視し、「地域の居場所づくり」について、生徒たちが、有明工業高等専門学校の教員、住宅建築課の職員、教育委員会の担当者等と協議を重ねました。「集う」「交ざる」「使える」をテーマに、工事中の白銀中学校のデザインを創り上げ、市教育委員会に提案することができました。活動を通して、思いを実現できた喜びから、社会貢献する喜びを味わうことができました。

(5) 事業推進校における個々の不登校等の事案に係る相談対応の実施やケース会議の開催、関係機関とのネットワークの構築

個々の不登校等の事案について相談対応を実施するとともに、関係機関とのケース会議等を適宜開催しました。その結果、中学校の不登校生徒のうち、専門的な機関による支援が必要な生徒を児童相談所、医療機関、相談機関などにつなぐことができました。

不登校の背景は複雑化・多様化しており、個に応じた最適な支援を行うためには、それぞれの生徒がどのような環境に置かれていて、どのような支援が必要かの「見立て」が重要なポイントとなります。スクールソーシャルワーカーを中心に、市の関係部局、児童相談所や福祉事務所等の関係機関との連携を強めるためのネットワークの構築を進め、「見立て」を踏まえた最適な支援に取り組みました。子ども支援ネットワークにも参加し、教育委員会と他部局、他機関との情報連携や行動連携も行いました。

●ハートフルスクールプロジェクト推進事業〔指導室〕(21・22ページを参照)

○不登校対策事業〔指導室〕

(1) 不登校対応対策会議の開催

教育委員会事務局、少年センター、子ども育成課の職員で構成する不登校対応対策会議を年3回(6月、8月、R7年2月)開催し、不登校児童生徒の現状や不登校の背景等について情報の共有を図るとともに、不登校の未然防止、早期解消に関する連携の在り方についての協議等を行いました。

不登校等の状況

区 分	R4 年度				R5 年度				R6 年度			
	不登校		学校復帰		不登校		学校復帰		不登校		学校復帰	
	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率
小学校	119	2.35%	41	34.5%	144	2.97%	71	49.3%	130	2.71%	70	53.8%
中学校	254	10.54%	107	42.1%	306	12.2%	119	38.9%	272	10.9%	81	29.8%

※不登校児童生徒の定義（文部科学省）：何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。

（２）教育相談員、ひきこもり児童生徒訪問指導員、特別支援教育巡回指導員の配置

生涯学習支援センター内に設置している教育相談室に、教育相談員2人、ひきこもり児童生徒訪問指導員2人を配置しました。スクールソーシャルワーカーを含む3者で随時連携を図り、問題の早期解決に取り組みました。また、特別支援教育巡回指導員を配置し、小学校の配慮を要する児童への指導と共に、特別支援教育に関して様々な助言等を行いました。

教育相談の状況

相談の内容	相 談 件 数（延べ）		
	R4 年度	R5 年度	R6 年度
学業等	0	23	30
不登校	1,785	1,941	1,604
いじめ	3	1	3
その他の学校生活	2	6	4
性格・行動	58	116	237
その他	17	8	9
合 計	1,865	2,095	1,887

ひきこもり相談の状況（延件数）

R4 年度	R5 年度	R6 年度
271	151	207

（３）教育支援センター「昭和教室」の運営

心理的または情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒の学校復帰のため、指導員を3人配置し、児童生徒の状況に応じて、適応指導、学習指導、教育相談等を行い、児童生徒の社会的自立に向けて支援を行いました。

教育支援センター「昭和教室」の入級及び復帰状況

区 分	R4 年度	R5 年度	R6 年度
教育支援センター入級児童生徒数	5 人	4 人	5 人
学校復帰数	5 人	4 人	5 人
学校復帰率	100%	100%	100%

※復帰数には高校進学者を含む。

○「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕（再掲）（31ページ参照）

○就学援助事業〔学務課〕

学校教育法等の関係法令及び大牟田市就学援助要綱に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助として学用品費、学校給食費、医療費等を支給しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により家計が急変した世帯に対する特例措置については、R2年度から継続して実施しましたが、R6年度の支給対象者はいませんでした。

また、心身的な理由により普通教室での就学が困難な児童生徒の保護者に対し、特別支援

教育就学奨励費補助を支給しました。

さらに、高等学校及び高等専修学校への進学に必要な入学支度金や学費の一部を貸与する「公益財団法人福岡県教育文化奨学財団」の奨学金制度の周知を図り、奨学金申請事務を行いました。

① 就学援助費 (単位：人、千円)

区 分		R4 年度	R5 年度	R6 年度
支給者数	小・中学生	1,467	1,340	1,327
	未就学児	123	115	106
支給総額		131,508	118,500	111,069
(うち国庫補助金)		(620)	(516)	(362)
認定率(全児童生徒数に占める支給者の割合)(%)		19.7	18.2	18.3

② R6年度就学援助費の内訳 (単位：人、千円)

区 分	未就学児		小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学用品費等	—	—	802	11,818	525	13,598	1,327	25,416
校外活動費	—	—	(132)	521	(0)	0	(132)	521
新入学児童生徒学用品費等	—	—	(33)	1,784	(26)	1,638	(59)	3,422
修学旅行費	—	—	(147)	3,535	(182)	8,977	(329)	12,512
学校給食費	—	—	(802)	25,153	(525)	19,238	(1,327)	44,391
通学費	—	—	(0)	0	(0)	0	(0)	0
オンライン学習通信費	—	—	(335)	4,235	(406)	5,462	(741)	9,697
医療費	—	—	(81)	342	(29)	88	(110)	430
新入学学用品費(入学前支給)	106	6,049	(137)	8,631	—	—	106 (137)	14,680
合 計	106	6,049	802	56,019	525	49,001	1,433	111,069

※人員の()は内数。

③ R6年度就学援助費特例措置(抜粋) (単位：人、千円)

区 分	未就学児		小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
新型コロナウイルスの影響による家計急変	0	0	0	0	0	0	0	0

④ 特別支援教育就学奨励費 (単位：人、千円)

区 分	R4 年度	R5 年度	R6 年度
支給者数	76	94	110
支給総額	3,003	3,723	4,232
(うち国庫補助金)	(1,449)	(1,861)	(2,115)

⑤ R 6 年度特別支援教育就学奨励費の内訳

(単位：人、千円)

区 分	小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学 用 品 費 等	75	481	37	434	112	915
校 外 活 動 費	(8)	15	(0)	0	(8)	15
新入学児童生徒学用品費等	(9)	230	(6)	183	(15)	413
修 学 旅 行 費	(16)	172	(13)	357	(29)	529
学 校 給 食 費	(75)	1,186	(37)	678	(112)	1,864
通 学 費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
オ ン ラ イ ン 学 習 通 信 費	(53)	344	(24)	152	(77)	496
医 療 費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
合 計	75	2,428	37	1,804	112	4,232

※人員の()は内数。

⑥ 奨学金制度の活用状況

(単位：人)

区 分	R4 年度	R5 年度	R6 年度
申 請 者 数	100	111	103
内 定 者 数	80	88	78

○学校給食費支援事業〔学務課〕

保護者の経済的な負担の軽減を図るため、小・中・特別支援学校の給食費の一部を支援し、安全でおいしい給食の提供に努めました。

○学校保健事業〔学務課〕

(1) 各種健康診断事業

学校保健安全法等の関係法令に基づき、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、児童生徒及び教職員の健康診断並びに翌年度から就学を予定している幼児を対象に就学時健康診断を実施し、有所見者には、二次検査や治療の勧告を行いました。

各種健康診断受診者数

(単位：人)

区 分	R4 年度	R5 年度	R6 年度
児 童 生 徒 健 康 診 断	7,407	7,333	7,172
教 職 員 健 康 診 断	330	363	386
就 学 時 健 康 診 断	766	784	717

(2) 災害共済給付事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、学校の管理下における児童生徒等の災害(負傷、疾病、障害又は死亡)が発生した場合に災害共済給付(医療費、障害見舞金又は死亡見舞金)を支給するもので、医療機関からの診療報酬請求に基づいて医療費を支給しました。

① 災害共済掛金

(単位：千円)

区 分	R4 年度	R5 年度	R6 年度
個人負担総額	2,581	2,613	2,586
市負担総額	4,483	4,385	4,321
合 計	7,064	6,998	6,907

※ 1人当たり災害共済掛金 935 円（個人負担 420 円、市負担金 515 円）。

② 災害発生件数と給付額

(単位：件、千円)

区 分	R4 年度		R5 年度		R6 年度	
	件 数	給付額	件 数	給付額	件 数	給付額
小学校	327	1,623	312	1,792	290	1,485
中学校	205	1,916	242	1,542	230	2,075
特別支援学校	3	10	9	170	3	10
合 計	535	3,549	563	3,504	523	3,570

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
不登校児童生徒への支援	目標値 (%)	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	不登校児童生徒のうち、専門家や専門機関の相談・指導等を受けている者の割合
	実績値 (%)	100					
	達成度 (%)	100					

【指標達成度に対する要因分析】

不登校児童生徒すべての学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整えてきました。そのために、新たに学習指導員を配置して、校内教育支援センター（ハートフルルーム）を各学校に整備したり、校区内のスクールソーシャルワーカーが業務として担当する公民館を利用したサテライトスペースや同じくスクールソーシャルワーカーが業務として担当し、毎週月曜日に実施した「ばすてる」を新たに開設したりしました。また、民間のフリースクール、社会福祉協議会生活支援相談室が運営している「ふきのとう」との連携を深め、児童生徒の居場所づくりを進めてきました。さらに、各中学校区に専任のスクールソーシャルワーカーを配置し、いじめや不登校の早期発見や早期対応に努めてきました。

その結果、各学校において、不登校傾向や不登校状態にある児童生徒に寄り添いながら、社会的自立に向けて、学びの場・居場所を確保することができたものと考えます。

【今後の方向性】

不登校については、R6年度は件数・出現率ともにR5年度より減少しましたが、依然として多い状況が続いています。また、不登校の要因は複雑化・多様化し、学校だけでは解決困難な相談が増加していることから、児童生徒の心理的要因に対応するスクールカウンセラーや、家庭環境などの複雑な要因に対応できる社会福祉等の専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカーの活用のさらなる充実とともに、大学等と連携した取組の充実を図ります。

不登校児童生徒をはじめ、すべての児童生徒が学びたいと思ったときに学べる環境を整えるため、校内教育支援センターのさらなる充実を図るとともに、スクールソーシャルワーカーや関係部局、関係機関等との連携を強化します。

さらに、小中一貫教育を見据えた「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業等における児童生徒主体の取組を推進し、いじめや不登校の早期発見・早期対応を行います。

SNSやスマートフォン、インターネットに関するいじめが増加する傾向にあるため、大牟田地域教育力向上推進協議会と連携して、「大牟田市児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」の保護者等への啓発を継続して行うとともに、いじめ防止対策推進法に基づくいじめ防止基本方針に係る取組を一層推進します。

就学援助事業については、全児童生徒数に占める支給者数の割合は約18.3%となっており、約5人に1人が対象となっている状況です。子どもの貧困対策の推進に関する法律などの関係法令の趣旨を踏まえ、今後も引き続き、援助が必要な児童生徒等の保護者に対し、「広報おおむた」や学校等を通じて就学援助制度の周知を図るとともに、申請手続面の負担軽減も図りながら、必要な援助を適切な時期に実施できるよう努めていきます。また、実態も考慮しながら、よりよい就学援助制度について検討します。さらに奨学金についても、公益財団法人福岡県教育文化奨学財団の奨学金制度のほか、家庭の状況に応じた奨学金制度等についても学校との連携のもとに周知を行うことで就学支援の充実を図ります。

学校保健事業については、児童生徒及び教職員等を対象とした各種健康診断事業において、有所見者に対し二次検査や精密検査の受診を勧奨することで、早期発見、早期治療を促し、児童生徒等の健康の保持増進に努めるとともに、災害共済給付事業についても、各学校と連携し災害発生時における適正な医療費等の給付に努めます。

主要施策 2 特別支援教育の推進

個別の教育支援計画・個別の指導計画の改善・充実を図るなどにより、障害のある児童生徒の自立と社会参加に向けた取組を進めます。また、特別支援教育支援員の配置など、一人一人の障害の状態に応じた具体的な支援を行います。

【主な事業】

○特別支援教育推進事業〔学校教育課〕

（１）要支援と判断された児童生徒への支援員の配置

就学支援委員会等により要支援と判断された児童生徒 307 人を支援するため、小学校 19 校に 66 人、中学校 8 校に 24 人、計 90 人の特別支援教育支援員を派遣しました。きめ細かな支援を受けることで、対象児童生徒本人の精神的な安定が図られ、周囲の児童生徒の理解も進み、学級全体が落ち着き、集中して学習に取り組むことができました。また、保護者の介助等の軽減も図られました。

（２）校内支援体制及び支援内容の充実

全支援員を対象に、支援員の業務内容や具体的な支援の在り方などの研修会を 2 回（5 月・11 月）実施し、支援員による児童生徒の発達障害等への理解促進と個に応じた具体的な支援内容の充実に努めました。

○特別支援学校医療的ケア事業〔学校教育課〕

（１）医療的ケアを行う看護師の配置

大牟田特別支援学校の対象児童生徒 5 人に対し、3 人の看護師を配置しました。校長を中心とした医療的ケア運営委員会を毎学期 2 回開催し、主治医・指導医の指導のもと、保護者の理解も得ながら医療的ケアを行うことで、児童生徒の症状は安定し、保護者の負担も軽減されました。また、対象児童生徒の年度途中の増加に対しても対応できるよう、看護師の一定の増員も可能としました。

○教育相談事業〔指導室〕

（１）教育相談員による児童生徒の障害に関する相談への対応

教育相談室に寄せられる電話や面接での相談の中から、保護者や児童生徒の問題行動等の背景に障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や関係機関との連携を図り、教育的ニーズに対応しました。

（２）特別支援教育巡回指導員による巡回相談

不登校や引きこもりになっている児童生徒の背景に、障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や担当の S S W、関係機関、保護者等との連携を図り、家庭訪問を実施するなど不登校等の解消に向けて対応しました。

巡回件数 362 件

相談件数 736 件

（３）就学支援委員会の開催

在学中の児童生徒及び令和 7 年度入学児を対象に、就学支援委員会を 6 月と 9 月の 2 回開催し、医学・心理・教育の面から就学支援における教育相談を行いました。

教育相談者数（人）

小学校	中学校	特別支援学校	入学予定児	合 計
13	2	0	24	39

○通級指導教室運営事業〔指導室〕

（１）専門の教職員及び通級指導教室指導員による指導・支援

生涯学習支援センターに設置している通級指導教室で、言葉や情緒等に課題がある児童生徒に対して、個別や集団での指導を行いました。

「あじさい教室１組」への通級者	２０人（小学校：情緒）
「あじさい教室２組」への通級者	２１人（小学校：LD ^{※１} （学習障害）、 ADHD ^{※２} （注意欠陥／多動性障害））
「こすもす教室」への通級者	１０人（中学校：ADHD）
「ことばの教室」への通級者	１２人（小学校：言語）

※１：LDとは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの。

※２：ADHDとは、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び／又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすもの。

（※１、※２とも、文部科学省の資料から抜粋）

（２）巡回通級指導員による巡回指導・支援

LD、ADHDにより通級指導教室への入級を希望しているが、送迎が難しい児童を対象に、巡回通級指導員が当該児童の在籍校を巡回して指導を行いました。

対象児童数 １４人

（３）保護者相談

教育相談室に寄せられる相談の中から、通級指導に関する相談について、通級指導教室担当教員が保護者からの相談に対応しました。

○交流教育推進事業〔指導室〕

（１）学校間交流

特別支援学校と小・中学校間の交流、小・中学校の特別支援学級間の交流など、様々な交流を行いました。

（２）ふれあい共室

生涯学習課所管「子ども交流体験事業」の「（２）交流教育地域推進事業ふれあい共室」（６６ページ）を参照）。

（３）交流教育の啓発

６月に「ふれあい共室」の参加募集を市内の全学校に配布するとともに、１月に合同作品展の広報を行いました（合同作品展はＲ７年２月１４日（金）～１８日（火）に大牟田文化会館において実施）。

○合同運動会・合同作品展の実施〔指導室〕

（１）小・中・特別支援学校合同作品展（再掲）

（３２ページの「児童生徒の作品展」の（２）を参照）。

○早期教育相談事業〔指導室〕

（１）早期教育相談連絡協議会の開催等

４月に早期教育相談の啓発チラシを作成・配布し、幼稚園や児童福祉施設等の関係機関・団体を通して保護者への啓発を行いました。

学識経験者や関係機関・団体で構成する早期教育相談連絡協議会について、６月３日（月）

にR 6 年度 1 回目の会議を開催し、情報の共有を行いネットワークの強化を図りました。
R 7 年 2 月 1 0 日（月）に 2 回目の会議を開催し、R 6 年度 of 取組の振り返りと次年度の計画について協議を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
特別支援教育支援員の配置効果	目標値 (%)	100	100	100	100	100	全ての対象児童生徒について状態の改善が図られることを目指します。 [現状値：100% (R4 年度実績)]
	実績値 (%)	100					
	達成度 (%)	100					

【指標達成度に対する要因分析】

特別支援教育支援員活用事業については、支援員の配置によって、対象児童生徒が情緒的に安定し、落ち着いた学習態度や行動へとつながり、学習効果の向上が図られたほか、学校生活での安全性の確保においても効果をあげています。また、児童生徒の人間関係作りにおいて、互いを理解し合うことができるような支援により、周囲の児童生徒も落ち着きます。さらに、担任教師も学級全体に目が行き届くようになることで、学級が落ち着き、そのような児童生徒の姿が保護者に安心感をもたらしたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、障害のある児童生徒の自立や社会参画に向けた取組を支援する視点に立ち、特別な支援を要する児童生徒の個別の指導計画・支援計画の作成、特別支援学校における相談活動、特別支援教育コーディネーターの育成など、学校と連携した取組を進めていきます。また、関係機関相互や専門家と連携を図り、相談体制等の充実を進めるとともに、特別支援教育に関する研修会等を開催し、各学校における児童生徒の教育的ニーズに応じた具体的な支援の実践へつないでいきます。さらに、R 5 年度から配置した特別支援教育巡回指導員やR 6 年度から配置した巡回通級指導員などと併せて、よりきめ細かな支援を進めていきます。

【基本施策Ⅲ】地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的・効果的に推進し、学校・家庭・地域の連携による学校運営や児童生徒の規範意識の育成、「共育」と「響育」の風土の醸成など、地域とともにある学校づくりに取り組みます。

主要施策 1 地域の力を活かした学校運営の推進

全ての中学校区単位でのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組を一層進めるとともに、中学校の部活動の地域との連携の支援など、地域の力を活かした学校運営を推進します。

【主な事業】

●小中一貫教育推進事業〔学校教育課〕（再掲）（17・18ページを参照）

○部活動地域移行支援事業〔学校教育課〕

（1）各中学校への部活動指導員の配置と活用

中学校における部活動の指導体制の充実を図るとともに、教職員の長時間勤務の削減や経験のない競技等の指導等の負担の軽減を図るため、部活動の技術的な指導に従事する部活動指導員を18人配置しました。

（2）部活動指導員の研修の実施

福岡県教育委員会が主催する研修会（6月、11月）が開催され、服務に関する内容、生徒理解に基づく指導等についての研修が行われました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
学校のニーズに合わせた部活動指導員の配置率	目標値（%）	100	100	100	100	100	配置の要望があった中学校に対し、その競技等の指導ができる指導員を配置します。
	実績値（%）	100					
	達成度（%）	100					

【指標達成度に対する要因分析】

中学校区ごとに、年間計画に基づき小中連携による全員参加の研修会や担当者による研修会が行われました。その結果、教育委員会が主催する小中合同の実践交流会において、小学校と中学校が活発に意見交換を行い、研修会が充実しました。

また、本格導入した宮原中学校区、試行的に導入した宅峰中学校区、松原中学校区、歴木中学校区、橘中学校区に配置した常勤の地域学校協働活動推進員が、中学校区内の小学校と中学校を、また、小学校同士を結び付け、地域の人材と学校をつなぐ役割を果たしました。特に宮原中学校区に設置した学校運営協議会においては、年に3回の会議を開いて校区として育てたい児童生徒像を話し合い、小中学校4校の共通した学校教育目標を設定し、日々の教育活動を展開することができました。このような会議に向けた取組も多く開催されました。

部活動の地域移行への支援については、学校が要望する部活動に部活動指導員を配置することで、競技等の専門的な指導が行われ、生徒の競技力や活動意欲の向上等、安全で充実した部活動が実施できたと考えます。

【今後の方向性】

今後も、中学校校区ごとの研修会の定期的な実施と内容の充実を図るとともに、教育委員会が主催する各教科担当者会や教育講座等において、小中連携の視点を取り入れていきます。

また、小中一貫教育制度を本格的に導入した宮原中学校区、試行的に導入した宅峰中学校区、松原中学校区、歴木中学校区、橘中学校区においては、9年間を見通した教育課程を実施していきます。

宮原中学校区に続き、試行的導入2年目の宅峰中学校区と松原中学校区においても、試行的に学校運営協議会を設置しました。また、小中一貫教育制度を本格的に導入した宮原中学校区の成果と課題を整理して、松原中学校区、宅峰中学校区への導入に生かすとともに、歴木中学校区や橘中学校区にも、学校運営協議会設置に向けた準備を進め、9年間を見通して児童生徒を育てる仕組みづくりを行います。

部活動の地域移行への支援については、今後も、学校が要望する部活動に部活動指導員を配置し、生徒の競技力や活動意欲の向上等、安全で充実した部活動の実施、教職員の負担軽減を図り、生徒にとって望ましい部活動の環境の整備に努めていきます。また、学校職員を中心に構成してきた部活動検討委員会に、地域のスポーツ団体、文化団体、市の関係部署等の学校外の組織からも委員として加わっていただき、部活動の現状や課題について共有するとともに、人材確保等に関する協議を行います。

主要施策 2 学校・家庭・地域の連携

大牟田地域教育力向上推進協議会との連携により、児童生徒の規範意識の育成や「共育」と「響育」の風土の醸成など、学校・家庭・地域の連携を推進します。

【主な事業】

●小中一貫教育推進事業〔学校教育課〕（再掲）（17・18ページを参照）

○大牟田地域教育力向上推進協議会との連携〔指導室〕

（1）大牟田地域教育力向上推進協議会への補助金の交付

学校教育・家庭教育・地域教育の向上を目指した取組を行っている大牟田地域教育力向上推進協議会に対し、その運営及び活動を助成するため、92万3千円の補助金を交付しました。

（2）大牟田地域教育力向上推進大会の共催

大牟田地域教育力向上推進協議会と連携し、R7年1月25日（土）に大牟田文化会館において大牟田地域教育力向上推進大会を開催しました。第1部（青少年健全育成発表）では、児童生徒による「ありがたい感謝のことば」の発表や、「思いやり・親切」をテーマにした中学校区「児童会・生徒会リーダーミーティング」の取組の発表等がありました。第2部（大牟田市ユネスコスクール・SDGs／ESD子どもサミット）では、天領小学校、高取小学校、三池小学校、田隈中学校の児童生徒がSDGs／ESDの取組を発表しました。

（3）教育力向上に関する啓発資料の作成・配布の共同実施

教育力向上に関する啓発資料を作成し、4月に各学校から保護者に配布しました。

また、長期休業中の好ましい生活習慣等についてのチラシを作成し、1学期の終業式の7月19日（金）、2学期終業式の12月24日（火）に、ゆめタウン大牟田において協議会役員が市民に配布しました。

（4）「ありがたい日」の作文・表彰の共同実施

毎月10日を「ありがたい日」とし、各学校でのぼり旗を掲げました。校長会において「ありがたい日」の作文について周知し、各学校において取り組みました。

（5）中学校区教育力向上の促進

大牟田地域教育力向上推進協議会の地域部会である大牟田市中中学校区教育力向上連絡協議会が中心となり、各中学校区において、校区の実態に応じて、マナーアップ3運動「挨拶運動・環境美化運動・交通安全運動」に取り組みました。

○学校評価推進事業〔指導室〕

（1）学校の自己評価、結果公表に係る指導助言

各学校に対し、重点目標や教育活動全般に関する学校評価計画を立て、その評価計画に基づいて、学校の自己評価並びに結果の公表を計画的に行うよう指導しました。

各学校の評価結果（学校評価報告書）については、各学校のホームページに掲載して公表しました。

（2）学校関係者評価委員会の開催に係る指導助言

各学校では、学校評議員、地域代表、保護者代表、接続する関係学校代表等によって構成される学校関係者評価委員会を設置し、計画的に学校関係者評価委員会を開催しています。学校関係者評価委員会では、学校の重点目標に係る成果指標や取組指標等の設定の説明や客観的資料に基づき達成状況等の報告を行うよう指導助言を行いました。

各学校では、3学期に自校の教育活動や学校経営について自己評価を行い、学校関係者

評価委員会において自己評価の結果について評価が行われました。各学校は、評価結果とそれを踏まえた改善計画を学校評価報告書としてまとめ、教育委員会に報告しました。

○学校評議員制推進事業〔学校教育課〕

(1) 学校評議員の委嘱

学校長からの推薦を受け、小・中・特別支援学校に合計 84 人の学校評議員に委嘱を行いました。

(2) 意見聴取状況の把握

学校長が学校評議員から基本的に年 3 回の意見聴取を行う中で、専門的な識見からの考え方や地域住民・保護者の意向を学校運営に反映し、学校の課題解決に役立てるとともに、学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育に関わる地域に開かれた学校づくりを推進しました。

○土曜日授業の推進〔指導室〕

(1) 学校・家庭・地域の連携の視点からの土曜日授業の推進

小学校においては年間 3 回、中学校においては年間 2 回の土曜日授業を計画的に実施し、保護者や地域への学習公開を行ったり、保護者や地域の人材を活用した多様な体験学習等を実施したりするなどして、教育活動の充実を図りました。

○幼保・小連携の推進〔指導室〕

(1) 合同研修会、学校見学、体験授業、出前授業等の実施

小学校の授業を、関係する幼稚園・保育園の職員が参観したり、園児が小学校の授業や行事等に参加したりしました。

3 学期に小学校に対して、幼稚園・保育園と小学校の情報の共有についての助言等を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
学校運営協議会の会議の開催実績	目標値 (回)	3	3	3	3	3	会議は、学期 1 回の開催を基本とします。 [現状値: 3 回 (R4 年度実績)]
	実績値 (回)	3					
	達成度 (%)	100					

【指標達成度に対する要因分析】

大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進により、各学校並びに各中学校区の特色をふまえて、学校・家庭・地域が一体となった取組が展開されるとともに、各学校において、自校の教育活動に関する情報の発信や、地域や保護者の意向の学校運営への反映など、地域に開かれた学校づくりが推進され、学校教育における学校・家庭・地域の連携が充実しました。

各学校の特色ある教育活動の展開や学習環境の整備等におけるゲストティーチャーの活用については、各学校、地域や関係機関等の方々との交流が増えてきています。地域のために尽力されている方や第一線で活躍されている方々の熱い思いに触れ、自己の生き方について考えるよい機会となっています。

【今後の方向性】

大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進による学校・家庭・地域が一体となった取組は、今後も引き続き推進します。また、学校評価推進事業の充実・推進に取り組み、各学校における地域社会に開かれた学校づくりへの支援・指導を行っていきます。

学校評議員制推進事業については、学校長が、学校評議員から、地域への授業公開の在り方、地域住民の教育活動への参加、学校行事の運営や安全管理の在り方、小中連携の方策など多岐にわたり学校運営を支援する意見をいただいております。今後もこれらの意見を参考に検討を進めていきます。

小中一貫教育推進事業については、中学校区ごとに学校運営協議会を設置するとともに、地域学校協働活動推進員を配置し、中学校区の小学校と中学校が共通した学校教育目標のもとで、さらなる学校・地域・家庭の連携を進めていきます。

【基本施策Ⅳ】学校教育環境の充実

本市の実情に応じた活力ある学校づくりの実現のため、ICT環境の整備や適正規模化・適正配置による学校再編整備等を推進します。また、児童生徒の豊かな学びを育むことができる、安全・安心で、かつ環境への負荷を考慮した施設整備を図るなど、学校教育環境を充実させます。

主要施策 1 学校再編整備の推進

適正規模（適切な学級数）化と適正配置（適切な通学距離・時間等）による学校再編整備を進め、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨（せっさたくま）することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくことができるよう教育環境を整備します。

【主な事業】

●学校再編整備推進事業（23・24ページを参照）〔学校再編推進室、学校教育課、学務課〕

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
学校再編による教育環境向上の満足度（R7・R9 白銀中学校及び御木中学校）	目標値（%）	—	90.0	—	90.0	—	直近の中学校再編での生徒・保護者・教職員アンケート結果（H27 宅峰中学校：80.0%、H29 宮原中学校：86.5）を踏まえて設定
	実績値（%）	—		—		—	
	達成度（%）	—		—		—	

【指標達成度に対する要因分析】

R7年度及びR9年度に再編校の生徒、保護者、教職員を対象とするアンケート調査を実施し、再編の効果を検証します。

【今後の方向性】

白銀・御木中学校の生徒、保護者、教職員にアンケート調査を実施し、学校再編の効果や課題の検証を行います。また、市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画について、引き続き保護者や地域等に内容の周知を行うとともに、R7年度に「白光・甘木中学校再編協議会」を設置し、R9年4月の新校の開校に向けて、校名案の選考、通学路の安全対策、学校施設整備・備品の要望等について協議します。

施設整備について、旧歴木中学校（御木中学校）は、R6年度で校舎改修及び体育館の改修工事が完了し、予定の再編工事が概ね完了しました。旧橘中学校は、引き続き校舎増築及び擁壁築造工事を行うとともに、体育館の新築工事や校舎改修、旧体育館の解体工事及び多目的棟の新築工事に着手する予定です。白光中学校は、校舎（管理棟）及び体育館の改修工事等に着手します。

また、上内小学校及び玉川小学校については、小規模特認校制度の運用により複式学級の解消に努めており、検証結果や適正配置の観点などを踏まえ、今後も引き続き小規模特認校制度を継続していきます。上内小学校では、R6年度は5・6年生で複式学級が発生しましたが、R7年度には解消する予定です。

主要施策 2 学校施設・設備の整備

教育環境向上と老朽化対策を一体的に進める学校施設の長寿命化改修等を行うとともに、空調設備の設置、トイレの洋式化、バリアフリー化などを進め、安全・安心を確保しつつ新しい時代の学びの実現に向けて取り組みます。

【主な事業】

○義務教育学校設置推進事業〔学校教育課、学務課〕

（１）義務教育学校施設整備の基本構想の策定

松原中学校区の義務教育学校整備に向け、R 6 年度に基本構想を策定する予定でしたが、御木中学校、白銀中学校の学校再編に係る事業に注力する必要性が生じたため、基本構想の策定準備にとどまりました。

○学校施設長寿命化改修事業〔学務課〕

大牟田市学校施設長寿命化改修計画に基づき、学校施設実態評価により改修が必要な施設の課題整理を行いながら長寿命化改修を行っています。

R 6 年度は、銀水小学校校舎（教室棟）の改修工事を行いました。

（単位：千円）

内容	事業費
長寿命化改修事業（銀水小学校）	199, 193

○空調設備設置事業〔学務課〕

R 元年度から特別教室への空調設備の設置を開始し、R 4 年度に中学校及び特別支援学校の、R 5 年度に小学校 9 校の特別教室に順次空調設備を設置してきました。R 6 年度は、小学校の残り 10 校の特別教室への空調設備の設置に向けた契約を行い、R 7 年度中頃に整備が完了する予定です。

（単位：千円）

内容	事業費
空調設備設置工事（R 7 年度への予算繰越し）	149, 100

○民間プール活用事業〔学校教育課〕

（１）橘中学校、松原中学校及び白光中学校における民間プールを活用した水泳指導の実施と効果の検証

橘中学校、松原中学校及び白光中学校において、全学年の体育科の水泳授業で民間プールを活用し、各学級 4 回（合計 8 時間）実施しました。専門のインストラクターとともに効果的かつ効率的な指導を行うことができました。

民間プールを活用することで、水泳授業が円滑に実施できるよう、学校と事業者の間で指導方法・内容等の密な連携を図っていきます。

○災害対策事業〔学務課〕

（１）災害対策（小学校）

ハザードマップの冠水想定地区内にある中友小学校、明治小学校、白川小学校、手鎌小学校及び天領小学校の受変電設備のかさ上げ工事を R 4 年度から実施しています。このうち、天領小学校分を除く 4 校については R 5 年度内に工事が完了しており、残りは天領小学校のみとなっています。

○災害復旧事業〔学務課〕

(1) 甘木中学校体育館西側擁壁復旧工事

R 5 年 7 月 3 日の大雨により一部が破損した甘木中学校体育館西側擁壁の改良復旧工事を R 6 年度に実施しました。

(単位：千円)

内容	事業費
擁壁復旧工事（甘木中学校）（R 5 年度からの予算繰越し）	18,532

○学校施設・設備改修事業〔学務課〕

(1) 学校施設整備（小学校）

R 6 年度は、プール水槽等塗装工事、正門及び囲障改修工事、普通教室床改修工事、廊下及び渡り廊下改修工事、中継ポンプ設置及び配管工事を行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
プール水槽等塗装工事（羽山台小学校）	9,715
正門及び囲障改修工事（手鎌小学校）	14,426
普通教室床改修工事（銀水小学校）	5,896
廊下及び渡り廊下改修工事（吉野小学校）	2,898
中継ポンプ設置及び配管工事（高取小学校）	4,087

(2) 学校施設整備（中学校等）

R 6 年 4 月に宅峰中学校ほしぞら分校の開校に伴い、普通教室の改修工事を行いました。また、宅峰中学校の校舎床改修を行いました。

(単位：千円)

内容	事業費
普通教室改修工事（宅峰中学校ほしぞら分校）	1,596
白蟻被害による校舎床改修工事（宅峰中学校）	2,035
フェンス設置工事（大牟田特別支援学校）	2,985

(3) トイレ洋式化の計画的推進

校舎トイレの洋式化は、R 7 年度末の洋式化率 95% を目標に、洋式化率の低い学校や特別に要請のある学校において集中的に進めています。

R 6 年度は、小学校 14 校（50 か所）及び中学校 1 校（5 か所）計 55 か所を改修しました。

これにより、校舎トイレの洋式化率は、R 5 年度の 78.9% から 6.6 ポイント向上し、85.5% となりました。また、校舎、体育館、プール等を含めた全体の洋式化率は 86.0% となりました。

(単位：千円)

内容	事業費
小学校トイレ洋式化	13,314
中学校トイレ洋式化	1,264

(4) 机、椅子等の更新

学校毎に傷み具合などを判断し、小・中・特別支援学校全校で、児童生徒用の机 132

台、椅子１３１脚を更新しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
校舎トイレの洋式化率	目標値 (回)	85.0	91.0	93.0	94.0	95.0	衛生環境の向上、家庭における洋式トイレの普及状況、バリアフリー化、防災機能の強化などの観点から、校舎トイレの洋式化を進めます。 [現状値：70.8%（R4年度実績）]
	実績値 (回)	85.5					
	達成度 (%)	100.6					

【指標達成度に対する要因分析】

校舎トイレの洋式化を年次計画で行い、洋式化率が60%に満たない学校や洋式化の要請のあった学校15校（55か所）と学校再編整備と合わせてR3年度から引き続いて集中的な改修を行いました。これにより、校舎トイレの洋式化率は、85.5%となりました。

【今後の方向性】

松原中学校区の義務教育学校整備については、R7年度に基本構想・基本計画策定等支援事業者を選定し、R8年度・R9年度の2か年度で基本構想及び基本計画を策定します。

学校施設の長寿命化改修については、学校施設長寿命化改修計画に基づき、総合計画の財政計画との整合を図りながら改修工事を進めます。R8年度は銀水小学校校舎（管理棟）の改修に係る実施設計を行い、R9年度に工事を行うこととしています。

空調設備の設置については、R7年度中頃に残りの小学校10校の特別教室への整備が完了の予定です。また、R7年度から給食調理室への設置に向けた取組を開始し、R7年度は6校の実施設計を行い、翌年度に設置を行う予定です。

トイレの洋式化の推進については、R3年度末に既に当初目標の66%（R5年度）を達成し、以降順次目標を改め、現在95%（R10年度）としています。文部科学省がR7年度末で95%を目標としていることより、今後は、学校再編整備と整合を図りながら、R7年度も引き続き学校の校舎（65か所）のトイレの様式化を重点的に進めます。

基本施策Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進

市民一人ひとりが互いの人権を尊重し、それぞれの多様性を認め合うとともに、人権についての正しい理解を深めるため、関係機関と連携しながら人権教育・啓発活動に取り組みます。

主要施策１ 人権・同和教育の推進

学校教育活動全体を通じて、人権尊重の視点を取り入れた教育を推進し、児童生徒に偏見や差別意識をなくす意欲と実践力を涵養し、人権が尊重される社会の基礎づくりを進めます。

また、人権・同和教育研究協議会等と連携しながら、広く市民を対象に、人権についての学習活動や啓発活動を推進し、人権が尊重される社会の形成を進めます。

【主な事業】

●人権・同和教育・啓発推進事業〔指導室、人権・同和教育課〕（２５・２６ページを参照）

○大牟田市人権・同和教育研究協議会との連携〔人権・同和教育課〕

（１）大牟田市人権・同和教育研究実践交流会の共催

第２８回人権・同和教育研究実践交流会

と き ８月２１日（水）

ところ 大牟田文化会館等

参加者 ４８８人

全体会 記念講演「好感・共感・親近感が人権力を育む

～人権・同和教育のさらなる創造めざして～」

講 師 明石 一郎（関西外国語大学短期大学部教授・人権教育思想研究所長）

分科会 「人権・部落問題学習①」、「子ども支援①」、「進路・学力保障」など７分科会を開催

（２）課題別委員会「子ども就学支援」の支援

課題別委員会「子ども就学支援」で、「２０２４（令和６）年度版 おおむた子ども支援ガイドブック～子どもを、家庭をチームワークで支えるために～」を作成し、学校をはじめとして大牟田市人権・同和教育研究協議会加盟団体に配付するとともに、ホームページに掲載し、情報提供を行いました。

（３）人権連続講座の共催

①第１回

と き ９月３０日（月）

ところ 大牟田市総合体育館１階 第１～４会議室

内 容 講演会「日本国憲法と部落差別」

講 師 上杉 聡（元大阪市立大学教授、市民のための人権大学院/じんけん SCHOLA 共同代表）

参加者 ５４人

②第２回

と き １０月２５日（金）

ところ 大牟田市総合体育館１階 剣道場

内 容 講演会「出会いの中で学んだこと」

講 師 細貝 両作さん（部落解放同盟熊本県連合会南関支部長）

参加者 ５５人

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	目標値設定の考え方
大牟田市人権・同和教育カリキュラムの活用実績	目標値 (%)	100	100	100	100	100	全ての市立学校で、大牟田市人権・同和教育カリキュラムを活用した授業研究会を実施することを目標とします。 [現状値：100% (R4 年度実績)]
	実績値 (%)	100					
	達成度 (%)	100					

【指標達成度に対する要因分析】

本市では、全市的に人権・同和教育の内容を充実させ、小・中9年間を通して、系統性のある教育を実施し、児童生徒に正しい認識と差別をなくそうとする態度を確実に身につけさせるためにH30に人権・同和教育カリキュラム検討委員会を立ち上げました。R4年度から、小学校5・6年、中学校1・2・3年で、R5年度には、小学校1～4年生で、全小・中学校の教育課程に位置付け、学習を行っています。カリキュラムの周知・徹底とさらなる充実に向けて、教育講座や実践交流会で研修の場を設けるとともに、各学校で授業を通した研修会の実施について指導しています。

【今後の方向性】

今後も、人権・同和教育のさらなる充実に向けて、児童生徒に正しい認識と差別をなくそうとする態度を確実に身につけさせるために、各学校にカリキュラムを確実に実施していくと共に、夏季講座や実践交流会の研修に充実を図ります。

諸事業を開催する際には、開催テーマに対する理解や認識を深めてもらうとともに、若年層を含めた幅広い市民の参加が得られるように企画、周知することも必要です。このことから、周知方法についても、広報おおむたや市ホームページのほか、愛情ねっと、公式LINE等のSNSを活用するとともに、住民自治組織や市内の各種団体等に働きかけを行うなど、広く周知、啓発していきます。

教 育 施 策 の 推 進 状 況

(市 長 部 局 関 係 分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より

市長部局関係分においては、総合計画「大牟田市まちづくり総合プラン」第1編に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策に係る実績を掲載しています。

「大牟田市まちづくり総合プラン」施策体系（関係分の抜粋）

第1編 未来を担う心豊かで元気な人が育まれるまち

第4章 学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動するひとの育成

視点1 次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ

視点2 S D G s / E S Dを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

視点3 学習環境の整備・充実

視点4 社会教育施設の機能向上

視点5 青少年の問題行動や悩みへの対応

第5章 スポーツに気軽に親しめる機会と環境づくり

視点1 誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり

視点2 活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり

視点3 スポーツがしやすい環境づくり

第6章 郷土の歴史と文化芸術を通して心豊かに生活できる社会づくり

視点1 まちの歴史や文化を守る・知る・活かす

視点2 文化芸術事業の充実

視点3 文化芸術を活用した新たな価値や多様性の創出

視点4 文化芸術活動への支援、環境づくり

成果指標の令和6年度実績値

施策	成果指標	現状値 (R4年度)	目標値 (R6年度)	実績値※ (R6年度)	達成度 (R6年度)
第1編第4章 学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動するひとの育成 ※点検・評価の対象	地域のために自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合	46.2%	50.0%	54.1%	108.2%
同第5章 スポーツに気軽に親しめる機会と環境づくり ※点検・評価の対象外	週1回以上、運動・スポーツを行っている市民の割合	39.6%	54.0%	44.7%	82.8%
同第6章 郷土の歴史と文化芸術を通して心豊かに生活できる社会づくり ※点検・評価の対象外	1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合	47.3%	80.0%	50.8%	63.5%

※実績値(R6年度)は、「まちづくり市民アンケート」集計結果による(18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して実施し、472人が回答)。

令和6年度重点事業

まちづくり総合 プラン第1編		事業名	ページ
章	視点		
4	1	「高校生まちづくり部」活動推進事業	65

令和6年度重点事業の取組状況報告書

(担当課：生涯学習課)

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動するひとの育成 (視点1) 次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ 「高校生まちづくり部」活動推進事業(69・70ページ参照)
-----	---

目的 高校生等を中心とした概ね18歳までの世代が自ら考え、企画した事業等を実践・運営し、多くの人とひとつのことをやり遂げることで、仲間意識や達成感を得るとともに、まちに貢献する気持ちや郷土をより良いまちに変えていこうとする姿勢を身に付けることを目指します。							
事業内容 市内7つの高校等から集まった高校生14人が月1～2回、大牟田駅東口のスペースを拠点に活動しました。専門家による講義やフィールドワーク、清掃ボランティア、各種イベントへの参加などを行い、まちづくりに必要な知識・経験を実践的に学びます。							
指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	指標・目標値設定の根拠
将来、大牟田のために役に立ちたいと思う高校生の割合	目標値(%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	事業に参加した高校生等向けアンケートにおいて90.0%以上を目指す。
	実績値(%)	100					
	達成度(%)	111.1					

取組実績						
- 市内7つの高校等から14人の高校生が参加し、月1～2回の頻度で大牟田駅東口のスペースを拠点に活動を行いました。 - 初年度の取り組みとして、まちづくりの基本的な考え方を学ぶため、専門家による講義を実施し、高校生のまちづくりへの理解を深めました。 - 活動の初回では、木製の椅子を制作するワークショップを実施しました。椅子の「ストラクチャー(構造)」と「スキン(表情)」の両面を意識しながら作業することで、「まちづくり」について「ものづくり」を通して学び、まちづくりの基本的な考え方に触れる導入的な機会となりました。 - 地域で活躍する人の姿を直接知る機会として、まちを歩くフィールドワークも実施し、地域への関心を深めました。 - 清掃ボランティア活動「グリーンバード」へ参加し、地域に貢献する活動を体験するとともに、公共性や協働の意識を育みました。 - 地域イベント「まち、いこ！Gyanフェス」では、高校生が自ら企画・運営に関わる形で休憩所を出店し、地域住民との交流や実践的な経験を積むことができました。						

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	500 千円 千円)	250			250

問題点及び課題					
- 高校生の学業や学校行事等との両立を図りながら、活動の継続性を確保することが難しく、より柔軟な運営体制や日程調整が今後の課題です。 - 部員の入れ替わりが毎年度生じるため、高校生の活動ノウハウや意思を継承する仕組み(マニュアル化・記録整備等)の構築が必要です。					

今後の方向性(具体策)					
- 高校生の学校行事等に配慮した上で、高校生が参加しやすいスケジュールや活動規模での実施を図ります。 - 活動内容や運営方法を記録、可視化し、次年度以降の部員に引き継ぐためのマニュアル等を高校生中心に整備します。 - 本事業は、高校生自らが主体的に地域課題を捉え、企画・運営を行うプロセスを重視するものであり、R7年度以降も、伴走支援型の体制を維持しながら、高校生の主体性を一層引き出す活動へと発展させていきます。					

評 価					
事業実施後に行ったアンケートにおいて、「高校生まちづくり部に関わったことで、将来、大牟田のために何かしたいと思いましたか?」という問いに対し、回答者全員から「強く思った」または「思った」との回答があり、本事業の目的である「まちに貢献する気持ちや郷土愛の醸成」の一定の達成が図られました。今後とも、より多くの高校生等に事業の体験の機会を提供できるよう取り組みます。					

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第4章】 学びを通じた人とのつながりの促進と、地域で自ら行動するひとの育成
誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向け、ともに学び続け、自ら行動する担い手がはぐくまれるまちを目指します。 そのため、次世代を担う子どもたちが将来においての自己実現ができる取組、学びを通じて人々のつながりを作り出し、持続的な地域コミュニティを支える人づくりを進めます。	

（視点1）次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ

次世代を担う子どもたちが、さまざまな体験や活動を通じて、自己肯定感を高めるとともに郷土愛の醸成を図ることで、将来にわたってまちづくりに参画する姿勢をはぐくみます。また、高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が、学習活動や地域活動を通じて子どもの主体性を大切にしながらその成長を支えていけるよう取り組みます。

【主な事業】

○子ども交流体験事業〔生涯学習課、公民館〕

（1）子ども交流体験活動事業〔公民館〕

地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験、子どもたちの体験活動講座を86講座開催しました（2講座は大雨による避難所開設のため中止）。

（各講座の詳細は、138～160ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（2）交流教育地域推進事業ふれあい共室

障害のある子どもと障害のない子どもがボランティアと交流しながら、レクリエーションなどの活動を通して人間性や社会性を育むこと、ボランティアが活動の意義を認識することを目的に実施しました。

①回数

- ・事前研修会 1回
- ・保護者との懇談会 2回
- ・活動 8回

②延べ参加者（人）

- ・子ども 142人
- ・ボランティア 131人
- ・保護者（懇談会） 58人

（3）子ども未来デッサン事業

小学校中・高学年（4～6年生）が、自分の将来のことを考え、夢や目標を見つけるきっかけをつくるとともに、未来へ向かって頑張る姿勢を身に付けてもらうための一助となることを目指した講座です。

様々な職業人から、子ども達へ現在の職業に就いたきっかけや、夢を実現させるために努力したこと、仕事のやりがいや様子などの話をしていただき職業体験も実施しました。

H26年度から29年度までの4年間は、生涯学習課で実施しました。H30年度からR2年度までは地区公民館事業として実施し、R3年度から再び生涯学習課で実施しています。また、R5年度から中学生の生徒向けの講座も実施しています。

①講座内容（小学４～６年生対象）

講座名	講 師	と き	と こ ろ	受講者数
美容師	古賀 大介	7 月 30 日（火）	大牟田市市民活動等多目的交流施設（えるる）	8 人
駅員	石松 努	8 月 20 日（火）	新大牟田駅	10 人
プロ野球を支える人	西山 修平 山坂 紗	11 月 30 日（土）	タマホーム スタジアム筑後	41 人

②講座内容（中学生対象）

講座名	講 師	と き	と こ ろ	受講者数
化学工場で働く人	片山 萌夏 緒方 優真	12 月 25 日（水）	三井化学株式会社 大牟田工場	18 人

（４）通学合宿や子どもの居場所への支援

①通学合宿支援事業

通学合宿は、子どもたちが家庭を離れ、異年齢集団で地区公民館等に寝泊りしながら学校に通う取組です。買い物、食事作り、掃除等の身の回りの基本的なことは、ボランティアの支援のもと、子どもたちができるだけ自分たちで行います。

ア 新規実施校区を対象とした通学合宿モデル事業

行政と校区の実行委員会が連携して通学合宿を実施することにより、今後地域が自主的な取組で通学合宿を実施するための準備期間とするとともに、通学合宿への認知度の向上を図ることを目的としています。Ｒ６年度は実施には至りませんでした。

イ 自主的な取組で通学合宿を実施する団体への補助

自主的な取組で通学合宿を実施する団体に対して補助金の交付を行うものですが、Ｒ６年度は、実施する団体はありませんでした。

ウ 通学合宿ボランティアの育成

通学合宿の意義と必要性を理解し、生活面での全般的な指導を行うことができるボランティアを養成することを目的として、新規で実施する校区を対象に通学合宿ボランティア養成講座を実施しています（Ｒ６年度は実績なし）。

エ 今後の意向調査

各地域の実行委員会に今後の通学合宿実施に向けた意向調査を行いました（５団体）。

②子どもの居場所づくり支援事業〔生涯学習課〕

ア 子どもの居場所づくりに取り組む団体への補助

（ア）子どもの居場所づくり運営費補助金の交付

各地域で自主的に「子どもの居場所」を開設する実行委員会等１７団体（定期開設１６団体、長期休業期間中開設１団体）に対して運営費の一部を補助しました。

・市補助金交付団体【定期開設】 １６団体

	交付団体名	開催数	経年
1	「なかよし広場」文化サークル実行委員会	月１回	20 年目
2	友・遊広場見守り隊	月２回	20 年目
3	三池みんなの広場実行委員会	月１回	20 年目
4	吉野校区子どもの居場所委員会	月１回	20 年目
5	みんなの広場羽山台世話人会	月１回	15 年目

6	プレーパークおおむた遊ばせ隊	月 1 回	14 年目
7	高取校区子どもの居場所実行委員会	月 1 回	14 年目
8	大牟田市護身道連盟スポーツチャンバラ協会	月 4 回	13 年目
9	みんなあつまれ子どもの居場所実行委員会	月 1 回	12 年目
10	大正こどもの居場所実行委員会	月 1 回	7 年目
11	げんきいっぱい白川っ子実行委員会	月 1 回	5 年目
12	みなと子どもの広場実行委員会	月 12 回	4 年目
13	一般社団法人 umau. 大牟田支部じじっか・おおむた	月 4 回	2 年目
14	天領校区子どもの居場所実行委員会	月 4 回	2 年目
15	手鎌こどもの居場所あえーる♪	月 3 回	1 年目
16	西浜田町わくわく広場実委員会	月 1 回	1 年目

・市補助金交付団体【長期休業期間中開設】 1 団体

	交付団体名	開催数
1	夏休みお助け隊フレンドシップ実行委員会	年 11 回

・自主運営等の団体数 5 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	駿馬地区アンビシャス広場	週 1 回
2	勝立地区アンビシャス広場	月 1 回
3	カルタンひろば（三池・カルタ歴史資料館）	休館日を除く毎日
4	上官げんきもりもりハウス	月 4 回
5	手鎌わくわく広場	月 1 回

※「自主運営等の団体」とは、市の補助金の交付を受けない団体をいいます。

・不定期開設運営等の団体数 2 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	明治きらめき広場	年 1 回
2	上内なかよし広場	年 1 回

イ 啓発活動

（ア）各居場所の活動予定を示したポスターを毎月発行

（イ）子どもの居場所通信（第 1～3 号）の発行

（ウ）子ども会説明会での居場所啓発（4 月 7 日（日））

ウ 子どもの居場所等連絡協議会における情報交換、研修、体験活動の実施

（ア）情報交換の開催（5 月、12 月、3 月）

大牟田市子どもの居場所等連絡協議会の情報交換会を年 3 回開催し、延べ 74 人が参加しました。

（イ）研修会の開催

と き 9 月 21 日（土）

ところ 総合体育館 参加者 子ども 43 人 大人 22 人

テーマ 「第 2 回折り紙ヒコーキ大会 in おおむた」

（ウ）体験活動（「わくわく子どもまつり」）の実施

と き R7 年 2 月 23 日（日・祝）

内 容 「体験活動 & バザー」

ところ 手鎌地区公民館及び旧サンアビリティーズおおむた

参加者 子ども 371 人・保護者 236 人
 ボランティアスタッフ 136 人
 高校生ボランティア 54 人

内 容 スカットボール、ハートの手さげ作り、プラ板ストラップ作り、サッカーPK戦、ミニバスケ、ぼうしのブローチ作り、プレーパーク、スポーツチャンバラ、リサイクル工作、お菓子釣り、折り紙でコマを作ろう、冒険パン、リリボン・マーケット、アイロンビーズで作品を作ろう、うまい棒射的、飲食バザーほか

(5) 南筑後地域未来の地域リーダー育成プログラム

南筑後地域在住の中学生を対象に、子どもたちが地域に愛着と誇りを持ち、将来を担う次世代のリーダーとしての資質や社会性を身につけるための「南筑後地域未来のリーダー育成プログラム」を実施しました。

①参加自治体

大牟田市、柳川市、大川市、みやま市、大木町

②日程、会場及び内容

ア 8月7日(水)～10日(土) 3泊4日 大川市ふれあいの家ほか
 開講式、オリエンテーション、仁田原建具製作所での組子製作、
 講師による講義、グループワーク、グループ発表、フィールドワーク

③参加対象者及び参加人数

南筑後地域在住の中学1～3年生30人
 内訳：大牟田市10人、柳川市6人、大川市6人、みやま市5人、大木町3人

④講師

南筑後地域に縁のある各界著名人など全国的、国際的に活躍する各界著名人
 横倉 義武 氏(社会医療法人弘恵会 理事長)
 松藤 富士子氏(株式会社ビストロくるるん 代表取締役)
 仁田原 進一氏(仁田原建具製作所 代表)

●「高校生まちづくり部」活動推進事業〔生涯学習課〕(65ページ参照)

(1)「高校生まちづくり部」の活動について

①高校生等企画スタッフ募集

募集方法 ポスター、チラシ、市公式LINE等
 募集期間 5月1日(水)～22日(水)
 応募者数 14人(三池高等学校3人、三池工業高等学校2人、ありあけ新世高等学校1人、明光学園高等学校3人、大牟田高等学校1人、有明工業高等専門学校3人、大牟田北高等学校1人)

②企画会議・振り返り等開催

プレ 6月30日(日) 企画会議
 第1回 8月 8日(木) 椅子づくり
 第2回 9月16日(月・祝) フィールドワーク
 第3回 10月 9日(水) グリーンバードのごみ拾い
 第4回 11月 3日(日・祝) カフェスペース開設
 11月 4日(月・振休) ランドアート
 第5回 11月24日(日) 講話
 第6回 12月 8日(日) オセロ大会
 第7回 R7年1月26日(日) ボードゲーム(かりうち)大会

第8回 R7年3月13日（木）終了式

③事業実施

④高校生まちづくり体験事業推進協議会

協議会開催 第1回 R7年3月25日（火）

○子どもの読書推進事業〔生涯学習課〕

R6年度は、子ども読書推進に係る広報啓発とともに、「大牟田市子ども読書推進計画」に基づき、次のような取組を行いました。

（1）ブックスタート事業

赤ちゃん和父母者が、絵本を通して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける取組として、絵本と布バッグ、お薦めの絵本やおはなし会の情報を紹介したリーフレット（ブックスタートパック）を全ての新生児に配布するブックスタート事業を実施し、R6年度は452人の新生児に配布しました。

併せて、読み聞かせの実演や赤ちゃん和父母者を通してコミュニケーションを楽しむ体験ができる「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を読書ボランティア及び図書館の協力により実施しました。

「赤ちゃんとのコミュニケーション講座」実施状況（会場は市立図書館）

と き	参 加 者
6月21日（金）	5組（10人）
6月22日（土）	5組（11人）
8月30日（金）	台風のため中止
8月31日（土）	
10月25日（金）	3組（7人）
10月26日（土）	5組（15人）
12月6日（金）	3組（8人）
12月7日（土）	3組（6人）
R7年2月28日（金）	9組（20人）
R7年3月1日（土）	4組（11人）

（2）子ども読書推進啓発事業

①啓発チラシ作成・配布

子ども読書の大切さを啓発するチラシを市内小中特別支援学校の児童・生徒に配布しました。

②子ども読書の日記念イベント2024（指定管理者）

4月23日（火）の子ども読書の日に合わせて、子ども読書の日記念おはなし会や特設コーナーの設置等のイベントを実施しました。

（内容等の詳細は、173ページの「社会教育施設等の状況 図書館」の「3 事業の実施状況」の「（1）必須事業」の「②行事」の「ア イベント的事業」の表を参照）

③ホームページへの記事作成・更新

おはなし会の情報や子どもの読書イベントの情報を毎月更新しました。（携帯電話用のページも毎月更新）。

④うちどくノートの作成・配布

R4年度から家庭での読書推進のため、読書記録を残すことが出来る「うちどくノート」を作成し、図書館で配布しています。また、学校等での活用の提案を含め、ホーム

ページからもダウンロードし印刷ができるように掲載を行い、広く周知しています。

○各世代に応じた学習活動支援事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕

高齢者や子育て世代をはじめとする地域の大人が学習活動や地域活動を通じて子どもの成長を支えることで、自らも活躍できるような人生100年時代に向けた人づくりを進めるため、あらゆる層の市民が参加できる学習機会の提供として50講座を開催しました。(各講座の詳細は、138～160ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(2) 大牟田市子ども会育成者連絡協議会及びPTA連合会活動等への支援〔生涯学習課〕

①子ども会活動支援事業

ア ジュニアリーダー、イン・リーダーの育成

大牟田市子ども会育成者連絡協議会と共催で、市子ども会イン・リーダー養成講座を実施しました。

と き	内 容	と ころ	参加者数
8月3日(土) ～4日(日)	危険予知訓練・レクリエーション・夕食バーベキュー	リフレスおおむた	6人
11月9日(土) ～10日(日)	防災体験・レクリエーション・夕食調理	リフレスおおむた	12人
R7年 2月9日(日)	危険予知訓練・レクリエーション・昼食調理	えるる	6人

イ 親善交流大会(ドッジビー大会、カルタ大会)

(ア) ドッジビー大会

と き 9月16日(月・祝)

と ころ 総合体育館

参加者 6子ども会 6チーム 61人

(イ) 新年カルタ大会

と き R7年1月13日(月・祝)

と ころ 手鎌地区公民館

参加者 3子ども会 7チーム 20人

(ウ) 子ども会(安全共済会)説明会の実施

と き 4月7日(日)

と ころ 手鎌地区公民館

参加者 21子ども会 22人

内 容 子ども会の重要性や育成会の役割等

※資料配布後、子ども会安全共済会の加入受付を生涯学習課で受け付け、25団体が加入しました。

②PTA活動支援事業

ア 広報紙コンクール、広報紙研修会の実施

(ア) PTA広報紙コンクールの実施

第39回PTA広報紙コンクールを、大牟田市、大牟田市教育委員会、大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会の共催により実施しました。作品は、R5年度発行の新聞を対象としました。

応募校数24校(小学校16校、中・特別支援学校8校)

表彰 大牟田市長賞：大正小学校父母教師会、宅峰中学校父母教師会

大牟田市教育委員会賞：

大牟田中央小学校父母教師会、田隈中学校父母教師会

大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会賞：

みなと小学校父母教師会、松原中学校父母教師会

優秀賞：天領小学校父母教師会、中友小学校父母教師会、

白川小学校父母教師会、白光中学校父母教師会

(イ) PTA広報紙研修会の開催

内 容 5月30日(木)に生涯学習支援センターにおいて、馬場真帆氏を講師に招いて、講話『PTA広報紙の制作術』～読まれるための紙面を作るコツと技～を開催し、企画、レイアウト、記事の書き方等、広報紙づくりの技術を学びました。

(ウ) PTA連合会研修会実施の支援

R6年度は「福岡県PTA連合会南筑後ブロックPTA連合会研修会」の大牟田市大会として、大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会研修会を支援しました。

と き 11月17日(日)

ところ 大牟田文化会館

内 容 オープニングセレモニー 大蛇山披露 県堺大蛇山

実践発表 『持続可能な「キョウイク」へ向けた取り組み』

駿馬小学校PTA 会長 亀澤 秀美氏

講演 『子どもの邪魔をしない教育と次の社会のためのヒント集』

講師 トーキョーコーヒー代表 吉田田 タカシ氏

○家庭教育支援事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 家庭教育講座〔公民館〕

家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を7講座開催しました。

(各講座の詳細は、138～160ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(2) 子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕

地域の子育て中の保護者が子どもと一緒に気軽に集える場を提供し、利用者間の交流や子育てについての学びあいを支援するため、三池地区公民館と手鎌地区公民館において子育てふれあい広場を開設しています。

①三池子育てふれあい広場(じゃじゃり子み〜け)・月曜日開設

大人延べ利用者数 262人

子ども延べ利用者数 307人

延べ利用者数 569人

開設日数 29日

②手鎌子育てふれあい広場(れもんぐらす)・金曜日開設

大人延べ利用者数 396人

子ども延べ利用者数 446人

延べ利用者数 842人

開設日数 32日

③ボランティアスキルアップ講座

子育て中の保護者が、子どもと一緒に安心して過ごせる子育てふれあい広場づくりを目指しつつ、本来の形であるボランティア中心の子育てふれあい広場の運営となるよう

受講生にはボランティアとしての心得を再認識してもらい、広場の更なる活性化を目指しました。三池地区公民館はじゃじゃり子み〜け、手鎌地区公民館はれもんぐらすのボランティアスタッフを対象にスキルアップ講座を実施しました。

(3) 子育て情報誌「おおむたっ子」の発行〔生涯学習課〕

子どもの様々な体験活動を充実させるとともに、家庭教育や次世代育成を支援するため、子どもの体験活動の機会や子育て支援に関する情報を収集・提供する事業を、市民ボランティアと行政で組織する運営委員会において実施しました。年3回（7月・11月・3月）発行し、発行数は延べ27,000部でした。

(4) 幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施

①就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕

小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会を活用して家庭教育のあり方やしつけについての子育て講座を実施しました。R3年度から公民館事業として実施しています。R6年度は19校区で実施しました。

19講座（19小学校区） 参加者数685人（入学予定者数の95.8%）

②幼児期子育て講座〔生涯学習課〕

講師の適任者の確保が困難であったことから、講座を実施しませんでした。

〇わくわくシティ基金事業〔スポーツ推進室、生涯学習課〕

スポーツ・文化の振興を通じた青少年の人材育成、地域活性化を目的とし、スポーツ・文化の振興につながる事業を助成するものです。

スポーツ分野は、R6年度に実施した事業はありませんでした。

文化芸術分野は、大牟田子ども劇場による「子どもと文化が会うまちづくり事業〜生の舞台芸術体験を0歳からの子ども達に〜」を下記のとおり開催しました。

と き	内 容	と ころ	参加者数
9月8日(日)	4才以上対象の表現ワークショップ 身体を使った表現やイメージを集団で表現する体験	駛馬地区公民館	27人
9月15日(日)	幼児対象のワークショップ表現遊び 親子で身体と空間を使うイメージ遊び	三川地区公民館	27人
10月5日(土)	0〜3歳のための親子対象ワークショップ 親子で生の歌声や楽器の音に触れたりダイナミックな遊びを体験	えるる	49人
10月11日(金)	「ニコリのたね」舞台鑑賞 ニコリのたねを探す登場人物の3人が冒険の旅に出る演劇鑑賞会	大牟田文化会館 小ホール	169人
10月27日(日)	「ぐるぐる」舞台鑑賞 手作りの楽器や音、2人のパフォーマーの動きのやりとりを親子で楽しむ	大牟田文化会館 憩いのmori	57人

〇文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕（再掲）

（第1編第6章・視点2の104〜106ページを参照）

（視点２）SDGs／ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

市民の主体的な学びや活動の機会を設けるにあたり、SDGs／ESDの視点を持った取組を展開することで、自ら行動する意欲や地域で活動する力をはぐくむ「人づくり」、活動を進めるための「つながりづくり」、それにより地域が直面する課題を発見・共有し解決していく持続可能な「地域づくり」へとつなげます。

【主な事業】

○生涯学習ボランティア登録派遣事業〔おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

（１）生涯学習ボランティア登録派遣事業（愛称：まなばんかん）

市民の学習を支援するボランティアを登録し、市民からの求めに応じてコーディネートを行い派遣する「生涯学習ボランティア登録派遣事業」を実施しました。R6年度は大型商業施設でのイベントを初めて実施し、事業を広くPRしました。

①ボランティア登録・派遣状況

（R7.4.30時点）

年度	区分	延べ登録件数 (件)	延べ登録者数 (人)	派遣回数 (回)	派遣先の 参加者数 (延人数)	ボランティアの 稼働率(%)
R4	個人	92	92	127	3,091	46.4
	団体	119	1,509	270	7,279	
	計	211	1,601	397	10,370	
R5	個人	89	89	156	3,775	55.6
	団体	125	1,458	295	13,043	
	計	214	1,547	451	16,818	
R6	個人	80	80	151	5,339	51.8
	団体	115	1,369	283	14,445	
	計	195	1,449	434	19,784	

②アンケート結果

ア ボランティア登録者の意欲の高まり（学習の成果を人づくりやまちづくりに役立てたい）・・・95.8%（R5年度93.9%）

イ 依頼者（利用者）の満足度（今後もこの制度を活用したい）

・・・99.6%（R5年度100%）

①生涯学習ボランティア登録者説明会・交流会 6月1日（土）

生涯学習ボランティア登録者に対して、事業内容についての説明と登録者同士の交流を図るため説明会・交流会を開催しました。

ア 説明会内容 事業概要、活動時の心得、ボランティア活動保険、電子申請について

イ 交流会内容 少数の班に分かれて、ボランティア登録者同士の意見交換実施

②大型商業施設でのイベント開催 8月24日（土）

生涯学習ボランティア登録派遣事業を広くPRするため、竹細工や小物作りなど「作って楽しむ」ことを体験できるイベントをゆめタウン太宰田で開催しました。

③新規登録の呼びかけ

地域で活動している人等を対象に、好きなことや得意なこと、学んだ成果を活かして生涯学習ボランティアとして活動してもらうために、地区公民館で実施する「アクティブシニアデビュー塾」・健康づくり課主催の「食育ボランティア講座」における事業の紹介とボランティア登録の呼びかけを行いました。

④周知・P R

- ア ボランティア登録者の紹介（「広報おおむた」奇数月巻末掲載）
- イ 「おおむた生涯学習メニューブック（まなばんかん利用案内掲載）」（2,000部）の配布
- ウ You Tube 市公式アカウント「ほっとシティおおむたチャンネル」でボランティア登録者の活動の様子を紹介
- エ おおむたまちづくり推進協議会のInstagramにて情報を発信

○地区公民館におけるSDGs／ESD推進事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）地域SDGs／ESD推進事業

人と人、人と地域、地域と地域の「関わり」、「つながり」をつくることができるようになるといったESDの視点を持った取組みを行うことで、身近なところから自分に関わりのある課題を発見し、その解決に向けて主体的・自発的に行動できる人材を発掘するとともに、地域住民同士のつながりづくり、さらには地域への愛着心をはぐくむことで、持続可能な地域づくりの担い手づくりを各校区において実施。R6年度は10校区で14講座を実施しました。

（２）学校SDGs／ESD推進事業

地区公民館が、学校教育におけるESDの取組みに対して、地域の支援や連携が必要な事項についてコーディネートを行うことで、学校教育におけるESDの取組みを支援するとともに、学校との連携により、地域の担い手を発掘する事業を実施。R6年度は小学校2校で実施するとともに、地域の課題や社会とのつながり等について理解を深めてもらうことを目的に中央・勝立・駛馬地区公民館で近隣の高等学校への支援をしました。

○人材育成・地域活動促進事業〔生涯学習課・公民館〕

地区公民館で実施する講座等をきっかけにして、自主グループを発足するとともに、学んだ知識をボランティア活動、地域活動に活かしていく意識の醸成を図ります。

学んだ成果を活かす活動の場や機会を、地区公民館はもとより、校区コミュニティセンターや各学校などの身近な地域で行う事業を実施しました。また、ボランティア団体や地域の団体、サークル等の活動について必要に応じた支援を行う事業など、36事業を実施しました。

○学習成果活用促進事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）高齢者生きがいきづくり社会参加促進事業（アクティブシニアデビュー塾・ボランティアデビュー編）〔健康づくり課・生涯学習課・公民館〕

高齢者の学習機会および学習成果を活かしたボランティア活動・地域活動の機会、さらには心と身体健康づくりの機会を提供することで、高齢者の生きがいきづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを促進するために健康づくり課および地域包括支援センターと連携し、「アクティブシニアデビュー塾」を実施しました。この事業の一つとして高齢者のボランティアを養成する「ボランティアデビュー編」7講座を開催し、113人が受講しました。

講座終了後、5つの新規ボランティアグループが結成され60人が入会、既存ボランティアグループに6人が加入し活動を続けています。

（各講座の詳細は、138～160ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（２）カヌーサポーター養成講座〔公民館〕

諏訪川を活用した環境問題の啓発や、青少年の自然体験活動の充実、家族のふれ合い、

世代間交流の促進を図る目的で「カヌーふれあい事業」を実施しており、ボランティア団体「はやめカヌーサポーター会」にはカヌー指導・サポートをお願いしています。「はやめカヌーサポーター会」の高齢化等に伴う人材不足を解消するために、カヌーの知識や技術を学ぶ養成講座を実施して加入促進を図っています。R 6 年度は6人が受講し、うち1人は活動を続けています。

(3) ボランティア団体支援事業〔公民館〕

7 地区公民館等の各種事業で育成された既存のボランティア団体等を支援する事業として「視聴覚ボランティア支援事業」、「子育てふれあい広場」を運営するボランティア団体等への支援を行いました。

(各事業の詳細は、138～160ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(4) 地区公民館サークル社会参加促進事業〔公民館〕(再掲)

各地区公民館サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と地域還元を図ることを目指して実施しました。また、子どもサークル体験など、次世代育成の支援も行いました。

(各事業の詳細は、138～160ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

○地域のICTを支援する人づくり事業〔生涯学習課〕

地域のICT化を推進するためには、地域の支え手が必要であることから、R 4 年度からR 5 年度にかけて、地域住民を対象とした「VRを活用した地域とつながるプロジェクト」を実施し、ボランティアの養成を行いました。R 6 年度は、地域におけるデジタルデバイドの解消を目指して、地区公民館職員等を対象としたインフォナビゲーター養成に力点を置き、実際の住民向け講座の企画・運営にICT活用を位置付けた形での研修を実施しました。これまでに育成した市民ボランティアの活躍の場を提供することで、地域のICTを支援する人づくりの裾野を広げていきます。

(1) 地区公民館職員向けインフォナビゲーター養成研修 (PBL型)

と き 7月～R 7 年 3月

対 象 7 地区公民館職員

概 要 LINEやグーグルレンズ、生成AIを使ったナビゲート体験やグループワーク、ディスカッションを通して問題解決型の研修を行い、7 地区公民館の中から地域支援のモデルとなる2館を選定。その中で、三池地区公民館では「三池初市」の広報を地域の課題としてとらえ、SNSを活用したライブ配信やLINEでの情報発信等を実践しました。また勝立地区公民館では、高齢者のデジタルデバイド解消のため、デジタルサポート人材の育成を目標とした「あなたにもできる！スマホ楽しくお助け隊養成講座」を実施。地域の高齢者に寄り添い、簡単なスマホ操作等について気軽に相談できる窓口として、講座終了後も市民ボランティアが活動を継続しています。

(2) VRプログラムの展開・推進

R 5 年度の公民館でのVRプログラムを受講した市民ボランティアが、市内の小学生に360度映像の作成やVR体験についての指導を行いました。また、公民館の事業と連動したVRを活用した取り組みの講師として市民ボランティアが参加。R 6 年度は市内12か所で計20回の体験会が開催され、7人の市民ボランティアの協力を得て、述べ372人の市民がVRを体験しました。

【視点３）学習環境の整備・充実

様々な人が学習情報を入手しやすいよう、情報発信を工夫するとともに、対面だけではなく、オンラインを活用した学習の場を提供します。さらに、市民がいつでも、どこでも学習活動を行えるよう環境整備を図り、学んだ成果を社会に還元させる「知（学び）の循環」の仕組みづくりとともに、生涯学習、ボランティア活動、地域活動に参加してもらうような取組を促進します。

【主な事業】

○学習情報提供事業〔生涯学習課〕

市民がいつでも気軽に学習活動が行えるよう、年間を通して情報紙やリーフレット、インターネットなどの多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。

- (１) 学習情報紙「マナカタ」の発行（７月より奇数月に年５回発行　１,０００部／回）

掲載記事件数１４件

- (２) 「おおむた生涯学習メニューブック」の発行（冊子２,０００部）

生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」の利用案内と企業出前講座「おおむた知恵袋」及び市役所職員出前講座のメニュー表を１冊にまとめて発行しました。

- (３) 「広報おおむた」による学習情報及び生涯学習の啓発（全１０回）

- (４) その他（年間随時）

①市ホームページ、ＳＮＳ、「愛情ねっと」、YouTubeを活用した動画配信による情報発信

②学習相談業務（必要な学習情報の提供、学習会・研修会・講習会等のコーディネート）

○多様な学習機会提供事業〔大牟田市生涯学習まちづくり推進会議・おおむた生涯学習まちづくり推進協議会・生涯学習課〕

- (１) 市役所職員出前講座

市民とともに「生涯学習まちづくり」を進めるために、市政のことを知りたい、学びたい市民のもとに市の職員が出向き、説明・実習等を行いました。Ｒ６年度は新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き始め、実施回数・参加者数ともに増加しました。

年度	出前講座のメニュー数	実施回数 (派遣回数)	派遣職員数 (市職員)	参加者数 (市民)
R4	118	86 回	169 人	2,696 人
R5	123	97 回	175 人	2,962 人
R6	126	103 回	210 人	3,576 人

- (２) 生涯学習ボランティア登録派遣事業

(視点２)「SDGs/ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり」の生涯学習ボランティア登録派遣事業（７４・７５ページを参照）

- (３) 市民大学講座　市民の高度な学習ニーズに応えるために、高等教育機関と連携して専門的な知識・技術等をわかりやすく学ぶことができる講座を開催しました。

講　座　名	講　師	期日	場所	受講者
地震と液状化 ～阪神淡路大震災と東日本大震災 を経験して～	有明工業高等専門学校 創造工学科 教授 松村　光太郎	11月2日 (土)	えるる	14 人
認知症の基本と予防体操の実践	帝京大学福岡医療技術学部 看護学科 助教 才川　智大	11月5日 (火)	えるる	34 人

どのような人が第二言語学習に向いているのか～外国語適性とパーソナリティ～	有明工業高等専門学校 一般教育課 助教 下川 涼太	11月8日 (金)	えるる	16人
「グレーゾーン」って何だろう？ ～職場・学校・地域での合理的配慮を考えよう～	帝京大学福岡医療技術学部 作業療法学科 助教 丸本 つぐみ	11月22日 (金)	えるる	28人

(4) 企業出前講座「おおむた知恵袋」

“生涯学習社会”の実現を図るため、民間企業より協力を得て、企業が持っている専門的な知識・技能を市民が学習することができる講座を実施しました。

年度	企業名	講座メニュー数	実施回数	受講者延人数
R4	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険㈱、④㈱白雲社 ⑤(有)グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材㈱ ⑧㈱マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪㈱四郎國光、⑫(有)宮脇商会、 ⑬㈱プランツ、⑭㈱O.A.S、⑮九州電力送配電㈱大牟田配電事業所、⑯大牟田柳川信用金庫、 ⑰つきあかり、⑱(有)美川漢方堂、⑲(有)山田屋茶舗、 ⑳㈱エム・ティ・ネット、㉑磯浜葬祭天翔苑、 ㉒アトリエ花むすび、㉓オンライン学習会 ㉔明治安田生命保険相互会社大牟田北営業部	52	36回	951人
R5	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、③㈱O.A.S、 ④(有)美川漢方堂、⑤明治安田生命保険相互会社、 大牟田北営業部、⑥春日クリニック、 ⑦(合)REIWAN001、⑧㈱四郎國光、⑨(有)山田屋茶舗、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪(有)宮脇商会、⑫九州電力㈱大牟田営業センター、⑬ジブラルタル生命㈱、⑭㈱エム・ティ・ネット、⑮㈱リード、⑯安田生命保険相互会社、 ⑰オンライン学習会、⑱信号電材㈱、⑲㈱マルエ産業、 ⑳三池海上保安部、㉑大牟田柳川信用金庫、㉒いちよし証券㈱大牟田支店、㉓ありあけ不動産ネット協同組合、 ㉔㈱白雲社、㉕磯浜葬祭天翔苑、 ㉖つきあかり、㉗㈱プランツ、㉘(有)グリーンピース磯浜、 ㉙アトリエ花むすび	55	30回	698人
R6	①久留米ヤクルト販売㈱、②HMS九州、③㈱O.A.S、 ④(有)美川漢方堂、⑤明治安田生命保険相互会社、 大牟田北営業部、⑥春日クリニック、 ⑦(合)REIWAN001、⑧㈱四郎國光、⑨(有)山田屋茶舗、 ⑩大牟田ガス㈱、⑪(有)宮脇商会、⑫九州電力㈱大牟田営業センター、 ⑬ジブラルタル生命㈱、⑭㈱エム・ティ・ネット、⑮㈱リード、⑯安田生命保険相互会社、 ⑰オンライン学習会、⑱信号電材㈱、⑲㈱マルエ産業、 ⑳三池海上保安部、㉑大牟田柳川信用金庫、㉒いちよし証券㈱大牟田支店、 ㉓ありあけ不動産ネット協同組合、㉔㈱白雲社、㉕磯浜葬祭天翔苑、 ㉖つきあかり、㉗㈱プランツ、㉘(有)グリーンピース磯浜、 ㉙アトリエ花むすび㉚歩行整体 大牟田	62	33回	677人

（視点４）社会教育施設の機能向上

様々な人の学習活動・地域活動・ボランティア活動の支援を行うため、社会教育施設の今後の在り方を検討するとともに、施設の機能向上を進めます。

【主な事業】

○つながる地域づくり事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）子どもサポーター養成講座

地域社会が協力して子どもや若者が安心して学び・成長できる環境を作るために、子どもや若者に関わる人を対象に講座を実施しました。

（講座の詳細は、１３８～１６０ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（２）eスポーツを活用したつながる地域づくり事業

eスポーツを活用したチームビルディングを体験し、若者の地域での活躍促進を図るため高校生を対象に講座を実施しました。

（講座の詳細は、１３８～１６０ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

○社会教育機能向上事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）公民館職員研修会（公民館）

地区公民館の職員を対象に、インフォナビゲーター養成講座や講座の企画及び公民館だよりの作成講座、日田市公民館事業団との合同研修など職員のスキルアップを図ることを目的に、９回の研修会を開催しました。（避難所開設のため１回中止）

（２）社会教育関係職員研修会

社会教育関係職員を対象に、社会教育の今後の役割の理解を促進するとともに、ファシリテーションスキルの向上を図ることを目的に、公民館職員研修会と同時開催で２回実施しました。

（３）新任公民館職員研修会

新任の公民館職員を対象に、社会教育公民館の役割についての基礎的な知識の習得のため、研修会を１回開催しました。

（４）新任社会教育関係職員研修会

新任の社会教育関係職員を対象に、市民協働部各課の取組みを知ること、部内の連携促進を図ることを目的に、研修会を１回開催しました。

○地区公民館整備事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）各地区公民館の維持補修〔公民館〕

７地区公民館は既に建築から２０年以上経過し老朽化も進んでいますが、来館者が安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕を行いました。

○地域学習機会提供事業〔生涯学習課・公民館〕

（１）子ども交流体験活動事業〔公民館〕（再掲）

視点１「次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ」の主な事業「子ども交流体験事業」の（１）子ども交流体験事業（６６ページ）を参照

（各講座の詳細は、１３８～１６０ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（２）家庭教育講座〔公民館〕（再掲）

視点１「次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の（１）家庭教育講座（７２ページ）を参照

（各講座の詳細は、１３８～１６０ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

(3) 就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(4) 幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施の①就学前子育て講座(73ページ)を参照

(4) 各世代に応じた学習活動支援事業〔公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ」の主な事業「各世代に応じた学習活動支援事業」の(1) 各世代に応じた学習活動支援事業(71ページ)を参照
(各講座の詳細は、138～160ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(5) 高齢者生きがいづくり社会参加促進事業(地域デビュー編・健康実践デビュー編)

〔生涯学習課・公民館・健康づくり課〕

興味や関心があることをきっかけに、社会や地域で生きがいを見つける「地域デビュー編」を7講座開催し、96人が受講、学んだ成果を活かし、健康づくりを実践するアクティビシニアを育む「健康実践デビュー編」を7講座開催し、105人が受講しました。

講座終了後、9の新規サークルが結成され80人が入会、既存サークルへ5人が加入し活動を続けています。

(各講座の詳細は、138～160ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(6) 公民館だより等の発行〔公民館〕

地域の人が集まりやすい地区公民館づくりを目指して、地域や地区公民館の情報を掲載した地区公民館だよりを発行しました。

(各館の発行の詳細は、138～160ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(7) 読書推進事業〔公民館〕

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行い、図書貸出の合計は31,359冊でした。また、地域拠点化の推進及び子どもの読書活動の活性化を図るため、図書だよりの発行やおはなし会を行いました。

(各事業の詳細は、138～160ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(8) 子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕(再掲)

視点1「次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ」の主な事業「家庭教育支援事業」の(2) 子育てふれあい広場の開設(72ページ)を参照

(9) 地区公民館文化祭〔公民館〕

7地区公民館で活動しているサークル会員の学習成果の発表と、地域の小・中学校、幼稚園・保育園及び地域住民の参加・協力により開催し、交流と連携を深めています。

(7地区公民館の文化祭の詳細は、138～160ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

(10) 展示コーナー活用事業〔公民館〕

地区公民館の展示コーナーやロビーを活用し、サークル会員や地域の人たちの作品展を開催し、成果発表の場とするとともに、サークル会員や地域住民の交流の場としての利用促進を図りました。

(展示コーナー活用事業の詳細は、138～160ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

（視点５）青少年の問題行動や悩みへの対応

街頭指導や環境浄化などの健全育成活動により、青少年の非行や犯罪被害を防止します。また、SNSに起因するいじめや依存防止のための適正利用や被害防止の啓発について、関係機関などとの連携を強化しながら取り組みます。

【主な事業】

○青少年健全育成事業〔生活安全推進課〕

（１）街頭指導活動

少年センターの指導員が関係団体と共に「OMUTTA少年よくし隊」として、大型店舗や繁華街、公園、コンビニエンスストア、ゲームセンターなど、少年がたむろしそうな場所を定期的に巡回し、問題行動の早期発見と非行の未然防止に取り組むとともに、青色パトカー（青色回転灯装備車）による昼夜間のパトロールや児童生徒の下校時間帯での見守り活動を実施しました。

①街頭指導活動概況 (延べ数)

区 分 年 度	実 施 回 数	従 事 者 数
R4	394 回	1,561 人
R5	348 回	1,755 人
R6	366 回	1,777 人

(※夜の青色パトカーによる街頭活動を含む)

②青色パトカー巡回活動概況（昼間のみ） (延べ数)

区 分 年 度	実 施 回 数	従 事 者 数
R4	235 回	446 人
R5	239 回	454 人
R6	242 回	466 人

※R3年度以降は、少年センター専任指導員のみの実施

③指導概況（性別、学職別） (単位：人)

区 分 年 度	男	女	合計	小学生	中学生	高校生	その他の 学生	有職 少年	無職 少年	不明	合計
R4	54	38	92	18	22	51	0	0	0	1	92
R5	95	112	207	3	85	119	0	0	0	0	207
R6	96	70	166	7	23	136	0	0	0	0	166

④行為別指導実数 (単位：人（上段）・％（下段）)

区 分 年 度	喫煙	夜間 外出	夜遊び	深夜 徘徊	交通 マナー	不良 交友	シンナ ー遊び	怠学	飲酒	その他	合計
R4	0	14	44	0	17	0	0	0	0	17	92
	0	15.2	47.8	0	18.5	0	0	0	0	18.5	100
R5	2	47	131	2	24	0	0	0	0	1	207
	1.0	22.7	63.2	1.0	11.6	0	0	0	0	0.5	100
R6	1	62	82	0	19	0	0	0	0	2	166
	0.6	37.3	49.4	0	11.5	0	0	0	0	1.2	100

※少年センターとしての時間の捉え方

夜間外出：～20時 夜遊び：20時～22時 深夜徘徊：22時以降

⑤指導した場所

(単位:人)

区分 年度		ゲームセン	等カラオケ店	大型店等	コンスタニア	駅	路上	自宅等	寺院・神社	公園	海岸・河川	その他	合計	
R4	男子	3	0	21	0	0	15	0	5	6	3	1	54	92
	女子	0	0	19	0	0	13	0	2	1	0	3	38	
R5	男子	6	0	19	0	0	33	0	2	23	0	12	95	207
	女子	0	0	80	2	0	4	0	2	22	0	2	112	
R6	男子	10	0	28	0	10	31	0	8	3	0	6	96	166
	女子	3	0	48	0	1	5	0	5	4	2	2	70	

(2) 有害環境浄化活動

さまざまなメディアを通じてもたらされる有害情報から青少年を守るため、福岡県青少年健全育成条例に基づき、店舗等の巡回、立入調査、要望書配布・指導など青少年の健全育成上、好ましくない有害環境の浄化活動を行いました。

(3) 相談事業

悩みを持つ青少年自身のみならず保護者等からも相談を受け指導助言を行っています。

相談については、メールでの相談をはじめ、来所による相談も受け付けています。相談内容によっては、専門機関に紹介するケースもありました。

なお、電話相談については、より相談しやすい体制を確保するため、R4年1月から福岡県教育委員会が24時間365日実施する「子どもホットライン24」に一本化し、周知啓発を図っています。

①相談件数

(単位:件)

区 分	年 度	家 族	本 人	その他	合 計
来 所 相 談	R4	0	0	0	0 (0)
	R5	0	0	0	0 (0)
	R6	0	0	0	0 (0)
メール相談	R4	3	0	0	3 (1)
	R5	0	0	0	0 (0)
	R6	0	1	0	1 (1)

※ () 内は実際に相談された人

②相談内容内訳

(単位:件)

区分 年度	健康	学業	交友 交際	家庭	性	いじめ	非行	不登校	その他	合 計
R4	1	0	1 (1)	0	0	1	0	1	0	4 (1)
R5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	1 (1)	0	0	0	0	0	0	1 (1)

※ () 内は実際に相談された人

※ 1件に複数の相談内容を含む

(4) 関係機関・団体等との連携活動

①啓発活動

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び「社会を明るくする運動強調月間」に

あたる7月と「子ども・若者育成支援強調月間」の11月を中心に次の行事を行いました。上記以外にも、関係機関からの要請に応じ、適宜活動を行っています。

ア 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動ヤング街頭キャンペーン
薬物乱用防止の啓発チラシを配布しました。

と き 6月23日（日）

ところ イオンモール大牟田

イ 第74回‘社会を明るくする運動’街頭キャンペーン
市庁舎前で立ち上げ式等を行いました。

と き 7月1日（月）

ところ 労働福祉会館

ウ 第72回青少年健全育成弁論大会

市内の小、中、高校生による弁論大会を開催しました。

と き 7月4日（木）

ところ 文化会館 小ホール

エ 大牟田市青少年健全育成毛筆書写・標語作品展

小、中学生から募集した毛筆書写51点のほか、標語108点を展示しました。

と き 11月14日（木）～22日（金）

ところ えるる 1階 展示コーナー

②若鳩会運営費補助

青少年の健全な保護育成を図ることを目的に、学校教師・警察署員・少年センター職員により組織されている若鳩会の活動に対して、運営補助金を交付しました。

【主な事業】

○社会教育委員の会議〔生涯学習課〕

社会教育委員の会議を設置し、社会教育に関し市民の意見を反映させるため、社会教育に関する諸計画の立案等について助言し、諮問に応じ意見を述べることを主な目的として会議を開催しています。

（１）会議の開催

第１回 と き ７月２３日（火）１５時～１７時

ところ 大牟田市生涯学習支援センター 多目的室

議 題 １ 令和５年度社会教育委員の会議等実績報告及び令和６年度事業計画（案）について

２ 令和５年度社会教育振興プランの進捗について

３ 大牟田市社会教育振興プラン２０２４～２０２８について

４ 令和６年度社会教育・生涯学習事業計画について

その他 １ 大牟田市子ども読書推進計画の改訂について

２ 大牟田市人権問題意識調査結果（概要版）について

３ 子育て情報誌「おおむたっ子」への社会教育委員メッセージについて

第２回 と き １１月２５日（月）１５時～１７時

ところ 大牟田市生涯学習支援センター 多目的室

議 題 １ 子育て情報誌「おおむたっ子」への社会教育委員メッセージについて

報 告 １ 令和６年度南筑後地区社会教育委員交流会について

２ 令和６年度福岡県社会教育研究大会について

３ 大牟田市子ども読書計画の改訂について（中間報告）

４ 第７７回はたちの集いについて

５ 第３９回人権フェスティバルについて

第３回 と き Ｒ７年１月２７日（月）１３時３０分～１５時２０分

ところ 大牟田市生涯学習支援センター 多目的室

議 題 １ 子育て情報誌「おおむたっ子」への社会教育委員メッセージ

報 告 １ 令和６年度筑後地区市町村社会教育委員研修会について

２ 令和６年度社会教育・生涯学習事業報告について（中間報告）

３ 大牟田市子ども読書推進計画（第４次）（案）について

４ 第７７回はたちの集い実施状況について

（２）委員研修

①令和６年度南筑後地区社会教育委員交流会

講義 「現代社会において大切にしていきたい人権感覚」

講師 南筑後教育事務所 人権・同和教育室 主任指導主事 松藤 勲

講話 「郷育カレッジの取り組み～郷育カレッジで『ひと・もの・こと』をつなぐ～」

講師 福津市郷育推進会議 会長 木本 圭子

演習 「『Shall we talk?』トークフォーク・ダンスで皆とつながろう」

講師 福津市郷育推進会議 会長 木本 圭子

②令和６年度福岡県社会教育研究大会

講演 「『街なか学園祭』から考える学校地域連携の基盤と社会教育の可能性」

講師 学校法人嶋田学園 飯塚高等学校 常務理事 嶋田 吉朗

トークセッション 「地域活性化に向けて社会教育が担う役割や可能性」

- 講師 学校法人嶋田学園 飯塚高等学校 常務理事 嶋田 吉朗
 国立大学法人福岡教育大学 理科教育研究ユニット 教授 伊藤 克治
 全国社会教育委員連合会 副会長 大島 まな
- ③令和6年度 筑後地区市町村社会教育委員研修会
 実践発表 演題 「学びの成果を活かした地域づくり」
 発表 筑後市社会教育委員
 講演 「“ひとづくり” から始める地域づくり」
 講師 社会教育士 大畑 伸幸

○はたちの集いの開催〔生涯学習課〕

成人の自覚と社会参加の意識の醸成

第77回はたちの集いの開催

※R4年度から成年年齢が18歳に引き下げられたが、本市ではこれまでと同様に20歳になった青年を対象に記念式典を開催した。

と き R7年1月12日（日）15時～16時

ところ 文化会館

内 容 大牟田市消防団員募集

アトラクション（司会：公募による式典対象者1人）

- ・大牟田高等学校吹奏楽部による演奏
- ・ありあけ新世高等学校ダンス部パフォーマンス

式典（司会：公募による式典対象者1人）

- ・国歌独唱（公募による式典対象者1人）
- ・市民憲章唱和（市民憲章推進委員）
- ・誓いの言葉（公募による式典対象者2人）
- ・ボランティア協力団体等（市内高等学校及びガールスカウト福岡県第7団）

区 分	該当者数（人）			出席者（人）	出席率（％）
	男性	女性	合計		
R4 年度	438	436	874	469	53.7
R5 年度	471	439	910	589	64.7
R6 年度	395	429	824	604	73.3

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	指標・目標値設定の根拠
地域のために自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合	目標値 (%)	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	現状値を踏まえ 50.0% 以上を目指す。 [現状値:46.2% (R4 年度実績)]
	実績値 (%)	54.1					
	達成度 (%)	108.2					

【指標達成度に対する要因分析】

- ・「地域のために自らが出来ることに取り組みたいと思う市民の割合」については、R 5 年度の 51.2% から 2.9 ポイントアップの 54.1% となり、目標を達成しました。目標達成の 1 つ目の要因は、市民への幅広い学習機会の提供を行うとともに、地域SDGs / ESD 推進事業、人材育成・地域活動促進事業などを実施し、地域課題の把握や解決に向けた取組を行ったことで、学習活動の必要性や地域づくりに対する意識の醸成が図られたことが考えられます。また、2 つ目の要因として学校SDGs / ESD 推進事業、子どもの居場所などの子どもたちに関わる取組をきっかけに、子どもたちのため、ひいては地域のために自ら取り組もうとする意識の変容がみられたことなどが、目標達成に貢献したものと考えられます。

【今後の方向性】

- ・地域での学習活動の支援では、課題やニーズを的確に捉えた学習の機会を、地区公民館等の市民に身近な場所で提供するとともに、学校や地域、関係機関との連絡調整を密にしながら、事業の企画運営を行います。
- ・学習活動で身につけた知識や技術を地域に還元できる環境づくりを支援するとともに、さまざまな媒体を活用し学習情報を提供します。
- ・今後も地域と子どもたちが関わる事業を実施し、地域にとっては子どもたちが将来の地域の担い手であること、子どもたちは地域とのつながりを認識することで、地域への愛着を育み、子どもたちが将来的に地域のためにできることを実施しようとする機運の醸成を図ります。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第5章】 スポーツに気軽に親しめる機会と環境づくり
誰もが、ライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことで、生涯にわたり心身ともに健康で、活気にあふれた生きがいある生活を営むことができるまちを目指します。 そのために、いつでも、どこでも、誰でも気軽に生涯にわたりスポーツに親しむことができるための機会づくりや支援の仕組みづくり、また、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。	

（視点1）誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり

子どもから高齢者、障害のある人、健康面に不安がある人や、日頃スポーツに親しみがない人などが気軽にスポーツに親しめる機会づくりを推進します。また、外出が困難な状況になっても、他の人と一緒に活動が実施できるよう、ICTを活用したスポーツの機会創出等に取り組みます。

【主な事業・取組】

○市民スポーツ推進事業〔スポーツ推進室〕

（1）市民スポーツ教室、市民スポーツ大会等の開催

①市民スポーツ教室（指定管理者）

スポーツ初心者を対象に、スポーツ活動への参加の機会をつくり、健康・体力の維持増進を図り、社会的交流を深めることを目的に、春・秋・新春の年3期に実施しました。

教室名	会場	指導者	参加者(人)
春のスポーツ教室（10回）			
ニコニコエアロ体操教室	総合体育館 アリーナ	坂井 加陽子	63
ソフトバレーボール教室	〃 〃	バレーボール協会	4
にこにこ体操教室	〃 剣道場	㈱M&M	42
卓球教室	〃 アリーナ	卓球協会	33
健美操教室	〃 多目的ホール	古賀 巧	53
秋のスポーツ教室（10回）			
ダンスフィットネス・ヨガ教室	総合体育館 剣道場	早井 友美	63
ソフトテニス教室	〃 アリーナ	ソフトテニス連盟	11
親子リズム体操教室	〃 柔道場	ちゃいるどくらぶ	13(組)
バドミントン教室	〃 アリーナ	バドミントン協会	16
健美操教室	〃 多目的ホール	古賀 巧	44
新春スポーツ教室（10回）			
3B体操教室	総合体育館 剣道場	3B体操協会	28
テニス教室	〃 アリーナ	テニス協会	25
太極拳教室	〃 〃	太極拳協会	26
にこにこ体操教室	〃 剣道場	㈱M&M	28
健美操教室	〃 多目的ホール	古賀 巧	50

②サマースポーツ教室（指定管理者）

小学3～6年生の少年・少女を対象に、スポーツ活動に親しむことを目的とし、夏休み期間中にスポーツ教室を実施しました。（1人1種目）。

教室名	会場	指導者	参加者
ミニバスケットボール	総合体育館 アリーナ	バスケットボール協会	92
バドミントン	総合体育館 多目的ホール	バドミントン協会	67
ソフトバレーボール	〃 アリーナ	バレーボール協会	60
卓球	〃 〃	卓球協会	20

教 室 名	会 場	指 導 者	参加者
ソフトテニス	〃 〃	ソフトテニス連盟	10
ソフトボール	緑地運動公園 ソフトボール場	ソフトボール協会	29
軟式野球	延命球場	軟式野球連盟大牟田支部	43

③市民スポーツ大会（指定管理者、スポーツ都市宣言推進協議会共催）

市民の誰もが気軽に参加でき、みんなで楽しめるスポーツの大会を実施しました。

大 会 名	期 日	会 場	参加者
市民グラウンドゴルフ大会	4 月 21 日(日)	諏訪公園イベント広場	41
市民ソフトバレーボール大会	6 月 9 日(日)	総合体育館	108
市民女子フットベースボール大会	9 月 15 日(日)	緑地運動公園運動広場	142
市民健康マラソン大会	R7 年 1 月 19 日(日)	御大典記念グラウンド	1,255
延命公園周辺ウォーキング	R7 年 2 月 23 日(日・祝)	延命公園周辺	16

○地域スポーツ活動推進事業〔スポーツ推進室〕

(1) 地域元気アップスポーツ事業の実施（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）

市民がより身近にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、体験教室などを開催しました。

①地域ふれあい元気ウォーキング

期 日	集合場所	コ ー ス	参加者(人)
R7 年 3 月 16 日(日)	羽山台小学校	羽山台小学校～高田行宮跡～三池陣屋の眼鏡橋～大間城跡～羽山台小学校	雨天中止

②スロージョギング教室

期 日	場 所	内 容	参加者(人)
10 月 20 日(日)	総合体育館 (会議室・柔道場)	スロージョギングの講義及び実技	17
11 月 24 日(日)	駛馬小学校 運動場	スロージョギングの実技	19

③ニュースポーツ体験教室

期 日	場 所	内 容	参加者(人)
8 月 31 日(土)	総合体育館 (多目的ホール)	室内ペタンク	23

(2) スポーツ推進委員等指導者の育成・支援

①スポーツ推進委員の育成

スポーツ推進委員は、住民のスポーツ振興のため、住民の求めに応じ、実技指導やスポーツ活動促進の組織育成、教育機関及び行政機関のスポーツ行事・事業への協力、住民に対するスポーツの普及並びに指導助言等を行います。

本市では54人のスポーツ推進委員を委嘱しており、資質向上を図るため、各種研修会を実施しています。

ア 大牟田市スポーツ推進委員研修会

大牟田市スポーツ推進委員協議会では、スポーツ推進委員の資質向上を図ることを目的に研修会等を実施しました。

期 日	場 所	研 修 内 容	参加者（人）
7月7日（日）	生涯学習支援センター 第二グラウンド	モルックの講義及び実技 （外部講師）	33

イ スポーツ推進委員の研修会等派遣事業

国・福岡県が主催する研修会等にスポーツ推進委員を派遣しました。

期 日	研 修 名 称	開催地	参加者（人）
6月30日（日）	福岡県初任者スポーツ推進委員研修会	福岡市	1
9月1日（日）	スポーツ推進委員スキルアップ研修会 （旧：中堅スポーツ推進委員研修会）	福岡市	3
12月22日（日）	福岡県スポーツ推進委員研修大会	田川市	14

（3）スポーツ推進委員による地域スポーツ活動支援

スポーツ活動を通じて仲間づくりや多世代間の交流の活性化を図り、コミュニティの形成を目的に、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動への支援（企画、指導・助言、運営）を行いました。

地域行事数	参加者（人）	内 容			
		企画	指導・助言	運営	その他
79	延べ7,860	53	55	65	2

※スポーツ行事・活動に限定したもののみ掲載しています。

（4）地域スポーツクラブ育成・支援

総合型地域スポーツクラブとは、地域の特徴を生かし、地域のアイディアにより自主的に運営され、スポーツなどを通して地域の人と人との豊かなつながりを形成するものであり、役員会にオブザーバー参加するなどして、その活動に関与しました。

設置団体：1団体（H17年度～ 右京ふれあい健康クラブ）

（右京ふれあい健康クラブ活動実績）

期 日	内 容	場 所	参加者（人）
毎週火曜日	右京ふれあいタイム（卓球、バドミントン）	天領小学校、 宅峰中学校	延べ767
R7年2月16日（日）	グラウンドゴルフ大会 ※雨天のため、同校体育館にてニュースポーツ（カラーリング・ペタンク）に変更	天領小学校	62
【クラブ活動】	バドミントン部（毎週火・土曜日、天領小学校、宅峰中学校） 大牟田 Jr バレー（毎週水曜日、天領小学校） ヨガ教室（毎週土曜日、天領小学校） 卓球部（毎週土曜日、天領小学校、三川地区公民館） ソフトテニス部（毎週土曜日、緑地運動公園）		

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕

（1）親子運動セミナー（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）

子どもにとってスポーツは、生涯にわたって健康や体力を保持・増進するための大切な活動であり、幼少期からスポーツを経験することの重要性を伝え、スポーツの日常化を図るため、親子で参加でき、子どもが運動・スポーツを好きになる「親子運動セミナー」を実施し、子どもの成長に合わせた運動の必要性の理解のための親を対象としたセミナーや、アビスパ福岡サッカースクールコーチによるボールを使用した運動などを行いました。

期日	内容	場所	参加者数
5月26日(日)	子どもの体力測定、保護者セミナー	明治小学校	76人(35組)
6月2日(日)	親子で運動遊び	明治小学校	72人(33組)
6月16日(日)	親子で運動遊び	天領小学校	63人(29組)
11月17日(日)	親子で運動遊び	明治小学校	69人(32組)
12月1日(日)	子どもの体力測定	明治小学校	60人(27組)

○スポーツ少年団育成委託事業〔スポーツ推進室〕

スポーツ少年団員の体力・健康の現状を把握し、その増進を図るとともに、各少年団相互の親善と友情を深めるための事業（体力テスト、交流ドッジボール大会）を実施しました。また、機関紙「おおむたしスポーツ少年団ニュース」を発行し、その中で、スポーツ少年団への加入促進を図りました。

期日	内容	場所	参加者	
			団体数	人数
12月7日(土)	体力テスト	総合体育館	15	220
R7年2月8日(土)	交流ドッジボール大会	総合体育館	12	235

スポーツ少年団の加入状況

区分 \ 年度	R4年度	R5年度	R6年度
スポーツ少年団数	33	32	32
加入者数	455	453	475

○おおむたっ子ががんばれ奨励金事業〔生涯学習課、スポーツ推進室〕

18歳以下の市民が地区予選を経て全国レベルの大会又は国際大会に出場する際に、青少年の育成、スポーツ・文化の振興、選手・出場者の意欲の向上に寄与するため、青少年健全育成基金を活用し、「おおむたっ子ががんばれ奨励金」を交付しました。

区 分		R4年度	R5年度	R6年度
スポーツ	全国大会等出場者数	130人	201人	211人
	交付額	390千円	603千円	643千円
文化芸術	全国大会出場者数	19人、1団体	18人、4団体	26人、3団体
	交付額	157千円	371千円	298千円

（視点２）活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり

市民が豊かなスポーツライフを形成し、定着していくことができるよう、活動支援のための仕組みづくりを推進します。また、スポーツ組織・団体の連携を促進するとともに、活動の活性化を図り、スポーツを通じたまちづくりを推進します。

【主な事業・取組】

○スポーツ組織・団体等連携促進事業〔スポーツ推進室〕

（１）体育協会や競技団体等とのスポーツの普及及び競技力向上に関する連携・支援

①スポーツ都市宣言推進協議会との連携

本市では、H2年7月、スポーツを通じた「人づくり」、「まちづくり」を目指す決意を込めて「スポーツ都市宣言」を行いました。その周知並びに実践活動を推進するため、スポーツ関係団体、学校、地域団体、企業、医療、福祉、行政など、市内の各種団体により組織された「スポーツ都市宣言推進協議会」と連携し、スポーツを通じた住みよいまちづくりに努めています。

②市民体育大会委託事業（委託先：大牟田市体育協会）

市民の競技スポーツにおける競技水準の向上と、競技団体相互の連帯と融和を図るために、20大会を開催しました。

大会名	期 日	会 場	参加者(人)
市民軟式野球大会	5月19日(日)～10月13日(日)	延命球場	210
大牟田市ゴルフ協会会長杯市民ゴルフ大会	6月2日(日)	有明カントリークラブ	115
おおむた弓道選手権大会	7月15日(月・祝)	宅峰弓道場	56
大牟田市民バドミントン大会	8月18日(日)	総合体育館	244
大牟田市サッカー選手権大会	9月1日(日)	宮原中学校 他	112
大牟田市長杯ソフトテニス大会	9月3日(火)	緑地運動公園 他	222
市長杯ソフトボール大会	9月15日(日)～10月6日(日)	緑地運動公園	500
太極拳合同発表会	9月16日(月・祝)	総合体育館	100
大牟田市民テニス大会	9月23日(月・振休)・24日(火)	緑地運動公園 他	86
大牟田市剣道選手権大会	10月6日(日)	総合体育館	133
大牟田市9人制バレーボール選手権大会	10月13日(日)	総合体育館	100
おおむたクレール射撃大会	10月13日(日)	玉名クレール射撃場	15
大牟田市グラウンドゴルフ選手権大会	10月15日(火)	緑地運動公園	49
大牟田市長杯争奪ボウリング選手権大会	11月17日(日)	大牟田Jボウル	46
大牟田駅伝競走大会	R7年1月12日(日)	諏訪公園	450
大牟田市民卓球大会	R7年2月9日(日)	総合体育館	100
おおむた市長杯アーチェリー大会	R7年2月16日(日)	総合体育館	12
大牟田地区柔道大会	R7年3月2日(日)	大牟田高等学校	111
バスケットボール総合選手権大会	R7年3月20日(木・祝)	総合体育館	300
大牟田市ゲートボール選手権大会	R7年3月25日(火)	緑地運動公園	30

（２）中学校運動部活動支援

中学生の体育活動の発展と技術向上を図るため、大牟田市中学校体育連盟に対し、運営及び大会出場に係る費用の一部負担を行いました。

内 容	対象者数	負担金額（円）
運営負担金	-	350,000
九州・全国大会出場負担金	7	202,565
地区・県大会出場負担金	608	844,695
地区・県新人大会出場負担金	201	167,770

(3) スポーツ市民の祭典（委託先：スポーツ都市宣言推進協議会）

スポーツ都市宣言の啓発・普及を図るとともに、広く市民が集い、子供から高齢者まで誰もが参加でき、楽しめるスポーツ・レクリエーション行事を実施することにより、市民の健康増進及び相互の連帯と融和を図り、スポーツの普及・発展、さらには、健康的で明るい市民生活の確立に寄与することを目的として開催しました。

と き 10月13日（日）、10月14日（月・祝）

ところ 御大典記念グラウンド・総合体育館、諏訪公園イベント広場・多目的広場

主 管 スポーツ2024市民の祭典実行委員会

期 日	内 容	参加者(人)
10月13日（日）	ア 開会式	2000
	イ むかで競走、長靴とばし、少年団対抗リレー、小・中学生リレー	487
	ウ なわとび競争	264
	エ 少年団対抗競技・ニュースポーツ	188
	オ バザー・イベント	多数
10月14日（月・祝）	ア ソフトバレーボール大会	123
	イ ミニサッカー大会	208
	ウ グラウンドゴルフ大会	38

○競技スポーツ振興支援事業〔スポーツ推進室〕

(1) 全九州都市対抗陸上競技大会の支援

九州一円の各郡市の代表選手が一堂に会し、九州地区の競技力の向上並びに親睦と融和を図る目的で開催された第77回全九州都市対抗陸上競技大会を支援しました。

と き 4月14日（日）

と ころ 御大典記念グラウンド

主 催 九州陸上競技協会、NPO法人大牟田市体育協会

共 催 大牟田市

主 管 福岡陸上競技協会、大牟田市陸上競技協会

後 援 朝日新聞社

参 加 43郡市 参加者800人

種 目 [男子の部] 100m、200m、400m、800m、1,500m、5,000m、110mH、4×100mリレー、走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、槍投、棒高跳
[女子の部] 100m、200m、400m、800m、3,000m、100mH、4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投
[男女混合の部] 4×400mリレー
[オープン] [男子] 100m（中学生・高校生）、3,000m（高校生以上）、3,000m障害（高校生以上）
[女子] 100m（中学生・高校生）、1,500m（中学生以上）

区 分	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
総 合	福岡市	久留米市	大牟田市	大分市	玉名市
男 子	福岡市	大牟田市	久留米市	日田市	上天草市
女 子	福岡市	大分市	久留米市	小郡市	玉名市

(2) 県民スポーツ大会への選手団派遣

福岡県民スポーツ大会は、夏季大会、秋季大会、冬季大会の3大会が開催され、本市代表として出場する選手団を派遣しました。

R6年度の夏季大会及び秋季大会は、北九州地区・筑豊地区で開催され、夏季大会及び秋季大会を合わせた総合順位は7位であり、男子躍進賞を受賞しました。

①夏季大会 開催日 8月18日(日)

競 技 名	開 催 地	派遣人数 (選手)	主 な 結 果 (入 賞)			
水泳	県営筑豊緑地公園プール	35	1位	18-29歳男子	50m	自由形
			3位	高校生男子	50m	バタフライ
			3位	18-29歳男子	50m	平泳ぎ
			4位	中学生男子	50m	バタフライ
			5位	中学生女子	50m	バタフライ
			5位	少年の部女子	200m	フリーリレー
			5位	少年の部男子	200m	フリーリレー
			6位	小5・6女子	50m	バタフライ
			6位	高校生男子	50m	平泳ぎ
			7位	高校生男子	50m	バタフライ
			8位	少年の部小学生	200m	メドレーリレー
			8位	中学生女子	50m	背泳ぎ

②秋季大会 開催日 9月21日(土)・22日(日・祝)

競 技 名	開 催 地	派遣人数 (選手)	主 な 結 果 (1位～3位)
陸上競技	嘉麻市	14	3位 一般男子
バスケットボール	飯塚市	48	
バレーボール	芦屋市、田川市	67	2位 青年女子
ソフトテニス	飯塚市、直方市	15	
卓球	岡垣町	19	3位 青年
バドミントン	直方市、小竹町、桂川町	23	3位 一般女子B
柔道	宮若市	10	1位 青年男子 3位 一般男子
剣道	中間市	10	
弓道	福智町	12	1位 一般男子
ソフトボール	香春町	17	※雨天のため中止
テニス	飯塚市	7	

③冬季大会(駅伝) 開催日 11月17日(日)

競 技 名	会 場	成 績 (総合の部)
第11回市町村対抗福岡駅伝	県営筑後広域公園周回コース (9区間 25.7km)	7位 (57市町村中) タイム: 1時間 22分 19秒

(3) スポーツカレンダー等による大会・施設等の情報発信

日本スポーツ振興センターの助成事業を活用し、種目毎のスポーツイベントの開催、スポーツ施設の紹介、スポーツ少年団一覧、ニュースポーツ用具の貸出紹介など、本市のスポーツ情報を掲載したスポーツカレンダーを制作し、市民に配布を行うことで、スポーツ実施の機会づくりの啓発・普及を行いました。

なお、今後は情報提供の手法を見直し、スポーツカレンダーの冊子制作は行わず、市ホームページ等でスポーツ情報の発信をしていく予定です。

○広域スポーツ交流促進事業〔スポーツ推進室〕

(1) 広域スポーツ大会奨励補助

競技スポーツの振興に寄与し、本市の活性化に貢献するものとして開催される広域スポーツ大会を奨励するため、大会の開催費用の一部を補助しました。

大会名	期 日	会 場	参加者(人)
大牟田市近県中学生バレーボール選手権大会	5月3日(金・祝)	総合体育館	700
有明杯アーチェリー大会	5月19日(日)	第二グラウンド	26
有明海沿岸ジュニアサッカー大会	8月3日(土)・4日(日)	諏訪公園 他	384
大蛇山卓球大会	8月25日(日)	総合体育館	450
全九州高校秋季県大会	9月8日(日)・14日(土)	緑地運動公園 他	650
有明少年野球大会	10月14日(月・祝)・19日(土) 20日(日)・26日(土)・27日(日)	延命球場 他	1,000
2024 リレーフェス in Omuta	11月17日(日)	御大典記念グラウンド	718
大牟田市市長杯近県ソフトテニス選手権大会	11月17日(日)	緑地運動公園 他	136
大牟田オープン小学生バドミントン大会	12月21日(土)	総合体育館	234
優勝弓争奪近県弓道大会	R7年3月16日(日)	総合体育館	中止

(2) 各種スポーツ事業への共催・後援による支援

スポーツの普及・向上に寄与する公共性の高いスポーツ事業等に対して、共催・後援等による支援の決定を行いました。

共催 2件 後援 39件(実質後援34件、名義後援5件)

○スポーツツーリズム推進事業〔スポーツ推進室〕

(1) おおむたアリーナ開館記念事業として開催された、トップレベルのスポーツ大会等の開催費用の一部を補助しました。

8月12日(月・振休)	【バレーボール親善試合&バレーボール教室】 SAGA 久光スプリングス VS フォレストリーヴズ熊本の親善試合
9月28日(土)・29日(日)	【Tリーグ大牟田大会】 九州アスティーダ VS 木下アビエル神奈川 九州アスティーダ VS 京都カグヤライズ
12月6日(金)	大相撲大牟田場所
R7年3月9日(日)	【Wリーグバスケットボール大牟田大会】 日立ハイテククーガーズ VS 富士通レッドウェーブ

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック継承事業〔スポーツ推進室〕

① ジョージア

ジョージア柔道選手団とのスケジュールが合わず、合宿の受入れや交流事業の実施

はできませんでした。

②アフガニスタン

医療NGOペシャワール会 PMS支援室 靱井孝文氏を天領小学校に招き、故中村哲医師の活動や思い、アフガニスタンの現状などについての授業を実施しました。

期 日	場 所	内 容	備 考
R7年2月27日(木)	天領小学校	故中村哲医師の功績に関する授業 (講師 靱井孝文氏)	5・6年生 144人

【視点３）スポーツがしやすい環境づくり

市民が身近なところで、いつでも気軽にスポーツができるよう、スポーツ施設の整備・充実、学校体育施設の開放など、多様なスポーツ活動の場を提供するとともに、指導者の育成やスポーツ情報等の提供など、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。

【主な事業・取組】

○スポーツ活動の場の整備・充実事業〔スポーツ推進室〕

（１）スポーツ施設の整備・改修等

本市は、延命球場、延命プール、御大典記念グラウンド等、多くのスポーツ施設を有していますが、Ｒ６年度に供用を開始した総合体育館を除き、各施設は老朽化しており、日本スポーツ振興センター助成事業（totoくじ助成）等を活用しながら、大規模な補修、改修等工事を実施しています。

また、公共施設維持管理計画に基づき、中・長期的な視点に立って大規模改修等工事を行うなど、安心・安全に利用できるよう、施設整備に努めています。

（２）学校体育施設開放事業

地域住民の日常スポーツの場として、学校教育に支障をきたさない範囲で、小・中・特別支援学校の体育施設（体育館、運動場、中学校剣道室・柔道室、宅峰中弓道場、甘木中運動場夜間照明施設）を一般に開放しました。

区 分	R4 年度	R5 年度	R6 年度
利用団体	198	202	202
利用件数	10,899	11,570	11,965
利用人数(人)	158,342	169,139	181,947

○スポーツ活動を支える担い手づくり事業〔スポーツ推進室〕

（１）指導者の確保・育成のための研修会等の実施

①スポーツ少年団指導者研修会

スポーツ少年団の指導者を対象に、安全なスポーツ指導を行うとともに、資質の向上を図るため、研修会を開催しました。

期 日	場 所	研 修 内 容	参加者(人)
R7 年 3 月 21 日(金)	総合体育館 会議室	「ケガを防止するために必要なストレッチ」について	30

②スポーツ医科学研修会（指定管理者）

生涯スポーツを推進するに当たり、スポーツを通じた健康増進の知識を習得し、スポーツ活動において健康なからだづくりを目指すことを目的に研修会を開催しました。

期 日	場 所	研 修 内 容	参加者(人)
R7 年 2 月 12 日(水)	総合体育館 会議室	講演「過去の研修会を振り返って」	69

（２）表彰・奨励事業

①スポーツ功労者表彰

本市において、多年にわたり体育・スポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著である者、またはスポーツ競技会において抜群の成績をあげ、その競技の発展に尽くした功績が顕著である者に対し、それぞれ功労賞と記録賞（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）を授与しました。例年、スポーツ市民の祭典時に表彰を行っています。

【功労賞】

三枝 幸治	市バレーボール協会の役員として、バレーボール競技の普及・発展に寄与
篠原 信久	市バスケットボール協会の役員として、バスケットボール競技の普及・発展に寄与
内田 登美子	市バスケットボール協会の役員として、バスケットボール競技の普及・発展に寄与
井上 仁志	市陸上競技協会の役員として、陸上競技の普及・発展に寄与
石原 良一	スポーツ推進委員として、地域スポーツの普及・発展に貢献
辻井 秀治	スポーツ推進委員として、地域スポーツの普及・発展に貢献

【記録賞】

ア 最優秀賞

高嶋 理紗	パリ 2024 オリンピック競技大会 フェンシング女子サーブル団体	銅メダル
-------	--------------------------------------	------

イ 優秀賞

織田 照弓	令和 6 年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会	男子個人 81 kg級 優勝
高橋 南乃	令和 6 年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会	女子個人 70 kg級 優勝
大牟田高等学校 柔道部	令和 6 年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会	男子団体 2 位
	令和 6 年度金鷲旗高校柔道大会	男子団体 3 位

ウ 奨励賞

秋吉 航輔	令和 6 年度全九州高等学校柔道競技大会	男子個人 90Kg 級 優勝
大牟田高等学校 柔道部	令和 6 年度全九州高等学校柔道競技大会	女子団体 優勝
松尾 奏	第 26 回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会	女子団体 準優勝

○総合体育館等整備事業 [スポーツ推進室]

旧市民体育館はS 4 9 年築で老朽化が進み、バリアフリー化や旧耐震基準である等の問題を抱えていました。このため、R 2 年度に基本コンセプトを「スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気にする緑に囲まれた総合体育館」とする基本設計を行い、R 3 年度には実施設計及び施工事業者を選定し、基本設計に基づいた実施設計を取りまとめました。

この実施設計に基づき、従来のスポーツ拠点機能に加え、他の公共施設における市民活動の場を取り込むことで、市民がスポーツをはじめ様々な活動を通じて集い交流するスポーツ拠点施設を形成することとして、R 4 年度から R 5 年度にかけて総合体育館を建設しました。

R 6 年度に旧市民体育館を解体し、令和 7 年度に駐車場と芝生広場を整備します。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	指標・目標値設定の根拠
週1回以上、運動・スポーツを行っている市民の割合	目標値（％）	54.0	56.0	58.0	60.0	62.0	スポーツ推進計画に掲げる目標値を基に、毎年度2ポイントの向上を目指す。 〔現状値：39.6％（R4年度実績）〕
	実績値（％）	44.7					
	達成度（％）	82.8					

【指標達成度に対する要因分析】

- ・本市のスポーツ推進計画では、「誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり」、「活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり」、「スポーツがしやすい環境づくり」の3つの基本施策のもと、各種事業を実施しています。
- ・事業実施に当たっては、スポーツ都市宣言推進協議会、体育協会、スポーツ推進委員協議会等と連携し、各種スポーツ行事を開催するなど、各種スポーツ活動の機会を提供しました。
- ・成果指標については、R5年度43.0％と比較して1.7ポイント増となりました。これは、事業実施に当たって、スポーツ都市宣言推進協議会、体育協会、スポーツ推進委員協議会等と連携し、各種スポーツ活動の機会を幅広く市民に提供してきたことが要因の一つであると考えられます。
- ・目標値の達成に向けて、引き続き日頃からスポーツや運動を行っていない市民への情報提供や、実施に向けたアプローチが必要です。

【今後の方向性】

- ・目標値の達成に向けて、日頃からスポーツや運動を行っていない市民への情報提供や、実施に向けたアプローチをかけていきます。具体的には、スポーツ・運動の持つ効果を発信することにより、関心を持ってもらい、スポーツに気軽に参加できるような機会づくりを行います。
- ・市民の誰もがどこでも、生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送るためには、多様な市民団体等との連携のもと、さまざまな機会を捉え、各種事業のタイムリーな情報提供を行い、参加者の増を図ります。
- ・R6年4月に開館した総合体育館については、子どもから高齢者まで、また、障害がある人もない人も、誰もが気軽に利用しやすい環境を整えました。健康づくり、体力づくりの拠点として、スポーツや運動を通じて人を健康に、まちを元気にする施設を目指します。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第6章】 郷土の歴史と文化芸術を通して心豊かに生活できる社会づくり
郷土の歴史や遺産を大切に継承・活用し、郷土を愛する気持ちと誇りをはぐくむとともに、市民が文化芸術を通して心豊かで充実した生活を送ることができる文化の薫るまちを目指します。 そのため、郷土の歴史と遺産を学び、理解する機会づくりや、市民が文化芸術に親しみ、参加できる機会づくりを推進します。	

（視点1）まちの歴史や文化を守る・知る・活かす

三池炭鉱関連施設をはじめ、地域に残されている歴史遺産を適切に保存し、郷土の歴史や文化に触れ、遺産の魅力を再発見し、過去・現在・未来とのつながりについて理解を促すとともに、歴史遺産を地域づくりに活用する取組を充実します。

【主な事業】

○世界遺産保存・整備事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）世界遺産の管理・修復・活用

①史跡「三井三池炭鉱跡」の保存・管理

適切な施設の維持管理のため、外柵の補修や樹木の伐採、除草清掃を行いました。

②重要文化財「三池炭鉱宮原坑施設」の保存

宮原坑巻揚機室・竪坑櫓防災設備整備（R5～6年度）に着手し、R6年度は防災設備工事を行い、R7年3月末に竣工しました（文化庁補助事業）。

③大牟田市近代化遺産保存活用基金

大牟田市近代化遺産保存活用基金を、市内の近代化遺産の保存・整備に活用するためにH18年度に設置しました。

R6年度は国登録有形文化財「古賀家住宅主屋」所有者から申請があり、古賀家住宅主屋床下湿気対策事業で基金から45万円拠出しました。

（単位：千円）

R5 年度決算に伴う 基金高 ①	R6 年度中の増減額		R6 年度決算に伴う 基金高①+②-③
	積立額 ②	取崩額 ③	
36,172	55	450	35,777

○世界遺産・歴史遺産理解促進事業〔世界遺産・文化財室〕

（1）近代化産業遺産を活用したまちづくりの推進

①啓発グッズの作成

近代化産業遺産の記憶を次世代に伝えていくため、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会と共に、オリジナルポロシャツの啓発グッズを作成、販売しました。

②小学生を対象にした近代化産業遺産見学会の実施

市内小学校の全6年生を対象に、三池炭鉱関連の近代化産業遺産を見学する、バス見学会を実施しました。

参加者数 838人

③環境美化活動の実施

ア 宮原坑駐車場への団体による花の植栽

駛馬校区まちづくり協議会、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会

イ 三川坑跡での市民、団体等による日本庭園の清掃等

NPO法人三池港未来のまちづくり会、市民の方々

④幼稚園・小学校・中学校・高校との協働

世界遺産学習に取り組む、はやめ幼稚園、駛馬小学校、宮原中学校の子どもたちが絵を描いた木製プランター（三池工業高校の土木科生徒が作成したもの）20個を、宮原坑に寄贈を受けました。

（２）世界遺産関連施設の価値の啓発

①市内近代化遺産一斉公開の実施

全国近代化遺産活用連絡協議会事業「近代化遺産一斉公開」の一環として、官民協働で「宮原坑フェスタ」を実施しました。

実施日 11月3日（日・祝）10時～15時

場所 宮原坑

内容 ステージイベントや飲食ブースなどの催し

参加者数 約2,000人

②宮原坑、三池港展望所、旧長崎税関三池税関支署の定期公開

宮原坑は毎週月曜日および年末年始を除き毎日公開し、三池港展望所は毎日公開（ガイドは土日曜、祝日のみ）、旧長崎税関三池税関支署は土日曜・祝日のみ公開しました。

大雨・台風により6月28日、7月14・15日、8月29・30日に全施設を閉鎖しました。

見学者数 14,087人（宮原坑）、5,256人（三池港展望所）、1,250人（旧長崎税関三池税関支署）

③世界遺産登録9周年事業の実施

ア 世界遺産登録記念給食の実施

学務課の協力により、全市立小中学校と特別支援学校の給食で、炭鉱にちなんだメニュー（小学校：石炭ビーンズ、中学校：鶏肉の黒ごまみそがらめ）を実施しました。

R5年度も三池エリアの構成自治体である大牟田市、熊本県荒尾市、宇城市の3市合同で取り組みました。

7月8日（世界遺産登録日）前後に各市の小中学校と特別支援学校において実施しました。

イ 世界遺産デジタルスタンプラリーの実施

九州内の世界遺産構成資産が所在する8市が連携し、JR九州アプリを活用したデジタルスタンプラリーを行いました。JR九州アプリをダウンロードし、チェックインスポットでGPSチェックインしてデジタルスタンプを集めるもので、本市の他に福岡県北九州市、中間市、佐賀県佐賀市、長崎県長崎市、熊本県荒尾市、宇城市、鹿児島県鹿児島市が協力しました。

実施期間 7月6日（土）～12月20日（金）

④世界遺産キッズアカデミーの実施

福岡県世界遺産連絡会議（福岡県・大牟田市・北九州市・中間市）の主催で世界遺産の構成資産がある地元の小学校の児童を対象として、世界遺産の価値や魅力を伝えるオンライン講座を実施しました。講座で学んだことを各小学校が相互にオンラインで発表し、児童同士の交流を深めました（駛馬小学校6年生が参加）。また、八幡エリア（北九州市・中間市）と三池エリア（大牟田市）の小学生が相互に訪問する「世界遺産エリア間交流ツアー」を初めて実施しました。

実施日

講座 6月13日（木）、28日（金）

発 表 会 11月29日（金）

交流ツアー 11月14日（木）、12月3日（火）、R7年2月21日（金）

参加者数 約200人

⑤世界遺産海と炭鉱のカードラリーの実施

福岡県世界遺産連絡会議（福岡県・大牟田市・北九州市・中間市）の主催で世界遺産の構成資産、ガイダンス施設や関連施設を楽しみながらめぐるカードラリーを実施しました（「明治日本の産業革命遺産」と『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」合同）。

実 施 日 7月15日（月・祝）～10月14日（月・祝）

⑥宮原坑ライトアップ

日本赤十字社福岡県支部の依頼を受けて、期間限定で宮原坑を赤色にライトアップしました（本市ではR3年度から協力しており、R6年度で4回目）。

実 施 日 5月1日（水）～8日（水）

⑦アクロス福岡でのパネル展・講座

世界遺産の価値や魅力を効果的に発信し、本市及び三池エリアの構成資産に対する理解増進、来訪促進を図ることを目的としたパネル展・講座を実施しました。

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」と三池炭鉱・三池エリアパネル展・講座

期 間 パネル展9月9日（月）～15（日）、講座9月15日（日）

場 所 アクロス福岡2階メッセージホワイエ

来場者数 パネル展3,803人、講座36人

⑧SAGA2024国スポ・全障スポ「おもてなし広場」における世界遺産PR

佐賀市等と協力しSAGAスタジアムにてブースを設置し、パネル展示やパンフレット等を配布し、広報活動を実施しました。

実 施 日 10月10日（木）

⑨「私の好きなおおむた世界遺産」絵画コンクールの実施

大牟田地方ユネスコ協会との共催で市内の児童・生徒を対象とし、世界遺産を通し本市への愛着と誇りをより深めることを目的とした絵画コンクールを実施しました。

募集期間 7～8月

応募総数 72点

⑩地域観光資源の多言語解説整備支援事業

英語ネイティブライター等の専門人材を派遣してもらい、ネイティブ目線による世界遺産及び近代化遺産の英語解説文（中国語・韓国語含む）作成を行いました（観光庁事業）。

⑪「フューチャーデザイン×三池炭鉱」の実施

京都先端科学大学の協力でフューチャーデザイン（様々な課題に対し、現役世代だけでなく、その課題の影響が及ぶ将来世代の立場も踏まえて議論しようとする取り組み）による、三池炭鉱ワークショップを実施しました。

実 施 日 R7年1月18日（土）、25日（土）、2月1日（土）

⑫出前講座等の実施

世界遺産の価値を広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 4件

視察対応 5件

イ 各種事業への共催等の実施

後 援 4件

○文化財保護事業〔世界遺産・文化財室〕

（１）指定文化財の保護

①指定文化財の管理

ア 指定文化財地内除草清掃（潜塚古墳、萩ノ尾古墳、早鐘眼鏡橋、上内立花内膳家墓地）、指定文化財定期点検（毎月）、災害時点検を実施しました。

イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」の石室内部の保存環境について、定期的な記録管理を行いました。

（２）文化財の調査・公開・活用

①埋蔵文化財発掘調査

試掘・確認調査（国・県補助事業）

各種開発に伴う事前の文化財の有無に関する問合せが７１８件あり、そのうち試掘・確認調査を行ったのは１０件、本調査を行ったのは０件でした。

②文化財防火デー

ア 福岡県指定文化財「旧長崎税関三池税関支署」において、文化財防ぎょ訓練を実施しました。

実施日 R 7 年 1 月 2 6 日（日）

イ 文化財防火デーを周知するため、ポスターを国指定・登録文化財（建造物）所有者に配布し、掲示を依頼しました。

ウ 県指定文化財「慈覚大師坐像」「薬師如来坐像」が安置されている普光寺本堂と、旧長崎税関三池税関支署の防火設備の点検を行いました。

③文化財保護強調週間

所有者の協力を得て、５月と１１月に国登録有形文化財「古賀家住宅主屋」を公開しました。

④ぜんでこ踊り保存会補助

市指定無形民俗文化財「岡天満宮祭礼行事」の保存団体であるぜんでこ踊り保存会へ補助金を交付しました。

⑤常設・企画展示の充実（三池カルタ・歴史資料館）

三池カルタ・歴史資料館が行う常設・企画展に対し、協力・助言・指導を行いました。

（常設・企画展の内容については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」（１６７～１６９ページ）を参照）

（３）文化財保護の啓発

①文化財説明板の更新

県指定文化財「慈覚大師坐像」「薬師如来坐像」及び普光寺の文化財説明板を更新しました（福岡県補助事業）。

②出前講座等の実施

大牟田の成り立ち・歴史について広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣 ７件 視察対応 １件

イ 各種事業への共催等の実施

後援 １件

③三池カルタ・歴史資料館共催事業

ア 古代体験講座「勾玉づくり」

実施日 ７月２４日（水）

場 所 カルタックスおおむた
参加者数 10人
イ 大牟田史跡めぐりウォーク-甘木山編-
実 施 日 R7年2月9日(日)
参加者数 20人

④大牟田古墳カードの再版・配布

大牟田古墳カード3種(潜塚古墳・黒崎観世音塚古墳・萩ノ尾古墳)の各200枚を再版し、各古墳の見学者に配布しました。

【配布場所】

- ・潜塚古墳カード：駛馬天満宮社務所
- ・黒崎観世音塚古墳カード：三池カルタ・歴史資料館
- ・萩ノ尾古墳カード：フードショップヒラヤマ

【視点２）文化芸術事業の充実

質の高い文化芸術に触れる機会と、身近な場所で文化芸術に触れる機会の充実を図ります。あわせて、子どもや若者が文化芸術に触れ、豊かな感性を育むとともに、文化芸術に対する関心を高める機会の充実を図ります。また、誰もが気軽に文化芸術に親しめるよう、市民が参加しやすい事業の充実に努めます。

【主な事業】

○文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業〔生涯学習課〕

（１）まちの芸術家派遣事業

子どもが質の高い文化芸術に触れ、豊かな感性を育む機会をつくるため、文化芸術活動者を学校へ派遣し、学校教育における文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図りました。

実施事業数 25件

学校名	ジャンル	派遣団体	と き
吉野小学校	美術(押し花)	花みずき会	5月23日(木)
駛馬小学校	美術(押し花)	花みずき会	6月10日(月)
中友小学校	茶道	裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	6月17日(月)
中友小学校	文学	おはなしの森	6月19日(水)
宅峰中学校 ほしぞら分校	美術(押し花)	花みずき会	6月20日(木)
駛馬小学校	茶道	裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	7月8日(月)
中友小学校	茶道	裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	7月8日(月)
駛馬小学校	音楽(箏)	大牟田三曲協会	9月9日(月)
駛馬小学校	華道	大牟田文化華道連盟	9月24日(火)
羽山台小学校	華道	大牟田文化華道連盟	10月7日(月)
白川小学校	美術(押し花)	花みずき会	10月21日(月)
大牟田支援学校	美術(押し花)	花みずき会	10月25日(金)
中友小学校	音楽	大牟田音楽家協会	11月8日(金)
倉永小学校	華道	大牟田文化華道連盟	11月11日(月)
宅峰中学校 ほしぞら分校	音楽	大牟田音楽家協会	11月11日(月)
倉永小学校	美術(押し花)	花みずき会	11月18日(月)
倉永小学校	茶道	裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	11月18日(月)
倉永小学校	美術	炭都国際交流芸術祭 in 大牟田実行委員会	11月25日(月)
羽山台小学校	茶道	裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	11月25日(月)

学校名	ジャンル	派遣団体	と き
玉川小学校	音楽	大牟田音楽家協会	11月25日（月）
みなと小学校	音楽	大牟田音楽家協会	12月6日（金）
駛馬小学校	美術（書道）	大牟田美術協会（書道部）	12月9日（月）
中友小学校	美術（押し花）	花みずき会	12月9日（月）
駛馬小学校	華道	大牟田文化華道連盟	R7年1月20日（月）
手鎌小学校	茶道	裏千家淡交会 大牟田学校茶道連絡協議会	R7年1月20日（月）

過去の実績

分野\年度	R3	R4	R5	R6
押し花	2	6	6	7
書道	0	0	1	1
華道	0	1	4	4
茶道	2	4	5	6
音楽	3	4	5	4
三曲	3	2	2	0
箏・三絃・尺八	0	1	1	1
美術	0	0	0	1
文学	0	0	0	1
合計	10	18	24	25

（２）日本フィルハーモニー交響楽団との推進協定に基づいた取組

本市と公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団が締結する推進協定に基づき、日本フィルハーモニー交響楽団大牟田公演において、本市の小・中・特別支援学校の児童生徒の専用席（おおむた未来応援シート）を確保し、次世代を担う子どもたちに対して鑑賞の機会を提供しました。また、アンサンブルコンサートも実施。

年度等\取組		おおむた未来応援シートの設置	アンサンブルコンサート
R4	とき	R5年2月19日（日）	R5年2月20日（月）
	ところ	文化会館	てとてのたまご（菅原病院）
	参加者	149人	50人
R5	とき	R6年2月11日（日・祝）	R5年12月13日（水）
	ところ	文化会館	歴木中学校
	参加者	159人	300人
R6	とき	R7年2月9日（日）	R6年11月14日（木）
	ところ	文化会館	天の原小学校
	参加者	約180人	202人

(3) 子ども・若者の感性を育む文化芸術事業（新規）

劇作家・演出家の平田オリザ氏が主宰する劇団等と連携し、市内の保育所・認定こども園・幼稚園、または小学校低学年を対象に巡回公演を実施。実施の際は、鑑賞だけでなく、演劇体験や演者との交流等も行った。

と き 10月28日（月）～10月30日（水）

ところ 白鷺保育園、小浜保育所、明治幼稚園、しらかわ幼稚園、大正小学校、
駿馬小学校（6か所）

参加者 332人

○まちなか文化芸術提供事業〔生涯学習課〕

(1) 本市の特色を活かした文化芸術事業

大牟田押し花の会が主催する「押し花アートフェスタ」において、学童保育所での押し花ワークショップの開催支援や、サポートスタッフとなる高校生ボランティアの依頼、学校へのチラシ振分けや広報周知など後方支援を実施しました。

(2) 大牟田市民文化のつどい事業

市民の文化活動の発表の場を充実させ、芸術鑑賞の機会を設けることにより、市民の文化芸術に対する理解を深め、もって地域文化の創造と発展に資するために開催しました。

実施事業数 20件

入場者数 9,196人

事業名	主管団体名	と き	ところ
二流派合同茶会	大牟田茶道連盟	4月7日（日）	文化会館展示室
第71回青々水彩画協会公募展	青々水彩画協会	4月16日（火） ～4月21日（日）	文化会館展示室
第32回ありあけ山野草会	ありあけ山野草会	4月25日（木） ～4月27日（土）	文化会館展示室
大牟田能楽会 素謡・仕舞・囃子の会	大牟田能楽会	6月23日（日）	文化会館小ホール
SPROUT DANCE SHOW Vol.18	大牟田ストリートダンス協会	6月30日（日）	文化会館大ホール
アロハ大牟田フラ フェスティバル	大牟田ハワイアンフラ愛好会	7月20日（土）	文化会館小ホール
第15回上津原仁子バレエ研究所発表会	大牟田バレエ協会 （上津原仁子バレエ研究所）	8月25日（日）	文化会館大ホール
大牟田押花フェスタ 2024	大牟田押花の会	9月18日（水） ～9月22日（日・祝）	文化会館展示室
第2回舞台芸能合同発表会	大牟田民舞協会 （日本舞踊幸若流）	9月23日（月・振休）	文化会館大ホール
三曲・民謡演奏会	大牟田三曲協会	10月13日（日）	文化会館小ホール
第41回大牟田市民音楽フェスティバル 2024 大牟田合唱祭	大牟田音楽連合会 （大牟田合唱連盟）	10月6日（日）	文化会館大ホール
歌謡フェスティバル 2024	大牟田民舞協会 （日本舞踊幸若流）	10月14日（月・祝）	文化会館小ホール
クラシックギターの集い 大牟田クラシックギター愛好会 第10回定期演奏会	大牟田クラシックギター愛好会	10月19日（土）	文化会館大ホール

事業名	主管団体名	と き	と ころ
俳句大会	大牟田俳句連合会	10月19日（土）	文化会館研修室
第73回大牟田美術展 前期:洋画、彫刻、写真、陶芸 後期:日本画、書道、染色	大牟田美術協会	前期:10月22日(火) ～10月27日(日) 後期:11月1日(金) ～11月7日(木)	文化会館展示室他
各流派合同日本舞踊の会	大牟田日本舞踊連盟	11月10日（日）	文化会館小ホール
ふるさと大牟田の歴史と文化	三池史談会	11月17日（日）	三池カルタ館・歴史資料館
大牟田吟詠連盟 65周年記念大会	大牟田吟詠連盟	11月23日（土・祝）	文化会館大ホール
華道家元・池坊大牟田支部花展	大牟田文化華道連盟	R7年2月22日（土） ～2月23日（日・祝）	文化会館展示室
障害のある人の発表枠	特定非営利活動法人 大牟田市障害者協議会	R7年1月22日（水）	文化会館小ホール

（３）身近な空間を活用した学びと文化の発表事業

文化施設のみならず、まちなかや店舗などの身近な日常生活の中で気軽に文化芸術に触れあえる機会を創出するとともに、文化芸術活動者の発表の機会を提供しました。

場所	内容	と き	参加者数 (人)
イオンモール大牟田	ジャズライブ	7月28日（日）	120
	オータムコンサート	11月8日（金）	55
ともだちや絵本美術館	100万人のクラシックライブ	7月28日（日）	60
	アコーディオン演奏、ミュージックケーキ作りワークショップ	R7年2月11日 (火・祝)	119
ゆめタウン大牟田	えほん読み聞かせ&ピアノコンサート	8月25日（日）	120
大牟田市議会議場	三池高校邦楽部 箏演奏	11月3日（日・祝）	59
	大牟田音楽家協会 クラシックコンサート	11月3日（日・祝）	52
イオンモール大牟田他市内公共施設	巨大アート巡回展示	11月24日（日）～ R7年3月31日（月）	-

（４）トップアーティスト招聘&交流事業

テレビ出演や舞台に数多く出演しているパーカッションパフォーマンスの団体を招聘し、子どもから大人まで楽しめるパフォーマンスや交流を兼ねたコンサートを実施しました。

と き R7年2月24日（月・振休）

内 容 パーカッション・パフォーマンスプレイヤーズによる打楽器パフォーマンス

と ころ 文化会館大ホール

参加者 約800人

（視点３）文化芸術を活用した新たな価値や多様性の創出

文化芸術が生み出す福祉、教育などの様々な分野の価値を人づくりやまちづくりの面で活かすとともに、人々の相互理解や多様な価値観が尊重される取組を進めます。

【主な事業】

○文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業〔生涯学習課〕

①協働のまちづくり部門（アート×まちづくり体感型シンポジウム）

文化芸術を活用したまちづくりの可能性や方向性を実践者からの報告や学識経験者からの助言、先進事例の紹介などを行うとともに、実際に参加者がアートを体感するワークショップも行うなど体感型シンポジウムを開催しました。

と き １０月５日（土） １３：００～１６：００

内 容 音楽ライブやアルコールインクアートのワークショップ、アートによるまちづくり実践者からの活動報告、学識経験者による講演、パネルディスカッション

ところ 大牟田文化会館 憩いの mori

参加者 大牟田市民 ４３人

②次世代育成部門（演劇ワークショップ）

演出家・脚本家として福岡県内を中心に活躍する中嶋さと氏による演劇ワークショップを実施しました。

と き １１月１８日（月）、１１月２８日（木）

内 容 倉永小学校５年生対象とした演劇ワークショップ

ところ 倉永小学校

参加者 ２３人

講 師 劇団「FOURTEEN PLUS １４＋」中嶋さと氏ほか劇団メンバー３人

○多様性を尊重した文化芸術交流事業〔生涯学習課〕

（１）障害のある人等による文化芸術活動推進事業

①おおむたアート EKIDEN ～つなげるアート・つながるハート～

障害のある人の文化芸術活動を支援するとともに障害のある人が気軽に文化芸術に触れることができるための機会を設けるとともに、文化芸術を通して障害の有無に関わらず様々な市民の交流が促進される機会を創出しました。

と き ①１１月２４日（日）

②１１月２４日（日）～Ｒ７年３月３１日（月）

内 容 ①大型商業施設における１００号サイズのアートの共同制作ワークショップ
②完成作品の巡回展示

ところ ①イオンモール大牟田

②イオンモール大牟田、大牟田文化会館、えるる、駛馬地区公民館、手鎌地区公民館、総合体育館、市役所２階玄関前

②まごころアート FUKUOKA GALLERY 事業展示会

福岡県が取り組む、障害のある人が制作したアート作品（まごころアート）のレプリカを企業や官公庁、団体、個人等に有料で貸し出し、その料金の一部を制作者に還元する事業の展示会を、Ｒ６年度に初めて大牟田市にて開催しました。

と き １２月７日（土）～１２月１５日（日）

ところ 大牟田文化会館 展示室

（２）有明圏域定住自立圏内の市町が連携した多様な文化芸術の取組

①有明美術展

大牟田市、柳川市、みやま市、大川市、荒尾市の美術団体及び、各市町の連携により、圏域内の美術家の優れた作品を展示しました。

と き 5月28日（火）～6月2日（日）

ところ 大牟田文化会館 展示室他

②有明圏域定住自立圏共同文化事業

文化の視点から有明圏域定住自立圏の各市町の様々な魅力を発信するため、有明圏域定住自立圏4市2町地域の見どころの文化を紹介する写真の展示を有明美術展の開催に合わせて行いました。

と き 5月28日（火）～6月2日（日）

ところ 大牟田文化会館展示室前廊下

（視点４）文化芸術活動への支援、環境づくり

文化芸術活動を行う市民団体への支援を行います。また、文化施設の適切な維持・補修を行うとともに、これからの文化施設が地域で果たす役割について検討し、機能の充実を図ります。

【主な事業】

○文化芸術活動支援事業〔生涯学習課〕

（１）各種共催事業等の実施

各種文化・芸術活動に対する共催や後援

年度	R3	R4	R5	R6
件数	41	59	66	51

○文化会館施設整備事業〔生涯学習課〕

大牟田文化会館はＳ６１年（１９８６年）に開館しました。施設の老朽化が進む中、計画的な予防保全が必要となっていることから、公共施設維持管理計画等に基づき、維持補修に取り組みました。

- ・文化会館 大ホール舞台機構改修、大ホール舞台照明改修、大・小ホール特定天井改修設計業務委託、受変電設備更新工事など

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	R6	R7	R8	R9	R10	指標・目標値設定の根拠
1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合	目標値 (%)	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	文化芸術振興プランに掲げる目標値を基に、80.0%以上を目指す。 [現状値:47.3%(R4 年度実績)]
	実績値 (%)	50.8					
	達成度 (%)	63.5					

【指標達成度に対する要因分析】

- ・文化芸術事業の開催を幅広く周知するため、広報おおむたやホームページ（R6年度から文化芸術イベント情報のページを新たに掲載）、LINE等を活用するとともに、チラシやポスターを公共施設に配布・掲示し、積極的な広報を行いました。また、大牟田文化会館においては、文化情報誌「ゆにぞん」のカラー化やホームページのリニューアルを行い、魅力ある文化芸術情報の発信の強化に取り組みました。
- ・市民が参加しやすい身近な文化芸術事業として、大牟田市民文化のつどい事業を年間で20事業実施しました。また、大牟田市民文化のつどい事業においては、R6年度から障害のある人の発表枠等を設け、このうち障害のある人の文化芸術祭を初めて実施しました。
- ・R5年度に新たに策定した第3期大牟田市文化芸術振興プランに基づき、子どもや若者の感性を育む事業やトップアーティスト招聘&交流事業等、市民ニーズに応じた多様な事業を展開することができました。
- ・これらの取組が実績値の上昇に寄与しているものと考えられます。

【今後の方向性】

- ・文化芸術に触れる機会を創出し、市民が相互に尊重しながら多様性を認め合う心豊かで持続可能な大牟田の未来を創るため、引き続き、さまざまな施策に取り組みます。特に次世代を担う人づくり及び市民の文化芸術活動の支援に力を入れることとし、子どもの頃から文化芸術に触れることができる取組を充実します。また、文化芸術団体の支援や交流、ボランティアの育成など、文化芸術活動を支える取組を進めます。
- ・大牟田文化会館は、施設や設備の老朽化が進んでいることから、公共施設維持管理計画や舞台設備等改修計画に基づき、確実かつ円滑な改修に向けた取組を進めます。
- ・世界遺産を始め、市内に所在する文化財の保存と活用を図ることで、まちの文化や歴史について市民の理解と関心を深め、郷土への愛着と誇りを育みます。また、市内外の来訪者に世界遺産の魅力を発信し、顕著な普遍的価値を広く理解してもらえるよう取り組みます。

学 識 経 験 者 意 見

大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の 点検及び評価についての意見書

福岡教育大学
教授 石丸 哲史

このたび、大牟田市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行った。本稿では、点検・評価の手法に焦点を置きながらも、この趣旨から逸脱することのない範囲において施策そのものについても言及する。

○教育委員会の活動状況について

定例会・臨時会をはじめ、総合教育会議、学校訪問、各種行事および研修会等への出席、勉強会の開催など、教育委員会のさまざまな活動について詳細に記載されており、市民への広報として適切なものとなっている。

総合教育会議では、不登校児童生徒への支援の充実を目指した「大牟田市版COCOLOプラン」に関する協議や意見交換などが行われた。「ハートフルスクールプロジェクト推進事業」のみならず、夜間中学校「ほしぞら分校」や学びの多様化学校などについても話題となり、多様な学びの場の提供について市長と協議できたことは有意義であった。

勉強会については、令和6年度は、人権問題意識調査、全国学力・学習状況調査結果、学校教育振興事業計画等の様々なテーマを設定し、延べ9回の勉強会を実施しておられるが、全国学力・学習状況調査結果に照射していることが特筆される。概して教育委員会会議では、標準化得点などかかる調査結果の報告に対して意見や要望を伝える機会はあるものの、このことに焦点を当てた勉強会が実施されている教育委員会は多くはないと考える。標準化得点の学校間変動や時系列比較に関心を寄せられるだけでなく、要因分析や課題解決に腐心されているご様子が見えてくる。教育委員の責務は、会議における教育行政に関する重要事項などについての審議、教育現場の視察、意見・要望などの聴取、教育関係の各種行事に出席することであるが、教育の実態について理解を深めようという気概と積極的な情報収集および調査結果の分析・検討に向かう姿勢には頭が下がる。

教育委員会活動に関しては積極的な広報に努めており、会議開催の告知や会議資料の閲覧、議事録の公開など、ウェブサイトをはじめとした複数の媒体によって情報発信を行っている。「教育委員会だより」の年3回発行も定着し、引き続き充実した広報活動を行っていく必要がある。

○教育委員会および市長部局関係分における重点事業について

◆教育委員会関係分

令和6年度は、児童生徒が持続可能な社会の創り手となれるよう、知識・技能とそれらを活用する力を育成し、社会において自立的に生きるための基盤を培うとともに、将来の夢や目標に向かって主体的に学習に取り組む態度を育成する方針を打ち立てている。同時に、日本社会に根差したウェルビーイングの実現のため、自尊感情や自己効力感を高めるとともに、「幸福感」や「協働性」「多様性への理解」「心身の健康」などの要素を向上させることにも意を注いでいる。学力向上と不登校対策が本市の大きな課題であるとの認識のもと、後述する認知能力と非認知能力との関係性を追究し、狭義の学力向上に傾注しながらも広義の生きる力を育むことも怠っていないことがわかる。

前年度指摘した基本方針にかかる成果指標の達成状況については、「中学生の将来に向けた意欲」の目標値が、80%から85%に引き上げられた。令和6年度も目標値を上回り着実に成果を上げているので、他の目標値についても今後の推移を見ながら見直していく余地もあろう。

以下、基本方針に基づいた重点事業について、点検・評価の妥当性および事業そのものについて管見を申し述べる。

I-1 学力ブラッシュアップ推進事業について

大牟田市が推進してきたESDは非認知能力の向上にも寄与したといえるが、全国学力・学習状況調査の得点が低ければ、このESDの評価も限定的なものとなる。したがって、令和4年度から全国学力・学習状況調査の標準化得点を指標として目標値を設定したことは大きな変革といえ高く評価される。とりわけ令和6年度は、本事業を重点事業の1丁目1番地に据えており、大牟田市教育委員会が学力向上に正面から向き合ったことになり、その覚悟のほどがうかがえる。

残念ながら、標準化得点を前年度より向上させるという目標を達成することはできなかった。しかし、記述解答式問題や活用力を問う問題と基本的生活習慣の定着において課題が明らかになっており、学力向上に向けて改善すべきことが整理されている。したがって、スタディサポーターや学力向上アドバイザーなどの人的支援、授業改善に関する研修、家庭学習定着に向けた取組などの学校や教職員に対する支援を引き続き行っていく必要がある。前年度より学力を向上させた「個の人数」の増加に取り組む姿勢は歓迎したい。

I-1 III-1・2 小中一貫教育推進事業について

小中一貫教育は、学習面および生活面における一貫性という意義だけでなく、一

一般的に中学校区が小学校区を空間的に包含することから、中学校区を単位とするコミュニティ・スクールの円滑な運営にも貢献する。たとえば、宮原中学校区では、教育目標と目指す児童生徒像を共有し、9年間を見通した教育課程や校務分掌の編成を行うために、地域学校協働活動推進員などの人的支援も行われている。地域住民や保護者の方々が中心となって開設された「放課後子ども塾」は、学校と家庭・地域が連携した大きな成果といえよう。この成果は他の中学校区へ展開していくための布石となる。また、管理職など一部の構成員に偏らないように、教職員の研修会や合同授業研究会などが行われていることは、全教職員の意識改革にもつながり大変有意義である。「中1ギャップ」の解消、生徒の自己肯定感の高揚に向けた取組の必要性を認識していることから、教科指導など教育課程編成を含めた取組の推進を期待したい。

I-4 ESD 推進事業について

市立学校のすべてがユネスコスクールになって今年で14年目を迎え、今日までの取組を総括する好適な時期といえる。これまでのイベントの内容の再検討や実効性に関する精査によって、現在の事業内容に改善されたものとする。官民連携、学社連携を推進し、その取組を共有するものとして「ユネスコスクール・SDGs/ESD 交流会」や「ユネスコスクール・SDGs/ESD 子どもサミット」を位置づけ、広く市民や企業、団体などと連携して、学習の充実を図ろうとしているところからは、ホールシティアプローチによるESDの真骨頂が見えてくる。とりわけ、小中一貫教育を見通したSDGs/ESDを推進するため、中学校区内の学校間で教育課程についての協議を進める必要性を認識しているところが特筆される。非認知能力の向上などをESDに委ねるためには教育課程との関係強化に力を尽くす必要があるだけに、この課題意識は大変重要である。小中一貫、コミュニティ・スクールなどとの連携を深め、ESDだけ一人歩きすることのないよう留意していただきたい。また、地域完結的、地域埋没的なESDはユネスコスクールの理念に反することになる。各校区の特色を生かしてグローバルな視点からの教育活動を展開するとしているので、この点に留意しながら取組を深めていく必要がある。

II-1 ハートフルスクールプロジェクト推進事業について

「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」いわゆるCOCOLOプランを各地方教育委員会において展開していくにあたっては、いじめ・不登校対策にかかるこれまでの成果に立脚する必要がある。大牟田市では、これまでスクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関とのネットワークを活用した支援や、学校、家庭等への訪問を行うことなどにより、不登校などの事案の解決や改善を図ってきた。このたび、新規に本事業を立ち上げ、校内にハートフルルーム、学校以外にサ

テライトスペースを開設するとともに、スクールカウンセラーの配置時数を市独自に上乘せするなど、伴走できる「人」の確保と「仕組み」づくりにも尽力している。

「すべての児童生徒が学びたいと思ったときに学べる環境を整える」といった方針のもと、不登校の未然防止にも努めている。不登校児童生徒数・出現率とも5年度に比べて減少し改善傾向がみられることから、引き続き取組を深めていく必要がある。

IV-1 学校再編整備推進事業について

令和3年度より大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画が着実に進められている。各学校におけるクラス替えの実施、中学校の教科指導体制の充実、部活動の活性化など、児童生徒の教育環境の向上を目的としている事業である以上、このことが達成されているかどうか、再編の効果の検証を怠ってはならない。第1段階である橘・田隈・歴木中学校の再編の成果と課題をふまえ、第2段階である白光・甘木・白銀・御木中学校の再編に向かっていく必要がある。これに関して、保護者や教職員に対してアンケート調査を実施することから、着実にこれを進めていただきたい。

V-1 人権・同和教育・啓発推進事業について

「差別をしない」から「差別をなくす」取組を進めていくことに力を尽くさなければ、SDGsの趣旨である「誰一人取り残さない」社会の実現は困難であり、SDGs未来都市である大牟田市はこのことに全力を傾倒すべきである。「各学校において人権・同和教育カリキュラムを実践する際には、児童生徒の実態に応じて、同じ中学校区の小学校同士や小学校と中学校が連携して取組を進め、一連の学習内容の積み上げの関連が図れるように実践を進める必要がある」としている。ともすれば、新規性に乏しい各種取組の実施にあって、奇をてらう必要はないとしてもメディアや媒体などの工夫はすべきである。「広報おおむた」やホームページ、広告モニターのほか、「愛情ねっと」、公式LINE等の活用を検討していることから、SNSの効果をもたえて啓発事業を展開していき、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指していただきたい。

◆市長部局関係分

「大牟田市まちづくり総合プラン」に掲げる関係施策に対する点検・評価は、社会教育の振興や文化財の保護など教育委員会の権限に属する事務について実施されている。本稿では重点事業である4-1「高校生まちづくり部」活動推進事業について言及する。

小中一貫教育によって培われた生きる力は、高校の教育課程においてさらに深化

発展し、生徒は持続可能な社会の創り手に成長していく。高校生にこの成長の機会や場を提供することは、地域社会との絆を深め、地域を創生していこうという意欲の向上にも貢献する。座学に留まらず、フィールドワークなどの実体験をふまえたプログラムは、高校における総合的な探究の時間との相乗効果が期待できる。重要な点は、まちづくりという探究課題に向かう上でどのような学びがあったかを検証することである。「将来、大牟田のために役に立ちたいと思う」といった情意面だけでなく、持続可能な社会を創る力がどのくらい獲得されたかどうか検証して事業を深めていく必要がある。高校生の参画による有意義なまちづくり事業の実現は、後に続く小・中学生への教育的効果も大きいといえる。

令和6年度は、大牟田市第7次総合計画「まちづくり総合プラン 2024～2033」の計画初年度となり、総合計画に基づいて策定した第3期大牟田市教育振興基本計画「大牟田市学校教育振興プラン 2024～2028」もスタートを切った。このプランに基づいた「令和6年度大牟田市学校教育振興事業計画」にもとづく事業の点検評価は、大牟田市教育の行く末を決定しかねない、5年間の中で重要な位置づけとなった。

「まちづくりは人づくりから」とよく言われる。市政の推進にあたってのキーワードとなるが、「人づくりはまちづくりから」という言い回しもできるのではないかと思う。地方教育行政を推進していくにあたっては、学社連携、官民連携、学校運営協議会制度など子どもを育てる体制が確立していなければならず、まち自体が持続可能な社会を創る人材のインキュベーター（孵化器）たるべきである。「ユネスコスクール・SDGs/ESD 交流会」や「ユネスコスクール・SDGs/ESD 子どもサミット」などの実績は、社会全体で子どもを育てる精神にもとづいた、まさに「人づくりのためのまちづくり」の成熟モデルを示したものである。

先日のユネスコスクール・SDGs/ESD 交流会に参加させていただき、「高校生になった今、中学校での学びの成果とその重要性を実感している。」との高校生の語りに感銘を受けた。教育は国家百年の計というように、喫緊の教育課題に対処しつつも長期的視点に立って人づくり計画の全体を俯瞰することが重要である。

点検評価委員として、大牟田市教育の独自性と先進性、そしてその進展を具に見てただけに、「未来価値創造都市おおむた」の人づくりのさらなる発展を確信している。

以上

資 料 編

〔 歴代教育委員等 〕

1 歴代教育委員

氏 名	期 間
黒 田 潔	S27. 10. 5～ 31. 9. 30 31. 10. 1～ 35. 9. 30
藤 津 潔	27. 10. 5～ 31. 9. 30
米 倉 勇 喜	27. 10. 5～ 31. 9. 30 31. 10. 1～ 34. 4. 18
三 島 利 信	27. 10. 5～ 31. 9. 30
古 賀 初 男	27. 10. 5～ 29. 9. 30
堀 弘	29. 10. 1～ 31. 9. 30
湯 村 誠 男	31. 10. 1～ 33. 9. 30 33. 10. 1～ 37. 9. 30
水 町 キ ク	31. 10. 1～ 32. 9. 30 32. 10. 1～ 36. 9. 30 36. 10. 13～ 40. 10. 12
川 畑 昭二路	34. 5. 19～ 35. 9. 30
稲 員 鎌 造	36. 3. 16～ 40. 3. 15
平 木 次 郎	36. 3. 16～ 40. 3. 15 40. 4. 21～ 41. 10. 7
近 藤 広 蔵	37. 10. 3～ 41. 10. 2
古 崎 真 直	40. 4. 21～ 41. 8. 24
松 本 勇	40. 11. 13～ 41. 8. 24
猿 渡 五三郎	41. 8. 25～ 44. 4. 20 44. 5. 1～ 48. 4. 30
藤 田 光 雄	41. 8. 25～ 42. 10. 15 42. 12. 21～ 46. 12. 20
小田原 武 則	41. 10. 14～ 45. 10. 13 45. 10. 14～ 49. 10. 13
坂 口 長一郎	40. 10. 14～ 44. 4. 20 44. 5. 1～ 48. 4. 30 48. 5. 15～ 52. 5. 14 52. 5. 20～ 56. 5. 19
清 水 龍 哉	46. 12. 24～ 50. 12. 23 50. 12. 24～ 54. 12. 23
相 島 壽	48. 5. 15～ 52. 5. 14 52. 5. 20～ 56. 5. 19 56. 5. 20～ 60. 5. 19
永 田 恒 久	49. 10. 14～ 53. 10. 13 53. 10. 14～ 57. 10. 13
蒲 池 當	56. 5. 20～ 60. 5. 19
大 隅 一 雄	54. 12. 24～ 58. 12. 23 58. 12. 24～ 62. 4. 15
大久保 修 吉	57. 11. 20～ 61. 11. 19
辻 政 義	62. 7. 24～ 62. 12. 23 62. 12. 24～ H3. 12. 23
河 口 政 俊	60. 5. 27～ H元 5. 26 元 5. 27～ 5. 5. 26
長 島 政 勝	S60. 5. 27～ H元 5. 26 元 5. 27～ 5. 5. 26
圓 佛 洋 右	S62. 3. 12～ H3. 3. 11 3. 3. 13～ 7. 3. 12 7. 3. 13～ 11. 3. 12 11. 3. 13～ 15. 3. 12
蓮 澤 浩 明	3. 12. 24～ 7. 12. 23 7. 12. 24～ 11. 12. 23 11. 12. 24～ 15. 12. 23
山 本 進 一	5. 5. 27～ 9. 5. 26 9. 5. 27～ 13. 5. 26 13. 5. 27～ 15. 9. 30

氏 名	期 間
木 村 和 子	5. 5. 27～ 9. 5. 26 9. 5. 27～ 13. 5. 26 13. 5. 27～ 17. 5. 26
山 本 和 夫	15. 3. 13～ 19. 3. 12 19. 3. 13～ 23. 3. 12 23. 3. 13～ 27. 3. 12 27. 3. 13～ 31. 3. 12 31. 3. 13～ R5. 3. 12 5. 3. 13～
後 藤 和 子	H15. 10. 1～ 17. 5. 26 17. 6. 1～ 21. 5. 31
大 平 修	16. 3. 1～ 20. 2. 29 20. 3. 3～ 24. 3. 2 24. 3. 3～ 28. 3. 2
古 後 八 重 子	17. 6. 1～ 21. 5. 31
池 田 美 子	21. 6. 1～ 25. 5. 31
嶋 田 桂 子	21. 6. 1～ 25. 5. 31 25. 6. 1～ 29. 5. 31 29. 6. 1～ R3. 5. 31 3. 6. 1～
本 山 清 美	H25. 6. 1～ 29. 5. 31 29. 6. 1～ 30. 5. 31
東 秀 樹	28. 3. 22～ R2. 3. 21 2. 3. 22～ 6. 3. 21 6. 3. 22～
笹 井 葉 子	H30. 6. 1～ R4. 5. 31
木 場 真 帆	R 4. 6. 1～

2 歴代教育長

氏 名	期 間
堀 次 助	S27. 11. 1～ 31. 9. 30
稲 員 鎌 造	31. 10. 1～ 34. 9. 30
樋 口 種 樹	34. 10. 5～ 38. 10. 4
安 元 薫	38. 11. 8～ 41. 8. 24
池 上 尚 司	41. 9. 5～ 44. 11. 12 44. 11. 13～ 46. 6. 7
枡 原 秋 雄	46. 7. 23～ 48. 11. 12
池 田 喜 市	49. 3. 9～ 53. 2. 26
黒 田 弘	53. 2. 27～ 57. 2. 26 57. 2. 27～ 61. 2. 26 61. 2. 27～ H2. 2. 26
西 田 茂	2. 3. 10～ 6. 2. 26
荒 木 和 久	6. 3. 4～ 10. 3. 1 10. 3. 2～ 14. 3. 1 14. 3. 2～ 18. 3. 1
宮 田 忠 雄	18. 3. 2～ 22. 3. 1 22. 3. 2～ 26. 3. 1
安 田 昌 則	26. 3. 3～ 27. 3. 31 27. 4. 1～ 30. 3. 31 30. 4. 1～ R3. 3. 31
谷 本 理 佐	R3. 4. 1～ 6. 3. 31 6. 4. 1～

3 歴代教育長職務代理者

氏 名	期 間
山 本 和 夫	H27. 4. 1～ 30. 3. 31 30. 4. 1～ R3. 3. 31 3. 4. 1～ 5. 3. 12

氏 名	期 間
嶋 田 桂 子	R5. 3. 13～

4 歴代教育委員長

氏 名	期 間
藤 田 光 雄	S44. 5. 1～ 45. 4. 30 45. 5. 1～ 46. 4. 30
坂 口 長一郎	46. 5. 1～ 47. 4. 30 47. 5. 1～ 48. 4. 30 48. 5. 21～ 49. 5. 20
小田原 武 則	49. 5. 21～ 49. 10. 13
清 水 龍 哉	49. 10. 16～ 50. 10. 15 50. 10. 16～ 50. 12. 23 50. 12. 24～ 51. 12. 23
相 島 壽	51. 12. 24～ 52. 5. 14
永 田 恒 久	52. 5. 20～ 53. 5. 19 53. 5. 20～ 53. 10. 13
相 島 壽	53. 10. 14～ 54. 10. 13 54. 10. 14～ 55. 10. 13 55. 10. 14～ 56. 5. 20
永 田 恒 久	56. 5. 21～ 57. 5. 20 57. 5. 21～ 57. 10. 13
相 島 壽	57. 11. 22～ 58. 11. 21 58. 11. 22～ 59. 11. 21 59. 11. 22～ 60. 5. 19
大久保 修 吉	60. 5. 28～ 61. 5. 27 61. 5. 28～ 61. 11. 19
河 口 政 俊	62. 3. 12～ 63. 3. 11
長 島 政 勝	63. 3. 12～H元 3. 11
圓 佛 洋 右	元 3. 12～ 2. 3. 11
辻 政 義	2. 3. 12～ 3. 3. 11
河 口 政 俊	3. 3. 12～ 4. 3. 11
長 島 政 勝	4. 3. 12～ 4. 9. 11
圓 佛 洋 右	4. 9. 12～ 5. 9. 11
蓮 澤 浩 明	5. 9. 12～ 6. 9. 11
山 本 進 一	6. 9. 12～ 7. 9. 11
木 村 和 子	7. 9. 12～ 8. 9. 11
圓 佛 洋 右	8. 9. 12～ 9. 9. 11
蓮 澤 浩 明	9. 9. 12～ 10. 9. 11
山 本 進 一	10. 9. 12～ 11. 9. 11
木 村 和 子	11. 9. 12～ 12. 9. 11
圓 佛 洋 右	12. 9. 12～ 13. 9. 11
蓮 澤 浩 明	13. 9. 12～ 14. 9. 11
山 本 進 一	14. 9. 12～ 15. 9. 11
木 村 和 子	15. 9. 12～ 16. 9. 11
山 本 和 夫	16. 9. 12～ 17. 9. 11
後 藤 和 子	17. 9. 12～ 18. 9. 11
大 平 修	18. 9. 12～ 19. 9. 11
古 後 八 重 子	19. 9. 12～ 20. 9. 11
山 本 和 夫	20. 9. 12～ 21. 9. 11 21. 9. 12～ 22. 9. 11 22. 9. 12～ 23. 3. 12 23. 3. 13～ 24. 3. 12 24. 3. 13～ 25. 3. 12 25. 3. 13～ 26. 3. 12 26. 3. 13～ 27. 3. 12 27. 3. 13～ 27. 3. 31

5 歴代教育委員長職務代行者

氏 名	期 間
坂 口 長一郎	S44. 5. 1～ 45. 4. 30 45. 5. 1～ 46. 4. 30
小田原 武 則	46. 5. 1～ 47. 4. 30 47. 5. 1～ 48. 4. 30 48. 5. 21～ 49. 5. 20
清 水 龍 哉	49. 5. 21～ 49. 10. 15
相 島 壽	49. 10. 16～ 50. 10. 15 50. 10. 16～ 50. 12. 23 50. 12. 24～ 51. 12. 23
永 田 恒 久	51. 12. 24～ 52. 5. 19
相 島 壽	52. 5. 20～ 53. 5. 19 53. 5. 20～ 53. 10. 13
永 田 恒 久	53. 10. 14～ 54. 10. 13 54. 10. 14～ 55. 10. 13 55. 10. 14～ 56. 5. 20
相 島 壽	56. 5. 21～ 57. 5. 20 57. 5. 21～ 57. 10. 21
蒲 池 當	57. 11. 22～ 58. 11. 21 58. 11. 22～ 59. 11. 21 59. 11. 22～ 60. 5. 19
大 隅 一 雄	60. 5. 28～ 61. 5. 27 61. 5. 28～ 62. 3. 11
長 島 政 勝	62. 3. 12～ 63. 3. 11
圓 佛 洋 右	63. 3. 12～H元 3. 11
辻 政 義	元 3. 12～ 2. 3. 11
河 口 政 俊	2. 3. 12～ 3. 3. 11
長 島 政 勝	3. 3. 12～ 4. 3. 11
圓 佛 洋 右	4. 3. 12～ 4. 9. 11
蓮 澤 浩 明	4. 9. 12～ 5. 9. 11
山 本 進 一	5. 9. 12～ 6. 9. 11
木 村 和 子	6. 9. 12～ 7. 9. 11
圓 佛 洋 右	7. 9. 12～ 8. 9. 11
蓮 澤 浩 明	8. 9. 12～ 9. 9. 11
山 本 進 一	9. 9. 12～ 10. 9. 11
木 村 和 子	10. 9. 12～ 11. 9. 11
圓 佛 洋 右	11. 9. 12～ 12. 9. 11
蓮 澤 浩 明	12. 9. 12～ 13. 9. 11
山 本 進 一	13. 9. 12～ 14. 9. 11
木 村 和 子	14. 9. 12～ 15. 9. 11
山 本 和 夫	15. 9. 12～ 16. 9. 11
後 藤 和 子	16. 9. 12～ 17. 9. 11
大 平 修	17. 9. 12～ 18. 9. 11
古 後 八 重 子	18. 9. 12～ 19. 9. 11
山 本 和 夫	19. 9. 12～ 20. 9. 11
後 藤 和 子	20. 9. 12～ 21. 5. 31
大 平 修	21. 6. 1～ 21. 9. 11 21. 9. 12～ 22. 9. 11 22. 9. 12～ 23. 3. 12 23. 3. 13～ 24. 3. 12 24. 3. 13～ 25. 3. 12 25. 3. 13～ 26. 3. 12 26. 3. 13～ 27. 3. 12 27. 3. 13～ 27. 3. 31

〔 機構と職員数 〕

1 機構及び事務分掌

(令和7年3月31日現在)

教育委員会

事務局	総務課	教育委員会の会議、規則・規程の制定及び改廃、公印管理、文書の收受及び発送、職員(県費負担教職員を除く)の人事・給与及び旅費、職員の研修、福利厚生及び表彰、職員団体その他労務管理、労働安全衛生、教育行政の各種統計調査、事務局及び教育機関の事務の管理調整、公示、教育行政に関する相談に関すること
	学校再編推進室	市立学校の再編の推進、市立学校適正規模・適正配置検討委員会に関すること
	教育みらい創造室	事務局及び教育機関の事務の企画に関すること
	学校教育課	市立学校の設置及び廃止、児童生徒の入退学及び転校、児童生徒等の就学の免除及び猶予、長期欠席中児童・生徒の調査及び出席の督促、通学区域、学級編制、県費負担教職員の人事・給与・免許・職員団体・福利厚生・表彰・調査・統計、学校施設の開放(学校体育施設の開放事業に係るものを除く)、学校運営の管理、市立学校通学区域審議会、情報管理に関すること
	指導室	学校教育の指導、学校の教科内容、県費負担教職員の研修、教科用図書の採択、学校の教材及び教具の指導、児童生徒の文化体育行事、児童生徒の学力等の調査、教育研究所の運営についての指導助言、就学支援委員会、いじめ防止対策委員会に関すること
	教育研究所	地域及び児童生徒、教育内容及び学習指導、教育評価、学校運営及び学級経営並びに教育環境に関する調査研究、教育資料の収集及び供覧、各種調査研究事項の刊行、研究員及び教職員の研修、その他研究所の設置の目的達成に必要なこと
	ユネスコスクール支援センター	市立学校におけるユネスコスクールの取組への支援、ユネスコスクール及びESDに関する資料及び情報の収集及び提供、知識の普及及び啓発、ユネスコスクール間の交流に関すること
	学務課	学校基本調査、就学奨励補助金交付の認定、学校給食及び学校保健、児童生徒及び教職員の健康診断並びに就学时健康診断、学校環境の衛生管理、児童生徒の安全及び学校災害共済給付金、児童生徒の給食費及び医療費に係る補助金の交付、学校給食会及び学校保健会、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師、市立学校結核対策委員会、市立小学校給食調理業務委託者選定委員会、中学校給食センター給食調理業務委託者選定委員会、教育機関の施設の建設計画及び教育財産の管理に関すること
	中学校給食センター	市立中学校において実施する給食の調理及び配送、中学校給食の調理機器、食器、食缶等の洗浄、消毒及び保管、その他中学校給食に関し必要なこと
	人権・同和教育課	社会教育における人権・同和教育の推進に関すること

市立学校 ——— 小学校19校、中学校8校、中学校の分校1校(夜間中学)、特別支援学校1校

市長部局

企画総務部	世界遺産・文化財室	世界遺産、近代化遺産保存活用基金事業補助金審査会に関すること [教育委員会補助執行事務] 文化財の保護及び活用、大牟田市文化財保護審議会に関すること
市民協働部	生涯学習課	生涯学習推進の啓発及び総合調整、延命庁舎の管理、芸術文化の振興、文化団体活動の奨励及び援助、文化芸術振興審議会、大牟田文化会館、わくわくシティ基金事業審査会に関すること。 [教育委員会補助執行事務] 社会教育の振興、社会教育委員の会議、社会教育計画及び社会教育についての調査等、社会教育施設の管理運営に対する指導助言及び連絡調整、社会教育関係団体の指導育成、地区公民館、大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた、大牟田市立三池カルタ・歴史資料館等複合施設に関すること。
	スポーツ推進室 スポーツ施設 延命プール	社会体育団体の指導育成、市民スポーツの推進及び体力づくり、総合体育館、体育施設及び運動場、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員、スポーツ功労表彰、スポーツ功労表彰審査会 [教育委員会補助執行事務] 学校体育施設の開放事業に関すること

[職 員 数]

令和7年3月31日現在

区分		教育長	事務局長	教育監	事務局次長	課長（室長）	副課長	主査（館長）	指導主事	社会教育主事	事務職員	技術職員	計	再任用職員	会計年度任用職員	合計
教育長		1											1			1
事務局	事務局長		1										1			1
	教育監			1									1			1
	事務局次長				1								1			1
	総務課					(1) 2		(2) 4	1	1	2		(3) 10	1	6	(3) 17
	学校再編推進室					1		1					2		1	3
	教育みらい創造室					1		(2)	1	1			(2) 3			(2) 3
	学校教育課					2		3	4		1		10		10	20
	指導室					1			4				5		10	15
	学務課					3		(2) 1			2	6	(2) 12	1	7	(2) 20
	人権・同和教育課					1	1	(1) 2			1		(1) 5			(1) 5
	公民館							7					7		20	27
	教育研究所					(1)							(1)		7	(1) 7
教育機関	中学校給食センター					(1)		(1)				(4) 2	(6) 2	(1)		(7) 2
	小学校											6	6	2	19	27
	中学校														8	8
	特別支援学校											2	2			2
合 計		1	1	1	1	(3) 8	1	(6) 17	5	1	6	(4) 16	(13) 58	(1) 4	87	(14) 139

※1 学校再編推進室及び教育みらい創造室は総務課の内数

※2 指導室は学校教育課の内数

※3 総務課、教育みらい創造室主査、学務課主査、人権・同和教育課主査の（ ）は事務取扱

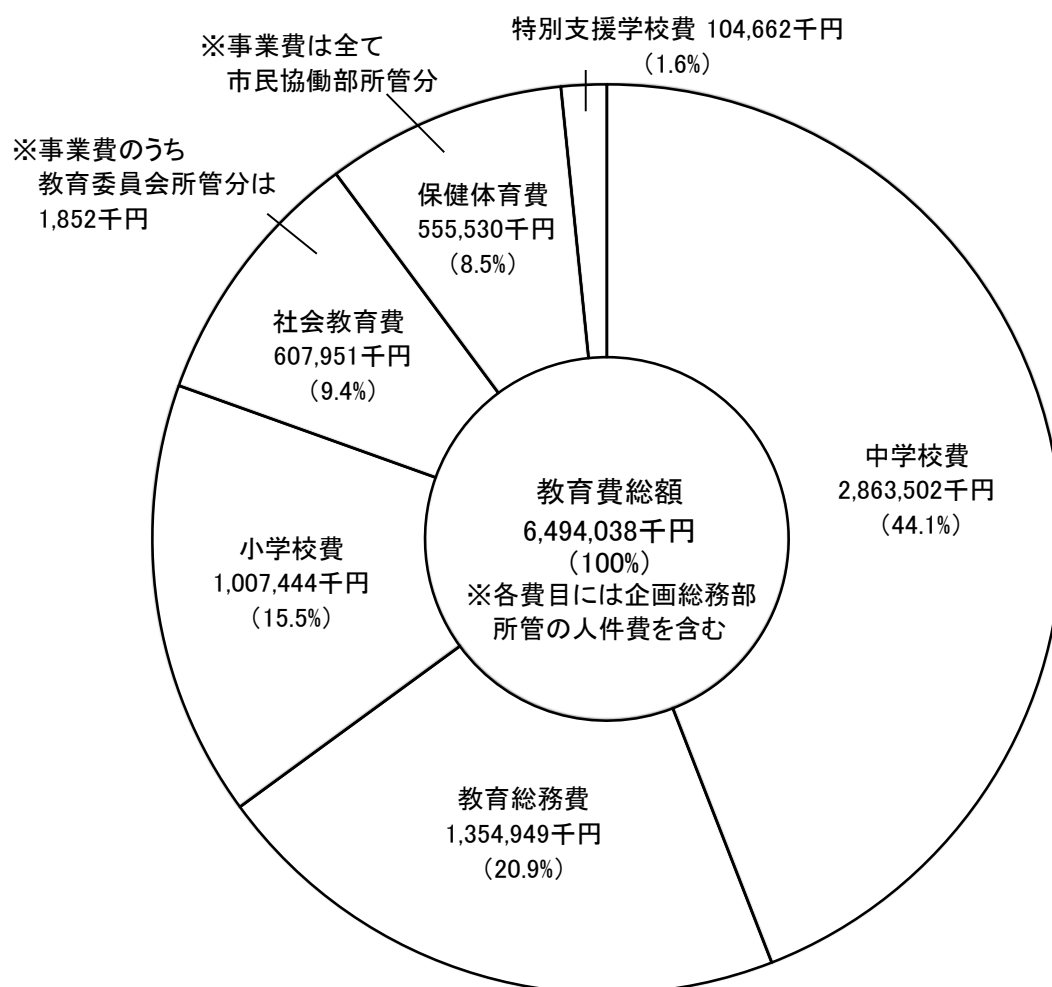
※4 総務課、学務課、人権・同和教育課の（ ）は事務取扱

※5 教育研究所及び中学校給食センターの（ ）は兼務

※6 給食センター給食調理員は学務課技術職員に含む

教 育 財 政

[令和 7 年度当初予算]

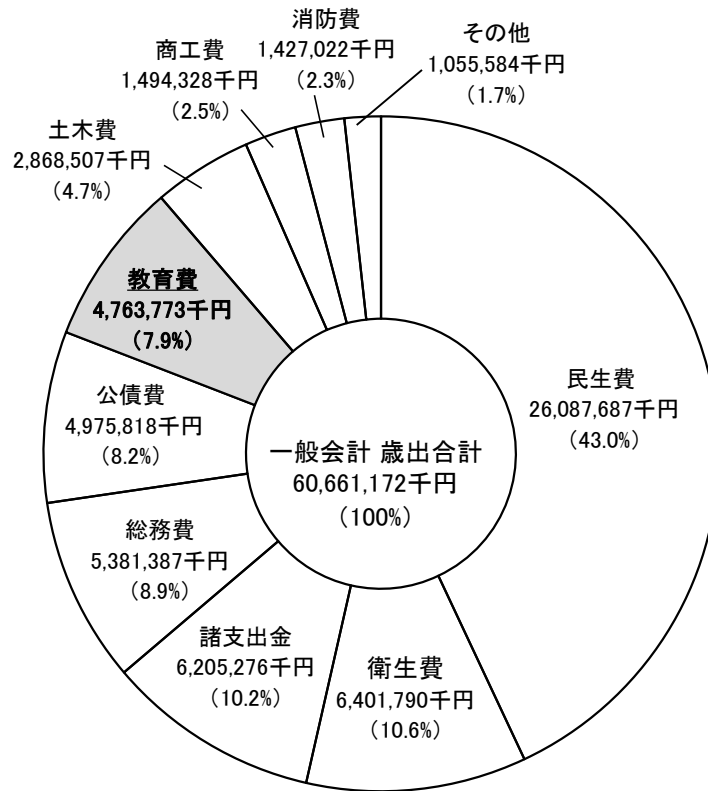


令和 7 年度大牟田市学校教育振興事業計画重点事業

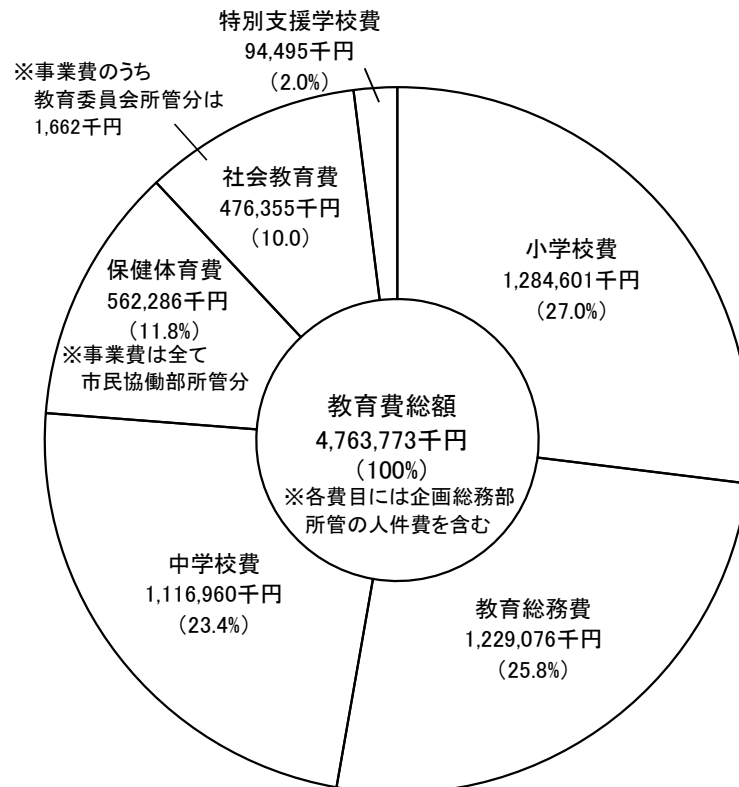
○学力ブラッシュアップ推進事業	19,113 千円
○小中一貫教育推進事業	35,185 千円
○SDGs／ESD推進事業	2,000 千円
○ハートフルスクールプロジェクト推進事業	35,887 千円
○学校再編整備推進事業	2,357,381 千円
○人権・同和教育・啓発推進事業	417 千円

[令和6年度決算]

1 一般会計歳出決算（款別）



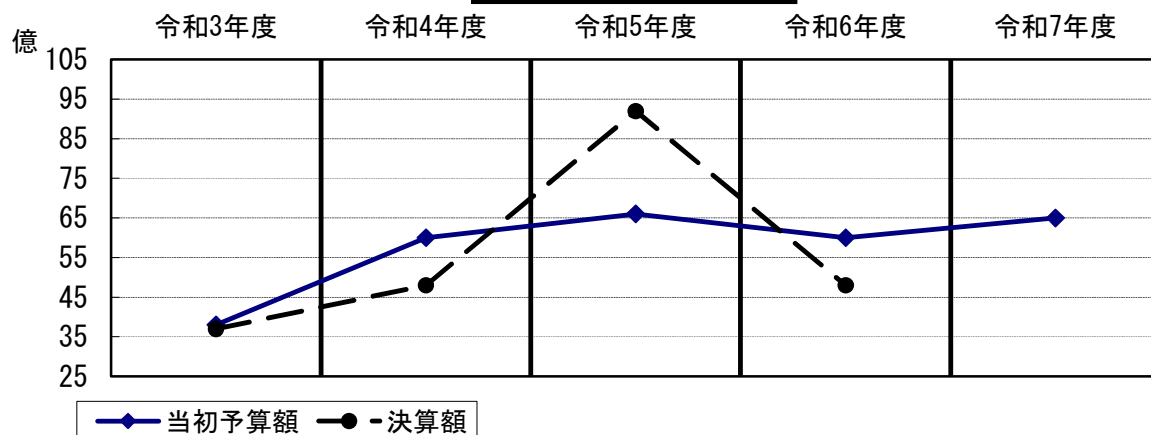
2 教育費歳出決算



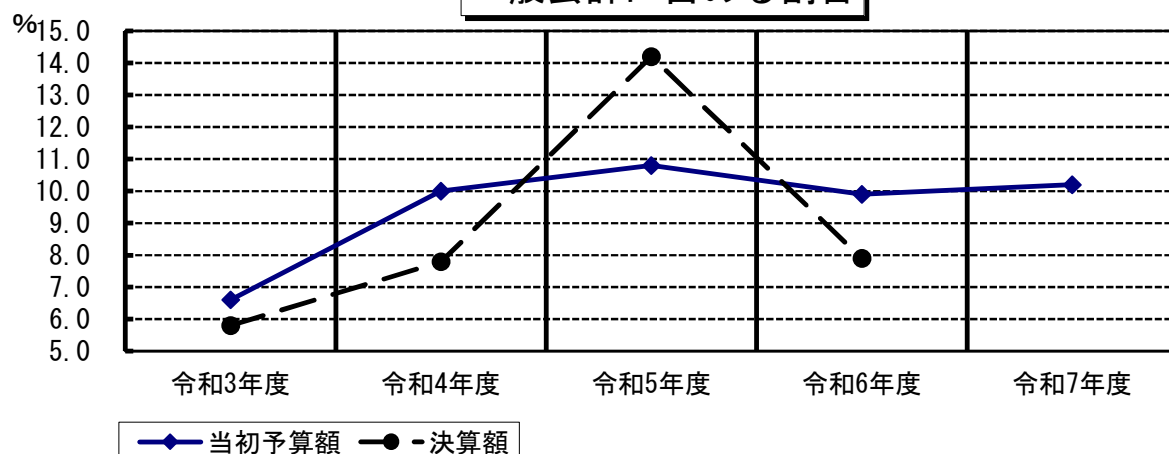
[教育費の当初予算・決算推移]

※当初予算・決算額には、市民協働部等他部所管分を含む。
※決算額には、前年度繰越予算による事業実施分を含む。

当初予算・決算額



一般会計に占める割合



項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育費 決算額	3,720,818	4,852,356	9,232,547	4,763,773	
当初予算 (千円)	3,761,682	5,978,728	6,623,420	6,012,932	6,494,038
一般会計 決算額	64,064,385	62,315,005	64,822,135	60,661,171	
当初予算 (千円)	57,300,000	59,900,000	61,120,000	60,600,000	63,360,000
一般会計に 占める割合 決算額	5.8%	7.8%	14.2%	7.9%	
当初予算 (%)	6.6	10.0	10.8	9.9	10.2

〔 各種委員会等 〕

令和7年3月31日現在

大牟田市議会市民教育厚生委員会

委員長	三宅智加子
副委員長	桑原誠
委員	光田茂
〃	豊福達也
〃	奥村橋倫
〃	船原基近
〃	大野哲也
〃	山田貴正

大牟田市社会教育委員

横田辰也	小学校長会
竹谷浩明	中・特別支援学校長会
蒲原光洋	小・中・特別支援 学校PTA連合会
堺 婦小与	子育てネットワーク
西田鮎美	市民公募
松尾龍美	体育団体
田中吉典	校区コミュニティ連絡協議会
江崎美津子	女性団体
江口美津子	文化団体
江寄圭二	公民館利用者
久保直子	〃
柿川和機	市民公募
堺 裕	学識経験者

大牟田市就学支援委員会

堺 裕	学識経験者
田島重吉	専門医
辻 克郎	〃
富松健太郎	〃
諸岡居織	〃
上村正行	〃
石橋庸司	〃
坂口明夫	心理判定員
武内友加里	〃
梶原麻奈	〃
田中啓吾	小学校長
辛川和秀	中学校長
寺本健彦	特別支援学校長
池田真理	教職員
宮本美樹	〃
塚本七帆子	〃
金子美紀	〃

石田そよか	教職員
栗原淳子	〃
内野麻衣子	〃
西水秀佳	〃
森 昭子	〃
江崎真由見	〃

大牟田市いじめ防止対策委員会

奥村賢一	福岡県立大学
中尾哲郎	弁護士
辻 克郎	専門医
池田美子	人権擁護委員
吉光哲也	教育相談員
北村誠一郎	スクールカウンセラー
古賀智美	大牟田児童相談所
高口恵美	スクールソーシャルワーカー
篠原隆志	大牟田警察署

大牟田市立学校結核対策委員会

川崎雅之	専門医
菅原謙三	医師会
松尾知幸	〃
唐木敦子	保健所長
馬籠秀典	小学校長
北島三津子	中学校長
野口侑未	養護教諭
松葉佳子	〃

大牟田市スポーツ推進委員

山田征士	みなと校区
三宅俊之	〃
福山良夫	〃
古賀達也	天領校区
荒木泰	〃
池田康則	〃
内田勉	駿馬校区
余宮信吾	〃
大石利男	〃
堺 美穂	〃
塚本多一	天の原校区
坂本道治	〃
奥村橋倫	〃
山田貴正	玉川校区
古田將詞	〃

前山剛	大牟田中央校区	堺美穂	スポーツ推進委員協議会
古賀祥道	〃	谷口靖宏	右京ふれあい健康クラブ
田中涼子	〃	金崎克也	医師会
野田忠人	〃	永松均	商工会議所
高津康人	大正校区	福山穂積	障害者協議会
岩根敬吾	〃	堤隆広	高等学校校長会
豊福達也	〃	山岡哲	校区コミュニティ連絡協議会
高口武士	明治校区	佐藤嘉洋	福岡県職員
大曲房代	〃	溝上尚子	小学校校長会
石原良一	〃	末永徳仁	中学校・福祉学校校長会
古賀義勝	中友校区		
田崎靖雄	〃		
池田正生	白川校区		
久富優生	〃		
江上しほり	〃		
宮地日出丸	平原校区		
中山智志	〃		
堤正則	〃		
本田豊秋	高取校区		
吉田達也	〃		
深浦千代子	三池校区		
笹尾泰教	〃		
河野博信	〃		
中川清博	羽山台校区		
佐藤誠子	〃		
松尾礼子	銀水校区		
藤間千代志	〃		
北岡あや	〃		
野田卓朗	上内校区		
西山照久	〃		
塚本幸子	吉野校区		
野田広行	〃		
豊嶋邦雄	〃		
野田哲寛	倉永校区		
辻井秀治	〃		
今村圭児	〃		
広田桂介	手鎌校区		
大津義文	〃		
井上泰孝	〃		

大牟田市文化芸術振興審議会

日下部 信	九州大谷短期大学
野中 邦 敏	大牟田文化連合会
深浦 洋 子	〃
三宅 かずみ	大牟田音楽家協会
甲斐田 みゆき	大牟田文化会館
梶原 伸 介	三池カルタ・歴史資料館
高倉 智 昌	高等学校校長会
北島 三津子	中学校・福祉学校校長会
砥上 良 文	絵手紙みかわ
橋本 恵里香	市民公募

大牟田市文化財保護審議会

梶原 伸 介	古文書
片野 博	建造物
井形 進	仏教美術
江島 香	近代史
木戸 道 男	地 質

大牟田市スポーツ推進審議会

道下 竜 馬	学識経験者
白石 政 嗣	体育協会
江頭 信 次	〃
杉野 健次郎	〃
黒田 洋	スポーツ少年団

〔 市立学校一覧 〕

1 市立小学校

令和7年3月31日

No.	学 校 名	電 話	FAX	所 在 地	校 長 名
1	み な と 小 学 校	53-6004	56-0914	上屋敷町2丁目3番地1	横 田 辰 也
2	天 領 小 学 校	53-6006	56-0912	天領町1丁目145番地1	吉 田 雅 史
3	駛 馬 小 学 校	53-6008	56-0901	馬場町17番地	田 中 啓 吾
4	天 の 原 小 学 校	53-6009	56-0895	笹原町3丁目116番地	福 山 恵里佳
5	玉 川 小 学 校	53-6011	56-0885	大字榛野2710番地1	藤 木 春 美
6	大 牟 田 中 央 小 学 校	53-6014	59-0864	笹林町1丁目1番地3	小 宮 武 士
7	大 正 小 学 校	53-6015	59-0863	大正町5丁目5番地9	徳 永 秀 志
8	中 友 小 学 校	53-6016	56-0497	中友町1番地20	横 山 千 春
9	明 治 小 学 校	53-6017	59-0859	明治町2丁目21番地1	宮 田 久美子
10	白 川 小 学 校	53-6018	59-0856	中白川町1丁目183番地	平 田 真紀子
11	平 原 小 学 校	53-6019	56-9044	平原町333番地	古 賀 初
12	高 取 小 学 校	53-6020	59-0854	大字歴木1807番地58	高 口 直 喜
13	三 池 小 学 校	53-6021	59-0853	大字新町289番地1	大 膳 誠 司
14	羽 山 台 小 学 校	53-6013	59-0857	大字草木587番地3	溝 上 尚 子
15	銀 水 小 学 校	53-6022	59-0849	大字田隈239番地	中 村 敏 明
16	上 内 小 学 校	58-0103	50-0497	大字上内1575番地1	馬 籠 秀 典
17	吉 野 小 学 校	58-1037	58-7990	大字白銀967番地17	川 崎 由美子
18	倉 永 小 学 校	58-1038	58-7987	大字倉永1307番地	藤 吉 和 美
19	手 鎌 小 学 校	53-6025	59-0848	大字唐船395番地	石 橋 実

2 市立中学校

No.	学 校 名	電 話	FAX	所 在 地	校 長 名
1	宅 峰 中 学 校	53-6034	57-7098	右京町1番地	辛 川 和 秀
	宅峰中学校ほしぞら分校	57-1065	—	大正町5丁目4番地16	
2	宮 原 中 学 校	53-6032	57-7094	米生町2丁目26番地	原 正 和
3	松 原 中 学 校	53-6035	57-7143	大正町5丁目4番地16	末 永 徳 仁
4	白 光 中 学 校	53-6036	57-7147	椿黒町32番地	竹 谷 浩 明
5	歴 木 中 学 校	53-6037	57-7164	大字歴木1150番地	北 島 三津子
6	田 隈 中 学 校	53-6040	57-7169	大字田隈338番地	藤 井 清 午
7	橘 中 学 校	58-0022	50-1359	大字橘664番地1	大 向 智 樹
8	甘 木 中 学 校	58-0033	50-1373	大字甘木613番地1	下 川 雅 史

3 市立特別支援学校

No.	学 校 名	電 話	FAX	所 在 地	校 長 名
1	大 牟 田 特 別 支 援 学 校	56-9671	52-0111	天道町24番地	寺 本 健 彦

〔 学校別児童生徒・教職員数 〕

※ 特別支援学級の児童生徒数は再掲

学 校 名		合 計		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		特別支援学級	
		学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数
小 学 校	みなと	12	271	2	47	2	60	2	38	1	34	2	44	2	48	1	4
	天 領	17	404	2	63	2	66	2	51	3	80	3	72	3	72	2	7
	駛 馬	12	253	1	32	2	46	1	36	2	40	2	57	2	42	2	4
	天 の 原	9	204	1	26	1	34	1	32	1	35	1	34	2	43	2	10
	玉 川	7	58	1	10	1	8	1	10	1	10	1	10	1	10	1	1
	大牟田中央	15	388	2	67	2	68	2	57	2	70	2	54	2	72	3	12
	大 正	14	264	2	42	2	39	2	42	2	50	2	41	2	50	2	9
	中 友	8	139	1	17	1	18	1	21	1	34	1	21	1	28	2	10
	明 治	10	220	2	44	1	35	1	32	2	39	2	36	1	34	1	3
	白 川	13	308	2	54	1	29	2	58	2	57	2	59	2	51	2	12
	平 原	9	144	1	21	1	18	1	30	1	16	1	23	2	36	2	11
	高 取	8	144	1	23	1	27	1	18	1	26	1	24	1	26	2	5
	三 池	14	314	2	42	2	65	2	50	2	51	2	51	2	55	2	10
	羽 山 台	13	278	2	43	2	44	2	52	2	37	2	57	2	45	1	2
	銀 水	20	434	3	79	2	57	3	83	2	64	3	77	3	74	4	15
	上 内	5	59	1	9	1	12	1	12	1	13	1	8	0	5	0	0
	吉 野	14	314	2	55	2	47	2	52	2	47	2	60	2	53	2	11
	倉 永	8	180	1	33	1	31	1	23	1	31	1	23	2	39	1	3
	手 鎌	19	397	3	74	2	52	2	66	2	62	3	75	2	68	5	19
小 学 校 計		227	4,773	32	781	29	756	30	763	31	796	34	826	34	851	37	148
中 学 校	宅 峰	18	537	5	184	5	181	5	172			-	-	-	-	3	13
	宮 原	10	289	3	102	3	101	3	86			-	-	-	-	1	8
	松 原	8	219	2	58	3	85	2	76			-	-	-	-	1	6
	白 光	10	256	2	79	3	89	3	88			-	-	-	-	2	4
	歴 木	9	237	2	71	3	88	2	78			-	-	-	-	2	6
	田 隈	15	409	4	130	4	145	4	134			-	-	-	-	3	9
	橘	8	234	2	74	2	81	2	79			-	-	-	-	2	3
	甘 木	10	291	2	83	3	106	3	102			-	-	-	-	2	9
中 学 校 計		88	2,472	22	781	26	876	24	815							16	58
大牟田 特別支援	小学部	11	48	1	3	3	12	2	11	2	8	2	7	1	7	-	-
	中学部	6	27	2	6	2	12	2	9							-	-
	高等部	13	58	5	21	4	22	4	15	-	-	-	-	-	-	-	-

令和6年5月1日現在

県 費 負 担 職 員													市 費 負 担 職 員						学 校 名	
計	校 長	教 頭	主 教 幹 論	指 教 導 諭	教 諭	助 教 諭	養 教 護 諭	養 助 教 護 諭	栄 教 養 諭	栄 代 理 職 員	講 師	事 務 員	計	図 書 員	給 調 理 食 員	学 管 理 校 員	図 書 事 務 員 学 校 管 理			
18	1	1	1		10	1	1	1			1	1	2				2	み な と	小 学 校	
22	1	1	1		14	1	1		1		1	1	2				2	天 領		
22	1	1	1		15		1				2	1	2				2	駛 馬		
16	1	1	1		10		1	1				1	2				2	天の原		
12	1	1			8		1					1	1				1	玉 川		
25	1	1	1		17		1				3	1	6		4		2	大牟田中央		
22	1	1	1		15		1				2	1	6		4		2	大 正		
14	1	1			8	1	1				1	1	1				1	中 友		
15	1	1	1		9		1				1	1	2				2	明 治		
18	1	1	1		13		1					1	2				2	白 川		
13	1	1	1		8		1					1	1				1	平 原		
15	1	1	1		9		1				1	1	2				2	高 取		
21	1	1	1		15		1		1			1	2				2	三 池		
19	1	1			13		1		1		1	1	2				2	羽山台		
29	1	1	1		22		1		1		1	1	2				2	銀 水		
9	1	1	1		4		1					1	1				1	上 内		
24	1	1			16	1	1				3	1	2				2	吉 野		
13	1	1			9		1					1	2				2	倉 永		
29	1	1			22		1		1		2	1	2				2	手 鎌		
356	19	19	13	0	237	4	19	2	5	0	19	19	42	0	8	0	34	小 学 校 計		
37	1	1			29		1				4	1	2				2	宅 峰	中 学 校	
26	1	1	1		19	1	1				1	1	2				2	宮 原		
22	1	1	1		13	1	1		1		2	1	2				2	松 原		
24	1	1			19		1		1			1	2				2	白 光		
20	1	1	1		15		1					1	2				2	歴 木		
30	1	1	1		24		1				1	1	2				2	田 隈		
20	1	1	1		13		1				2	1	2				2	橘		
23	1	1			19		1					1	2				2	甘 木		
202	8	8	5	0	151	2	8	0	2	0	10	8	16	0	0	0	16	中 学 校 計		
74	1	2	1		34		2		1		29	4	4		3		1	小学部	特別 支援 大牟田	
																		中学部		
																		高等部		

〔市立学校の通学区域〕

令和6年4月1日現在

1 小学校通学区域

学校名	通学区域
みなと小学校	三里町1丁目、三里町2丁目、三里町3丁目、四山町、浪花町、早米来町1丁目、早米来町2丁目、新港町（1、4）、南船津町1丁目、南船津町2丁目、南船津町3丁目、南船津町4丁目、天領町3丁目、樋口町、姫島町、加納町1丁目、加納町2丁目、西港町2丁目（9、23、42～55）、高砂町、三川町2丁目、三川町3丁目、三川町4丁目、三川町5丁目、船津町、船津町1丁目、船津町2丁目、上屋敷町1丁目、上屋敷町2丁目、汐屋町、入船町、藤田町（55の2、56の1、56の3、57、58の1、58の4、59の2）
天領小学校	白金町、長田町、若宮町（駛馬北小学校通学区域以外の区域）、八江町、右京町、田端町、山下町、延命寺町、片平町、三川町1丁目、諏訪町1丁目、諏訪町2丁目、諏訪町3丁目、天領町1丁目、天領町2丁目、西港町1丁目、西港町2丁目（みなと小学校通学区域以外の区域）、新港町（みなと小学校通学区域以外の区域）、千代町、小川町、岬町
駛馬小学校	若宮町（35の1、35の2、36の1～36の3、37の1、37の2、38、39、40の1～40の3、41の1～41の5、42の1～42の4、43、44の1～44の5、45の1～45の3、48、49）、青葉町（天の原小学校通学区域以外の区域）、一部町、黄金町1丁目（上官小学校通学区域以外の区域）、黄金町2丁目、末広町、駛馬町、馬場町、馬込町1丁目、馬込町2丁目、宮原町1丁目、宮原町2丁目、合成町、飯田町、臼井町、臼井新町1丁目、臼井新町2丁目（天の原小学校通学区域以外の区域）、沖田町、神田町、桜町、野添町、藤田町（みなと小学校通学区域以外の区域）、米生町1丁目
天の原小学校	新勝立町1丁目、新勝立町2丁目、新勝立町3丁目、新勝立町4丁目（玉川小学校通学区域以外の区域）、新勝立町5丁目、新勝立町6丁目、笹原町1丁目、笹原町2丁目、笹原町3丁目、下池町、萩尾町1丁目、萩尾町2丁目、東萩尾町、大字勝立（71の6、71の8～71の12、71の15、71の18、71の20、102の2、109の1～109の4、109の9、109の11、109の13～109の25、122の20～122の24、227の2、227の4、227の5）、米生町2丁目、馬渡町、早鐘町、天道町、臼井新町2丁目（81、82、99の1～99の8、102、103の1、103の2、104の1、104の2、105の1～105の4、106の1、107、108の1～108の3、109の1、110、111、112の1～112の3、122～127、128の1～128の7）、青葉町（125の2～125の12、127の4）
玉川小学校	大字勝立（天の原小学校通学区域以外の区域）、大字教楽来、大字櫟野、新勝立町4丁目（3の8～3の25、3の69～3の104、17の1、17の2、20）
大牟田中央小学校	西宮浦町、東宮浦町、上官町1丁目、上官町2丁目、上官町3丁目、上官町4丁目、宮坂町、七浦町、三坑町、花園町、宮山町、真道寺町、黄金町1丁目（219の1、219の4～219の6、236の1～236の6、237の1～237の19、237の26、238の1、238の3、238の4、238の7～238の24）、不知火町1丁目、不知火町2丁目、不知火町3丁目、浄真町、宝坂町1丁目、宝坂町2丁目、一浦町、正山町、昭和町、原山町、築町、上町1丁目、上町2丁目、有明町1丁目、有明町2丁目、常盤町、松浦町、笹林町1丁目、笹林町2丁目、左古町、山上町、一本町、東泉町、曙町、出雲町、谷町、泉町、旭町1丁目、旭町2丁目、旭町3丁目、栄町1丁目、栄町2丁目
大正小学校	小浜町、小浜町1丁目、小浜町2丁目、小浜町3丁目、久保田町1丁目（3、4）、久保田町2丁目、本町3丁目（3、4、5）、本町4丁目、本町5丁目、本町6丁目、大正町4丁目、大正町5丁目、大正町6丁目、松原町（中友小学校通学区域以外の区域）、松原町2丁目（36の16、36の17）
中友小学校	本町1丁目、本町2丁目、本町3丁目（大正小学校通学区域以外の区域）、西浜田町、浜田町、中友町、住吉町、中島町、港町、古町、橋口町、松原町（1、2）、西新町、大正町1丁目、大正町2丁目、大正町3丁目、新地町、久保田町1丁目（大正小学校通学区域以外の区域）

学校名	通学区域
明治小学校	新栄町、明治町1丁目、明治町2丁目、明治町3丁目、北磯町、中町1丁目、中町2丁目、健老町、天神町、浜町、新開町、恵比須町、城町1丁目、城町2丁目、大黒町1丁目、大黒町2丁目、大黒町3丁目、大黒町4丁目、椿黒町（白川小学校通学区域以外の区域）
白川小学校	柿園町1丁目、柿園町2丁目、柿園町3丁目、東新町1丁目、東新町2丁目、通町1丁目（1、2、3）、長溝町、八尻町1丁目、八尻町2丁目、八尻町3丁目、日出町1丁目、日出町2丁目、日出町3丁目、椿黒町（1～7）、浅牟田町、鳥塚町、上白川町1丁目、上白川町2丁目、中白川町1丁目、中白川町2丁目、中白川町3丁目、下白川町1丁目、下白川町2丁目
平原小学校	通町1丁目（白川小学校通学区域以外の区域）、通町2丁目、亀甲町、八本町、大浦町、焼石町、瓦町、龍湖瀬町、亀谷町、稻荷町、平原町、大字歴木（972の1～1024、1807の45、1807の47～1807の49、1807の73～1807の83、1807の86、1807の88、1807の89、1807の112～1807の116、1807の118～1807の120、1807の213～1807の219、1807の296、1807の297、1807の309～1807の311、1807の359、1807の699、1807の863、1807の875～1807の880、1807の921～1807の923、1809、1810の1～1810の6）
高取小学校	大字今山（三池小学校通学区域以外の区域）、大字歴木（平原小学校通学区域、三池小学校通学区域及び羽山台小学校通学区域以外の区域）
三池小学校	大字三池（羽山台小学校通学区域及び銀水小学校通学区域以外の区域）、大字新町、大字今山（1～2278、2359～2851、3271～3387、3424～3484）、大字歴木（44、71～83、126、127、130～139、141の1、142の1、143～143の3、144の1、151～460の21、461～474、484～534、768～770、773～780、782～915、1025の1～1308、1310～1805、1817の1～1817の6、1820、1821）
羽山台小学校	大字三池（1～113、114の2、115～139の3、139の5～140の1、140の3、140の4、141の1、141の3～143、178～202、212、215～555、557の3、562～585、589～603）、大字歴木（460の22～460の24、475～483、916～971）、大字白川、大字草木（銀水小学校通学区域以外の区域）、大字田隈（400～445、746～757、774の2、774の3）
銀水小学校	大字宮部、大字久福木、大字田隈（羽山台小学校通学区域以外の区域）、大字橘（吉野小学校通学区域及び手鎌小学校通学区域以外の区域）、大字草木（110の3、110の6、110の10、110の11、111～114、117、120、128の2、128の8～128の10、129の2、129の6、131の6、131の9、131の13、132の1、132の3、132の8、132の9、132の12、132の13、133～135、137の3～137の5、139の3、139の5、140～303、359の2、360の1、360の4～360の7、361の1～361の3、361の6、361の7、361の9、362の2、362の7、362の8、363の4、363の6～363の8、364の3、364の5、364の8～364の14、1058～1302）、大字吉野（1615～1619、1622～1629、1632、1633、1643～1647、1650、1651、1653）、大字甘木（1～7、12の2、15、17の2、504の2、504の6、533、534、540～543、546、547の2、548、554、558）、大字三池（114の1、114の3～114の9、139の4、140の2、140の5～140の8、141の2、144～148の2、148の4、149～155の2、155の5、155の9～155の16、155の18、155の20、159の2）
上内小学校	大字上内（吉野小学校通学区域以外の区域）、大字四ヶ、四箇新町1丁目、四箇新町2丁目、四箇新町3丁目、大字岩本（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町1丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町2丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）
吉野小学校 （次ページにつづく）	大字白銀、大字上内（3430～3668）、大字岩本（2417～2496、2499、2523～2525、2549、2551～2937）、岩本新町1丁目（1、2、7の1～7の7）、岩本新町2丁目（1～3）、大字宮崎（1736～3151）、大字吉野（94～182、548～1093、1094の2、1094の3、1136、1137の1～1137の5、1137の7、1140、1141の1、1145の5、1220の1～1256の1）、大字橘（599の2、600の2～600の6、770～783、

学校名	通学区域
吉野小学校 (つづき)	785の1、785の5、785の8～787、788の1、788の4、788の5、789の3、790の3～790の6、798～834、838～840、845の2～917、918の3～918の6、922の1、923の2、924の1～927、932の1、932の3～934、935の2、935の3、935の6、935の7、936の1、936の3～1574)
倉永小学校	大字倉永、大字宮崎（吉野小学校通学区域以外の区域）、大字吉野（銀水小学校通学区域及び吉野小学校通学区域以外の区域）、大字甘木（614の1～620、622～648、1203の1～1203の45、1203の188、1203の190～1203の200）
手鎌小学校	大字手鎌、大字岬、大字甘木（銀水小学校通学区域及び倉永小学校通学区域以外の区域）、大字唐船、昭和開、大字橘（108、109の1、109の5、109の6）

2 中学校通学区域

学校名	通学区域
宅峰中学校	みなと小学校通学区域、天領小学校通学区域、大牟田中央小学校通学区域
宅峰中学校ほしぞら分校	市内全域
宮原中学校	駛馬南小学校通学区域、駛馬北小学校通学区域、天の原小学校通学区域、玉川小学校通学区域
松原中学校	大正小学校通学区域、中友小学校通学区域
白光中学校	明治小学校通学区域、白川小学校通学区域
歴木中学校	平原小学校通学区域、高取小学校通学区域、三池小学校通学区域のうち大字今山（297～351、583～789、915～1228、1255～2137、2359～2851、3271～3387、3424～3484）及び大字歴木（484～499、523～525、768～770、773～780、782～915、1025の1～1308、1310～1805、1817の1～1817の6、1820、1821）
田隈中学校	三池小学校通学区域のうち歴木中学校通学区域以外の区域、羽山台小学校通学区域、銀水小学校通学区域のうち橘中学校通学区域以外の区域
橘中学校	銀水小学校通学区域のうち大字宮部、大字橘、大字甘木及び大字吉野、上内小学校通学区域、吉野小学校通学区域
甘木中学校	倉永小学校通学区域、手鎌小学校通学区域

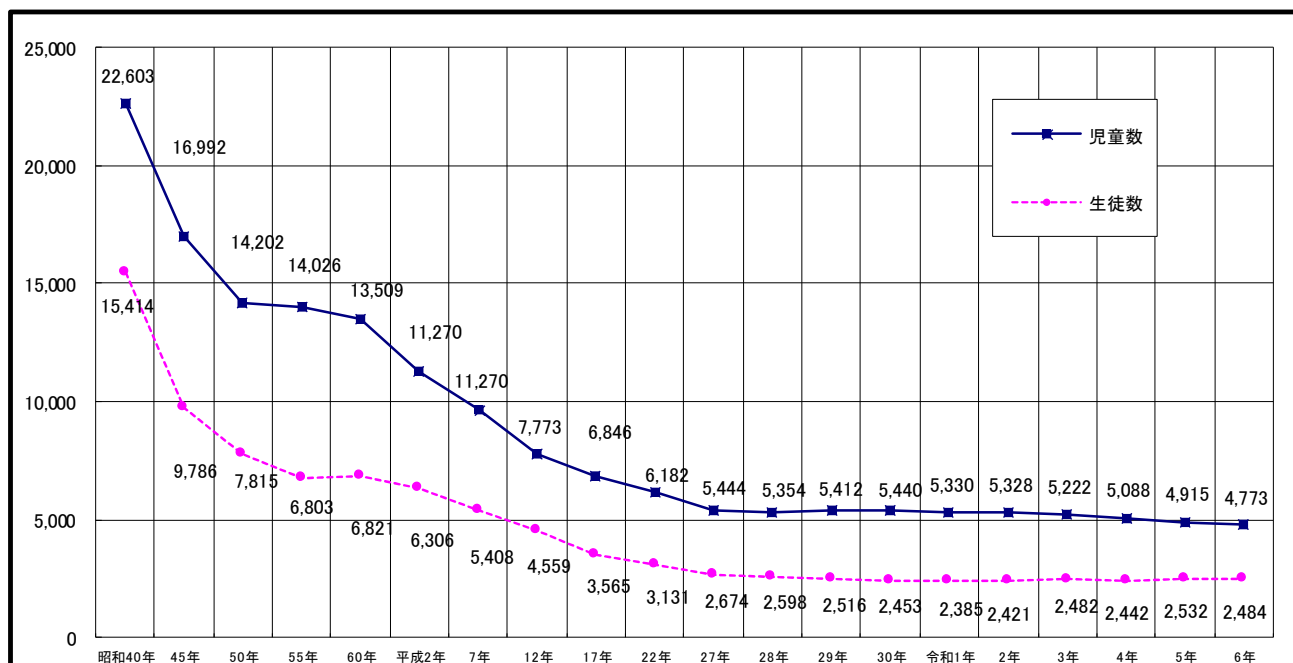
3 特別支援学校通学区域

学校名	通学区域
大牟田特別支援学校	市内全域

※教育委員会が特に必要と認める場合は、上の表に定める通学区域の学校以外の教育委員会が指定する学校に就学することができる。

〔 児童生徒数の推移 〕

大牟田市立小・中・特別支援学校の児童生徒数の推移（特別支援学校高等部の生徒は除く。）



各年5月1日現在(学校基本調査より)

〔 卒業後の状況 〕

1 大牟田市立中学校の卒業後の状況

年度	卒業生総数 (A)	高等学校等 進学者(B)	専修学校等 入学者(C)	就職者 (D)	B・C・D以 外の者(E)	就職進学者・ 就職入学者(F)	高等学校等 進学率(B/A)	就職率 ((D+F)/A)
R4	798	782	1	3	12	—	98.0%	0.4%
R5	815	796	2	0	17	—	97.7%	0%
R6	768	741	3	0	24	—	96.5%	0%

※ $A = B + C + D + E - F$

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

2 県下中学校の卒業後の状況（国立・公立・私立）

年度	卒業生総数 (A)	高等学校等 進学者(B)	専修学校等 入学者(C)	就職者 (D)	B・C・D以 外の者(E)	就職進学者・ 就職入学者(F)	高等学校等 進学率(B/A)	就職率 ((D+F)/A)
R4	45,778	44,909	340	107	426	4	98.1%	0.2%
R5	47,066	46,174	266	127	504	5	98.1%	0.3%
R6	46,909	46,025	243	126	519	4	98.1%	0.3%

※ $A = B + C + D + E - F$

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

〔学校施設一覧〕

校地・建物面積等の状況

令和6年5月1日現在（単位：㎡）

区 分		校地面積		建 物 面 積（文 部 科 学 省 基 準）										プール (M×コース)
		建 物 敷 地	運 動 場	校 舎			ランチ ルーム ※1	校舎内 の学童 保育所 ※1	食 堂	給 食 室	屋 内 運 動 場	地域連 携施設	武道場	
				鉄筋	鉄骨	木造								
小 学 校	みなと	6,587	10,600	3,922	680		130			155	919	77		25 × 7
	天領	5,024	8,639	3,927	53					134	919	180		25 × 7
	駛馬	8,460	9,440	3,850	59					151	919	180		25 × 7
	天の原	11,319	13,068	2,788	63	128			270	134	894	180		25 × 7
	玉川	5,724	6,051	2,849	24	41				142	※3 429			25 × 6
	大牟田中央	5,859	7,874	4,282	63				510	168	919	135		25 × 7
	大正	9,853	9,697	4,121	77			86		※3 140	919	270		25 × 7
	中友	9,030	11,680	4,130				127		150	730			25 × 7
	明治	7,777	7,085	4,023	53			65		150	919	250		25 × 7
	白川	11,705	14,692	4,532	53		130	130		170	919	270		25 × 7
	平原	7,713	8,922	3,522	65	20	130			153	894	250		25 × 7
	高取	7,011	10,853	4,595	51	62		72		170	※3 626			25 × 7
	三池	9,334	9,944	4,736	51					168	974			25 × 7
	羽山台	9,512	10,335	4,111						168	※3 725			25 × 7
	銀水	10,379	9,514	5,222	51					231	※3 1,055			25 × 7
	上内	5,486	5,290	1,892					270	112	※3 797			25 × 7
	吉野	10,206	8,311	3,709	110					168	919	200		25 × 7
	倉永	7,867	8,176	3,209	17				390	168	919	250		25 × 6
	手鎌	5,295	9,634	5,059	83					168	1,215	200		25 × 7
小学校計(19)		154,141	179,805	74,479	1,553	251	390	480	1,440	3,000	16,610	2,442		
中 学 校	宅峰	11,656	21,592	4,724	153						1,142		※4 607	25 × 7
	宮原	12,598	14,886	4,337	103						981	200	350	25 × 8
	松原	9,993	9,228	4,821	92						※3 650			25 × 6
	白光	11,636	15,646	4,609	176	7					981	200	450	25 × 8
	歴木	13,822	16,370	6,123							※3 1,222	200	350	25 × 8
	田隈	14,061	12,584	5,695	52						1,519	250	450	25 × 6
	橘	9,107	10,565	4,372	92	5					※3 650			
	甘木	22,401	※5 13,266	4,797	91						1,222	200	350	25 × 6
中学校計(8校)		105,274	114,137	39,478	759	12					8,367	1,050	2,557	
特別支援学校		17,351	8,400	5,962	358				150	125	※3 747	※2(61)		25 × 7
合計(28校)		276,766	302,342	119,919	2,670	263	390	480	1,590	3,125	25,724	3,492	2,557	

※1:ランチルームと学童保育所は校舎内にあるが、面積は外数

※4:宅峰中は弓道場を含む。(延命庁舎に隣接)

※2:屋内運動場面積の内数に含む。

※5:甘木中は校庭夜間照明施設(学校開放)あり。

※3:鉄骨造(地域連携施設及び武道場は屋内運動場と同一構造)

(食堂・給食室・屋内運動場で※3以外は主面積が鉄筋コンクリート造)

〔 教育施設一覧 〕

令和7年3月31日現在

施設名 (開館年月)	所在地 電話番号 (FAX)	建物面積 [敷地面積]	施設の主な内容	開館時間	休館日
カルタックスおおむた (平成3年4月)	宝坂町2丁目2番地3	3,764㎡ [4,400㎡]			
三池カルタ・歴史 資料館	53-8780 (53-8781)	共有部分 742㎡	展示室	10:00～ 17:00	月曜、毎月最 終の木曜(祝 日の場合は翌 日)、年末年 始
図 書 館	55-4504 (43-1167)	資料館 819㎡ 図書館 2,203㎡	開架室、書庫 視覚障害者サービス室	9:30～20:00 土日祝 18:00	
中央地区公民館 (平成4年4月)	原山町13番地3 53-1502 (59-0614)	1,567㎡ [1,702㎡]	創作室、視聴覚室、研修室、 幼児室 他	9:00～21:30 日曜 17:00	第1月曜、年末 年始
三川地区公民館 (平成14年4月)	上屋敷町1丁目12番地3 52-5957 (52-5998)	1,343㎡ [1,386㎡]	研修室、和室、図書コーナ ー、多目的ホール 他		
勝立地区公民館 (昭和55年6月)	新勝立町4丁目1番地1 51-0393 (43-4053)	972㎡ [2,826㎡]	研修室、和室、料理室、図 書コーナー、会議室 他		
吉野地区公民館 (昭和63年7月)	大字白銀781番地3 58-3479 (50-0494)	1,122㎡ [2,452㎡]	研修室、和室、図書コーナ ー、視聴覚室、会議室 他		
三池地区公民館 (平成4年10月)	大字三池629番地2 53-8343 (43-6814)	1,256㎡ [1,373㎡]	展示ギャラリー、料理室、幼児 室、図書コーナー 他		
手鎌地区公民館 (平成5年12月)	大字手鎌1300番地42 56-6008 (56-6824)	1,471㎡ [2,480㎡]	創作室、視聴覚室、図書コー ナー、陶芸小屋 他		
駿馬地区公民館 (平成6年12月)	馬込町1丁目20番地1 57-5443 (57-5444)	1,527㎡ [1,910㎡]	創作室、音響室、プレイホ ール、図書コーナー 他		
多目的活動施設 リフレスおおむた (平成11年7月)	大字四ヶ1221番地 58-7777 (41-7300)	2,375㎡ [20,620㎡]	キャンプ場、体育館、和室、 創作室、研修室、料理室、 音楽室、陶芸用窯	9:00～22:00	第1・第3月曜 (祝日の場合 は翌日)、年末 年始
大牟田市総合体育館 (おおむたアリーナ) (令和6年4月)	宝坂町2丁目92番地 53-6003 (59-0186)	8,557.37㎡ [27,465.58㎡]	アリーナ、多目的ホール、 柔道場、剣道場、卓球室、会 議室、トレーニング室、キ ッズルーム 他	9:00～22:00	第1・第3火曜、 年末年始
御大典記念グラウンド (昭和4年4月)	黄金町1丁目123番地 (問合せ 総合体育館)	[25,971㎡]	400mセパレート(8)、 フィールド、スタンド 他	8:30～19:00	年末年始
延 命 プ ール (平成19年8月)	黄金町1丁目68番地 53-7337	[8,363㎡]	25m、幼児用、子供用、 ウォータースライダー	10:00～ 18:30	[R6年度開場 期間]7月13日 ～8月25日
延 命 球 場 (昭和32年12月)	原山町200番地 (問合せ 総合体育館)	[19,450㎡]	グラウンド、スタンド、 本部諸室	8:30～17:00	年末年始
笹林庭球コート (昭和27年1月)	笹林町1丁目1番地2 (問合せ 総合体育館)	[1,400㎡]	クレーコート(2面)	(4月～8月) 9:00～19:00 (9月～3月) 9:00～17:00	年末年始
諏訪公園 テニスコート (平成11年4月)	岬町5番地3 (問合せ 緑地運動公園 51-5744)	[8,400㎡]	砂入り人工芝コート (6面)	8:30～21:00	年末年始
手鎌北町公園 テニスコート (平成13年4月)	大字手鎌1520 (問合せ 緑地運動公園 51-5744)	[2,800㎡]	全天候型コート(4面)	(4月～8月) 8:30～18:30 (9月～3月) 8:30～17:00	年末年始
第二グラウンド (平成19年2月)	黄金町1丁目111番地 (問合せ 総合体育館)	[9,044㎡]	グラウンド	9:00～19:00	年末年始
教 育 研 究 所 (昭和30年10月)	黄金町1丁目34番地 52-5845	269㎡	研究室、図書室、資料室、 会議室	8:30～17:00	

1 「社会教育施設等の状況」

《地区公民館》〔生涯学習課〕

公民館は、未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまちを目指し、次の3つの視点による事業を実施しています。

視点① 次世代を担う子どもを地域や社会全体ではぐくむ

取組① 子どもの体験活動の強化・充実

取組② 高校生等のまちづくりへの参画

取組③ 各世代に応じた学習機会の提供・支援

視点② SDGs／ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり

取組① 地区公民館におけるSDGs／ESD事業の展開

取組② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成

取組③ 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出

視点③ 学習環境の整備・充実

取組① 生涯学習、ボランティア活動、地域活動に関する情報提供の強化

取組② 多様な学習活動のきっかけや場の提供

視点④ 社会教育施設の機能向上

取組① 社会教育施設の機能向上

1 全館合同事業

事業名	事業の概要	回数	参加者 (人)
視点① 「高齢者生きがいきづくり社会参加促進事業」 アクティブシニアデビュー塾	高齢者の学習機会及び学習成果を生かした活動の機会や、心と身体の健康づくりの機会を提供することで、生きがいきづくり及び社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組を実施しました。 講座終了後は、新規に自主学習グループ14団体が結成され140人が入会し、講座の指導をした既存サークル等3団体へ11人が入会し活動しています。R6年度は1月に2日間、ゆめタウン大牟田2階のわくわく広場において、実施した21講座の様子をパネルにして展示しました。	ボランティアデビュー編 7講座	113
		地域デビュー編 7講座	96
		健康実践デビュー編 7講座	105
		合同展示 1回	来場者 150

2 中央地区公民館

(中央地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子どもの体験活動の強化・充実	(子ども交流体験事業) 夏休みの宿題おたすけ隊	世代間の交流や、夏休みの子どもたちの居場所づくりを目的として、市内の高校生や中央地区公民館で活動するサークル会員にボランティアで参加してもらい、小学生の夏休みの宿題を支援しました。	3回	36
	(子どもの居場所づくり支援事業) なかよし広場文化サークル	公民館を子どもの居場所として開放し、事業実施団体である「なかよし広場」文化サークル実行委員会を支援しました。	13回	子ども128 ボランティア 84

(中央地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 各世代に応じた学習機 会の提供・ 支援	(家庭教育支援事業) 食べて、笑って、 つながる！子育て 講座	子育て中の保護者同士や地元の民生委員・児童委員との接点を持つきっかけとし、気軽に相談できる関係づくりを図りました。また、出産を振り返り、子どもへの愛情を確認する機会としました。	3回	33
	(家庭教育支援事業) 就学前子育て講座 (5校区)	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等の取組を紹介しました。	各小学校 1回	169
	(アクティブシニア デビュー塾地域 デビュー編) 四季を感じる山野 草講座	互いの作品を鑑賞しあうことで、同じ趣味を持つもの同士、交流を深めるとともに、技能の向上や生きがいづくりにつなげることを目的に講座を実施。講座修了後は、新規サークル「中央山野草の会」が立ち上がりました。	5回	73
	(アクティブシニア デビュー塾健康 実践デビュー編) フィンランドのス ポーツ モルック 体験講座	性別や年齢に関係なく誰もが楽しむことができるニュースポーツ「モルック」をとおして、性別や身体障害に関係なく受講者間の交流をはかり、健康増進に寄与することを目的に講座を実施しました。講座修了後は、新規サークル「おおむたモルック」が立ち上がりました。	5回	49
	(アクティブシニア デビュー塾ボラ ンティアデビュー 編) 大牟田にシニア劇 団をつくろう！演 劇ワークショップ	高齢者が被害に遭いやすいトラブルを学びながらそれを寸劇にし、高齢者が多く集まる場所で披露することにより、演じる楽しさを味わうだけでなく、社会貢献の喜びも感じてもらうことを目的に講座を実施しました。講座修了後は、新規ボランティアサークル「シニア劇団ありあけ」が立ち上がりました。	6回	85
	(eスポーツを活用したフレイル予防事業) 地区公民館でeス ポーツに挑戦しよ う！	地域の高齢者を対象に、社会参加のきっかけをつくりフレイル予防を推進するため、「eスポーツを活用したフレイル予防事業」を実施しました。	2回	17
視点② 地区公民館 における SDGs/ESD 事 業の展開	(学校SDGs/ESD推 進事業) 三池工業高等学校 パソコン部活動支 援	高校生の部活動で学んだ成果を活かせる場をコーディネートすることで、高校生のまちづくりに参画する意欲の醸成を図りました。 また、視聴覚室をパソコン部に部活動の場として無償提供、さらにはゲーミングPCを部活動に無料で貸与しました。(週2回火・木17時～19時30分)	15回	76

(中央地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(学校 SDG s /ESD 推進事業) 三池工業高等学校 「新入生オリエンテーション」支援	三池工業高等学校新1年生がグループで活動を行うオリエンテーションの支援として、主に学校が位置する周辺地域をテーマごとに分かれて歩くまち歩きについて、連携が必要な事項等のコーディネートを行いました。生徒が地域ボランティアとの交流や、体験を共有することでコミュニケーション力を向上させ、地域の課題や社会とのつながり、多様な考え方について理解を深めることを目的としました。	1回	20
	(地域 SDG s /ESD 推進事業)〔平原校区〕 地域猫活動についての勉強会 Part 2 ～これ以上「のらねこ」を増やさないために～	平原校区では野良猫が問題となっていますが、個人で TNR (Trap:捕獲 Neuter:不妊手術 Return:元の場所に戻す) 活動をされており、猫の不妊手術、その捕獲にも労力がかかっています。R 5 年度は勉強会を行いました。校区内の野良猫は依然として多くの課題があることを踏まえ、野良猫を増やさないようにすることを目的に講座を行いました。	1回	20
	(地域 SDG s /ESD 推進事業)〔大牟田中央校区〕 これからの校区の情報発信を考える ～3 年間で振り返って～	R 4 年度から地域の情報発信に取り組んできました。校区においても情報発信は大切との認識ですが、新たな発信者の育成まではいたっておらず、またオープンチャットでのマナー違反といった課題も出てきました。 地域での SNS を使った情報発信のマナーを確認するとともに、それを踏まえて、今後の校区における情報発信のあり方を考えるための講座を実施しました。	1回	9
視点② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成	(視聴覚ボランティア支援事業) 土曜ふれあい映画会 (中央)	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象とした子どもの居場所において、16ミリフィルムやVHSなどを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	6回	子ども 66 大人 25 ボランティア 15
	(視聴覚ボランティア支援事業) 日曜ふれあい映画会 (他館)	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象に各地区公民館を巡回し、16ミリフィルムやVHSなどを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	6回	子ども 47 大人 21 ボランティア 15
	(視聴覚ボランティア支援事業) 健康映画会 (デイサービス)	視聴覚ボランティアが、高齢者施設や地域のサロンなどで健康に関する映画の映写会を開催します。 【協議の結果調整できず中止】	—	—
	(視聴覚ボランティア支援事業) 地域ふれあい映画会 (学童等)	学童保育所・学童クラブ・子ども会等の要望に応じて映写会を開催しました。	10回	子ども 339 大人 44 ボランティア 19

(中央地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	サークル社会参加 促進事業	研修会等の実施によりサークルの自主的 活動を支援し、サークル活動の発展と社会参 加の促進を図りました。 ①第1回劇をみて楽しく学ぼう！消費者ト ラブル防止講座 ②第2回ヒートショック予防とAED講習	①1回 ②1回	①23 ②16
	サークル体験 事業	定期利用登録サークルの社会参加の促進 及び会員数を増やすことを目的として一般 成人を対象にサークル体験事業を実施しま した。参加者の内、7人がサークルに入会し ました。	1回	19
	なかよし広場文化 サークル【再掲】	公民館を子どもの居場所として開放し、事 業実施団体である「なかよし広場」文化サー クル実行委員会を支援しました。	13回	子ども 128 ボランティア 84
視点② 学んだ成果 を活かす活 動の場や機 会の創出	第32回中央地区公 民館ふれあい文化 祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発 表を中心に演芸や作品展示などを行いました。 また、高校生によるeスポーツの体験会も 実施しました。	1回	604
視点③ 生涯学習、 ボランティ ア活動に関 する情報提 供の強化	(公民館情報発信 事業) 公民館だよりの発 行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を 提供するために発行しました。	3回	3,600部
視点④ 社会教育施 設の機能向 上	(つながる地域づ くり事業) 子どもサポーター 養成講座	地域社会が協力して子どもや若者が安心 して学び・成長できる環境を作るため、子ど もや若者に関わる関係者の知識の修得と横 の連携、情報共有を目的に講座・ワークショ ップを実施しました。	4回	59
	(つながる地域づ くり事業) eスポーツを活用 したつながる地域 づくり事業	高校生を対象にeスポーツを通じたチーム (組織)づくり「チームビルディング」を体験 することで、新たなコミュニティ形成や若者 の地域における活躍促進などを図ることを 目的に講座を実施しました。	3回	43

3 三川地区公民館

(三川地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子どもの体 験活動の強 化・充実	(子どもの居場所 づくり支援事業) 友・遊広場	公民館施設を子どもの居場所として毎月1 ～2回程度土曜日に開放し、友・遊広場見守り 隊を支援しました。	26回	子ども 336 ボランティア 95

(三川地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(子ども交流体験事業) 2024 子どもバージョンアップ体験講座	青少年の健全育成を図る目的から、夏休みと冬休みを利用して、異学年の子どもたちや地域の大人たちとふれあいながら、多様な価値観に触れ、感じ、考え、行動する様々な体験学習として実施しました。作品を作りあげる喜びを感じ、学び、体験することを通して、子どもたちの成長に繋げることができました。	夏休み 30回 冬休み 3回	【夏休み】 子ども 341 ボランティア 141 【冬休み】 子ども 38 ボランティア 14
視点① 各世代に応じた学習機 会の提供・ 支援	(アクティブシニアデビュー塾ボランティアデビュー編) 癒やしのアートタイムで元気になるパステルアート講座	美しい色彩と柔らかなタッチで”自由自在”に作品を描く「パステルアート」をテーマに講座を実施しました。 ルールに縛られず心の赴くままにアートを楽しめる癒しの時間を提供し、最終回では「2024年子どもバージョンアップ体験講座」でボランティア体験をしました。講座終了後は、地域で継続して活躍する新規ボランティアサークル「ハートパステル」が立ち上がりました。	6回	45
	(アクティブシニアデビュー塾地域デビュー編) 超簡単！椅子を使った健康体操	音楽やかけ声に合わせて無理なくゆったりと簡単に取り組むことができる健康体操（椅子に座ったまま首・肩・腰をほぐす体操）を実施しました。社会参加を促進し、生きがいや活力の創出へとつなげ、講座終了後は、新規定期サークル「スマイル体操」が立ち上がりました。	5回	88
	(アクティブシニアデビュー塾健康実践デビュー編) 60歳からの「笑顔の筋活ごはん」講座	栄養バランスの整った「健康料理」をテーマに、普段の食生活を見直し健康寿命延伸の足がかりとする講座を実施しました。 学びを周囲に広めるアクティブシニアを育成し、講座終了後は、地域で継続して活躍する新規サークルが立ち上がりました。	5回	63
	(成人事業) 「みんなで挑戦♪そば打ち講座」	近年、健康志向の高まりとともに、手作りの食材に対する関心が高まっているなか、講座を通じてそばの栄養価や健康効果について学び、健康的な食生活を推進し、参加者同士の交流を促進する事を目的に講座を実施しました。	2回	30
	(家庭教育支援事業) 親子リズムあそび	公民館が、乳幼児とその保護者が気軽に足を運べるような「つどいの場」であることを知ってもらうために、親子で楽しめる企画「親子リズム遊び」を年2回実施して、地区公民館の利用を促進しました。 なお、天領保育所が地域に出向いて未就園児のいる家庭支援、「子育て相談」事業を推進していることから、連携して開催しました。	2回	1回目 11組22人 2回目 12組25人

(三川地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(家庭教育支援事業) 就学前子育て講座 (2校区)	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上力を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1回	133
	(eスポーツを活用したフレイル予防事業) 地区公民館でeスポーツに挑戦しよう！	地域の高齢者を対象に、社会参加のきっかけをつくり、フレイル予防を推進するため、「eスポーツを活用したフレイル予防事業」を実施しました。	2回	20
	(eスポーツを活用したフレイル予防事業) 大牟田市・糸島市民交流 オンラインeスポーツ大会	年齢や性別、場所を問わず気軽に楽しめるeスポーツを活用し、糸島市の高齢者と対戦する機会を設け交流しました。	1回	10
視点② 地区公民館 における SDGs/ESD 事業の展開	(学校SDGs/ESD推進事業) みなと小学校「防災・減災を考える日」支援事業	「防災・減災を考える日」授業で小学校と地域をつなぎ、共に「令和2年7月豪雨」をふりかえり「防災」「減災」について支援を行い、地域住民の連帯感を強化しました。	1回	158
	(地域SDGs/ESD推進事業)〔天領校区〕 令和6年度天領校区まち歩き ～歴史に触れてみて～	まちめぐりを機会に住み慣れた地域の名所や歴史の知識・理解を探索しながら学習し、深めることで地域への親しみを高め、健康や交流を促進することを目的に事業を実施しました。	1回	11
	(地域SDGs/ESD推進事業)〔みなと校区〕 みなと小学校「防災・減災を考える日」支援事業再掲【再掲】	「防災・減災を考える日」授業で小学校と地域をつなぎ、共に「令和2年7月豪雨」をふりかえり「防災」「減災」について支援を行い、地域住民の連帯感を強化しました。	1回	158
視点② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成	サークル社会参加促進事業	研修会の実施によりサークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ① 「研修会」椅子を活用した健美操「心肺機能を高める呼吸法で免疫力アップ！」 ② 「春待ちコンサート」	各1回	① 37 ② 111

(三川地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	サークル体験事業	定期利用登録サークルの社会参加の促進及び会員数を増やすことを目的として成人を対象にサークル体験事業を実施しました。 参加者の内4人がサークルに入会しました。	1回	10
	友・遊広場【再掲】	公民館施設を子どもの居場所として毎月1～2回程度土曜日に開放し、友・遊広場見守り隊を支援しました。	26回	子ども336 ボランティア95
	天領校区盆おどり大会支援事業	○ニュースポーツコーナー実施 世代を問わず楽しめる「ニュースポーツ」の紹介及び体験を実施した事で、普段接する事の少ない地域の方と交流を図りました。	1回	500
	かおみしり祭り2024 支援事業	○ニュースポーツコーナー実施 世代を問わず楽しめる「ニュースポーツ」の紹介及び体験を実施します。 【衆議院議員選挙の日と重なり公民館は不参加】	—	—
	天領校区どんどこ焼き支援事業	天領校区どんどこ焼きに三川地区公民館も参加し、世代を問わず楽しめるニュースポーツを紹介することで、普段接する事の少ない地域の子育て世代と交流を図り、地域活動を支援します。 【R6年度は中止】	—	—
	三川地区公民館でeスポーツに挑戦しよう！ ～天領校区住民と対戦～	年齢や性別、場所を問わず気軽に楽しめるeスポーツを活用し、地域間交流の機会を設け地域づくり及び生きがいづくりにつなげるために実施しました。	1回	10
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	三川地区公民館であいの文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に文化祭を開催しました。保育所・小・中学校及び地域住民による作品展示、演芸発表も実施しました。	1回	970
視点③ 生涯学習、ボランティア活動に関する情報提供の強化	(公民館情報発信事業) 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	3回	3900部

4 勝立地区公民館

(勝立地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子どもの体験活動の強化・充実	(子どもの居場所づくり支援事業) 勝立地区アンビシヤス広場	地域の大人が見守り子どもが安心して遊べる環境をつくるため、公民館施設を子どもの居場所として原則第3土曜日に開放し、アンビシヤス広場委員会を支援しました。	13回	子ども76 ボランティア74

(勝立地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(子ども交流体験事業) 勝立キッズ・ランド	子どもたちが「生きる力」を育むためには、体験活動を行うことが必要であることから、「やってみよう」をテーマに、多くの人と関わりながら体験し、楽しく学ぶ講座を実施しました。	4回	57
視点① 各世代に応じた学習機 会の提供・ 支援	(家庭教育支援事業) どうする？デジタル時代の子育て～スマホ・ネットとの上手な付き合い方～	宮原中学校入学予定の児童とその保護者を対象に、子どもたちがスマートフォンを正しく使うために知っておくべきこと(リスク・脅威)や実際にあったトラブル事例などを法的な視点を交えて学ぶ講習会を実施しました。	1回	保護者 95 児童 95
	(家庭教育支援事業) 就学前子育て講座 (2校区)	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や「勝立地区アンビシャス広場」「絵手紙ボランティア」「勝立大蛇山まつり」の支援、並びに地域の子ども見守り隊等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1回	27
	(成人事業) ～くらしに役立つ～やさしい筆ペン講座	「暮らしに役立つ」をテーマに手軽な筆ペンを使い、のし袋の書き方等の実用的な内容から筆文字の基礎を学ぶ講座を実施しました。	4回	67
	(アクティブシニアデビュー塾ボランティアデビュー編) ～みんなで歌おう！～歌声広場ボランティア講座～	馴染みのある懐かしい曲を参加者同士で楽しく歌う「歌声広場」を実施しました。音楽を通して、コミュニケーションや人々の心を癒すボランティア活動について学ぶことを目的とし、講座終了後は、新規サークル「歌声広場勝立」が立ち上がりました。	5回	103
	(アクティブシニアデビュー塾地域デビュー編) よみがえる和布！ 素敵にリメイク講座	タンスに眠っている着物や帯をリメイクする講座を実施しました。リメイクすることで新たな価値を与える考え方や裁縫技術を学び、作品を作る喜びを実感するとともに、地域活動に一步踏み出すきっかけ作りを目的とし、講座修了後は、新規サークル「リメイク酔芙蓉」が立ち上がりました。	6回	76
	(アクティブシニアデビュー塾健康実践デビュー編) 楽しく健康づくり！太極拳ストレッチ講座	シニア世代の健康維持・増進を図ることを目的に、筋力や体幹を鍛える太極拳のストレッチ法や介護予防について学ぶ講座を実施しました。	5回	68

(勝立地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(eスポーツを活用したフレイル予防事業) 地区公民館でeスポーツに挑戦しよう！	地域の高齢者を対象に、社会参加のきっかけをつくり、フレイル予防を推進するため、「eスポーツを活用したフレイル予防事業」を実施しました。	2回	21
視点② 地区公民館 における SDGs/ESD事 業の展開	(地域 SDG s /ESD 推進事業)〔玉川校区〕 ～LINE でつなぐ地域ネットワーク～	情報を確実に届ける地域ネットワークの一部として、「玉川校区まちづくり協議会公式LINE」を開設するための支援を行いました。今後は、勝立地区公民館の情報も発信し、運用の充実を図ります。	1回	—
	(地域 SDG s /ESD 推進事業)〔天の原校区〕 ～防災から考える地域ネットワーク作り～ 「天の原校区防災・防火講習会」	さらなる地域防災意識の向上を図ることを目的とし、町内公民館長や自治会長、民生員・児童委員を中心とした天の原校区の住民を対象に、防火や防災についての講習会を実施しました。	1回	37
	(地域 SDG s /ESD 推進事業) 地域の ICT を支援する人づくり事業 「あなたにもできる！スマホ楽しくお助け隊養成講座」	簡単なスマホ操作等について気軽に相談ができて、教えることができる「高齢者へのデジタルサポート人材の育成」を目的とした講座を実施しました。講座終了後も勝立地区公民館などで、地域高齢者に寄り添い、スマホ操作を教える活動を継続しています。	4回	45
	(地域 SDG s /ESD 推進事業) ～地域の魅力を次世代につなぐ～ 「勝立よかもん物語」勝立よかもん検定をつくろう！	郷土への愛着と誇りを持つ心の醸成と次世代へ地域の宝物を継承する人材の育成を目的に、勝立地区の歴史と自然について学ぶ学習会を実施しました。	1回	5
	(学校 SDG s /ESD 推進事業) 三池工業高等学校「新入生オリエンテーション」支援	三池工業高等学校新1年生がグループで活動を行うオリエンテーションの支援として、主に学校が位置する周辺地域をテーマごとに分かれて歩くまち歩きについて、連携が必要な事項等のコーディネートを行いました。生徒が地域ボランティアとの交流や、体験を共有することでコミュニケーション力を向上させ、地域の課題や社会とのつながり、多様な考え方について理解を深めることを目的としました。	1回	27

(勝立地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(学校 SDG s /ESD 推進事業) 心を届ける・ 絵手紙ボランティア支援	絵手紙ボランティア体験が、子どもたちにとって「誰かを思い、行動する意識」につながることを目的に、天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校の児童・生徒に、地域の大人が、「心の贈り物」と言われる絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア活動を支援しました。	3 回	—
視点② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成	サークル社会参加促進事業	サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ○研修会 「元気の秘訣を知ろう～フレイル予防講座」	1 回	28
	春のサークル体験	サークルの社会参加の促進を目的として、一般成人を対象としたサークル体験事業を実施し、参加者の内 18 人がサークルに入会しました。 期間：4 月 13 日（土）～5 月 15 日（水）	1 回	38
	(地域行事支援) 勝立大蛇山まつり	天の原校区と玉川校区の二校区住民のふれあい、連帯意識の醸成、青少年の健全育成及び地域の活性化を図るため勝立大蛇山まつり実行委員会の取り組みを支援しました。	1 回	—
	勝立地区アンビシャス広場【再掲】	地域の大人が見守り子どもが安心して遊べる環境をつくるため、公民館施設を子どもの居場所として原則第 3 土曜日に開放し、アンビシャス広場委員会を支援しました。	13 回	子ども 76 ボランティア 74
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	第 41 回勝立地区公民館文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に、地域展示や演芸、バザーを実施しました。	1 回	1,302
	展示コーナー・ロビーの活用促進	館内の展示コーナーを活用し、小・中学校の作品展などを開催することにより学習活動の成果発表の機会を提供しました。	2 回	—
視点③ 生涯学習、ボランティア活動に関する情報提供の強化	(公民館情報発信事業) 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	4 回	4,270 部

5 吉野地区公民館

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子どもの体験活動の強化・充実	(子どもの居場所づくり支援事業) 吉野ふれあい広場	公民館施設を子どもの居場所として、毎月 1 回、土曜日に開放するとともに、吉野校区子どもの居場所委員会の事業を支援しました。	11 回	子ども 138 ボランティア 115

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(子ども交流体験事業) おもしろチャレンジ友・遊・塾～宿題・体験・ものづくり！夏休みは公民館へGO！～	人とふれあう喜びを感じる機会や、体験を通して成長し、達成感を得る機会とすることを目的として、夏休み期間中、小学生を対象にサークル体験及び高校生による宿題支援を実施しました。	25 回	小学生 105 高校生 21
視点① 高校生等のまちづくりへの参画	(高校生等まちづくり参画事業) 未来の匠の技講座「LET'S DANCE TOGETHER」	小学生を対象に、ダンス部員が、自分たちで振付を考え、小学生とコミュニケーションを取りながらダンスを指導することで、教える喜びや達成感を感じ、ボランティア活動や地域活動へのさらなる参画を高めることを目的として実施しました。 (連携組織：福岡県立ありあけ新世高等学校)	4 回	小学生 52 高校生 20
	(高校生等まちづくり参画事業) 未来の匠の技講座「高校生と学ぼう！美肌レッスン」	高齢者を対象に、トータルビューティコースの生徒が、高齢者とコミュニケーションを取りながら、肌に関する知識を教えることで、教える喜びや達成感を感じ、ボランティア活動や地域活動へのさらなる参画を高めることを目的として実施しました。 (連携組織：学校法人不知火学園誠修高等学校)	1 回	地域住民 20 高校生 3
視点① 各世代に応じた学習機会の提供・支援	(家庭教育支援事業) 学びは心を楽しむ！これから思春期を迎える子どもたちのために大人ができること	家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、小学生の保護者と子育てに関心がある人を対象に、子どもを取り巻く環境や他者とのつながりの大切さを学び、「家庭や地域で何ができるのか」考える機会を提供しました。	1 回	18
	(家庭教育支援事業) 就学前子育て講座（3校区）	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子どもの居場所等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1 回	84
	(成人事業) はじめてのお菓子作り	お菓子作りに必要な基礎知識やコツを学び、豊かな生活を送ってもらうことを目的に、初心者向けのお菓子作り講座を実施しました。講座修了後は、新規サークル「プチ・マドレーヌ」が立ち上がりました。	3 回	42

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(アクティブシニアデビュー塾ボランティアデビュー編) やさしい！たのしい！大人の折り紙講座	手軽にできる折り紙を通し、子どもの居場所「吉野ふれあい広場」で折り紙を指導できるボランティアを養成することを目的に実施しました。講座修了後は、新規サークル「折り紙サークルパンジー」が立ち上がりました。	5 回	80
	(アクティブシニアデビュー塾地域デビュー編) 暮らしに癒やし空間を！～季節の花を生けてみよう～	季節の花を用い、配置を考えながら生け花をすることで、脳の活性化を促し、日々の暮らしに彩りをもたらすことを目的に実施しました。講座修了後は、新規サークル「ひまわり」が立ち上がりました。	5 回	46
	(アクティブシニアデビュー塾健康実践デビュー編) はじめての操体法～からだのバランスを整えよう～	無理なく取り組める操体法を通し、身体機能の維持・向上を図り、いつまでも自立した生活の継続につなげることを目的に実施しました。	5 回	61
	(e スポーツを活用したフレイル予防事業) 地区公民館でe スポーツに挑戦しよう！	地域の高齢者を対象に、社会参加のきっかけをつくりフレイル予防を推進するため、「e スポーツを活用したフレイル予防事業」を実施しました。	2 回	22
視点② 地区公民館におけるSDGs/ESD事業の展開	(地域SDGs/ESD推進事業) 令和6年度 みんなの健康教室 ～吉野・倉永・上内校区を元気にするバイ！～	地域住民一人一人の心身の健康維持の取り組みのきっかけづくりを目指し、吉野校区にある医療法人くさかべ病院より、専門知識を活かした地域貢献事業として健康教室開催の提案を受け実施します。 【協議の結果調整ができず中止】	—	—
	(地域SDGs/ESD推進事業)〔倉永校区〕 倉永校区地域ESD推進事業	地域担当職員と連携し、地域、学校などの関係団体とESDに関連した事業を実施します。 【校区と協議した結果、校区独自の取り組みをされているため中止】	—	—
	(地域SDGs/ESD推進事業)〔吉野校区〕 吉野校区地域ESD推進事業	地域で増え続ける空き家が引き起こす社会的・経済的影響や、空き家の現状や課題、個人や地域ができる対策を考える機会を提供しました。	1 回	8

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	上内校区地域支援事業 「防災学習～身近に起こる災害から身を守るために～」支援	地域の防災の中心となる町内公民館長や民児協、福祉委員、消防団を対象に、自然災害に対する備えについて学ぶ研修会を実施し、知識を得ることとさらなる地域防災意識の向上と連携を図ることを目指しました。 (連携組織：大牟田市防災危機管理室、大牟田市消防本部吉野出張所)	1 回	50
視点② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成	サークル社会参加促進事業	研修会等の実施によりサークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ①互いが気持ちよく生活できる介護の工夫～自身が受けた介護を少し体験してみませんか～ ②救命救急法講習・消防避難訓練	2 回	①28 ②22
	サークル体験事業	サークルの社会参加を促進するとともに、会員数の増加と活動の活性化を目的に、サークル体験事業を実施しました。 ・春のサークル体験 4 月 4 日（木）～4 月 27 日（土） ・秋のサークル体験 11 月 1 日（金）～11 月 28 日（木）	2 回	27
	倉永校区五者連携教育講演会 倉永ふしぎ発見～法雲寺・諏訪神社のヒミツ～	倉永校区まち協、倉永社協、倉永小 P T A、倉永小との共催で講演会を行い、地域で子どもを育てる意識の醸成を図りました。	1 回	地域 15 学校 490 保護者 42
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	第 36 回花と緑の文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を中心に実施しました。	1 回	1,500
視点③ 生涯学習、ボランティア活動に関する情報提供の強化	(公民館情報発信事業) 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	3 回	3,480 部

6 三池地区公民館

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子どもの体験活動の強化・充実	(子どもの居場所づくり支援事業) 三池みんなの広場	公民館施設を子どもの居場所として毎月第 2 土曜日に開放し、実行委員会を支援しました。	12 回	子ども 226 ボランティア 83

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(子どもの居場所 づくり支援事業) 高取みんなの広場	子どもたちにとって最も身近な場所である通 いなれた小学校で、月 1 回開設されている子ど もの居場所を支援しました。	9 回	子ども 211 ボランティア 80
	(子ども交流体験 事業) 夏休み!子どもサー クル体験事業	様々な体験活動を通して、学ぶ意欲やより豊 かな知識を深めるきっかけとするとともに、異 世代の人との交流により子ども達の豊かな人間 形成を図る目的により実施しました。	8 回	参加サークル 14 体験者 57
視点① 高校生等 のまちづ くりへの 参画	(高校生等まちづ くり参画事業) 公民館 U18 プロジ ェクト「子どもた ちに夢を贈るサン タクロースプロジ ェクト in「みいけ」 2024	主に、三池、羽山台、高取、銀水校区居住 または通学する高校生を対象に、児童発達支 援センターりんどう学園のクリスマス会の企 画を自ら考え実施する事業を実施しました。	3 回	18
視点① 各世代に応 じた学習機 会の提供・ 支援	(アクティブシニア デビュー塾地域デビ ュー編) 魅力がいっぱい!郷 土玩具をつくろう	郷土玩具の継承者減少もあり、講座を通して 制作技術の習得を目指し実施しました。 講座終了後は、既存サークルへの加入につな げ、文化祭では、受講者の作品を展示しました。	5 回	59
	(アクティブシニア デビュー塾健康実践 デビュー編) レンジでチンして 減塩・腸活!	電子レンジを活用した減塩や腸活につながる 健康的な調理法を習得するとともに、文化祭や 地域イベントでの活動を目指す講座を実施しま した。 講座終了後は、新規サークル「レンチンクッ キング」が立ち上がりました。	5 回	45
	(アクティブシニア デビュー塾ボランテ ィアデビュー編) 気軽にはじめるフ ラダンス講座	姿勢や体幹を整え、有酸素運動をするフラダ ンスを学び、健康維持と体力の向上に役立てる とともに、サロンや子どもの居場所でのボラン ティア活動を目指す講座を実施しました。 講座終了後は、新規サークル「アロハ・マヒ ナ」が立ち上がりました。	5 回	89
	(e スポーツを活 用したフレイル予 防事業) 地区公民館で e ス ポーツに挑戦しよ う!	地域の高齢者を対象に、社会参加のきっか けをつくりフレイル予防を推進するため、「e スポーツを活用したフレイル予防事業」を実 施しました。	1 回	19
	(家庭教育支援事 業) 子どもの SOS 見逃 していませんか? ～あたたかい手で 小さな背中をそっ となでてあげま しょう～	おもに、学童期の子どもをもつ保護者やそ の子育て支援に関わる人を対象に、子どもが 発する SOS に保護者や周りの大人が気付く ための接し方など、悩みを抱えた子どものサ ポートについて学ぶことを目的に事業を実施 しました。	1 回	16

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	子育てふれあい広場「じゃじゃり子み〜け」	親子が自由に集い、交流できる場を提供するため、毎月第2～4月曜日（月3回）に地区公民館の一室を開放し、ボランティアスタッフとともに、ふれあい広場「じゃじゃり子み〜け」を開催しました。	29回	子ども 307 保護者 262 ボランティア 125
	（家庭教育支援事業） 就学前子育て講座（4校区）	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義や意見交換を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等の取組を紹介しました。	各小学校 1回	182人
視点② 地区公民館 における SDGs/ESD 事業の展開	（地域SDGs/ESD推進事業）親子でも楽しめるデジタル体験～インスタとVRで新しい世界に飛び込もう～	地域の伝統行事である三池初市をPRするため、SNSを活用する講座を実施しました。若い世代に参加を呼びかけ、Instagram・動画配信・VRを学び、事前の情報発信やイベント当日のリアルタイムでのPR活動を行いました。	7回	71
	（地域SDGs/ESD推進事業） 発見！羽山台の宝	子どもたちが、羽山台校区の史跡や文化財等を知り郷土愛を育むとともにゲストティーチャーの子どもを育む気持ちを高める支援を行いました。 ・校区フィールドワーク 10月28日（月）	1回	52
	（学校SDGs/ESD推進事業） 銀水校区花いっぱい“絆”プロジェクト	ESD、地域の絆づくりの視点を踏まえた事業を実施しました。地域・地区公民館は、花壇づくりなどの作業のほか、子どもたちからインタビューを受けることなどにより、子どもたちの学びを支援しました。	3回	222
	地域団体連携事業	地域住民とのふれあいと連携を深め、生涯学習の推進と校区まちづくり協議会・地域の実行委員会等の活動の活性化を図りました。 ・羽山台校区春まつり 4月 ・三池本町夏祭り 7月21日（日）、28日（日） ・三池光竹 11月2日（土）、3日（日・祝） ・三池初市（R7年3月1日、2日）	各1回	—
視点② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成	子育てふれあい広場ボランティアスタッフスキルアップ講座	子育てふれあい広場のボランティアスタッフを対象に、広場の内容充実のためのスキルアップ講座を実施しました。ボランティアとしての心得を再認識するとともに、スタッフ同士の交流を図ることを目的に行いました。	2回	14
	三池みんなの広場【再掲】	公民館施設を子どもの居場所として毎月第2土曜日に開放し、実行委員会を支援しました。	12回	子ども 226 ボランティア 83
	高取みんなの広場【再掲】	子どもたちにとって最も身近な場所である通いなれた小学校で、月1回開設されている子どもの居場所を支援しました。	9回	子ども 211 ボランティア 80

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	サークル社会参加 促進事業	サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図るため、研修会を開催しました。 「スマートフォン活用術とVR」	1回	19
	春のサークル体験 2024	定期登録サークルの社会参加の促進及び会員数を増やすことを目的として、成人を対象にサークル体験事業を実施しました。 期間：4月2日（火）～4月27日（土）	1回	参加サークル 14 体験者 31
	（地域・若者による 公民館アート事業） 三池まちかどギャラリー	サークル利用者や個人で制作した作品を発表する作品展を開催することで成果発表の場とし、制作者の制作意欲の向上を図りました。	9回	—
視点② 学んだ成果を活かす活動の場や機会の創出	第30回ふれあい文化祭	公民館利用サークル会員の学習成果の発表を行い、交流を深めることを目的に実施しました。	1回	1,166
視点③ 生涯学習、ボランティア活動に関する情報提供の強化	（公民館情報発信事業） 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	4回	4,000部

7 手鎌地区公民館

(手鎌地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子どもの体験活動の強化・充実	（子どもの居場所 づくり支援事業） わくわく広場	手鎌校区の子どもたちを対象に月1回、実行委員会が実施する子どもの居場所づくり事業を支援しました。 （場所：手鎌地区公民館）	13回	子ども 413 ボランティア 56
	（子どもの居場所 づくり支援事業） きらめき広場	明治校区の子どもたちを対象に、季節のイベント（クリスマスのケーキづくり）を支援しました。 （場所：明治会館）	1回	子ども 21 ボランティア 14
	（子ども交流体験 事業） キッズ☆サマーチャレンジ	子どもたちに手鎌地区公民館で行われている様々なサークルを体験してもらい、ものづくりや学習の楽しさを知り、異世代交流を深めました。サークル会員は子どもたちへの指導を通じて、学んだことを生かす喜び、伝える喜びを味わい、サークル活動の活性化につなげました。	13回	子ども 58

(手鎌地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(子ども交流体験事業) 手すきのり体験と のり巻きづくり	手鎌校区ではのり養殖業が盛んであるため、子どもたちに昔ながらの「手すきのり」を体験してもらう講座です。のりの栄養について学び、のり巻きづくりにも挑戦しました。	1回	子ども 19
視点① 各世代に応じた学習機会 の提供・支援	(家庭教育支援事業) 〈子どもの心のサポート〉安心感を 育むコミュニケーション講座	子育て中の人と不登校支援をしている人・したい人を対象に、子どもの心の動きや背景に目を向け、安心感を育むコミュニケーションの方法や、前向きに関わるための方法などを学びました。	1回	27
	(家庭教育支援事業) 就学前子育て講座 (2校区)	小学校で行われる入学説明会の機会を捉えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図るための講義を行いました。併せて、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等の取り組みを紹介しました。	各小学校 1回	手鎌小 58 明治小 40
	子育てふれあい広場 「れもんぐらす」	子育て中の保護者とその子どもが自由に集い、交流できる場を提供するため、毎月第1～3金曜日(月3回)に、ボランティアスタッフを中心として、子育てふれあい広場「れもんぐらす」を開催しました。	32回	子ども 446 保護者 396 ボランティア 202
	(アクティブシニア デビュー塾地域 デビュー編) おとな手芸部～と っておきのビーズ アクセサリー～	手先、指先を使う手芸は、脳を刺激し、認知症予防に効果があると言われています。講座では初心者にもできるビーズアクセサリーづくりを通して、創作の喜びや達成感を味わってもらうことができました。講座終了後は、指導サークルに3人入会しました。	5回	60
	(アクティブシニア デビュー塾ボラ ンティアデビュー 編) 始めてみませんか！木工細工づくり	電動糸のこを操作して木を切り、磨くことで、集中して作品づくりに取り組まれました。キッズ☆サマーチャレンジで夏休みの小学生に木工作品づくりを教える体験もしました。講座終了後は、指導サークルに6人入会しました。	5回	64
	(アクティブシニア デビュー塾健康 実践デビュー編) シニアから始める 卓球講座	卓球のルールと技術を学び、継続してもらうことで、いつまでも健康で自立した生活を継続することを目指して実施しました。講座終了後は、新規サークル「かよおうピンポン」が立ち上がりました。	5回	70
	(eスポーツを活用した フレイル予防事業) 地区公民館 でeスポーツに挑戦しよう！	地域の高齢者を対象に、社会参加のきっかけを作りフレイル予防を推進するため、「eスポーツを活用したフレイル予防事業」を実施しました。	2回	22

(手鎌地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点② 地区公民館 における SDGs/ESD 事 業の展開	(地域 SDG s /ESD 推 進事業)〔手鎌校区〕 どうなる？どうす る？語ろう！住ま いの終活	現在、自分が住んでいる家や親が住んでい る実家を空き家にしないため、何ができるか を考えるために実施しました。「住教育カード ゲーム」を活用し、住まいの終活や空き家問 題について、語り合う機会を提供しました。	1 回	16
	(地域 SDG s /ESD 推 進事業)〔明治校区〕 防災、危険個所の 確認、対応訓練	明治校区の危険箇所について図上訓練と 質疑応答を行いました。令和 2 年度の豪雨で 浸水した場所などを、地図に落とし込んでい くことで防災に対する意識の醸成を図りまし た。	1 回	30
	(学校 SDG s /ESD 推 進事業)〔手鎌小学 校〕 つどう、まなぶ、 つなぐ～地区公民 館の役割～	手鎌小学校の教職員を対象に、地区公民館 の施設や役割、学校 SDG s /E S D 事業に ついて知ってもらうために実施しました。教 職員からは「公民館を積極的に活用したい」 との声が聞かれました。	1 回	23
視点② ボランティア活動・地 域活動の担 い手となる 人材の発掘 及び育成	子育てふれあい広 場ボランティアス キルアップ講座	「れもんぐらす」のボランティアスタッフが スキルアップを図るために、現役保育士と折り 紙サークルのメンバーを講師として迎え、学ぶ ことで、広場の更なる活性化を目指しました。	2 回	13
	サークル社会参加 促進事業	サークルの自主的活動を支援し、サークル 活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ○研修会 ①生活習慣病を予防する運動を学ぼう！ ②悪質商法とインターネットトラブルにつ いて学ぼう	①1 回 ②1 回	①21 ②21
	春のサークル体験 会	新年度の始めにサークル活動を体験し、 新たに自分の趣味や好きなことを見出し、生 きがいづくりや社会参加につなげることを 目的に実施しました。また、新たな会員増加 をめざしてサークル会員の学習意欲向上、サ ークル活動の活性化を図りました。 期間：4 月 2 日（火）～4 月 2 6 日（金）	1 回	19
	わくわく広場【再 掲】	手鎌校区の子どもたちを対象に月 1 回、実行 委員会が実施する子どもの居場所づくり事業 を支援しました。 (場所：手鎌地区公民館)	13 回	子ども 413 ボランティア 56
	きらめき広場【再 掲】	明治校区の子どもたちを対象に、季節のイベ ント（クリスマスのケーキづくり）を支援しま した。 (場所：明治会館)	1 回	子ども 21 ボランティア 14
視点② 学んだ成果 を活かす活 動の場や機 械の創出	第 29 回手鎌地区公 民館ふれあい文化 祭	サークル会員や地域住民の活動の成果を 発表する文化祭を開催し、地域団体との交流 を図りました。展示や演芸発表、バザー、体 験コーナーなど多彩な内容で、多くの来場者 で賑わいました。	1 回	1,572

(手鎌地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点③ 生涯学習、 ボランティア活動に 関する情報提供の強化	(公民館情報発信事業) 公民館だよりの発行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を提供するために発行しました。	5回	3,000部

8 駿馬地区公民館

(駿馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点① 子どもの体験活動の強化・充実	(子どもの交流体験事業) 駿馬小学校 PTA 夏休みおたのしみ会	日ごろ体験できない活動を通して、親子の絆やPTA会員相互の親睦を深め、PTA活動の活性化を図ることを目的に実施しました。 (駿馬小学校PTA、駿馬地区アンビシャス広場と共催)	1回	111
	(子どもの交流体験事業) 諏訪川へ Lets' go ふれあいカヌーデー	諏訪川でのカヌー乗船体験をすることで自然を愛する心を育むとともに、家族や友人等とのふれあいを深める場・機会を提供するために開催しました。	1回	参加者 47 カヌーサポーター会12 PTA役員 2 アンビシャス委員 2 ボランティアスタッフ等 9
	(子どもの居場所づくり支援事業) 駿馬地区アンビシャス広場	子どもたちが自主的・主体的な活動の中で生きる力を育むことができるよう、地域の大人が見守るアンビシャス広場委員会を支援しました。	52回	子ども 1,818 アンビシャス委員・ボランティア 244
視点① 各世代に応じた学習機会の提供・支援	(アクティブシニアデビュー塾健康実践デビュー編) おもよか☆ダンス	フレイル予防のため、健康づくりの機会を提供し、高齢者の仲間づくりと、いつまでも健康で自立した生活の継続につなげることを目的に楽しく踊れるダンスの講座を開催しました。講座修了後は、新規サークル「にこにこダンス」が立ち上がりました。	5回	93
	(アクティブシニアデビュー塾地域デビュー編) ～「マクラメ編み」はじめてみませんか～	特別な道具をつかわず、手で紐を結んだり編んだりして模様を生み出し作品を作る手芸。学んだことを地域に活かす意識を育むことを目的に開催しました。	5回	41
	(アクティブシニアデビュー塾ボランティアデビュー編) 読み聞かせボランティア養成講座	本を読むことが好きになり、読み聞かせの楽しさを知ってもらい、家族間交流や子どもたちとの交流に役立ててもらう事を目的に、また朗読することで喉の筋力増加等にもつながり機能維持が図れるため開催しました。	5回	36

(駿馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(成人事業) ～今年の夏、ゆかた デビューしません か～「ゆかた着付け 講座」	大牟田夏祭り開催時期に合わせて、ゆかた を自分で着られるようになること、また、こ の講座を通して普段あまり公民館を利用し たことがない若い世代への公民館の周知も 図ることを目標に実施しました。	2 回	14
	(e スポーツを活 用したフレイル予 防事業) 地区公民 館で e スポーツに 挑戦しよう！	地域の高齢者を対象に、社会参加のきっか けを作りフレイル予防を推進するため、「e ス ポーツを活用したフレイル予防事業」を実施 しました。	2 回	20
	(家庭教育支援事 業) 就学前子育て講座 (1 校区)	小学校で行われる入学説明会の機会を捉 えて、子育てやしつけなど家庭教育のあり方 を見つめ直し、家庭での教育力の向上を図る ための講義や意見交換を行いました。併せ て、公民館の事業や地域の子ども見守り隊等 の取り組みを紹介しました。	1 回	40
	(家庭教育支援事 業) 子どもたちを性犯 罪から守ろう	子どもたちの性被害が社会的問題となっ ている現在、日本版 D B S を導入するための 法律も制定されました。子どもたちが性犯罪 に巻き込まれないよう、家庭でできること、 親(大人)ができることを学ぶ講座を開催し ました。	2 回	52
視点② 地区公民館 における SDGs/ESD 事 業の展開	駿馬地区公民館 開館 30 周年記念事 業「西村健トーク ショー」	大牟田出身の作家西村健さんの作品「地の 底のヤマ」は三井三池争議や炭鉱閉山などが 作中で描かれ、世界遺産の宮原坑を有する駿 馬も関連性は高いと思われます。そこで、郷 土愛の醸成、公民館事業の周知などを目的に 開催しました。	1 回	101
	(地域 SDG s /ESD 推 進事業) [駿馬校区] 駿馬校区防災講座 (図上訓練)	校区内の危険箇所や要支援者の所在地を把 握し、万一の災害発生時に、地域内の人々が連 携協力して速やかに避難できるようにするこ とで、安心安全に暮らすことができる地域づく りを目的に実施しました。 (駿馬校区まちづくり協議会との共催)	1 回	49
	(地域 SDG s /ESD 推 進事業) [駿馬校区] 諏訪川清掃活動支 援	地域団体主催の諏訪川清掃活動に対し、「は やめカヌーサポーター会」を支援しました。 ・駿馬校区社会福祉協議会主催 「諏訪川浄化活動」8 月、2 月開催。 ・駿馬校区まちづくり協議会主催 「精霊流し片付け」8 月	3 回	300
	(学校 SDG s /ESD 推 進事業) 駿馬のまち発見隊	駿馬地区公民館の定期利用サークルである 「はやめ郷土の会」がボランティアガイドを務 め、駿馬小学校 3 年生の総合学習「駿馬の歴史 学習」の事前学習として「地域を知る」の一環で 実施した古道歩きの支援を行いました。歴史学 習を通して、学校と地域のつながりの強化を図 りました。	1 回	児童 34 教諭 3 ゲストティ ーチャー 6

(駿馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(学校SDGs/ESD推進事業) 三池工業高等学校 「新入生オリエンテーション」支援	三池工業高等学校新1年生がグループで活動を行うオリエンテーションの支援として、主に学校が位置する周辺地域をテーマごとに分かれて歩くまち歩きについて、連携が必要な事項等のコーディネートを行いました。生徒が地域ボランティアとの交流や、体験を共有することでコミュニケーション力を向上させ、地域の課題や社会とのつながり、多様な考え方について理解を深めることを目的としました。	1回	154
	カヌー体験活動支援	児童の健やかな成長に寄与するため、近隣小学校が実施する体験学習（海洋教育としてのカヌー乗船体験）に対し支援しました。	3回	児童 155 教諭・PTA 42 講師 9 カヌーサポーター 37
	宮原中学校連携支援	宮原中学校と地域をつなぐ支援として、今年度は宮原中学校の生徒が行っている「みんなに届けよう！服のカプロジェクト」に協力しました。	1回	—
視点② ボランティア活動・地域活動の担い手となる人材の発掘及び育成	第26回はやめカップ祭り	河川浄化と意識の向上、世代間交流の促進及び地域の連帯意識の醸成を図ることを目的として開催される当該イベントを支援しました。 (はやめカップ祭り実行委員会主催)	1回	1,215
	2025 なの花まつり	環境美化及び青少年の健全育成を目的に、諏訪川及び駿馬地区公民館を会場に開催されるイベントを支援しました。 (2025 なの花まつり実行委員会主催)	1回	スタッフ 54 参加者 357
	炭鉱の祭典（宮原坑フェスタ）	世界遺産構成資産である宮原坑で開催される「宮原坑フェスタ2024」のイベントを支援しました。 (大牟田市世界遺産・文化財室主催)	1回	1,900
	カヌーボランティア活動支援	新たなボランティアの育成によりカヌー事業の継続発展を図ることを目的に、カヌーサポーター養成講座を開催しました。	1回	受講者 5 カヌーサポーター 6
	サークル社会参加促進事業	サークルの自主活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ① 研修会 大牟田警察署の職員を招いて、特殊詐欺予防について学びました。 ② 交流会「ペタンク大会」の開催	各1回	①40 ②78
	駿馬地区アンビシャス広場【再掲】	子どもたちが自主的・主体的な活動の中で生きる力を育むことができるよう、地域の大人が見守るアンビシャス広場委員会を支援しました。	38回	子ども 862 アンビシャス委員・ボランティア 144

(駛馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
視点② 学んだ成果 を活かす活 動の場や機 会の創出	第 28 回駛馬地区公 民館文化祭（翔馬 祭）	公民館利用サークル会員・地域住民の学習 成果の発表を中心に開催しました。	1 回	856
	展示コーナー・ロ ビーの活用促進	館内の展示コーナーを活用し、小・中学校の 作品展などを開催することにより学習活動の 成果発表の機会を提供しました。	11 回	—
視点③ 生涯学習、 ボランティ ア活動に関 する情報提 供の強化	（公民館情報発信 事業） 公民館だよりの発 行	各種講座や施設利用の案内等、学習情報を 提供するために発行しました。 ① 公民館だより ② 図書だより	5 回 1 回	5,000 部 1,000 部

9 登録サークル活動

区 分		中央	三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駛馬	合計
R 4	サークル数	16	33	21	27	32	28	26	183
	会員数（人）	186	438	271	302	338	309	235	2,079
R 5	サークル数	16	34	21	22	26	25	24	168
	会員数（人）	171	438	258	243	280	271	244	1,905
R 6	サークル数	15	33	18	21	22	23	22	154
	会員数（人）	183	476	215	236	248	254	210	1,822

10 図書関連事業

（1）各地区公民館別図書貸出冊数

（単位：冊）

区 分		三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駛 馬	合 計
R 4	一 般	4,060	1,613	3,506	8,456	4,055	1,437	23,127
	児 童	3,029	500	1,963	3,004	1,474	766	10,736
	計	7,089	2,113	5,469	11,460	5,529	2,203	33,863
R 5	一 般	3,979	1,792	3,610	7,864	3,454	1,152	21,851
	児 童	2,224	342	2,334	3,162	1,818	663	10,543
	計	6,203	2,134	5,944	11,026	5,272	1,815	32,394
R 6	一 般	3,758	1,564	3,357	7,922	3,798	982	21,381
	児 童	1,974	411	1,510	3,008	2,045	590	9,538
	計	5,732	1,975	4,867	10,930	5,843	1,572	30,919

（2）図書関連事業

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行いました。また、地区公民館において絵本の読み聞かせなど行いました。

1 1 施設利用状況

R 6 年度は、自然災害等による避難所開設のため休館及び開館時間の短縮を行いました。

(単位：人)

区 分		中央	三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駛馬	合計
R 4	件数	3,024	3,408	2,130	2,408	2,814	2,915	2,328	19,027
	延人員	28,842	28,186	17,942	22,318	24,118	27,653	23,157	172,216
R 5	件数	3,285	3,677	2,419	2,470	3,067	3,085	2,660	20,663
	延人員	31,842	34,361	20,617	22,269	28,262	32,847	25,069	195,267
R 6	件数	3,631	3,357	2,204	2,392	2,887	3,310	2,594	20,375
	延人員	36,247	35,214	19,993	22,406	28,059	38,020	24,706	204,645

○自主及び指定避難所開設のため休館

6月27日(木) 17時30分～28日(金) 9時

7月14日(日) 7時～15日(月・祝) 12時

8月29日(木) 8時～30日(金) 8時45分

1 2 施設改修・施設整備

(1) 社会教育施設・設備充実事業

地区公民館の利用者が、安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じて施設修繕を実施しました。

R 6 年度は中央地区公民館に防犯カメラの設置、エアコンの修繕、コインタイマー取替工事、玄関タイル張替え・換気扇取替工事、三川地区公民館のガス漏れ警報器の取替、勝立地区公民館の電灯の修繕、雨漏り修繕、吉野地区公民館の1階トイレ排水管清掃、三池地区公民館のエアコンの修繕、手鎌地区公民館のコインタイマー取替工事、駛馬地区公民館の誘導灯バッテリー交換、エアコンの修繕等を実施しました。

1 3 研修・研究

毎月第1月曜日(休館日)に開催する地区公民館職員研修会において、各種研修及び各種計画の紹介等を行ったほか、社会教育センター等で開催される研修に参加しました。

《多目的活動施設リフレスおおむた》〔生涯学習課〕

リフレスおおむたは、市民の文化、スポーツ及び教養の向上並びに青少年の健全育成のための野外活動の充実を図るとともに、広域的な住民の交流の場を確保し、もって生涯学習の振興に資するため、H11年に設置しました。青少年の多様な体験活動の場、生涯学習・生涯スポーツの場、広域的な住民交流の場の提供に努めています。

また、野外・自然体験活動等の事業をはじめ、施設設備の有効的な利活用を図るための指導者養成事業、施設ボランティア養成事業等の実施により、青少年の健やかな成長と豊かな心を育むことを目指しています。

H19年度から指定管理者制度を導入し、R4年度からR8年度までの5年間は公益財団法人熊本YMCAを指定管理者に指定しています。

1 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。なお、一部の事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を中止・縮小しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数（人）
野外活動体験 リフレスがまだす隊	小学校1年生と2年生を対象に、自然の恵みを感謝する取組、思いやりと感謝の心を育む機会を野外活動を通して行う。	5月～ 12月	6	156
リフレスなんでもやる隊	小学校3年生から6年生を対象に、自然・環境学習活動、クラフト等を含んだ総合的な活動を行い、自然と命の大切さを学び、協調性や自立性を育成する。	6月～ 12月	6	163
春の野草を食べよう	リフレスおおむた周辺の自然観察を行いながら、草木等自然にふれあう機会とする。専門ボランティアの指導のもとで野草を採集し、試食する。	4月	1	10
リフレスキャンプ2024 (長期宿泊体験事業)	主に大牟田市内の小学校児童を対象に夏休みや冬休みなどの長期休業期間を利用して、リフレスおおむたや他市外施設を利用し、異年齢集団生活、野外活動、文化活動を通して、自主性や社会性を養うことで共に生きる力を育成する。	8月（中止） R7.1月 R7.3月	3	24
キャンパーズコネクション (野外活動指導者養成事業)	青少年の野外活動の充実を図るため、青少年団体等が行う自然体験活動の指導者又は活動を支援するボランティアの養成を行う。	R7.3月	1	9
レクリエーション指導 (青少年団体支援事業)	学校や子ども会などを対象に、要請があれば指導者を派遣する。出前講座にも登録している。	8月・11月（中止）	0	0
楽しいキャンプファイヤー指導 (青少年団体支援事業)	幼稚園・小学校・リフレス利用者を対象として、要請があればキャンプファイヤー指導を行う。	8月	1	19
青少年ボランティア活動支援	キャンパーズコネクションで集まった青少年を中心に、ボランティアグループを結成し、野外活動を支援するリーダー育成を目指す。	5月～7月 9月、11月～12月	12	53

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数（人）
星空観察会	星座や星の観察を通して、自然や環境（光害）について学ぶ。また星座の成り立ちや神話、星に関わる疑問などを学ぶ時間を設け、自然に親しむ機会をつくる。	〈夏〉 10月 〈冬〉 R7.1月	2	30
ほたる観察会	ほたるの観察を通して、地域の自然環境を学び、地元愛を育む機会と環境保護の意識向上を図る。	5月	1	28
学習の相談及び支援（アドバイス）	学校やスポーツ団体等、リフレスを活用される野外活動などの相談支援を行う。	12月	1	23

（２）提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した特性を生かした事業）

事業名	時期	延べ参加者数（人）
陶芸教室（大人対象）	10月	12
陶芸教室（親子対象）	6月～7月	66
クライミング講習会	R7年1月～3月	43
高齢者向け健康体操	11月	5
リフレスクッキング教室	5月、11月	24
物づくり教室	10月～12月	36
ヨガ&健康体操教室	毎週水曜日	326
ペン字講座	8月、11月	9
おりがみ教室	8月	18
HIPHOP ダンス教室 「Swich Club」	毎週火曜日	95

（３）自主事業（指定管理者が独自に実施する事業）

事業名	時期	延べ参加者数（人）
日帰りスキー&雪あそびキャンプ	R7年1月～2月	募集定員に満たず中止

2 利用状況

（１）開所日数 335日

（２）利用者数等

年度	件数	利用者数（人）	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
R4	2,315	18,193	577	224	17,392	10,446	501	7,246
R5	2,189	18,689	1,344	119	17,226	9,616	968	8,105
R6	2,623	20,786	1,233	53	19,500	11,287	834	8,665

(R 6 年度内訳)

区分別	件数	利用者数(人)	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
個人	1,698	6,515	40	0	6,475	4,009	275	2,231
少年	261	5,766	250	4	5,512	1,279	31	4,456
学校	38	967	300	0	667	226	411	330
他団体	482	5,872	576	49	5,247	4,682	76	1,114
主催事業	144	1,666	67	0	1,599	1,091	41	534
計	2,623	20,786	1,233	53	19,500	11,287	834	8,665

※「利用者数」には利用した実人数を計上しています。

※「個人」とは、団体名を持たない利用者（複数人を含む）をいいます。

※「少年」とは、青少年を主とした団体で、「学校」及び「他団体」以外の団体をいいます。

※「学校」とは、小学校以上の学校の団体をいいます。

※「他団体」とは、一般団体やサークル、幼児の団体をいいます。

※「主催事業」とは、リフレスおおむたが主催する事業に参加した利用者をいいます。

3 施設整備等

R 6 年度は、大規模な修繕はなく、適宜、必要な修繕を行った。

《大牟田文化会館》〔生涯学習課〕

大牟田文化会館は、事業の企画・実施や、市民の文化活動に係る施設や付属設備等の提供、文化活動に関する相談・支援・情報収集、プラネタリウム投影などを通して大牟田市、柳川市及びみやま市の区域における文化の向上と住民の福祉の増進に資するためにＳ６１年に設置しました。文化事業については音楽や美術、講演など幅広いジャンルの催しを開催することを目的としています。

H１８年度から指定管理者制度を導入し、R４年度からR８年度までの５年間は公益財団法人大牟田市文化振興財団（H２５年９月に公益法人へ移行）を指定管理者として、施設の管理運営を行っています。

１ 事業の実施状況（プラネタリウム関連事業を除く）

施設の特性を生かし、文化の向上と住民の福祉の増進に資する文化芸術事業を指定管理者が実施しました。（多様な文化に触れ親しむ鑑賞型、市民が主体的に参加する参加型、将来の文化を担う人材を育成する育成型の文化芸術事業を地域の音楽・文化関係団体等と連携して実施。）

①鑑賞型事業

事業名	とき	ところ	入場者等
第79回福岡県美術展覧会（県展） 筑後ブロック展	10月6日（日） ～12日（土）	文化会館	出品数 171点 入場者 558人
まごころアート FUKUOKA GALLERY 事業展示会	12月7日（土）～15日（日）	文化会館	—
宝くじ まちの音楽会 岩崎宏美・岩崎良美～ふれあいコンサート～	R7年3月30日（日）	文化会館	1,430人 ジュニア合唱団19人

②参加型事業

事業名	とき	ところ	入場者等
第42回有明美術展	5月28日（火）～6月2日（日）	文化会館	出品数 136点 入場者 798人
七夕飾り～星に願いを～	6月25日（火） ～7月10日（水）	文化会館	542枚
文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業 ①アート×まちづくりシンポジウム ②倉永小学校演劇ワークショップ （講師：劇団FOURTEEN PLUS 14+（中嶋さと氏＋劇団メンバー3人）	①10月5日（土） ②11月18日（月）、 11月28日（木）	①文化会館憩いのmori ②倉永小学校	①43人 ②23人
ツリーにお願い！	12月6日（金） ～12月25日（水）	文化会館	118人
クリスマスファミリーコンサート2024 「～映画音楽とともに～」	12月22日（日）	文化会館	190人

おむタンおみくじ	R7 年 1 月 15 日 (水) ～1 月 31 日 (金)	文化会館	800 人
文化体験講座 「バイオリンを弾いてみよう！」	R7 年 2 月 16 日 (日) R7 年 2 月 22 日 (土)	文化会館	50 人
音楽の贈り物事業スプリングコンサート 春の風とともに～サクスの調べ～	R7 年 3 月 8 日 (土)	旧長崎税関 三池税関支署	120 人
憩いの mori 午後のミニコンサート ～音楽のさんぽみち～	4 月 20 日 (土) 6 月 15 日 (土) 9 月 21 日 (土) 10 月 26 日 (土) R7 年 1 月 18 日 (土) R7 年 2 月 15 日 (土)	文化会館	274 人
憩いの mori 文化活動等支援事業 ①アコースティックライブ ②大牟田子ども劇場舞台劇(ぐるぐる公演)	①9 月 16 日 (月・祝) ②10 月 27 日 (日)	文化会館	①75 人 ②40 人
子ども・若者の感性を育む文化芸術事業・学校 鑑賞事業 「ちっちゃい姫とハカルン博士」	①②10 月 28 日 (月) ③④10 月 29 日 (火) ⑤⑥10 月 30 日 (水)	①白鷺保育園 ②小浜保育所 ③明治幼稚園 ④大正小学校 ⑤駛馬小学校 ⑥しらかわ幼稚園	332 人

③育成型事業

事業名	とき	ところ	入場者等
第 22 回ありあけジュニアピアノコンクール ①チャレンジBコース ②Aコース予選 ③Aコース本選 ③ プレミアムアンサンブルコンサート	①8 月 3 日 (土) ②8 月 4 日 (日) ③11 月 4 日 (月・振休) ④R7 年 3 月 20 日 (木・祝)	文化会館	参加者 119 人 入場者 706 人
マロプロジェクト in 大牟田 ～子どもたちの未来へ 音のメッセージ～Vo.5	8 月 23 日 (金) ～ 25 日 (日)	文化会館	参加者 42 人 入場者 360 人
第 48 回九州青年美術公募展	11 月 17 日 (日) ～ 23 日 (土・祝)	文化会館	応募数 141 点 入場者 254 人
大牟田文化会館・有明高専合同企画 ①「アクリル星座板工作教室」 ②「はじめてのプログラミング教室」 ③「電子工作マイクロビット体験教室」	①②8 月 18 日 (日) ③R7 年 1 月 19 日 (日)	文化会館	52 人

2 プラネタリウム関連事業の実施状況

プラネタリウムでは、土・日・祝日及び小中学校の夏休み期間(期間限定)に 1 日 2 回、投影時間ごとに番組を入れ替え、午後の投影では四季に応じた星座の解説を入れた一般投影を行い

ました。平日は、予約による投影を行い、学校、幼稚園、施設など幅広い団体の依頼に対応しました。

令和6年度から投影機を光学式からデジタル式に入れ替え、リニューアルオープニングイベントを4回実施しました。

事業名	とき	ところ	入場者等
プラネタリウムリニューアル オープニングイベント 特別試写会	①5月2日(木) ②5月4日(土・祝) ③5月5日(日・祝)	文化会館	208人
プラネタリウム オープニングイベント 星空のカリンバコンサート	6月23日(日)	文化会館	66人
プラネタリウム オープニングイベント 「星空写真館」	6月22日(土) ～7月7日(日)	文化会館 憩いのmori	69人
プラネタリウム 特別番組 「夜ふかしするほど面白い月の話」	①9月15日(日) ②9月16日(月・祝)	文化会館	61人
プラネタリウム 特別番組 「～星と海に抱かれて～アジアン＊ヒーリング」	①10月17日(木) ②10月19日(土)	文化会館	100人
プラネタリウム 特別番組 「Seasons 星の広がる高原」	①11月29日(金) ②11月30日(土)	文化会館	65人
プラネタリウム 特別番組 「～星と海に抱かれて～アジアン＊ヒーリング」	①R7年2月7日(金) ②R7年2月8日(土)	文化会館	66人
プラネタリウム リニューアルオープン記念 「QUEEN -HEVEN-」	①R7年1月25日(土) ②R7年2月14日(金)	文化会館	143人

プラネタリウム来場者数の推移

年 度	R4	R5	R6
来場者数	3,077人	4,952人	5,148人

3 利用状況及び収入状況

(1) 利用状況

区分	稼働率(%)			利用人数(人)		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6
大ホール	43.1	48.7	44.4	48,172	17,506	43,768
小ホール	51.6	59.0	60.2	22,609	35,005	33,849
その他				69,946	78,964	82,744
計				140,727	131,475	160,361

(2) 収入状況

(単位：千円)

会場使用料・観覧料	付属設備使用料・冷暖房料	その他	合計
24,490	15,884	1,505	41,879

《三池カルタ・歴史資料館》〔生涯学習課〕

三池カルタ記念館は、H 3 年に開設しました。その後、H 1 8 年に歴史資料館と統合し、三池カルタ・歴史資料館として現在に至っています。カルタや郷土の歴史に関する展示を中心とした企画展の開催をはじめ、資料の収集・保存、調査研究、文化・歴史講座等の実施により、市民の文化的教養の向上に努め、市民の豊かな心と郷土を愛する心を育み、地域社会の文化の向上に資することを目的としています。

H 1 9 年度から指定管理者制度を導入し、R 4 年度から R 8 年度までの 5 年間は T R C ・ アクティオグループを指定管理者に指定しています。

1 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

①企画展

事業名	期間	内容	入館者
春の企画展 「ボタニカルタ ～草花カルタと 押し花展～」	4 月 2 日 (火) ～ 6 月 23 日 (日)	花札に代表される草花にスポットを当て、これまでカルタやトランプなどに草花がどのように描かれてきたのかを様々な資料で紹介しました。	大人 1,706 人 子ども 316 人 計 2,022 人
平和展 2024 「兵士たちの記憶 -戦場からのメッセージ-	7 月 2 日 (火) ～ 9 月 23 日 (月・振 休)	戦時中の資料や写真などを公開し、戦時資料収集家の松山強氏に提供いただいた関連資料も合わせて紹介する展示を行いました。	大人 1,756 人 子ども 669 人 計 2,425 人
秋の企画展 「新収蔵カルタ展 2024」	10 月 1 日 (火) ～ 12 月 8 日 (日)	R 5 年度に収集したカルタやトランプ・花札の中から厳選した約 30 点を紹介する展示を行いました。	大人 1,252 人 子ども 646 人 計 1,898 人
冬の企画展 「江戸の学び ～往来物の世界～」	12 月 17 日 (火) ～ R7 年 3 月 23 日 (日)	江戸時代の寺子屋や私塾で使用されていた往来物のほか、漢籍などの教材を通して江戸の学びの一端を紹介する展示を行いました。	大人 3,823 人 子ども 457 人 計 4,280 人

②市民カルタフェア 2024

本市が「日本のカルタ発祥の地」であることを広く周知するため、カルタ体験や抽選会を実施しました。「五色百人一首」に触れてもらう機会を提供し、当館開館 30 周年とイオンモール大牟田 10 周年を記念して制作した「みんなで作ったオリジナルかるた」のジャンボカルタを実施しました。

と き 8 月 10 日 (土)

ところ イオンモール大牟田

参加者 93 人 (大人 50 人、子ども 39 人、幼児 4 人)

③第 32 回三池カルタ・歴史資料館杯《小倉百人一首》九州新人かるた競技大会

3 人 1 組の源平戦と個人戦とあわせて通常開催し、福岡・佐賀の各県から 114 人の参

加がありました。

と き 11月10日(日)

ところ 大牟田中央小学校体育館

参加者 114人 団体戦(3人1チーム 28チーム【有段者の部 22チーム・無段者の部 6チーム】)、個人戦(30人)、

観覧者等 47人

④普及・啓発事業

ア カルタの貸出(小倉百人一首かるた等)

46件

延べ 78組

イ 講座等の開催

内 容	と き	受講者数
歴史講座①「清水彦五郎と明治の東京」	6月16日(日)	13人
歴史講座②「会社企業の発展から見た大牟田・三池地方の近代史」	10月6日(日)	27人
文化講座① 「野の花に魅せられた男たちー筑後の博物学3人衆ー」	11月23日(土・祝)	15人
文化講座② 「柳原白蓮と宮崎滔天のきずなー桃中軒牛右衛門、伊藤伝右衛門火花の一席ー」	R7年3月16日(日)	36人

(2) 提案事業(施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業)

①企画展関連イベント等

事業名	期 間	内 容	参加者等
春の企画展関連事業 「押し花ストラップを作ろう!」	5月5日(日・祝)	ボタニカル展の展示に合わせ、オリジナルストラップを作るワークショップを開催しました。	14人 (大人11人、子ども3人)
春の企画展関連事業 「ミュージアムガイド (夢二ギャラリートーク)」	5月12日(日)	夢二の作品を鑑賞しながら、作品の魅力や大牟田との知られざるゆかりについて紹介しました。	19人 (大人19人)
平和展 2024 関連事業 「命の紙芝居」	7月28日(日)	市内の戦争体験者から聞き取りを行い、製作された自作の3本の紙芝居を上演しました。	19人 (大人17人、子ども2人)
平和展 2024 関連事業 夏休みアニメーション上映会	8月6日(火)～ 8月15日(木) 全10回	夏休み期間にアニメーション上映を通じて、平和展の来館を促し、平和学習の一助となるよう実施しました。	109人 (大人47人、子ども62人)
平和展 2024 関連事業 「ミュージアム・コンサート」	9月21日(土)	展示室内でのコンサートを実施することにより、企画展の周知と集客を図りました。	23人 (大人23人)

②普及・啓発事業

ア 博物館学芸員実習・インターンシップ(就業体験)受け入れ

インターンシップ(就業体験)【8月7日(水)～8月8日(木)】に2人を受け入れました。

イ 出張カルタ

三池カルタ・歴史資料館の職員が学校等へ出向き、親子学習会などの参加者を対象に、ジャンボカルタを使ったカルタ取りやカルタにまつわるお話をする事業です。

場 所	と き	参加者数
天の原小学校	6 月 11 日 (火)	51 人
銀水小学校	11 月 26 日 (火)	112 人
みやま市総合市民センターMIYAMAX	R7 年 3 月 9 日 (日)	40 人

ウ 講座等の開催

講 座 名	と き	受講者数
古文書入門講座 (第 10 期)	全 22 回 4 月 5 日 (金) ～ R7 年 3 月 21 日 (金)	延べ 283 人
『源氏物語』の光と影を読む (第 11 期)	全 22 回 4 月 7 日 (日) ～ R7 年 3 月 16 日 (日)	延べ 330 人

エ イベント等の開催

事 業 名	期 間	内 容	参加者等
古代体験 「勾玉づくり」	7 月 24 日 (水)	世界遺産・文化財室と連携して市内出土の勾玉の歴史の解説と勾玉制作を行いました。	10 人 (子ども)
大牟田史跡めぐりウォーク ― 甘木山編 ―	R7 年 2 月 9 日 (日)	世界遺産・文化財室と連携して甘木山周辺に点在する史跡や自然をめぐりました。	18 人 (大人)

2 報道関係等への資料提供とPRの状況

新聞 26 件 テレビ・ラジオ 11 件 機関紙・雑誌等 12 件

3 観覧者数等の状況

年 度	開館日数	入 館 者 数 (人)			図録関係頒布 収入 (千円)
		一 般	児童生徒	合 計	
R4	274	4,716	1,404	6,120	128
R5	270	5,878	1,892	7,770	113
R6	275	8,537	2,088	10,625	119

※観覧料については、H19年度に指定管理者制度導入後、無料となっています。

※H18年度の入館者数は、5,479人です。

《図 書 館》〔生涯学習課〕

市民の図書資料に対する要求に応え、自由で公平な図書館資料の提供を中心とする諸活動によって、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とした事業を実施します。また、施設設備を有効に活用し、読書ボランティア養成講座事業、おはなし会等を実施します。

三池カルタ・歴史資料館との複合施設であり、H 1 9 年度から指定管理者制度を導入し、R 4 年度から R 8 年度までの 5 年間は T R C ・アクティオグループを指定管理者に指定しています。

1 利用状況

(1) 図書貸出の登録者及び利用者

(単位：人、団体)

区 分				計	本 館	地 区 公 民 館						
						三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駿馬	
登録者数	個人	新規登録者	小学生以下	191	171	6	0	6	2	6	0	
			中学生	31	27	2	0	0	2	0	0	
			高校生	78	77	0	0	0	0	1	0	
			成人	1,020	924	18	7	21	25	14	11	
			小 計	1,320	1,199	26	7	27	29	21	11	
	登録者数			19,424	17,914	290	117	288	415	283	117	
	団体	新規登録団体数			15	15						
		登録団体数			528	528						
利用者数	個人	実利用者数			6,832	6,320	107	33	86	144	105	37
		のべ利用者数			80,889	70,137	2,018	760	1,699	3,835	1,799	641
	団体	実利用団体数			68	68						
		のべ利用団体数			379	362	0	2	0	0	15	0

(2) 図書貸出冊数及びその他資料貸出数

(単位：冊、点、日)

区 分		計	本 館	地 区 公 民 館					
				三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駛馬
図 書 資 料	一般書	226,601	205,216	3,758	1,564	3,357	7,926	3,798	982
	児童書	113,882	104,344	1,974	411	1,510	3,008	2,045	590
	小 計	340,483	309,560	5,732	1,975	4,867	10,934	5,843	1,572
	開 館 日		285	344	344	344	344	344	344
	1 日 平 均		1,086.2	16.7	5.7	14.1	31.8	17.0	4.6
そ の 他 資 料	AV 資料 (CD・DVD 等)	15,523	15,378	91	0	6	9	33	6
	雑 誌	14,438	14,147	4	11	25	85	166	0
	小 計	29,961	29,525	95	11	31	94	199	6
総 計		370,444	339,085	5,827	1,986	4,898	11,028	6,042	1,578

※本館館内閲覧受付 5 6 3 冊

○本館の蔵書点検に係る臨時休館

R 7 年 3 月 4 日 (火) ~ 3 月 1 4 日 (金)

(3) 図書貸出冊数（一般書・児童書）と予約・リクエストの推移

区分 年度	貸 出 (冊)		予約・リクエスト	
	個 人	団 体	件 数	左のうち、購入した冊数
R4	361,124	7,152	33,020	1,107
R5	347,329	4,848	33,715	1,199
R6	333,252	7,331	33,995	1,051

(4) 障害者サービス

区分	登録者	貸出数	市内送付サービス	市外送付サービス
点字サービス	29 人	70 タイトル 281 点	70 タイトル 281 点	0 タイトル 0 点
録音サービス※	105 人	132 タイトル 220 点	129 タイトル 213 点	3 タイトル 7 点
計		202 タイトル 501 点		

※録音サービスでは、現在主流の視覚障害者向けデジタル録音図書（デイジー）と一般的な再生機（カセットプレイヤー）で聴けるカセットテープによるサービスを行っています。

※本表では広報・新聞コラム等を除いています。

(5) 予約処理状況

一般書・児童書 31,391 冊
雑誌 2,326 冊
AV資料（CD・DVD等） 278 点 合 計 33,995 件

※R3年4月から在架予約を開始しました。

（市立図書館や地区公民館図書コーナーの棚にある資料を予約することができます。）

(6) 文献複写サービス（有料）

複写枚数 3,752 枚

(7) 人口類似都市図書館との比較

区 分	大 牟 田 市		人口類似都市平均 (R5 年度実績)
	R5 年度	R6 年度	
市民 1 人当たりの図書等貸出冊数	3.61 冊	3.57 冊	4.17 冊
全市民中に占める貸出登録者の割合	19.60%	18.72%	44.16%
蔵 書 回 転 率	1.28 回	1.25 回	1.24 回
市民 1 人当たりの蔵書冊数	2.81 冊	2.87 冊	3.37 冊
市民 1 人当たりの図書等購入費	201.20 円	204.39 円	188.26 円
職員 1 人当たりの図書等貸出数	22,435 冊	21,791 冊	16,498 冊

※「人口類似都市平均」は、『日本の図書館（2024）』日本図書館協会2025年刊から、人口10.9万人以上12.1万人未満の10市の平均

※大牟田市以外の数値は、2024年の公共図書館調査票の数値をもとに平均値を算出

2 図書館資料

拠点別蔵書冊数

(R 7 年 3 月 3 1 日現在)

区 分	一般書		児童書		計	
	冊数 (冊)	比率 (%)	冊数 (冊)	比率 (%)	冊数 (冊)	比率 (%)
本館	191,190	80.2%	47,114	19.8%	238,304	100.0%
三川地区公民館	6,918	58.8%	4,851	41.2%	11,769	100.0%
勝立地区公民館	5,647	64.3%	3,141	35.7%	8,788	100.0%
吉野地区公民館	6,237	60.5%	4,068	39.5%	10,305	100.0%
三池地区公民館	6,087	55.1%	4,961	44.9%	11,048	100.0%
手鎌地区公民館	5,037	54.2%	4,262	45.8%	9,299	100.0%
駿馬地区公民館	4,355	55.4%	3,508	44.6%	7,863	100.0%
計	225,471	75.8%	71,905	24.2%	297,376	100.0%

3 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

(1) 必須事業 (指定管理者が必ず実施しなければならない事業)

① 定例事業

ア おはなし会 (おおむた読書推進ボランティアネットワークの協力を得て開催)

おはなし会名	開 催 日	開催回数	参加者 (のべ人数)	協力ボランティア (のべ人数)
幼児及び小学生のためのおはなし会	毎週土曜日	45 回	423 人	128 人
乳幼児のためのおはなし会	毎週木曜日 (但し、休館日の最終木曜日は除く)	35 回	255 人	63 人
赤ちゃんのためのおはなし会	毎週火曜日	36 回	412 人	86 人

イ ブックデビュー事業

保護者と赤ちゃんが「初めての絵本」の楽しさを実感できる方法を提案するとともに、図書館の利用案内を行いました。

上記の「赤ちゃんのためのおはなし会」内で隔月 1 回、ブックデビュー事業を行いました。また、図書館の事業外では、先述のブックスタート事業「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」、子ども家庭課の「赤ちゃん広場」内で実施しました。

実施回数 16 回 参加者 (のべ人数) 193 人

ウ ブックリサイクルの実施

図書館で不用になった図書・雑誌を市民、学校及び施設に無料提供しました。

(ア) 子どもの本限定！ブックリサイクル

と き 5 月 4 日 (土・祝) 参加者 46 人

(イ) 一般書限定！ブックリサイクル (一般書・雑誌)

と き 9 月 22 日 (日・祝)・23 日 (月・振休)

参加者 117 人

(ウ) 学校向けブックリサイクル

と き R 7 年 1 月 2 9 日 (水) 参加者 1 6 人
ブックリサイクル提供図書総数 6, 1 8 7 冊

②行 事

ア イベント的事業

事 業 名	内 容	と き	参加者
「子ども読書の日 記念イベント 2024」	ぬいぐるみおとまり会	4 月 28 日 (日) 4 月 29 日 (月・祝)	子ども 延べ12人 大人 延べ8人
	子どもの本限定！ブックリサイクル〔再掲〕	5 月 4 日 (土・祝)	46 人
	春の子ども図書館まつり 『どんな本と出会えるかな？ー「本」づりに ちようせん！』	5 月 5 日 (日・祝) ～6 日 (月・振休)、 19 日 (日)	59 人
特別おはなし会	子ども読書の日記念 どうぶつおはなし会	5 月 12 日 (日)	18 人
	七夕おはなし会	7 月 6 日 (土)	13 人
	平和おはなし会	8 月 3 日 (土)	13 人
	クリスマスおはなし会	12 月 21 日 (土)	41 人

イ 講座及び研修会

読書ボランティア養成講座「読み聞かせのスキルアップ講座」

内 容	講 師	と き	受講者
「えほんとおと」	講師：廣瀬 崇 (絵本コンシェルジュ)	11 月 20 日 (水)	9 人
「絵本の宝箱を開けてみれば」 ～読み聞かせの魅力に出会う～	講師：梅野 智美 (九州大谷短期大学)	11 月 27 日 (水)	8 人
「オノマトペ絵本を楽しもう！ 絵本をつくろう！」	講師：すやま よしこ (絵本コンシェルジュ)	12 月 4 日 (水)	6 人

③有明圏域定住自立圏に係る取組み

有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、H 2 4 年度から柳川市及びみやま市、H 2 6 年度から荒尾市、南関町及び長洲町との図書サービスの相互利用を実施しています。

【大牟田市立図書館における相互利用状況】

区分 年度	登録者数	登録者数のうち 新規登録者数	のべ利用者数	図書等貸出数
R4	2, 206 人	72 人	6, 872 人	28, 067 冊
R5	1, 782 人	78 人	4, 164 人	21, 668 冊
R6	1, 567 人	65 人	4, 006 人	20, 054 冊

④ありあけ圏域電子図書館

R 4 年 5 月 1 日から大牟田市、柳川市、みやま市、長洲町の 4 市町共同運営による電子図書館サービスを開始しました。

【電子図書館利用状況】

年度 \ 区分	貸出し総数（うち大牟田市）		
	一般図書	児童書	計
R4（5月～）	19,959（14,219）	16,597（14,949）	36,556（29,168）
R5	17,360（13,733）	16,572（15,401）	33,932（29,134）
R6	15,666（12,282）	15,969（14,940）	31,635（27,222）

（２）提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業）

①展示会（主に図書の展示と貸出し）ほか

ア 特設（一般）

展示テーマ	内 容	と き
大人も読みたい絵本と児童書	大人にもおすすめの児童書や絵本を集めて展示を行いました。	3月29日（金）～ 4月24日（水）
IT・IOT・ICTの今	さまざまな分野の最新技術について学べるような本を集めて展示を行いました。	4月26日（金）～ 5月29日（水）
「家族」のカタチ	LGBTQ+、養子、契約婚、シェアハウスなど、色々な形の家族を描いた小説、ノンフィクション、エッセイの本を集めて展示を行いました。	5月31日（金）～ 6月26日（水）
文人墨客	小説家や画家、広くは科学者、経営者など主人公を中心とした小説や新札の人物に関する本を集めて展示を行いました。	6月28日（金）～ 7月24日（水）
何かがここへやって来る・・・ ～恐怖のパニック小説～	生物襲来・天災・病原体・ストーカー・殺人鬼など、暑い夏にゾクッとするような小説を集めて展示を行いました。	7月26日（金）～ 8月28日（水）
シニア×ライフ	高齢になっても人生をいきいきと楽しんでいる人の本を紹介します。また、高齢者向けの収納や料理・終活・墓じまいなど、高齢者の暮らしに関連する本や生活の手助けとなる本を集めて展示を行いました。	8月30日（金）～ 9月25日（水）
図書館を舞台にしたものご たり～もっと知ってほしい 図書館のこと～	図書館を舞台にした小説、図書館の事を知ることができる本を集めて展示を行いました。	9月27日（金）～ 10月30日（水）
「今年の漢字」 応募してみませんか？	漢字に関する本を集めて展示を行いました。また、「今年の漢字」の応募用紙も設置しました。	11月1日（金）～ 11月27日（水）
歌ってみよう	歌に関する本を集めて展示を行いました。	11月29日（金）～ 12月25日（水）
お風呂でゆったり	お風呂・サウナ・銭湯・温泉などの関連書、これらをテーマにした小説エッセイ絵本等を集めて展示を行いました。	12月27日（金）～ R7年1月29日（水）
おうちで再現レシピ	小説やマンガ、映画などの作中に登場する料理やお菓子の再現レシピが掲載されている本を集めて展示を行いました。	R7年1月31日（金） ～2月26日（水）

展示テーマ	内 容	と き
さくらさくら 桜の本、大集合！	桜という植物に関して学ぶ本、桜の名所ガイド、桜の写真集等桜に関する本を集めて展示を行いました。	R7年2月28日(金)～3月26日(水)

イ 特設（児童）

展 示 名	展示冊数	と き
スタンダードブック	235 冊	3 月 29 日（金）～R7 年 3 月 26 日（水）
どうぶつの本	70 冊	3 月 29 日（金）～4 月 24 日（水）
こいのぼりのほん	18 冊	4 月 26 日(金)～5 月 29 日(水)
かぞくのほん	65 冊	5 月 31 日(金)～6 月 26 日(水)
星のほん	33 冊	6 月 28 日(金)～7 月 24 日(水)
読書感想文・感想画の本	118 冊	6 月 28 日(金)～9 月 1 日(日)
自由研究の本	154 冊	6 月 28 日(金)～9 月 1 日(日)
平和のほん	33 冊	7 月 26 日(金)～8 月 28 日(水)
おつきみのほん	30 冊	8 月 30 日(金)～9 月 25 日(水)
ハロウィンのほん	49 冊	9 月 27 日(金)～10 月 30 日(水)
人権を考えるほん	32 冊	11 月 1 日(金)～11 月 27 日(水)
クリスマスの本	60 冊	11 月 29 日(金)～12 月 25 日(水)
お正月のほん	26 冊	12 月 27 日(金)～R7 年 1 月 29 日(水)
節分のほん	22 冊	R7 年 1 月 31 日(金)～2 月 26 日(水)
ひなまつりのほん	20 冊	R7 年 2 月 28 日(金)～3 月 26 日(水)

ウ 特設（YA：ヤングアダルト）

展 示 名	内 容	と き
31 文字のエモ	若者に短歌ブームが来ているため、短歌の本を集め展示を行いました。	R6 年 3 月 29 日(金)～5 月 29 日(水)
素敵なパッケージの世界	日用品やお菓子、土産物など商品のパッケージについての本を集め展示を行いました。	5 月 31 日(金)～6 月 26 日(水)
読書感想文におすすめの本	読書感想文コンクールの課題本を集め展示を行いました。	6 月 28 日(金)～8 月 28 日(水)
10 代から知りたいお金や経済のこと	お金や経済の本を集めて展示を行いました。	8 月 30 日(金)～10 月 30 日(水)
手紙に想いをのせて	書簡集・手紙をテーマにした小説・手紙の書き方・便箋・文房具などの本を集めて展示を行いました。	11 月 1 日(金)～12 月 25 日(水)

2024 年若い人に送る読書のすすめ	毎年、この一年に出版された本の中から、読書推進運動協議会が選定した「若い人にぜひ読んでもらいたい本」24 冊を集めて展示を行いました。	12 月 27 日(金)～ R7 年 3 月 26 日(水)
--------------------	---	-----------------------------------

エ 常設展示

展 示 名	内 容
SDGs コーナー	大牟田市で推進している ESD（持続可能な開発のための教育）と、SDGs（持続可能な開発目標）に関する本の展示・貸出しを行いました。
認知症コーナー	地域の情報を積極的に収集し、認知症に関する予防や介護、闘病記など様々なジャンルの展示・貸出しを行いました。
科学道	理化学研究所と、本の可能性を追求する編集工学研究所の共同プロジェクト「科学道 100 冊プロジェクト」で紹介された本の展示・貸出しを行いました。
点字本・大活字本・LLブック	誰もが読書を楽しむことができることを目的とし、点字本・大活字（文字が大きい本）・LLブック（記号なども組み合わせ平易に表現し、知的障害の方・海外にルーツを持つ方なども読みやすいよう工夫がされている本）の展示・貸出しを行いました。
スタンダードブック	1974 年までに出版されて長く読み継がれてきたスタンダードな絵本の展示・貸出しを行いました。
大牟田関連コーナー	大牟田出身漫画家作品、大牟田ゆかりの人物に関する本や郷土資料、大牟田市動物園関連の本、ともだちや絵本美術館や三池カルタ・歴史資料館の展示に合わせた本の展示・貸出しを行いました。

②行 事

ア イベント的事業

事 業 名	内 容	と き	参加者
防災パネル展・関連資料特設「もしもに備える防災の本」	R 6 年 5 月に新たにアップデートされた大牟田市ハザードマップ等（大牟田市役所・防災危機管理室提供）をパネル形式で展示を行いました。また、ハザードマップや避難に関連する本や、手軽に試すことができる防災術の本、ペットを飼う人向けの防災に関連する本の展示を行いました。	5 月 31 日（金） ～7 月 24 日（水）	—
平和パネル展	大牟田市「核兵器廃絶平和都市宣言」の認知度の向上及び平和意識の高揚に資するため、「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」のパネルと戦争と平和に関する資料に加えて、大牟田の空襲に関する資料の紹介を行いました。	7 月 26 日（金） ～8 月 28 日（水）	—
平和の映画上映会	戦争に関するアニメを上映し平和について考えてもらう上映会を開催しました。	8 月 17 日（土）	15 人
「ひろがる！お話と音楽のせかい」	本が好きな子はもちろん興味がない子にも絵本の魅力を知ってもらうきっかけづくりとして、通常のおはなし会とは違い、お話・お芝居・音楽が一つとなった「読み芝居」を開催しました。	8 月 25 日（日）	200 人

事業名	内 容	と き	参加者
動物愛護おはなし会・クロマティックハーモニカコンサート	動物愛護週間のため動物愛護をテーマとした保健衛生課による動物愛護の話と関連する絵本の読み聞かせを合わせたおはなし会を実施しました。また、音楽に触れてもらう機会を提供しました。	9月16日(月・祝)	35人
動物愛護パネル展	動物愛護のパネルの展示に合わせ、動物愛護に関する本16冊の展示・貸出しを行いました。	8月28日(水)～ 9月25日(水)	—
図書館 de サイエンス「理科読」 ①「プログラミングとAI」 ②「折り紙建築」	図書館スタッフによる科学絵本の読み聞かせと有明工業高等専門学校の先生と学生による理科実験・解説で科学のしくみについて学んでもらうイベントを開催しました。	①11月4日(月・振休) ②11月24日(日)	①16人 ②15人
第8回大牟田市立図書館を使った調べる学習コンクール	図書館の使い方や物事の調べ方の方法を学ぶ講座を開催し、図書館を使った生涯学習の発展に努めるためにコンクールを行いました。応募された作品は、審査・表彰を行い、その後全国コンクールへ出品しました。	作品募集期間 7月2日(火)～ 9月29日(日) 表彰式 11月10日(日)	応募数 小学生の部 27点 中学生の部 1点
「税を考える週間」展	大牟田税務署が提供する税に関するチラシやポスターと「税を考える週間」にちなんだ中高生の作文コンクールの受賞作品を展示しました。	11月1日(金)～ 11月19日(火)	—
認知症にやさしい図書館＆博物館プロジェクト「回想法」で認知症予防	平成の全国ニュースや大牟田の写真を見て当時の思い出についてグループで語りあう「回想法」と国立病院の認知症専門医による「認知症予防」についての講演を行いました。また、認知症コーナーの取組み、昔の写真が載っている本の紹介を行いました。	12月1日(日)	13人
図書館 de ボードゲーム	コミュニケーションツールとしてボードゲームが注目されていることから、YA世代(小学生～高校生)を対象に来館のきっかけ作りとしてボードゲームの体験イベントを行いました。	12月8日(日)	6人
バリアフリー映画上映会	視覚や聴覚に障害があっても同じように映画を楽しめるよう、字幕と音声ガイドを使用した映像作品の上映を行いました。	12月15日(日)	6人
三池税関パネル展	三池税関支署(三池港)に関するパネルの展示と図書館所蔵の三池税関と税関の歴史に関する資料を紹介しました。また、三池税関の配布用パンフレットも設置しました。	12月3日(火)～ 12月13日(金)	—

事業名	内 容	と き	参加者
三池が生み出した刀たち	国宝「大典太」を作刀した刀匠、三池典太光世が住んでいたとされる大牟田で三池派の刀を集めて展示を行いました。その他、人気コンテンツ「刀剣乱舞ONLINE」とのコラボイベント、オリジナルクリアファイルの販売、刀剣講座、パネル展示、関連書籍の特設展示を行いました。	ギャラリートーク R7年1月13日(月・祝) 展示、フォトスポット、販売 12月17日(火)～R7年2月2日(日) 〔刀剣乱舞コラボイベント〕 おっきいこんのすけ撮影会 12月21日(土) 刀剣を学ぶ!おっきいこんのすけミーティング 12月21日(土)	—

イ 講座及び研修会

(ア) 第8回大牟田市立図書館を使った調べる学習コンクール応援教室

内 容	講 師	と き	受講者
「どんなことを調べよう? テーマの決め方」 ① 低学年向け ②高学年向け	図書館スタッフ	①7月14日(日) ②7月15日(月・祝)	5人 5人
講演「九州の古刀について」	望月 規史 (九州国立博物館主任研究員)	R7年1月19日(日)	35人
講座 ①「お刀鑑賞初心者講座」 ②「三池の足跡をたどる ～三池派の刀匠とゆかりの地」	山田 元樹 (大牟田市立図書館館長)	R7年1月26日(日)	① 27人 LIVE 配信 42人 ② 27人 LIVE 配信 65人

(イ) その他

内 容	講 師	と き	受講者
「大牟田の絵本づくりワークショップ2024」への協力	図書館スタッフ	9月13日(金)～ R7年2月15日(土)	40人

(ウ) 電子図書館デモンストレーション

と き	対 象	参加者
R7年1月30日(木)	玉川小学校(3・4年生)	20人

《スポーツ施設》〔スポーツ推進室〕

人々の健康に対する関心の高まりとともにスポーツ参加への関心も高く、身近に利用できる安全で快適性が高いスポーツ施設が望まれています。市民や利用者の健康保持と体力増進のためにスポーツ施設の充実を行い、活用していきます。

1 スポーツ施設の管理運営

R 6 年 3 月 3 1 日をもって、市民体育館、武道場及び第二市民体育館が閉館し、4 月 1 日から総合体育館（おおむたアリーナ）が開館しました。

スポーツ施設に関しては、H 1 9 年度から（延命プールは H 2 0 年度から）指定管理者制度を導入し、R 2 年度から R 5 年度（R 6 年 3 月 3 1 日）までの 4 年間は、7 施設（市民体育館、延命球場、御大典記念グラウンド、武道場、笹林庭球コート、第二市民体育館、第二グラウンド）の管理運営について、特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定していました。延命プールについては、R 4 年度から R 5 年度までの 2 年間、特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定し、プール開場期間中の各種イベントの実施や施設の衛生面や利用者の安全管理に努めてきました。

同法人は、競技の専門知識・大会運営のノウハウ・各団体との連絡や協力体制を活かした各種スポーツ事業の実施により社会体育の普及促進に寄与しており、本市では、事業の計画的な実施状況や施設の保守点検業務の実施状況などについて、指定管理者からの聞き取りや月例報告書などによるモニタリングを行い、随時、協議・連携を行っています。

R 6 年度から R 1 0 年度までの 5 年間についても、引き続き、同法人を指定管理者に指定し、総合体育館、延命球場、御大典記念グラウンド、笹林庭球コート、第二グラウンド及び延命プールの管理運営を行っています。

2 利用状況（単位：人）

区 分		R4 年度	R5 年度	R6 年度
延命球場		14,044	19,710	18,941
総合体育館（※1）		—	—	190,129
市民体育館		82,642	86,217	—
御大典記念グラウンド		47,414	44,476	48,783
延命プール		10,443	14,811	13,968
武道場		3,668	4,114	—
宅峰中学校弓道場（※2）		4,247	4,495	3,597
第二市民体育館		31,157	32,705	—
笹林庭球コート		3,408	3,377	3,191
第二グラウンド		9,862	5,542	2,612
諏訪公園テニスコート		14,956	15,031	13,315
大牟田港 緑地運動 公 園 （※3）	ソフトボール場	4,836	4,420	4,977
	野球場	6,123	4,640	5,676
	運動広場	21,811	20,834	23,027
	庭球場	14,558	15,356	13,466
甘木中学校夜間照明		1,013	954	517
手鎌北町公園テニスコート		549	755	544
合 計		270,731	277,437	342,743

- ※1 市民体育館・武道場・第二市民体育館は R6 年 3 月 31 日で閉館し、総合体育館に集約されました。
- ※2 宅峰中学校弓道場については、一般利用分のみの数値を計上しています。
- ※3 大牟田港緑地運動公園は県営施設ですが、市が管理を受託しており、参考に記載しています。

3 施設の維持補修等

スポーツ施設を適切に管理運営するため、老朽化した箇所や設備について補修工事等を行い、利用者の利便性及び安全性の向上を図りました。

4 評価・課題

市民が健康的で豊かな生活を送るために、スポーツ施設の果たす役割は大きく、市民が気軽に利用できる施設として親しめるよう、環境の整備や事業の充実に努めています。

R 6 年度の全体的な施設の利用者数は、総合体育館が開館したこともあり、R 5 年度を上回りましたが、施設によっては R 5 年度を下回ったところもありました。

総合体育館の P R はもちろん、今後も引き続き、利用者が気軽に利用できるよう施設情報等の提供を行うなどして、利用者の拡大に努めていきます。また、総合体育館を活用し、トップレベルの大会・選手等の誘致を支援し、交流人口の拡大や市民のスポーツ活動の活発化に努めていきます。

〔指定・登録文化財一覧〕

(令和7年3月31日現在)

区 分		種 類	指定・登録年月日	文化財の名称	所 在 地
国指定	1	建 造 物 (重要文化財)	S 4 5 . 6 . 1 7	早鐘眼鏡橋 (附 旧水路10m)	早鐘町128番地
	2	〃	H 1 0 . 5 . 1	三井石炭鉱業株式会社 三池炭鉱宮原坑施設	宮原町1丁目86番地3
	3	史 跡	S 3 6 . 4 . 5	萩ノ尾古墳	東萩尾町289番地 ほか
	4	〃	S 5 2 . 2 . 1 7	潜塚古墳	黄金町1丁目469番地 ほか
	5	〃	H 1 2 . 1 . 1 9 (追加指定 H25.3.27) (追加指定 H26.10.6) (追加指定 H28.10.3)	三井三池炭鉱跡 宮原坑跡 万田坑跡 専用鉄道敷跡 旧長崎税関三池税関支署	宮原町1丁目86番地3 ほか 桜町201番地2 ほか 新港町1番地25
国登録	6	建 造 物	H 1 0 . 1 . 1 6	旧三池炭鉱宮浦坑煙突	西宮浦町132番地8
	7	〃	H 1 2 . 1 2 . 4	旧三池炭鉱三川電鉄変電所 (信号電材株式会社本社)	新港町1番地30
	8	〃	H 1 7 . 1 2 . 2 6	大牟田市役所本庁舎旧館	有明町2丁目3番地
	9	〃	R 3 . 2 . 4	古賀家住宅主屋	谷町1番地12 ほか
県指定	10	史 跡	H 1 5 . 2 . 5	黒崎観世音塚古墳・経塚	岬2608番地2 ほか
	11	建 造 物	H 8 . 5 . 3 1	旧三池集治監外塀及び石垣	上官町4丁目77番地 三池工業高等学校
	12	〃	H 2 6 . 3 . 1 4	旧長崎税関三池税関支署	新港町1番地25
	13	彫 刻	S 3 3 . 4 . 3	木造薬師如来坐像	大字今山2538番地 普光寺境内
	14	〃	S 3 8 . 1 . 1 6	木造慈覚大師坐像	〃
	15	考古資料	S 3 2 . 8 . 1 3	黒崎山舟形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	16	〃	S 3 3 . 4 . 3	宮原石層塔残欠	宮原町1丁目191番地 駿馬天満宮境内
	17	〃	S 3 3 . 1 1 . 1 3	不動明王板碑 (附 梵字阿弥陀三尊板碑)	大字今山2538番地 普光寺境内
	18	〃	S 3 3 . 1 1 . 1 3	石造六地藏	大字倉永872番地 法雲寺境内
	19	〃	S 3 3 . 1 1 . 1 3	南無阿弥陀仏名号板碑 (附 四面仏石塔残欠)	藤田町743番地 藤田天満宮境内
	20	〃	S 3 4 . 3 . 3 1	石甲	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館 (九州国立博物館へ貸出・展示)
	21	〃	S 3 6 . 4 . 1 8	今山普光寺ならびに定林寺石塔群	大字今山字本村、字大塔
	22	〃	S 3 7 . 4 . 1 9	宮原天満宮石幢残欠	宮原町1丁目191番地 駿馬天満宮境内
	23	〃	S 3 8 . 1 . 1 6	蜜柑山舟形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	24	〃	S 4 5 . 5 . 2	乙宮神社の石殿	宮坂町20番地 乙宮神社境内
	25	〃	S 5 7 . 4 . 1	倉永古墳壁画残欠	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	26	〃	S 5 7 . 4 . 1	高塚舟形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	27	〃	S 5 7 . 4 . 1	古城山家形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	28	有形民俗文化財	S 3 8 . 1 . 1 6	湯谷柳川領境界石	大字四ヶ字湯谷
	29	天然記念物	S 3 3 . 4 . 3	臥龍梅	大字今山2538番地 普光寺境内
	30	〃	S 5 4 . 3 . 6	土穴のエノキ	大字櫛野字土穴928番地
	31	〃	H 1 8 . 3 . 3	米ノ山断層及び石炭層の露頭	大字櫛野字石坂2964 焼石山公園内
市指定	32	建 造 物	H 1 7 . 1 2 . 9	三井港倶楽部	西港町2丁目6番
	33	彫 刻	H 5 . 3 . 1 0	普光寺仁王像	大字今山2538番地 普光寺堂内
	34	〃	H 1 2 . 4 . 1 4	教楽来天満神社石造狛犬	大字教楽来字権現堂1114番地 教楽来天満神社
	35	考古資料	S 3 4 . 1 2 . 1 2	四方佛塔 (附 五輪塔地輪)	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
	36	〃	S 4 2 . 1 0 . 1 1	大間劫月院跡の石造遺物	大字三池226番地
	37	〃	S 4 2 . 1 0 . 1 1	明正寺六地藏幢	大字三池779番地 明正寺境内
	38	〃	S 5 0 . 3 . 1 8	定林寺中興開山塔	大字今山字大塔 定林寺境内
	39	〃	S 5 0 . 3 . 1 8	本村の四仏塔婆	大字勝立字本村
	40	〃	S 5 0 . 3 . 1 8	三池氏供養塔	大字今山字大塔 定林寺境内
	41	有形民俗文化財	S 3 7 . 7 . 1 6	焚石山鎮守社稻荷石祠	岬町6番地23 大牟田市石炭産業科学館
	42	無形民俗文化財	S 5 0 . 3 . 1 8	岡天満宮祭礼行事	大字上内 岡・坂井地区
	43	無形民俗文化財	H 2 2 . 4 . 1 4	三池地区祇園社祭礼行事 “三池の大蛇山”	大字三池・大字新町
	44	史 跡	S 3 7 . 7 . 1 6	歴代三池藩主墓地	大字今山2585番地 紹運寺境内ほか
	45	〃	S 3 8 . 7 . 1 1	上内立花内膳家墓地	大字上内字柵2248番地
	46	天然記念物	S 4 1 . 9 . 3 0	上内八幡宮のイチイガシ	大字上内1528番地 上内八幡宮境内
	47	〃	S 4 4 . 6 . 1 1	玉垂神社の大樟	大字岬2363番地 玉垂神社境内
	48	〃	S 6 1 . 4 . 1 6	下正原のシラカシ	大字勝立字下正原1685番地
	49	〃	S 6 1 . 4 . 1 6	一ノ尾のアラカシ	大字教楽来字一ノ尾841番地

令和7年度版（令和6年度実績）

大牟田の教育

令和7年10月

発行 大牟田市教育委員会
大牟田市
編集 大牟田市教育委員会事務局
総務課 教育みらい創造室

〒836 - 8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
電話 0944 - 41 - 2867 ファクシミリ 0944 - 41 - 2862
電子メール e-kyoikusoumu01@city.omuta.fukuoka.jp
大牟田市教育委員会ホームページ
<http://www.city.omuta.lg.jp/kyouiku/>